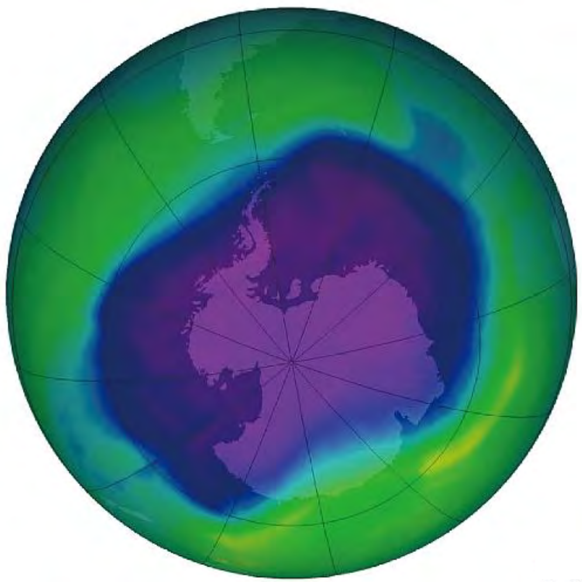


URBANGAUSS

Works Guide 1981-2020

池上俊郎Toshiroh IKEGAMI

池上俊郎

URBANGAUSS研究所 代表取締役　建築家

npo ECO-DESIGN NETWORK 理事長

大阪グリーン購入ネットワーク　理事長

京都市立芸術大学 名誉教授

関西学院大学総合政策学部都市政策学科　元教授

大阪市中央区淡路町4-3-1 FOBOS4F 〒541-0047

Toshiroh IKEGAMI

architect / URBANGAUSS

chairman / npo ECO-DESIGN NETWORK

chairman / Osaka Green Purchasing NetWork

professor　emeritus / Kyoto City University of Arts

former professor / Kwansei Gakuin University

www.urbangauss.com　office@urbangauss.com

FOBOS 4F 4-3-1Awajimachi Chuou-ku Osaka JAPAN zip 541-0047

INDEX

01: About URBANGAUSS

01: About URBANGAUSS

URBAGAUSS has named after Johann Carl Friedrich Gauss who has remarkable influenced to magnetics.
We would like to contribute to work in multiple design categories
such as Urban, Architecture, Inner & Land scape, and Product design.
We would like to provide smart & progressive life style to the world as magnetic fields.

URBANGAUSS　　URBANGAUSS INC.

Established　Oct.1,1981 Toshiroh Ikegami Architecture Company
Established　Jun.5,1986 URABANGAUSS
Capital　JPY ¥10,000,000

www.urbangauss.com office@urbangauss.com p 81+(0)662045565
4F FOBOS 4-3-1Awajimachi Chuou-ku Osaka JAPAN zip 541-0047

CATEGORY　：
Architecture Urban design Marine design Inner & Land scape design Commercial & Industrial design
SUPPLY　CONTENT
Strategy Planning, Design Supervision Production Appraisal
Research and Technology Development
Intellectual Property Management, real estate business
AREA　JAPAN & outside JAPAN

01: URBANGAUSS 株式会社アーバンガウス研究所　について

アーバンガウスの「ガウス」とは、19世紀に地場の概念を発見したJohann Carl Friedrich Gauss　博士に由来します。
私達は、価値観が多様に交錯する現代において、都市計画・建築・インテリア・プロダクトデザインなど様々なジャンルにおいてプロジェクトを企画・デザインし、実現を目指します。魅力ある「場」の創出を通じて、未来の環境が快適で素晴らしい世界になることに寄与したいと願っています。

URBANGAUSS
株式会社アーバンガウス研究所

創立　　1981年10月1日　池上俊郎建築事務所
URABANGAUSS 設立 1986年6月5日 株式会社アーバンガウス研究所
資本金　　10,000,000　円

www.urbangauss.com office@urbangauss.com p 81+(0)662045565
大阪市中央区淡路町4-3-1FOBOS4F　〒541-0047

領域：
都市開発・海洋開発・建築・内部空間デザイン・外部空間デザイン・商業デザイン・工業デザイン
提供内容：
戦略・立案・計画・設計・監理・販売・制作・鑑定　等
調査・研究・技術開発　等
知的財産管理実施許諾・不動産事業　等

対象地域：　日本国及び海外

URBANGAUSS

02: About Toshiroh IKEGAMI

02: About Toshiroh IKEGAMI

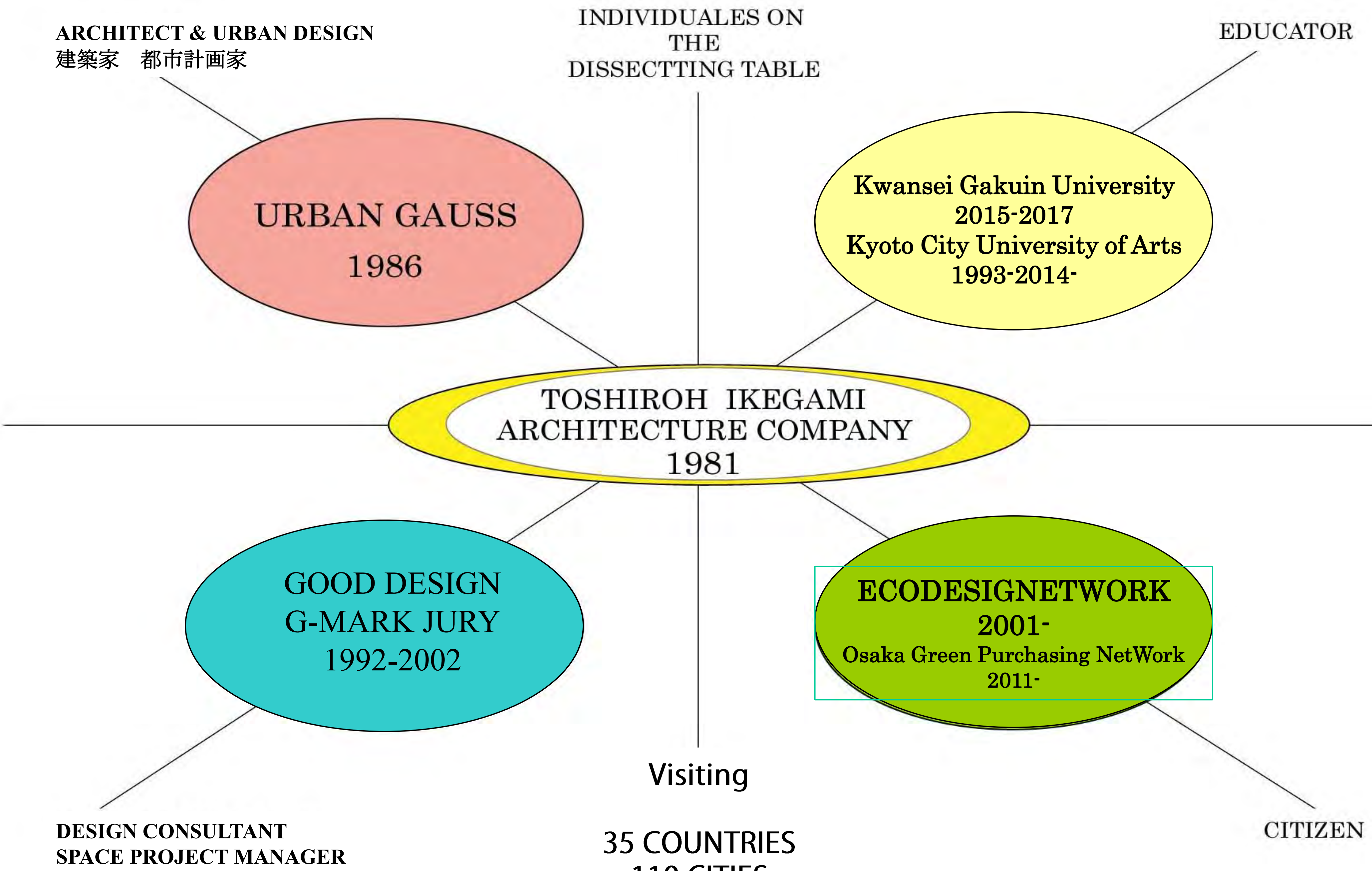
1948 Born in Osaka Japan
1974 BA / Osaka University Japan / Faculty of Engineering, Department of Architecture Engineering.
After working as a City & Physical Planner for Urban Design, 1976-1981 Working as Architect at Tadao Ando Architect & Associates. 1977 got First Class architect in Japan.
1981 Established Toshiroh Ikegami Architecture Company , as First Class architect office.
1986 Established URBANGAUSS as First Class architect office.
1993-2014 Kyoto City University of Arts (KCUA), Faculty of Fine Arts / Department of Design / Environmental Design, as a Professor Architect & Space Designer. 1993 Associate Professor, 2000 Professor Doctor Course, 2014 Professor Emeritus.
2015-16 Kwansei Gakuin University, Department of Urban Studies / The School of Policy Studies as a Professor Architect.
1992-2002 G-MARK Jury Member of Japan Institute of Design Promotion. (JDP)
2001 Established NPO ECODESIGN NET WORK 2007 Chairman.
2011 Established & Chairman Osaka Green Purchasing Network.
Teaching & Lecture in Asia from 2004 – Indonesia, Singapore, Malaysia, Bangladesh, Mongolia, mainly China 20 universities and cities. Theme is “Progress & Legacy – Culture & Aesthetics” from 1998, “Eco-Design is Design Itself”from 2002.

Working as a Creator, Educator, Researcher, Citizen.
Designing with the concept “EDIT” and creating new eco design lifestyle as an architect. Dealing scale equal from 1/1 to 1/ 200,000. Territory of design covers mainly architecture, city & physical planning, landscape design. Sometimes product design, eco-design demonstration experiment equipment & system etc. From 2010 theme is Optimize “a Micro Climate in a Micro Biosphere” for Climate Crisis.

02:　池上俊郎　Toshiroh IKEGAMI

1948大阪市北区堂島生まれ　74大阪大学工学部建築工学科卒業　76安藤忠雄建築研究所　77　1級建築士
81池上俊郎建築事務所設立86 (株)アーバンガウス研究所に改組
93京都市立芸術大学　助教授　99教授　2000博士課程教授　2014　名誉教授
2015-16　関西学院大学総合政策学部都市政策学科　教授
92－2002　G-MARKグッドデザイン賞審査委員・UNIT長
2001 NPO法人エコデザインネットワーク設立2007理事長
2011 大阪グリーン購入ネットワーク　理事長

建築家として"編集"の概念で設計デザイン活動・デザイン教育・デザイン研究を行う。1/1-1/200,000を等価として扱うことを持論とする。 2000年より、"Sustainable Progress Design"持続型社会のデザイン、京都東寺の建築群並びに立体曼荼羅の3Dアーカイブ、居住スペースを中心とする宇宙研究を進めた。
現在のテーマは、"a micro climate in a micro biosphere　微小生命圏における微小環境"の適正化である。
理論的実証として建築を中心に都市計画、景観デザイン、インテリアデザイン、プロダクトデザインなど３次元空間造形デザイン活動の実践を行う。又、アートディレクター・統轄ディレクターとして展覧会企画構成アートディレクションを行う。国内外の講演、著作・寄稿、TV出演等行う。
ＴＶ朝日渡辺篤史住宅探訪放映の"萩谷邸＝広尾の住器"、G-MARK施設"PAGE FACTORY"、"ALPHA BLANCA ST"等。
遊歩橋を中心に街並み創りの堺市熊野小学校景観整備事業、阪神淡路大震災復興事業として神戸居留地区の東町・江戸町ビル等がある。2001大阪夢洲"URBAN　SEA　RESORT　TOWN"環境共生都市構想発表。
2003 NPO法人エコデザインネットワークより大阪循環型都市再生自然再生提言。
2003-2006 "既存都市近郊自然の循環型再生大阪モデル"研究代表。2005-2007"SPACE FUTON" 研究代表。
2007年　中国西安唐大明宮国立遺跡公園戦略基本構想　統括。
2010年以降は、研究成果の社会実装と建築・都市設計を"CSR-企業の社会的責任""SDGs"の視点で地域編集として進める。
東京都大手町の都市農業装置設置、大阪城外濠の水質改善実証実験、淡路島のSMART CITY提案、上海で建築設計、日本国内での過疎地域活性の建築設計監理を行う。
2010年大阪での世界青年会議所世界大会開催時に、未来社会を提示する "FUTURE EXPO2010 –未来メッセ"の総合プロデューサーを務めた。
2013年自身の建築・都市設計・研究活動を総合的にまとめた"DWELL-棲息すること-空間デザインの未来"展を京都芸術センターで開催。　1973年 -35国110都市を研究調査



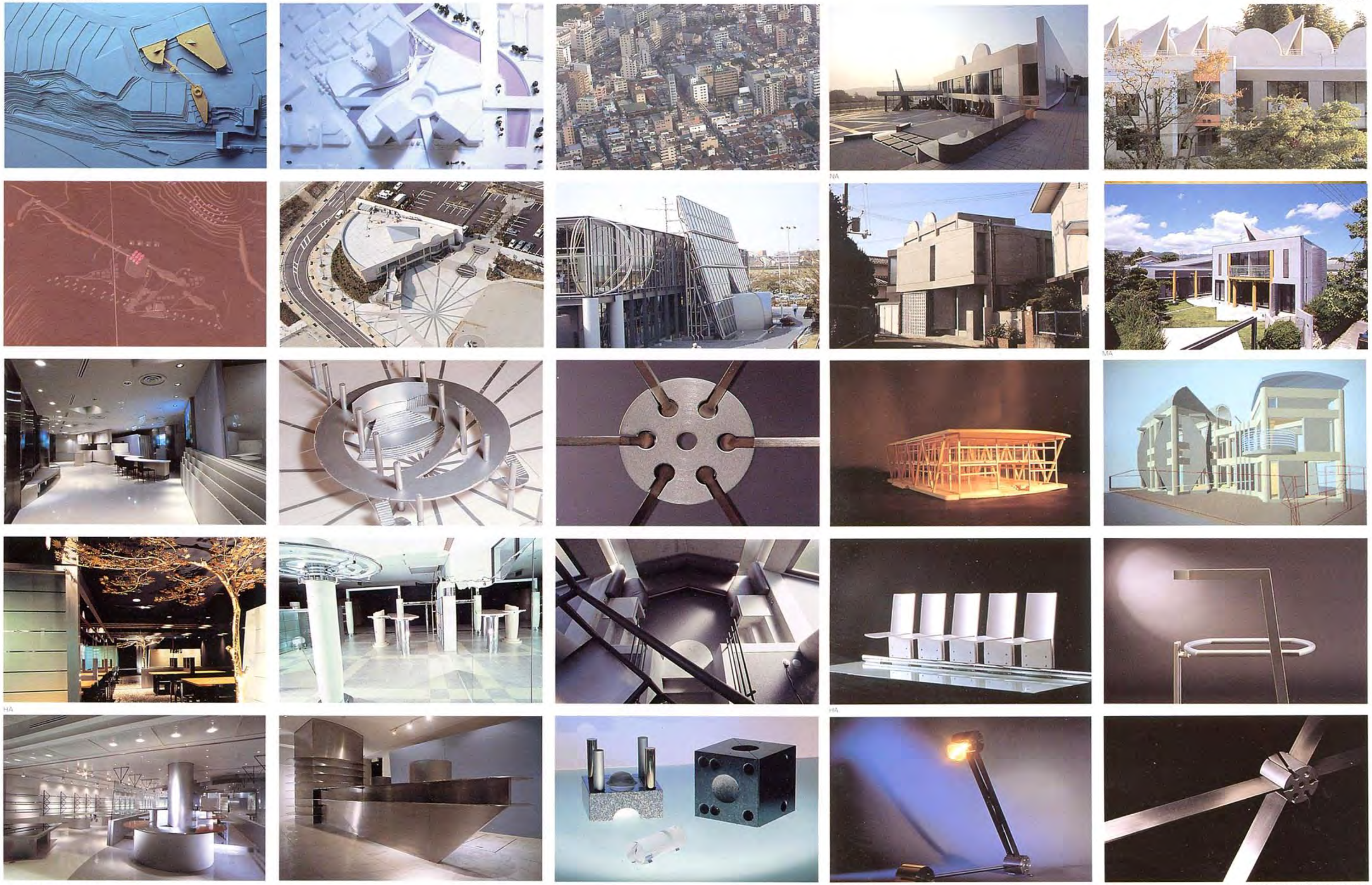
about 池上俊郎 Toshiroh IKEGAMI

03: Guidance of Works
1981-2019

URBAN GAUSS 1981-1991

CITY・REGION

ARCHITECTURE



INNER SPACE

PRODUCT DESIGN

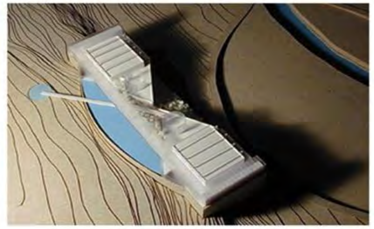
URBAN GAUSS 1991-2001

LAND SCAPE ***ARCHITECTURE***







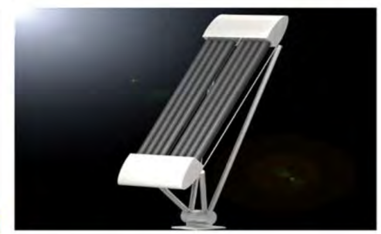




FLYING BEGGAR

MIRRORED FLIGHT





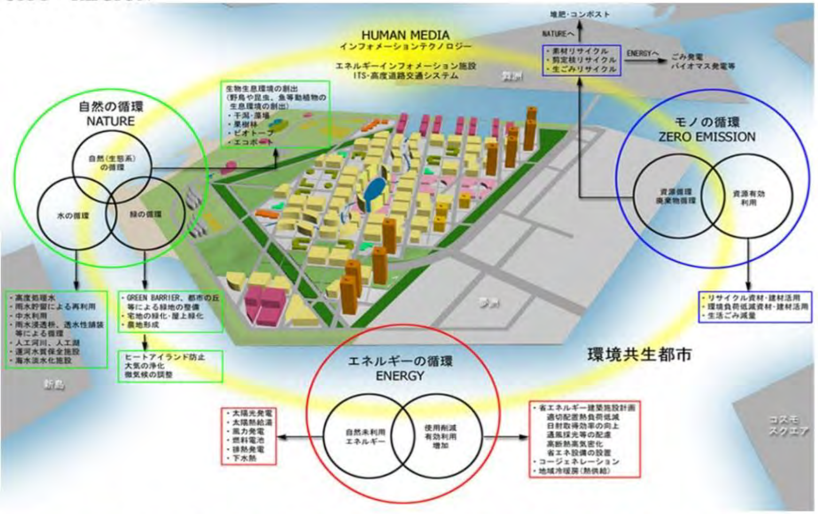


INNER SCAPE ***PRODUCT DESIGN***

URBAN GAUSS 2001-2002

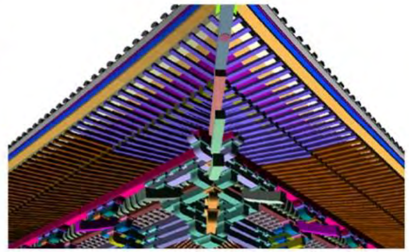
CITY・REGION

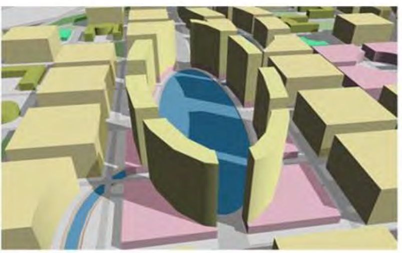
ARCHITECTURE

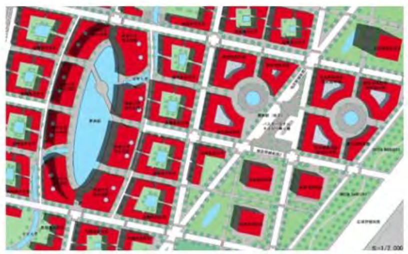


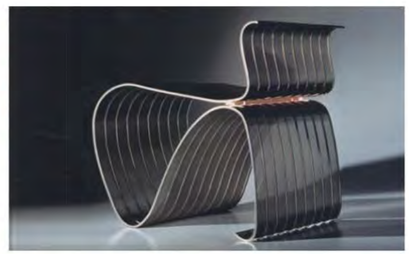
ECO DESIGN NETWORK

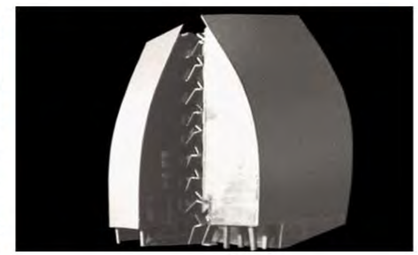
NPO

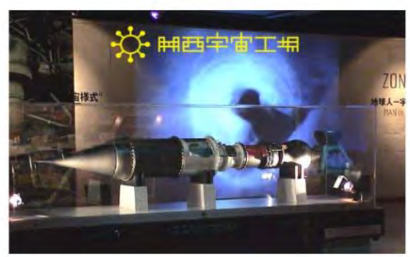


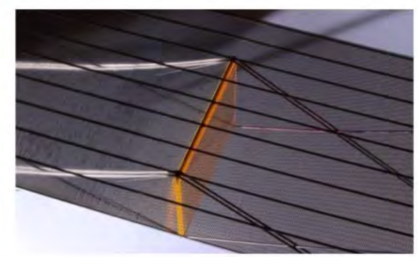


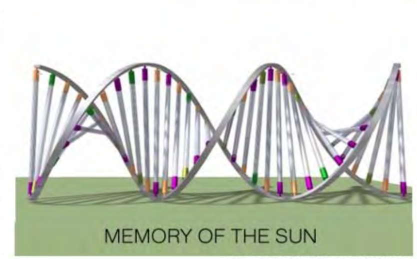












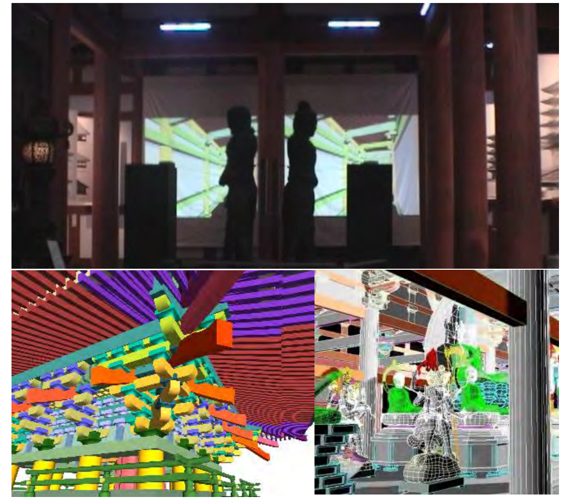
INNER SPACE

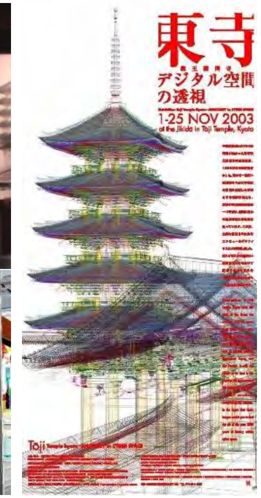
PRODUCT DESIGN

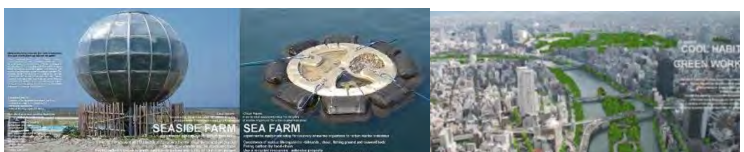
CITY REGION 2003-4

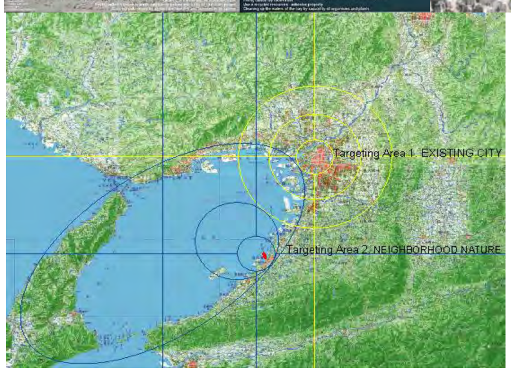
2000-2013 URBANGAUSS & RESEARCH

TO-JI ANATOMY IN CYBER SPACE 2000-2013









既存都市・近郊自然の
循環型再生大阪モデル

OSAKA MODEL of ECO CITY 2003-2008

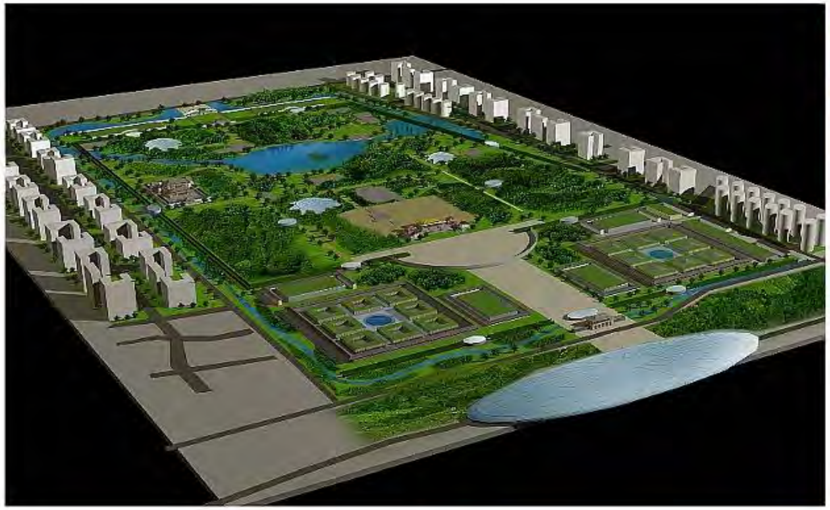
STAGE ARCHITECTURE

ARTISTIC APPROACHES TO SPACE 2001-2008

REGION LEGACY

2005-2009 URBANGAUSS

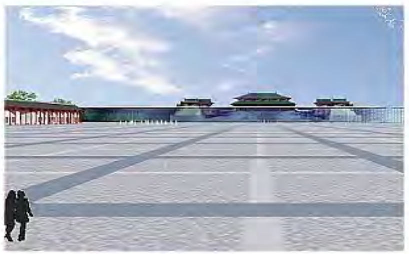
NATURE FACILITY











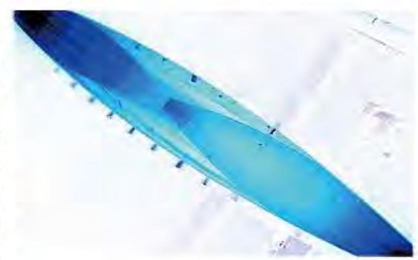












INNER SPACE PROGRESS

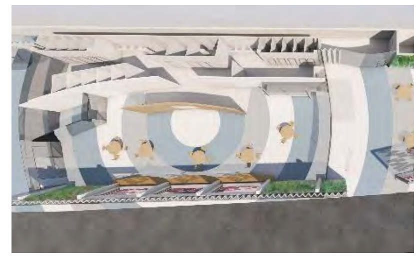
CITY

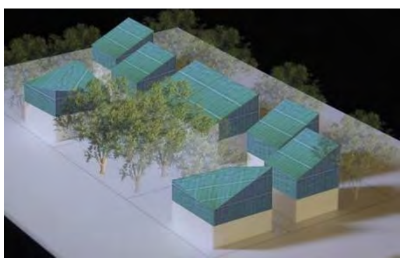
LED PRODUCT

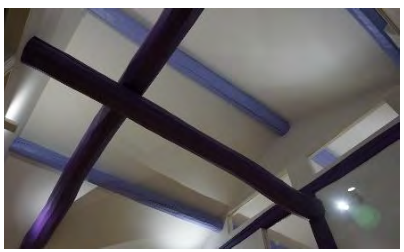
CITY REGION

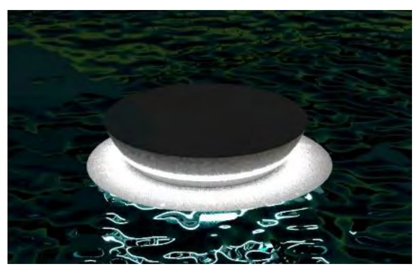
2010-2019 URBANGAUSS

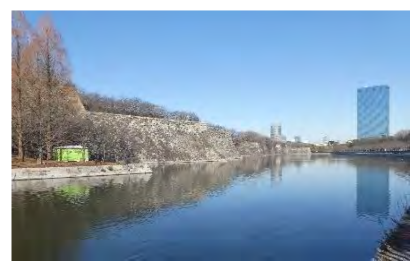
ARCHITECTURE











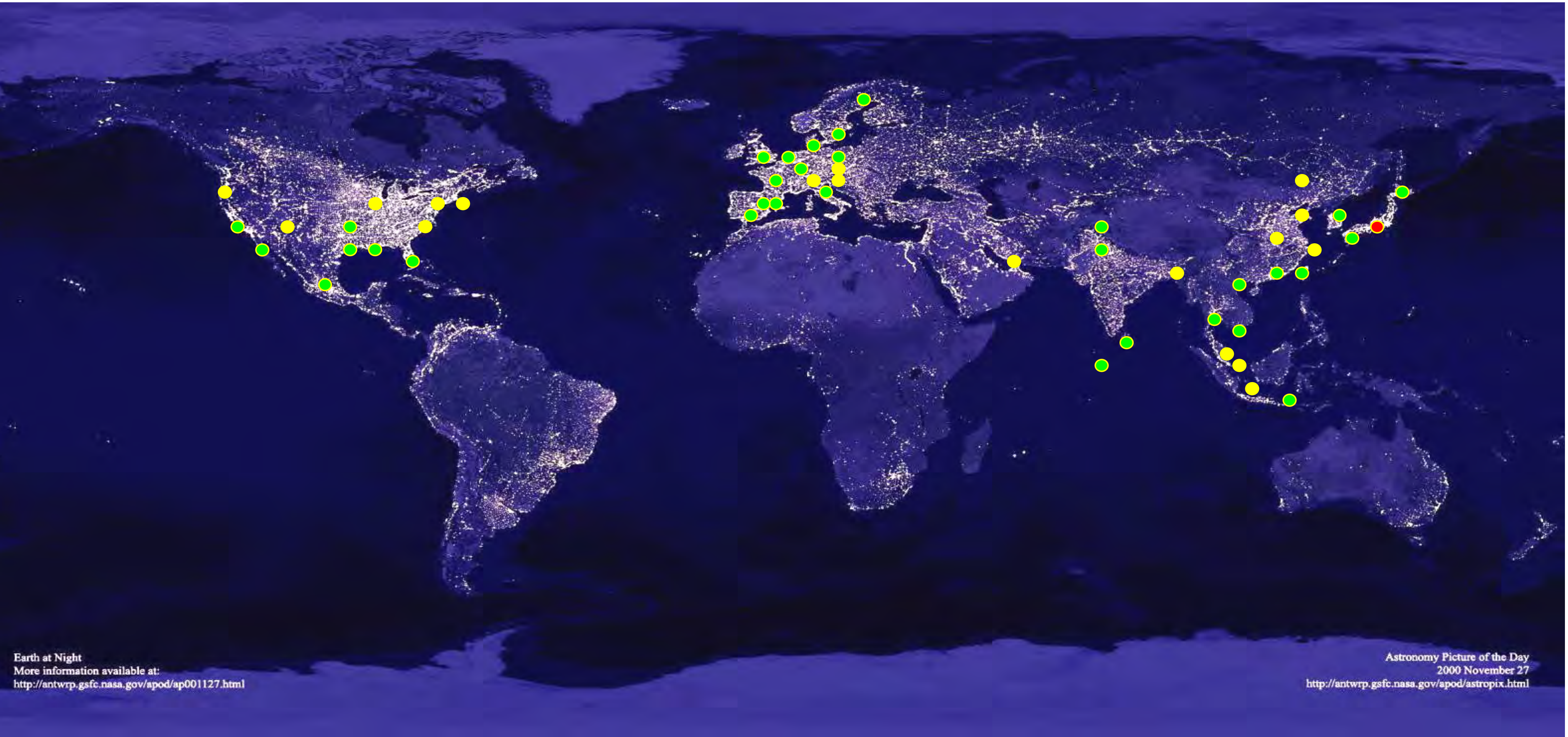
HOUSING PROGRESS LEGACY INNER SPACE

CITY EDITTING / IMPROVMENT

AGRICULTURTE LED PRODUCT

1973–2019

visit more than 35 COUNTRIES 110 CITIES



04: Student Days Works

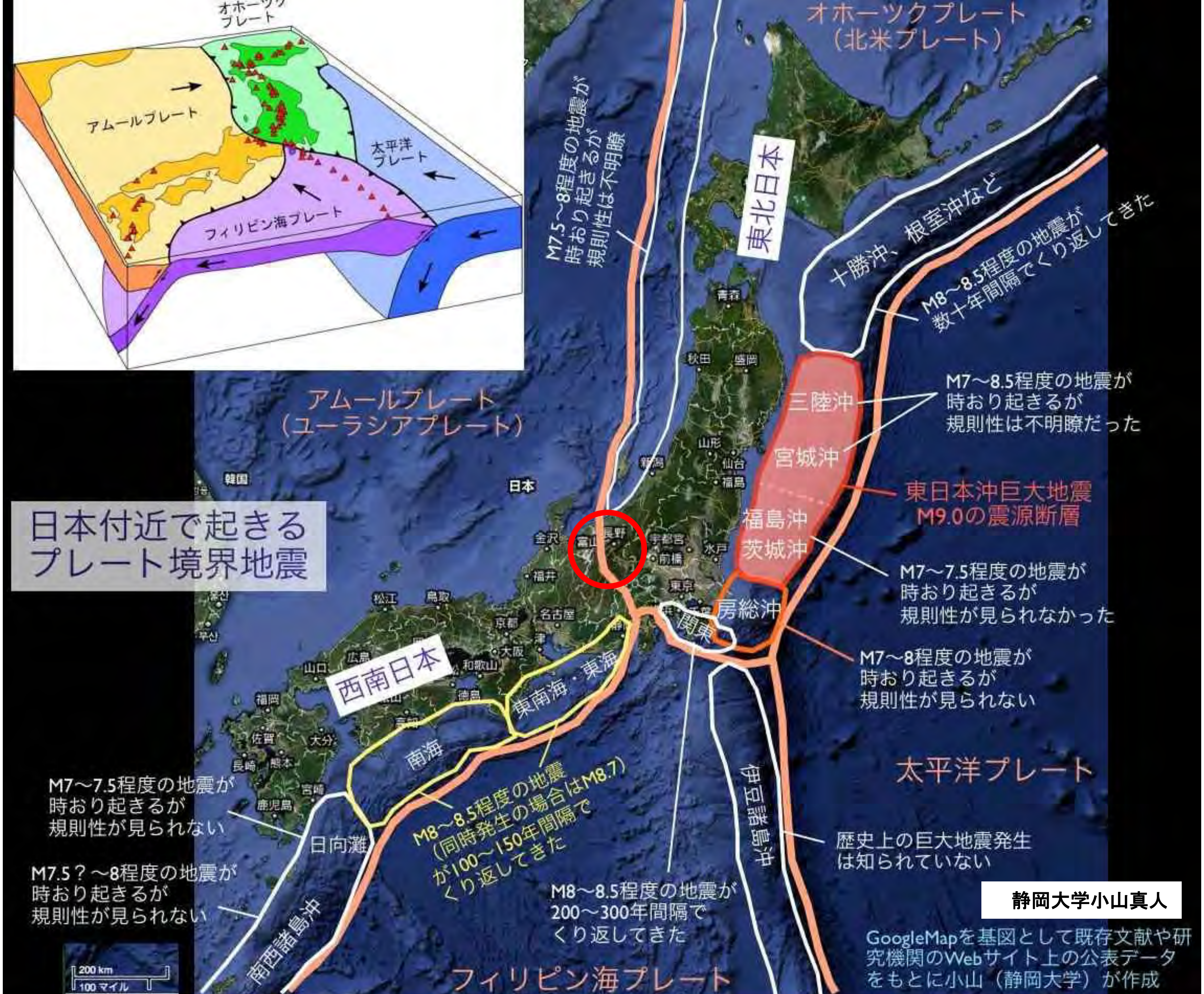
STARTINGPOINT
出発点

Toshiroh IKEGAMI
池上俊郎

OSAKA UNIVERSITY GRADUATION THESIS & DIPLOMA DESIGN 1974
大阪大学卒業論文・卒業設計　1974

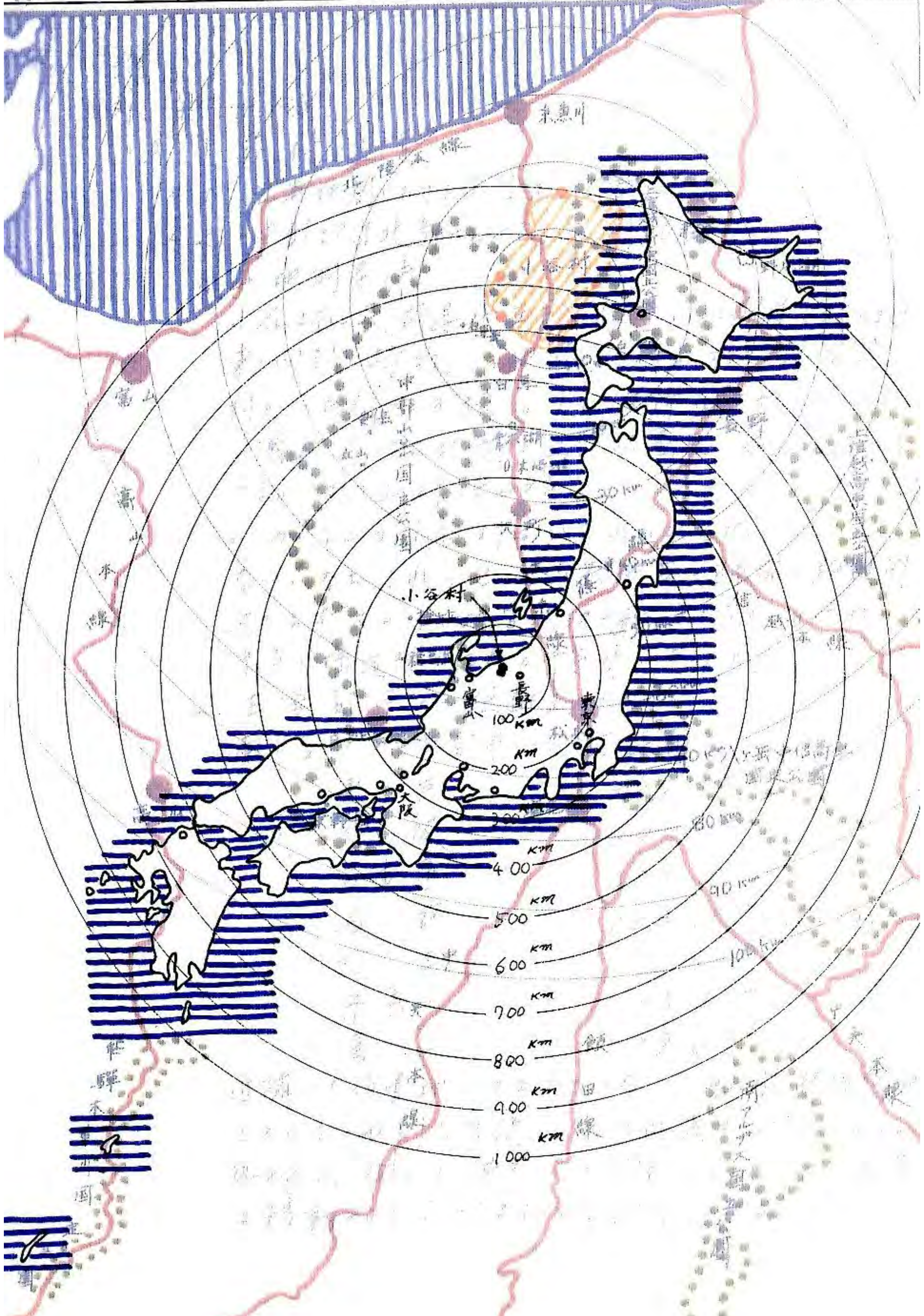
THE SPACE through ARCHITECTURES in NON-CITY
非都市における建築を媒介として成立する空間

RESEARCH PROJECT for MOUNTANIOUS DEPOPULATION REGION
OTARI village NAGANO pref. JAPAN
日本国長野県小谷村
山間僻地過疎状況現状調査

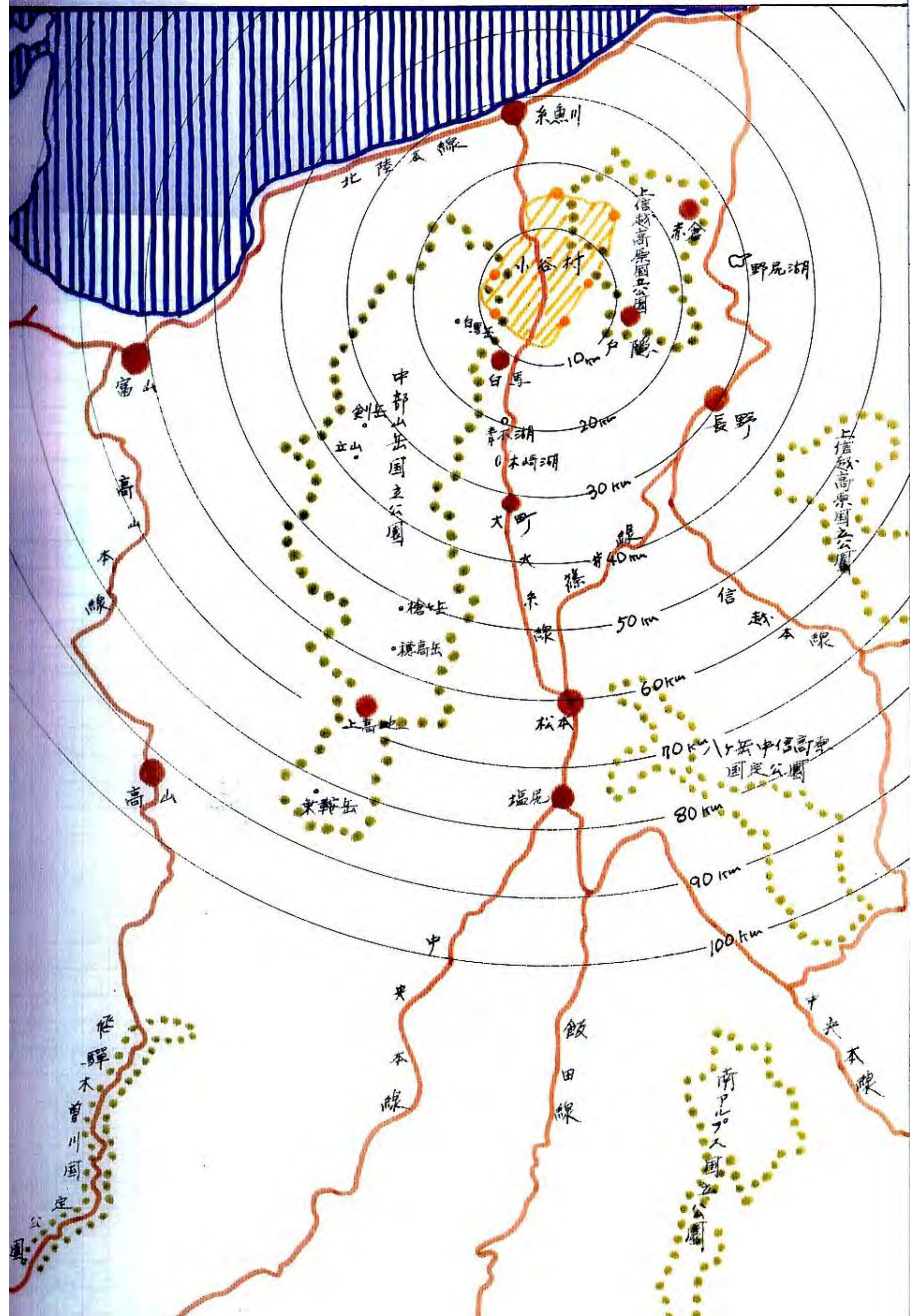


オホーツク
プレート
アムールプレート
太平洋
プレート
フィリピン海プレート
オホーツクプレート
（北米プレート）
M7.5～8程度の地震が
時おり起きるが
規則性は不明瞭
東北日本
十勝沖、根室沖など
M8～8.5程度の地震が
数十年間隔でくり返してきた
青森
秋田
盛岡
三陸沖
宮城沖
M7～8.5程度の地震が
時おり起きるが
規則性は不明瞭だった
アムールプレート
（ユーラシアプレート）
山形
新潟
仙台
福島
東日本沖巨大地震
M9.0の震源断層
韓国
日本
日本付近で起きる
プレート境界地震
福島沖
茨城沖
金沢
富山
長野
宇都宮
前橋
水戸
M7～7.5程度の地震が
時おり起きるが
規則性が見られなかった
福井
東京
松江
鳥取
房総沖
京都
名古屋
関東
M7～8程度の地震が
時おり起きるが
規則性が見られない
広島
大阪
山口
和歌山
西南日本
東南海・東海
福岡
徳島
高知
佐賀
大分
長崎
熊本
南海
宮崎
鹿児島
太平洋プレート
M7～7.5程度の地震が
時おり起きるが
規則性が見られない
M8～8.5程度の地震
（同時発生の場合はM8.7）
が100～150年間隔で
くり返してきた
日向灘
伊豆諸島沖
歴史上の巨大地震発生
は知られていない
M7.5？～8程度の地震が
時おり起きるが
規則性が見られない
M8～8.5程度の地震が
200～300年間隔で
くり返してきた
静岡大学小山真人
南西諸島沖
200 km
100 マイル
フィリピン海プレート
GoogleMapを基図として既存文献や研
究機関のWebサイト上の公表データ
をもとに小山（静岡大学）が作成

A1 小谷村位置



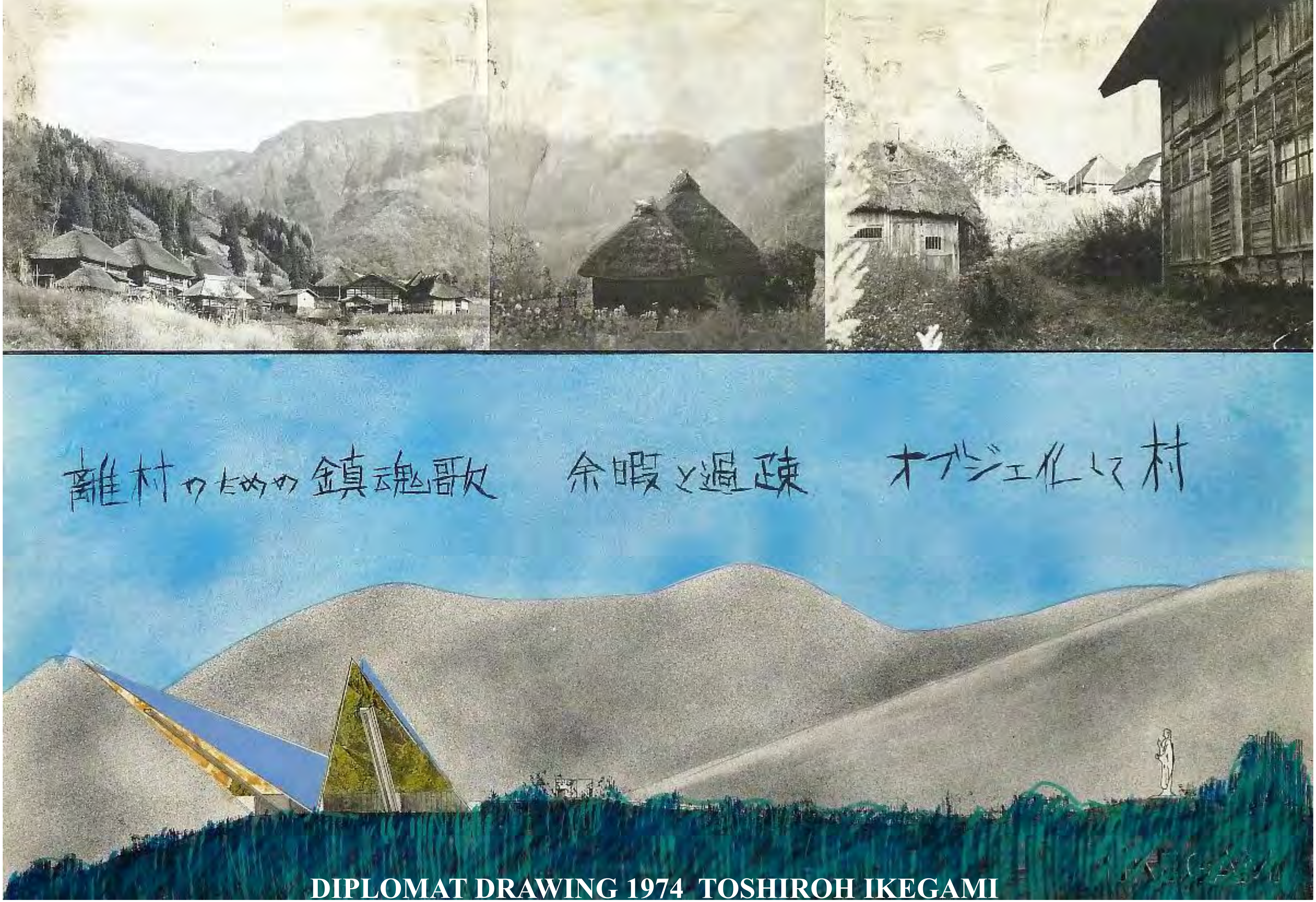
A2 中部地方北部における小谷村位置



離村地区　真木　197311

1973・11月撮影

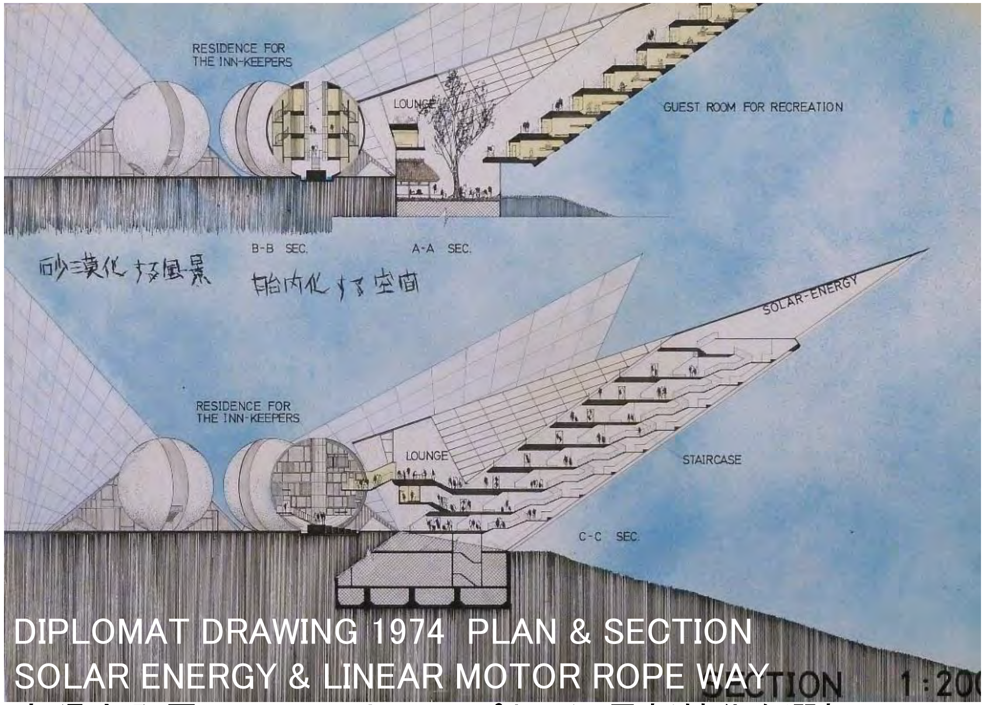
1973・11月撮影



DIPLOMAT DRAWING 1974 TOSHIROH IKEGAMI

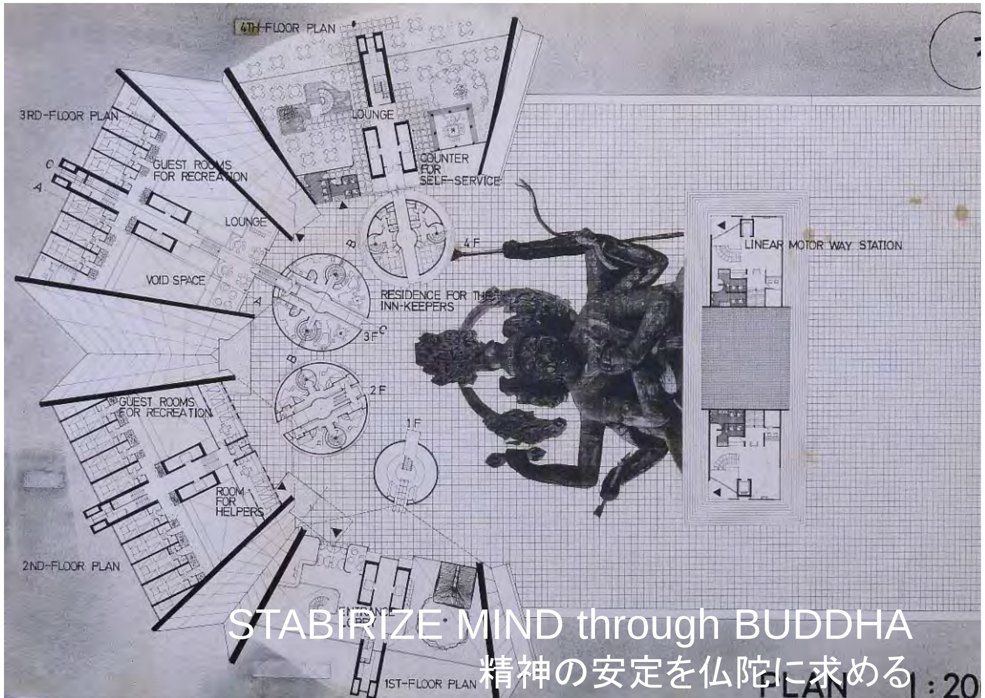
DIPLOMAT DRAWING REQUIM for LEAVING VILLAGE RESORT & DEPOPULATION

VILLAGE as OBJET D'ART



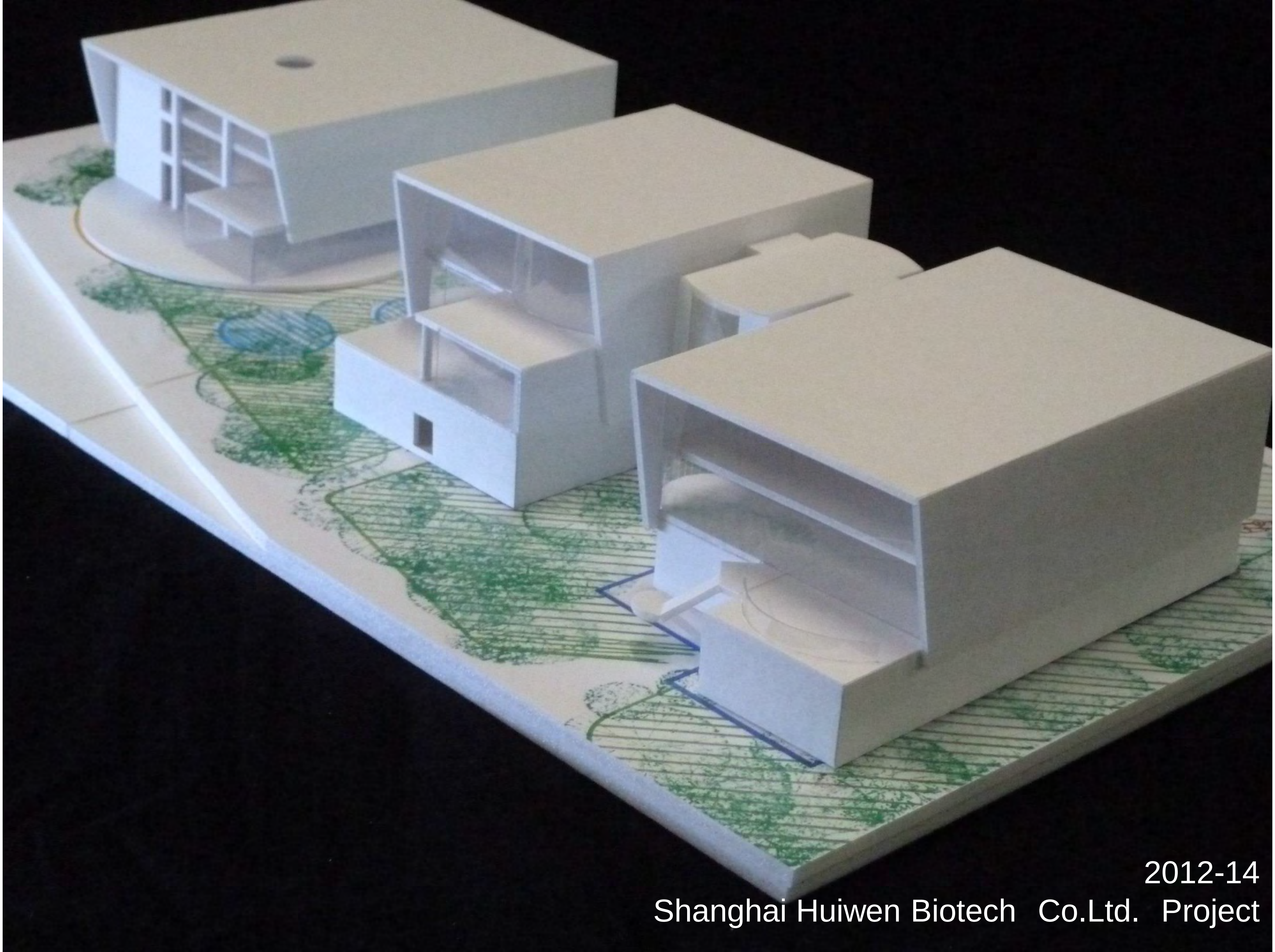
DIPLOMAT DRAWING 1974 PLAN & SECTION
SOLAR ENERGY & LINEAR MOTOR ROPE WAY

太陽光発電 リニアモーターロープウェイ 最新技術を選択



STABIRIZE MIND through BUDDHA
精神の安定を仏陀に求める

05: Architecture



2012-14
Shanghai Huiwen Biotech Co.Ltd. Project

Shanghai Huiwen Biotech Co.Ltd.Project 2012-2016


Shanghai Huiwen Biotech Co.Ltd.Project 2012-2016

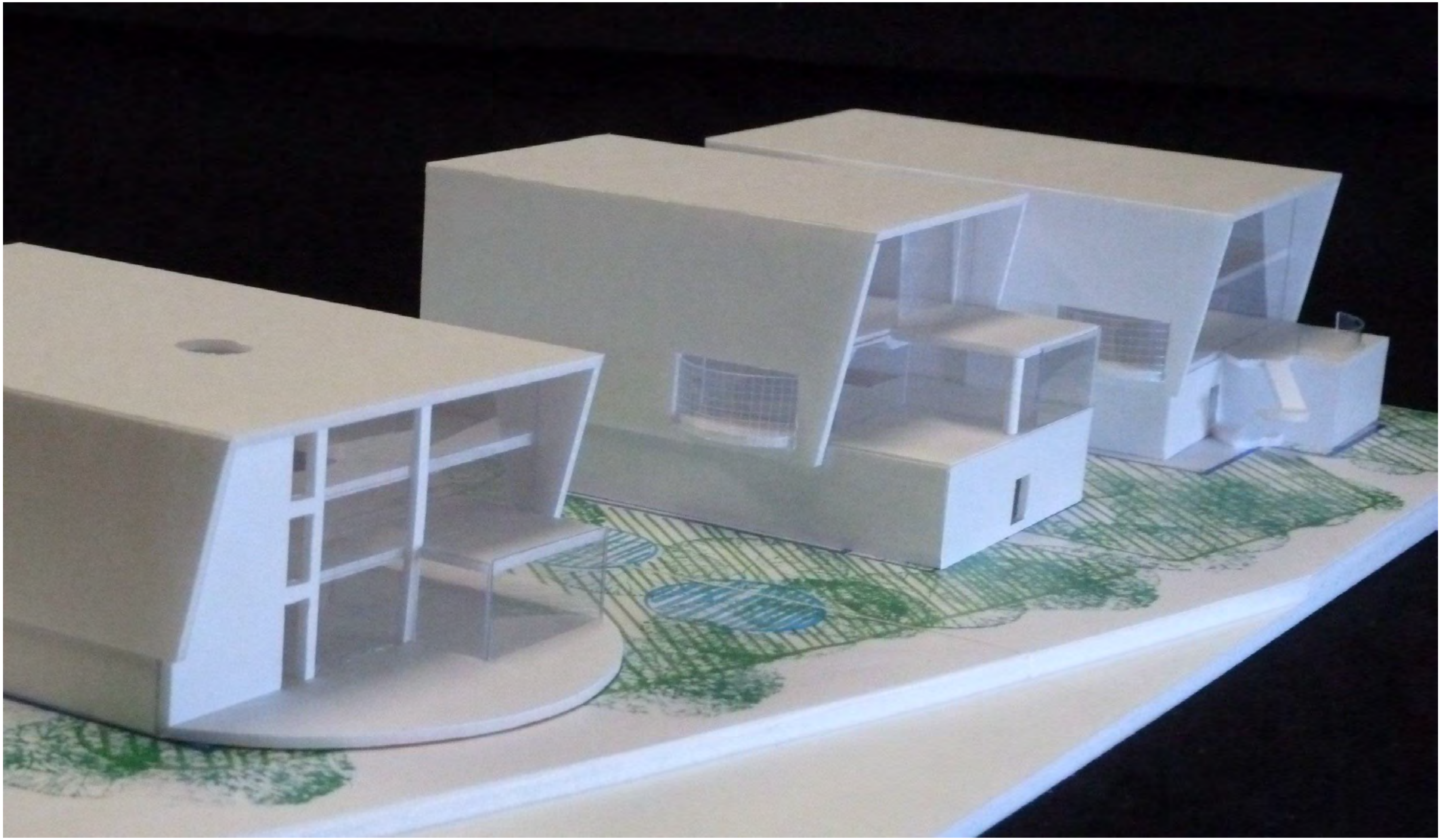
Shanghai Huiwen Biotech Co.Ltd.Project 2012-2016

Shanghai Huiwen Biotech Co.Ltd.Project 2012-2016

Shanghai Huiwen Biotech Co.Ltd.Project 2012-2016

Shanghai Huiwen Biotech Co.Ltd.Project 2012-2016

Shanghai Huiwen Biotech Co.Ltd.Project 2012-2016



Shanghai Huiwen Biotech Co.Ltd.Project 2012-2016

AFTER
19950117
EARTH QUAKE
KOBE


19950117
EARTH QUAKE
KOBE
mazda

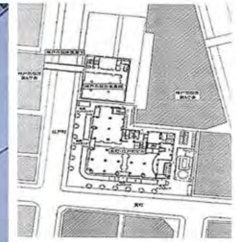
東町・江戸町ビル

HIGASHIMACHI EDOMACHI BLDG
CITY SCREEN ＸＸＸＶ
(1999 CHUOKU KOBE)

1995年の阪神大震災により、神戸市旧居留地区において倒壊した100戸の集合住宅と事務所の複合施設の再建計画である。計画地が持つ歴史的環境に配慮した都市景観の形成を目標とした。空地の整備の促進、歩行者空間の確保に寄与する建築計画を行った。旧居留地地区のイメージの継承と拡大、大地から立ち上り大地と共存する意志の表明、良好な都市生活の場を生み出すこと、21世紀への視座を持たせること、を主な内容としている。延床面積が20000㎡、地下1階地上18階であり、プレキャストコンクリート構造をとっている。

東町・江戸町ビルを中心とした街区形成

THE HIGASIMACHI-EDMACHI BUILDING AND SURROUNDING COMMUNITY
(1999 CHUOKU KOBE)

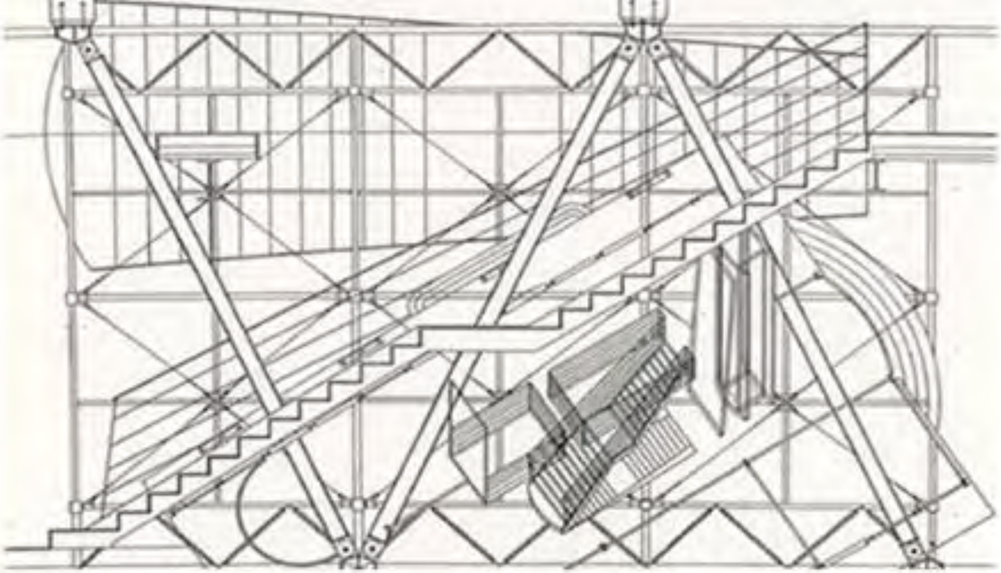


配置図

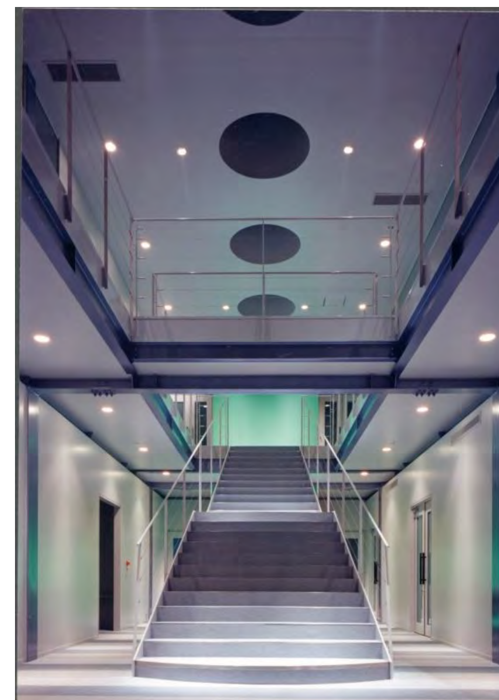
この計画は、阪神淡路大震災を契機として始まった。神戸市旧居留地区での、東町・江戸町ビルの倒壊とその再建。東町ビル・江戸町ビル住宅再建組合の人々は、震災によって失われた空間の再構築を、自身の生活空間にとどまらず、旧居留地の都市像の復活として捉え、その結果『都市編集』は神戸市第4庁舎渡り廊下の建設および神戸市車庫棟の改築へと広がっていった。旧居留地に内在していた、住み・働く場所としての地域景観の奥行きのある形成を震災復興の過程で再度創出したいという、地域居住者・利用者の願いの実現に向けて、関係者の真摯な共闘作業が積み重ねられた。東町・江戸町ビルは、タイル素材のグラデーション・角度のずらされた門型フレム・テラス形状の上下階の差異等により、18階建てのスケール感の減少を試みた。8mセットバックしたペーブメントに水平方向の広がりを持たせケヤキとともに躍動感の演出を試みた。渡り廊下下部にはアーチをつけ町に対する圧迫感の減少を試み、同時に内部を歩くことの楽しさを求めた。車庫棟は横方向2色のストライプにより、南北方向の延伸性を強調した。これら個々の建築の編集を通じて、神戸市三宮旧居留地区にヒューマンスケールな街並みの創出を試み、また周囲の既存の建物も巻き込み、地区全体としての楽しさを感じられるように配慮した。

Page Factory

宮崎県に竣工した、印刷会社の編集のためのコンピュータセンターである。晴れ、雨、降灰と、天候の変化の大きな土地であるため、建物は快適な環境をつくり出すための大きな屋根を持つ。無機質な素材であるH鋼の形態的操作を通じて、地域環境のインフラストラクチャーとも言える形式を内包させようとした。角度を持ったブレースは田園風景を強調し、約30km離れた霧島連邦と呼応する。地域環境が地域景観に転換することを期待した。



Page Factory



ブライダルメーカー「アルファブランカ」の複合施設である。X形のユニットは、屋外空間ではH鋼のフライングバットトレスをもつオーバーハングした壁面を、内部空間では上部に開かれた逆台形の断面を持つ浮遊感のあるスペースを構成する。単純な形式の構造フレームの反復により内外空間の形成を試みたものである。将来はこの第2期施設と同形式の教育施設や文化施設をつくり、地域への貢献を進めていきたい。

Alpha Blanca

Alpha Blanca

メディア バード

MEDIA BIRD
CITY SCREEN ⅩⅩⅣ
(1993 CHUOKU OSAKA)

敷地面積　192.43㎡
建築面積　146.18㎡
延床面積　1,237.67㎡
鉄骨造 地上9階

大阪中央区淀屋橋近傍に位置する9階建のオフィスビルである。設計に当たっては、この建物が街並み形成への誘発物となるよう意識した。具体的には、①ヒューマンスケールに基づいた歩行感覚の回復、②都市景観の始点としてのスカイラインの復権、③オフィス空間の居住性の重視などを試みた。建物最上階にはスチールフレームを挿入しフレームの各グリッドに、会議や執務作業といった機能をそれぞれ適合させた。また、ガラスを主な素材として、棚、テーブルへと変化させ、全体として仮設的要素を連結したジャイアントファニチャーとした。都市に挿入したアルミニウムのフレームを基調とする建築、そして建築に挿入したブルーベリー色のフレーム。都市・建築・インテリアの関係性を浮遊感をもった入れ子構造として編集しようとした。

シティポール

CITY POLE
(1987 CHUOKU OSAKA)

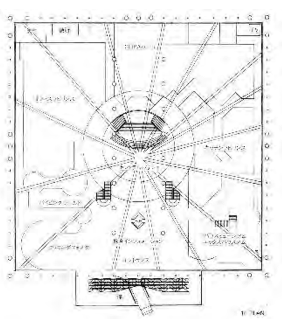
この建物は地元の酒店の建て替えとして計画された。設計にあたって、①狭小な土地を利用して、メインストリートの大規模建築に比肩する建築とする。②ささやかな私的建築物であるが、都市空間の意味の建築化を図り、都市空間上の公的存在とする。③内部においては、階段を通じた上下方向の回遊をねらうことを提案した。また計画地が、都市のビジネス街にありながら、神社境内のオープンスペースに隣接しているためこのロケーションを生かして斜線制限を感じさせない自立する建築形姿を採り、建築の頂部を都市のスカイラインの始点として構成することを考えた。

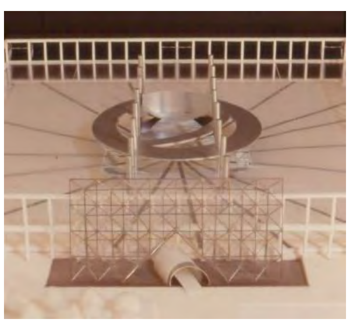
大阪ガス生活誕生館 ディリパ

DILIPA
CITY SCREEN ⅩⅥ
(1991 SUITA OSAKA)

建築面積 3519.36㎡
延床面積 6759.36㎡
鉄骨造 地上２階

生活誕生館"DILIPA"は、大阪ガスの企業活動の総合的な説明の場である。都市ガスの可能性を示し、家庭生活や都市生活のあり方を消費者との対話あるいは、参加として探っている。建物は、既設建築物に若干の変更を加えた再利用である建物外部には、滝を用意した。傾斜したスペースフレームで構成された噴水が反射ガラス面上を自然の滝のように流れる。建物には、２Ｆレベルで円弧状の環境構成エレメントを設けた。。本建築の強調化を通じて、近隣環境の良好なコンテキスト形成を探った。内部には、中心部を整理し、直径18mの吹き抜けと円弧状のデッキを設けた。既存の柱を利用した白い柱群による軸線を設け、シンボリックなホールを大空間に探った。１Ｆ床には、放射状パターンが描かれ求心性と拡散性を示している。またトップライトからの光が、浮遊感を産み、象徴性を強調している。全体としての回遊性を高め、多様な展示の可能性を建築として探った。



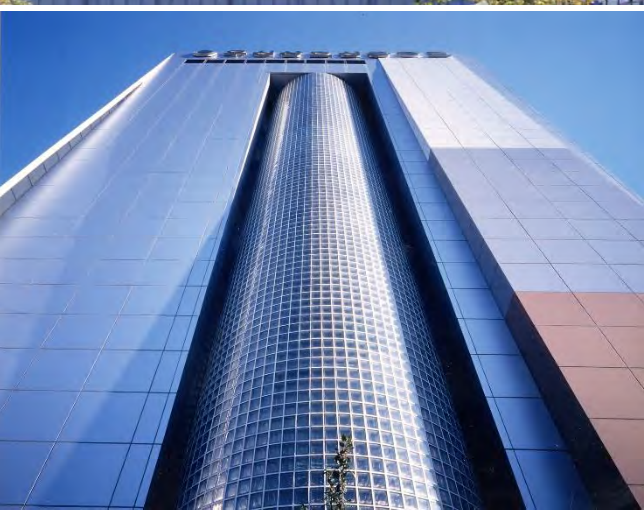


宇信相互信用金庫

WOOSHIN BANK
CITY SCREEN XXX
(1992 SEOUL KOREA)

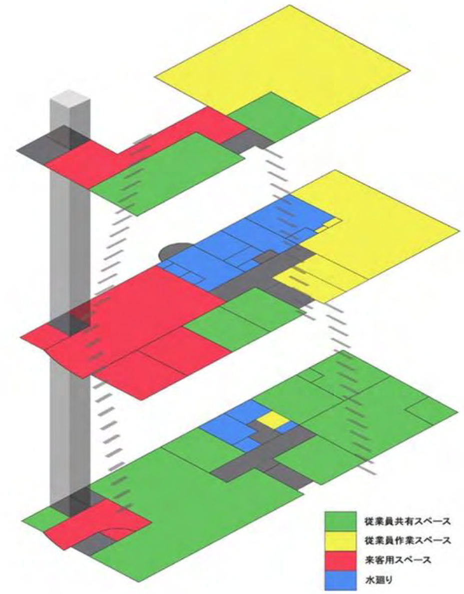
敷地面積 884.79㎡
建築面積 416.77㎡
延床面積 3336.07㎡
鉄筋コンクリート造 地下2階 地上7階

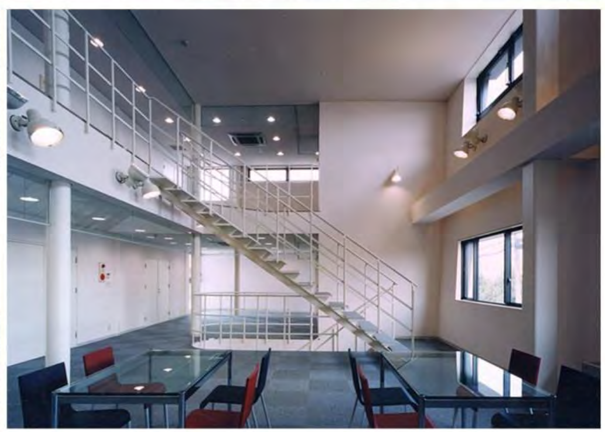
敷地はソウル近郊の商業地区の一角に位置する、宇信相互信用金庫の本社である。設計当時はまだ、周辺は空地であった。建築構成を決める大きなファクターは、駅からの動線、西側に設置される大規模商業施設からの動線の2点であった。2つの集客施設に伴う歩行者動線と自動車交通動線を中心に展開される、都市文脈の読解とその反映を目指した。機能的には市民への開放を通じて、都市に開かれる信用金庫の性格を与えた。建築的には無性格な都市のランドマークとしての役割を持たせた。



キンセイマテック㈱四日市工場管理棟

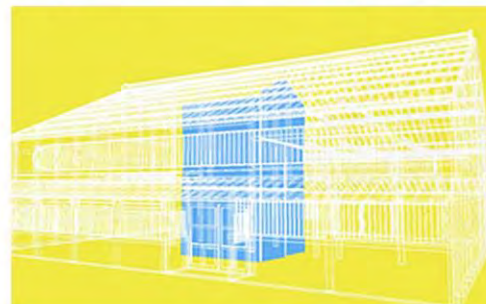
KINSEIMATEC
(2002 YOKKAICHI MIE)





ふとんの資料館

FUTON MUSEUM
CITY SCREEN ⅩⅩⅩⅥ
(2000 NARAMACHI NARA)



奈良市鵲町、通称奈良町に位置する。約150年前より、商家として利用されていた町屋の資料館としての再生である。現況建築の木軸組みを強調させるため、既存の内部こまい壁、建具はすべて撤去し、その分の構造負担を外壁、屋根、2階床に新たに構造用合板を加える事により、構造的強化を行った。また内部のシンボル的な4本の柱に囲まれたコアに強化ガラスをいれ、構造補強をすると共に、資料館としての象徴的なスペースとした。また、解体した建物の廃材を階段や家具などに可能な限り、再利用した。現代的な観点で新しく手を加える事により建築は次世代に継承されると考えており、今回は存在感ある古典的軸組に、透明感あるガラスという異質な新しい素材を重ね合わせることにより、木軸組の意味を問い直し、古い建築の蘇生を試みた。約150年間にわたる伝統、歴史、人の記憶を継承さながら、建築が生まれ変わり、生き続ければと考えている。

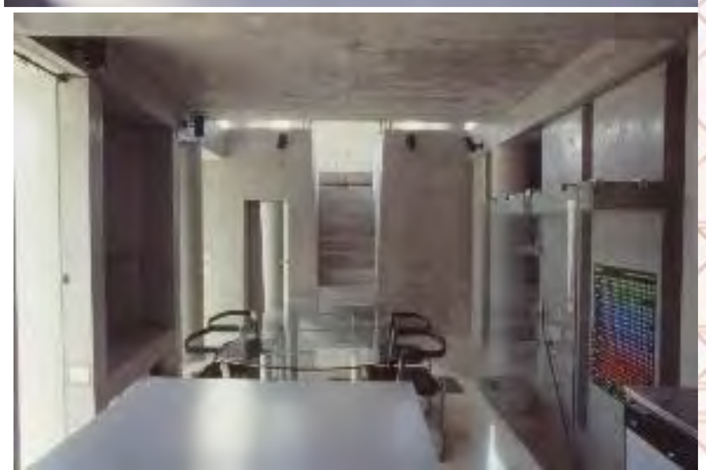
06: House Design

2014　北千里の家

VIA SETTE MINOH

アトリエ

ATELIER
CITY SCREEN Ⅶ
(1987 MINOH OSAKA)



敷地は大阪府北部の山麓住宅地である。外部環境に対しては、街路の屈折点に位置し、消点を形成する地点であることから都市の視覚的方向性を形態化すること、壁面後退して形成される街並みを内在化させることに留意し、内部環境に対しては、土地利用の有効性を高めること、街路側のプライバシーを確保すること、日照量を確保すること、パブリックな空間の二層にわたる自然な連続性の獲得を図ることに留意した。都市の結界として、内外空間の自由な可塑性が獲得されるとき、“時の彫塑”を志向した。

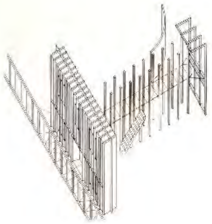
箕面回廊

MINOH CORRIDOR
CITY SCREEN ＸＸＸＸⅡ
(1999 MINOH OSAKA)

大阪府北部の近郊住宅都市に位置するこの住宅は建物の中心にある１階中庭と２階テラスを取り囲むように各部屋が配置されている。この光庭である中庭を中心に家族が生活を営む１階は家族のパブリックスペースと老父母のプライベートスペースからなる。床レベルをフラットに仕上げることにより足の不自由な祖母が室内を自由に回遊することを可能としている。２階は子供室と主寝室が東西に分離されており、中庭・テラスを取り囲む縁側上の廊下がお互いを結び付けている。１階と２階は居間上部の吹き抜けと中庭によって内部・外部とも垂直方向へシンボリックな場が形成され、ともに連続性を与えている。外壁は黒いガルバリウム鋼板と銀のアルスター鋼板から成り、アール状の屋根との構成が浮遊感をもたらし街に方向性を与えている。

広尾の住器

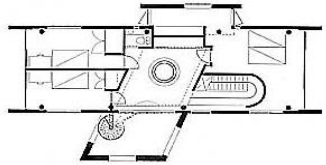
HOUSE AT HIROH
CITY SCREEN ⅩⅩⅢ
(1992 SHIBUYAKU TOKYO)



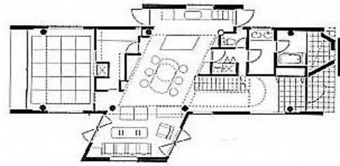
昭和30年代に建てられた木造アパート、不特定な個人のための個室住居群としての共同住宅を、特定される一家族のための「イエ」へと再編集した。「住む器」としての構造体を同じくしつつ、居住形式の変異を空間の変異として、かつて想像力の外にあった幻象を探り生み出す作業である。

豊中の家

HOUSE AT TOYONAKA



PLAN 1F



VILLA DE BLANCA INTERNATIONAL
ALPHA BLANCA
DORMITORY & GUEST ROOM
福井県若狭町古民家移築蘇生　20190520

概要：
福井県若狭町での企業の寮及び国内外来客の宿泊施設プロジェクト。良好未利用木造伝統的古民家を移築し、耐震性・断熱・防音・雪害対策等現代求められる居住性能を満たし蘇生する計画。工場スタッフ並びに来客の居住環境の向上としての福利厚生視点に加え、歴史性未来性を内外空間に表し地域に寄与する。企業の社会的責任として行った。

Corporate dormitory and guest room project in Wakasa-cho, Fukui Pref. Relocated and revived an unused good traditional old wood house. Residential performance meets earthquake resistance, heat insulation, sound proofing and snow damage measures. In addition to the welfare viewpoint, we express beautiful historicity and futurity in regional space. Implemented as Corporate Social Responsibility.

デザインの背景：
ALPHA BLANCA社は、ブライダルドレスの製造拠点を1980年代からこの地に展開する。総合的な製造・研究・開発・アーカイブ・教育の国際拠点化を、ブライダルの聖地　”WAKASA YUMI BLANCA LAND”　計画として地域に根差し進行を探っている。
今回工場スタッフ寮並びに国内外のVIP・インターンのゲストルームを建設するにあたり、国際拠点化を進める上で有効な方法かつ企業の社会的責任として何が可能かを探った。宿泊・居住環境の向上としての福利厚生視点に加え、地域へ具体的に歴史性を有しかつ未来を志向する内外空間供給の提供を検討した。結果、町内の良好な未利用古民家を譲り受け移築・蘇生する事、オープンスペースを地域のポケットパークとする方針となった。

VILLA DE BLANCA INTERNATIONAL 新館南景
働く従業員の寮、訪問VIP並びに国内外インターンのゲストルームである。
1階ワンルーム4戸、2階ゲストルーム2戸の新機能の空間の適用の検討を行い、移築に伴い共同住宅新築の確認申請をした。ブライダルドレス企業であることから内外空間全体の基調色は白色となった。厳冬期の積雪対策等から建築の屋根・外壁は白い鋼板とした。

築130年の古民家の豊かな空間を活かし、現代機能・性能を内外空間で探った。茅葺時代の墨色梁柱束、切妻時代の白木の棟木柱束が、複雑に展開していた。

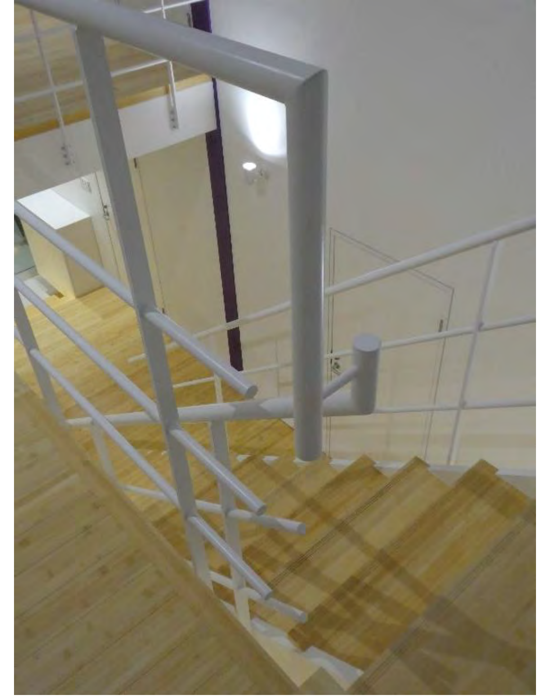
2階の小屋組の維持を図り、白い室内にあって茅葺時代の墨色梁・柱は紫色に、切妻時代の白木の棟木は藤色とし、往時の記憶を抽象化した。古材のボリューム感・素材感が優しく応答する。

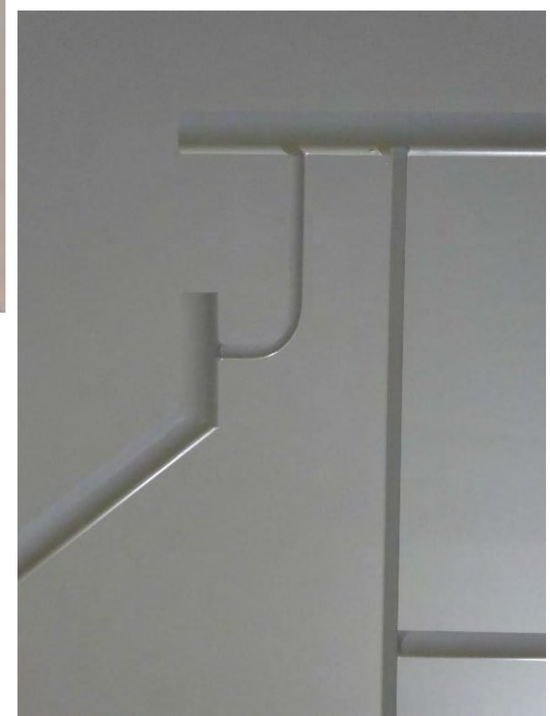
VILLA DE BLANCA INTERNATIONAL 2号館　東南より北西をアプローチテラス・庭園部を見る。
古民家移築蘇生による企業寮・ゲストルーム
Dormitory, guest room by reviving old house Japan

VILLA DE BLANCA INTERNATIONAL 新館内観：　1・2階ホール（コミュニケーションスペース）
北壁面　SILKSCREEN；　“SPACE INFINITY” by Toshiroh IKEGAMI

VILLA DE BLANCA INTERNATIONAL 新館内観：　2階　ROOM6　北内観

VILLA DE BLANCA INTERNATIONAL　新館内観　1階ワンルーム住居スペース　約30㎡
床；竹フローリング　壁；クロス　IHキッチン；W1500　姿見；W900H1800

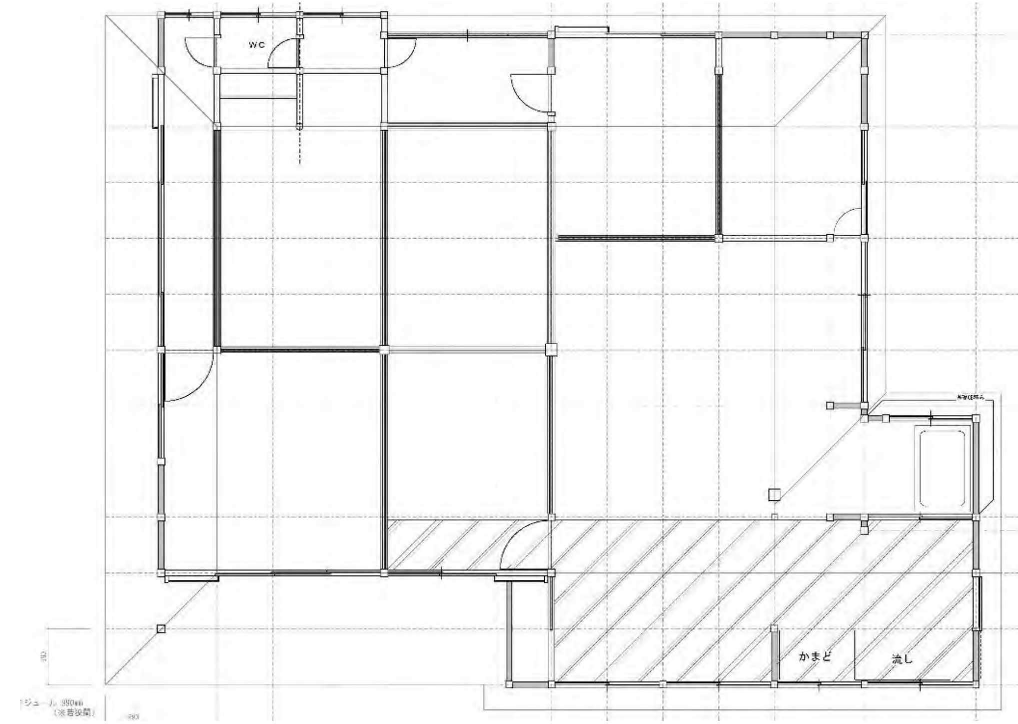




VILLA DE BLANCA INTERNATIONAL　新館内観
階段部詳細；手摺　STΦ34　手摺子　ST32*12

西庭園部：社内イベント利用等を想定している。公開されるコミュニケーションスペースとして設定。
南・北に街路樹の役割も持たせ、5月末―6月始めに白い花が咲くヒトツバタゴを植栽した。ブライダルドレスメーカーであるので、ジューンブライドを意識し、白い花にこだわった。なお東部では、6月に藤色の花の咲くジャカランダの北限開花可能性のささやかな実験も行っている。中心庭石；近隣から調達した石の方向性を読み配置した。

移築対象建築：福井県若狭町瓜生地区古民家　　photo from google earth



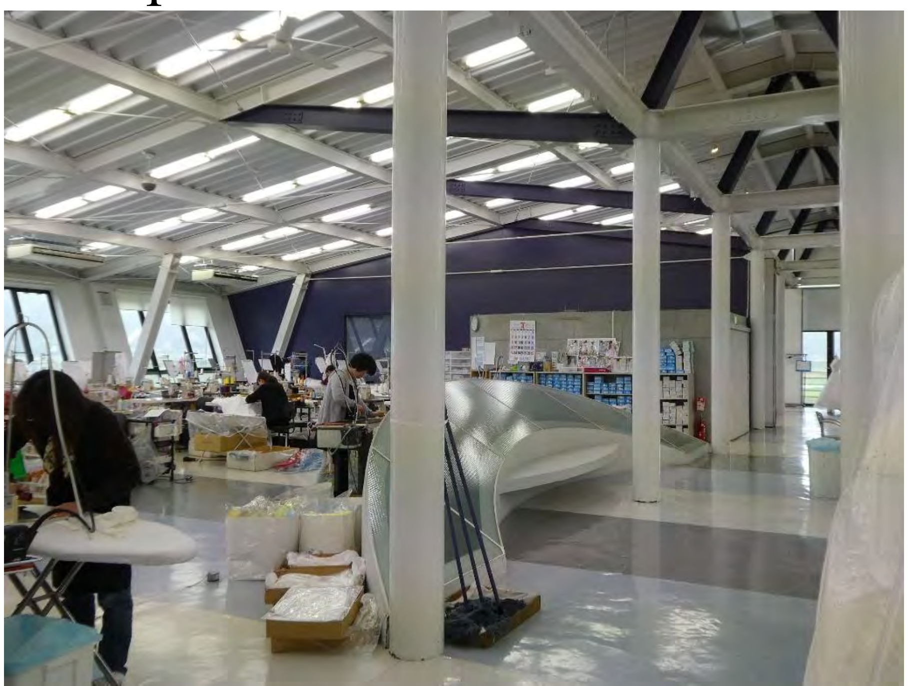
若狭町瓜生地区民家201808：右上：解体前1階伏図
左：2階現況写真；交錯する梁束などの移築対応再秩序付けする。
下：1階現況部分写真。豊かな空間を骨格として生かす。
計画建物は、1階寮は4室。2階ゲストルーム2室、利用者は、国内外の来客及びインターンである。幅広い階層への対処に応える空間として蘇生する。

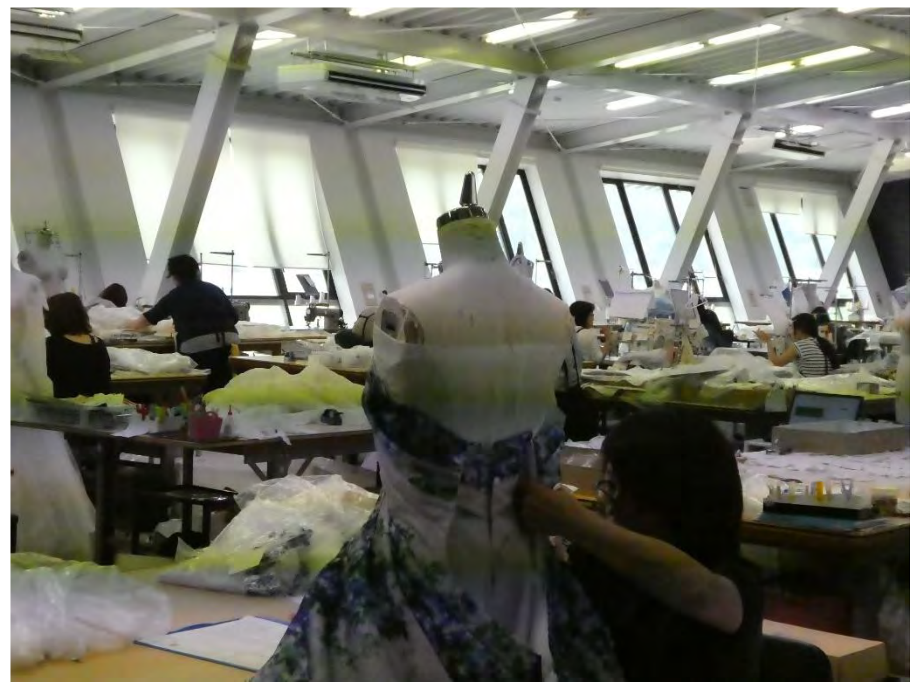


若狭町瓜生地区民家解体状況：20181125-1202

移築古材設置工事

Alpha Blanca





ALPHA BLANCA ST　西面全景眺望：　1994年グッドデザイン賞施設部門賞受賞の工場との関係を見る。寮の新旧館が連続して展開する。地域景観が樹木の成長とともに緑化されていく。

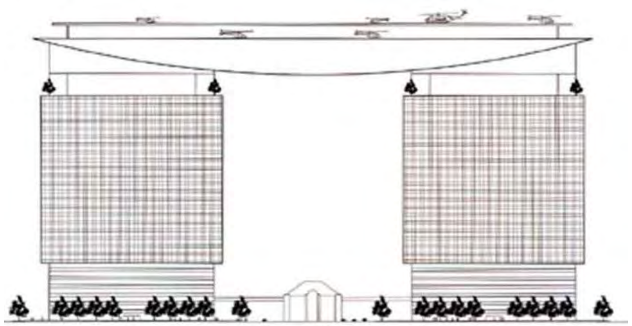
07: Unbuilt Architecture

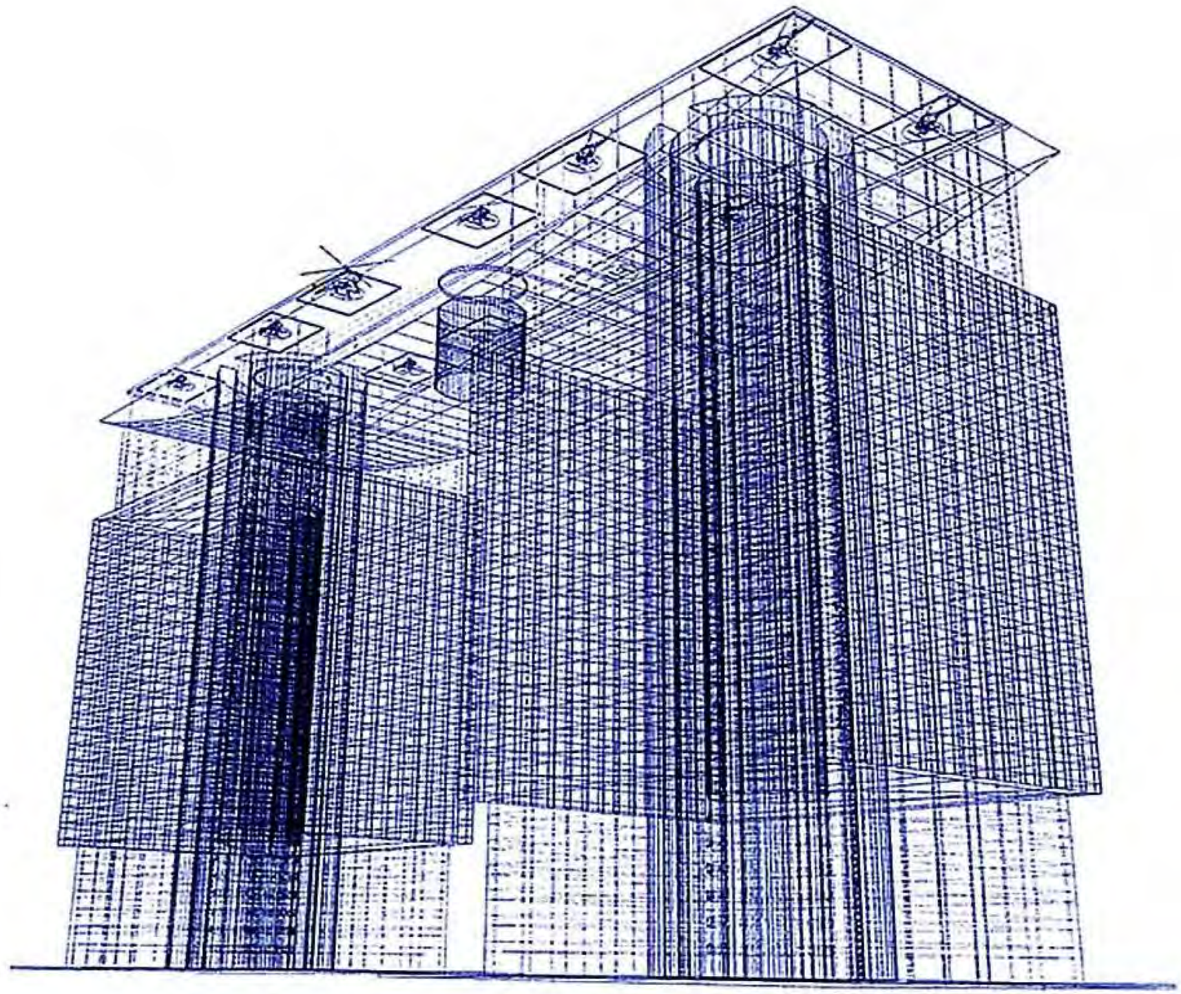
TOKYO GATE –HIGH RIZE COMPLEX, TOKYO

東京ゲート計画

TOKYO GATE PROJECT
(1997 CHIYODAKU TOKYO)

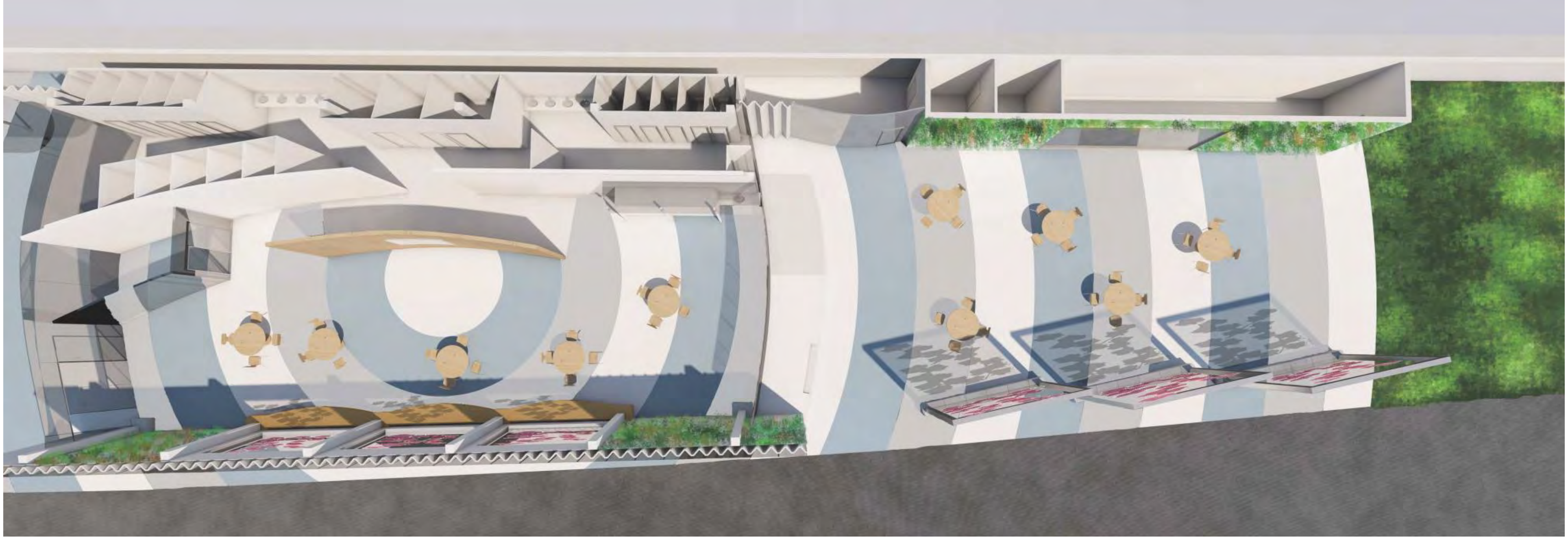
東京駅、丸の内地区に、丸ビル・新丸ビルが建っていた。「TOKYO GATE」はこの2つの敷地を利用して、屋上を結ぶ東京を代表する建築の提案である。建築は、１階に作られる大きなアトリウム、地上近くの商業施設、中間階のオフィス、上層階の展望スペース、会議スペース、最上階のヘリポートより構成される。有事の際の危機管理スペースとしての役割を持つ。

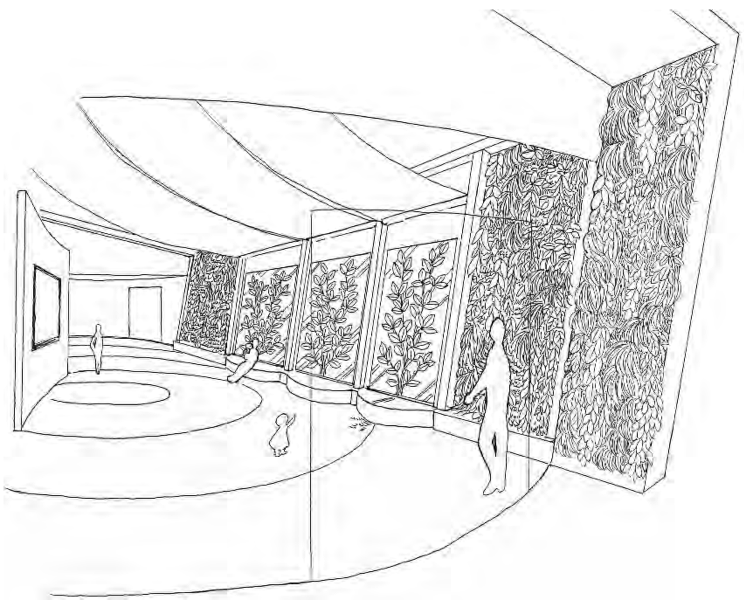


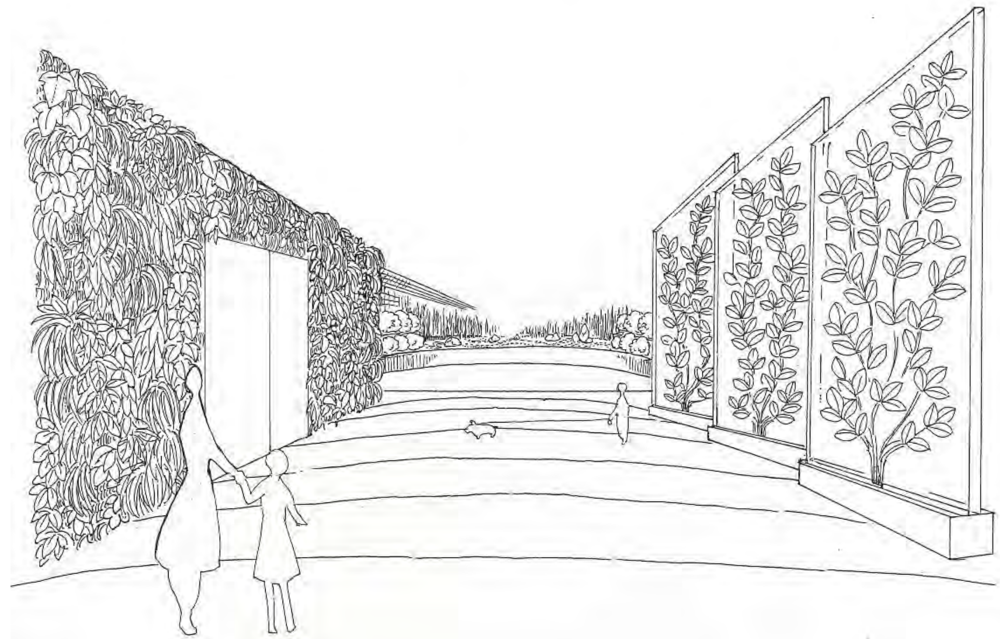


AMAGASAKI SMART STYLE PARKING　ZERO ENERGY PARKING

阪神高速尼崎パーキング設計コンペティション2016　光透過型有機薄膜太陽電池　/　壁面緑化　/　日本庭園





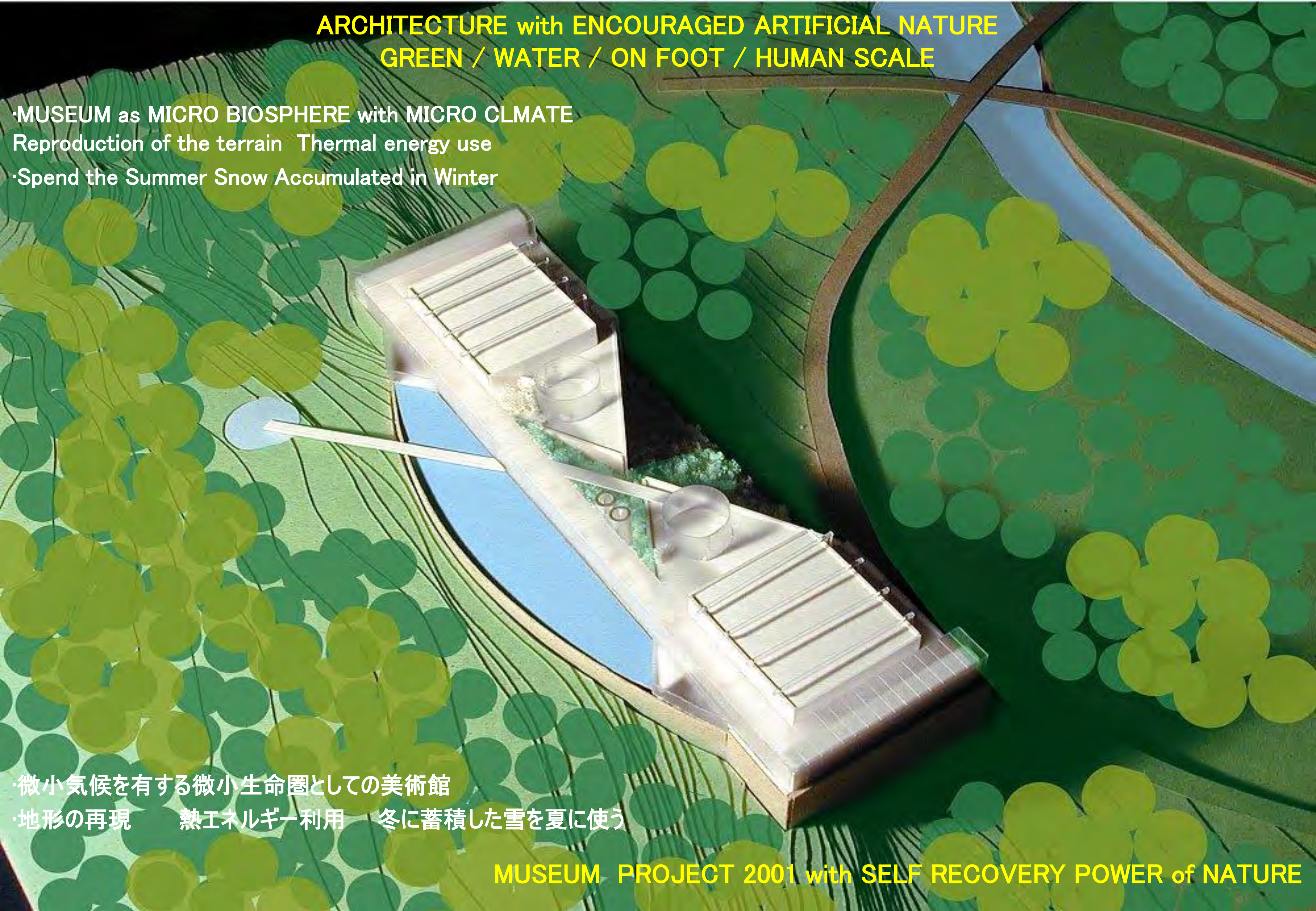


AMAGASAKI SMART STYLE PARKING　ZERO ENERGY PARKING

阪神高速尼崎パーキング設計コンペティション2016　光透過型有機薄膜太陽電池　/　壁面緑化　/　日本庭園

AMAGASAKI SMART STYLE PARKING　ZERO ENERGY PARKING

阪神高速尼崎パーキング設計コンペティション2016　光透過型有機薄膜太陽電池　/　壁面緑化　/　日本庭園

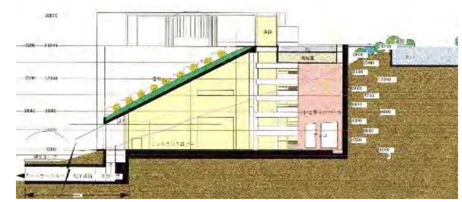

ARCHITECTURE with ENCOURAGED ARTIFICIAL NATURE
GREEN / WATER / ON FOOT / HUMAN SCALE
·MUSEUM as MICRO BIOSPHERE with MICRO CLMATE
Reproduction of the terrain Thermal energy use
·Spend the Summer Snow Accumulated in Winter
·微小気候を有する微小生命圏としての美術館
·地形の再現　　熱エネルギー利用　冬に蓄積した雪を夏に使う
MUSEUM PROJECT 2001 with SELF RECOVERY POWER of NATURE

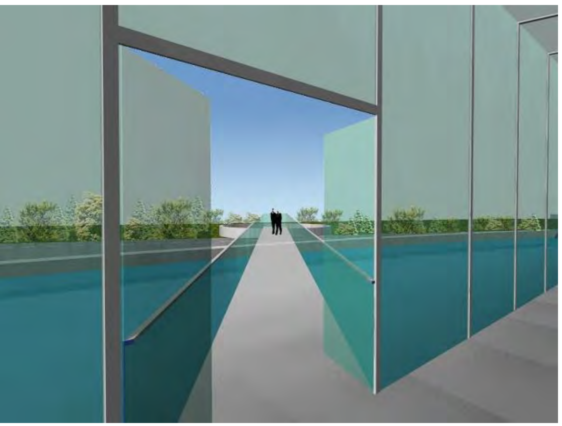
青森市立美術館

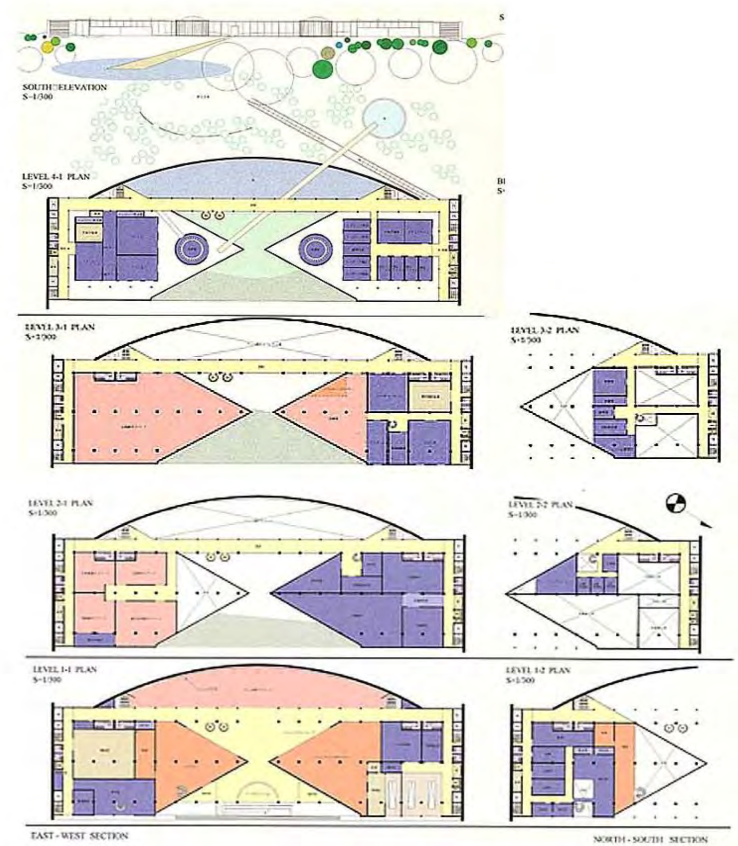
AOMORI ART MUSEUM
(1999 AOMORI)

青森県立美術館の設計競技への応募案。
縄文ループと関係付けられる最下階を導入部門とし、最上階に於いて丘陵部への開放性を確保し、現代芸術の多彩な展開を垂直方向に展開し、かつ自然環境への適合を果たす自然エネルギーの多彩な利用を通じた建築内部環境の自然なサイクルの形成を図る。外皮素材や緑化を通じて再生される自然との共存を探る。建築構成の文節を通じてスーパーヒューマンなボリューム感の減少を探る。大地との共存をテーマに現代につながる様々な生活の知恵を有していた縄文文化を21世紀に受け止める建築の提案である。

NORTH - SOUTH SECTION
S=1/300



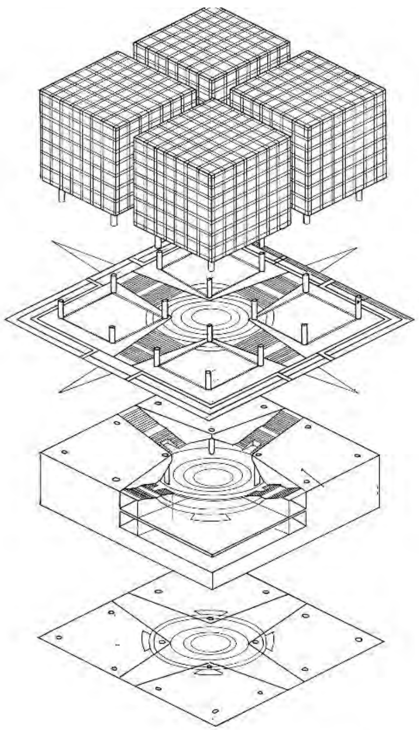


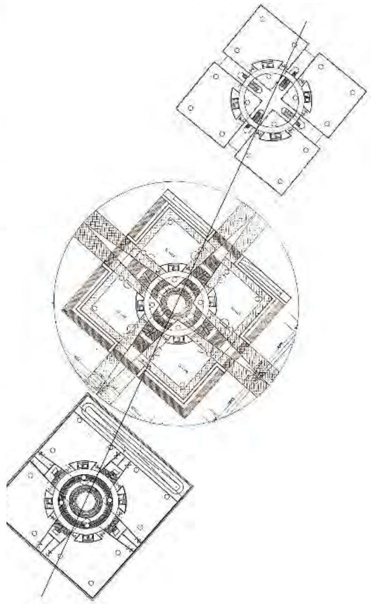


パリに浮く浮遊立体

FLOATING CUBES IN PARIS
CITY SCREEN ⅩⅧ
(1997 PARIS FRANCE)

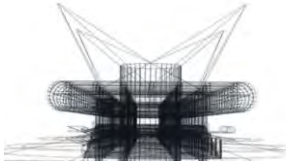
パリにおける日本の文化・ビジネスの拠点の形成の試みである。1階部分を開放し、上部に４つの27m立方体を配置した。1階はショールームであり、上部はオフィスとアパートメントである。地下には円形の階段広場を中心とした、茶道や能、武道などを演じたり教えたりする場を用意した。パリの地上部分に開放感を与えるための提案である。



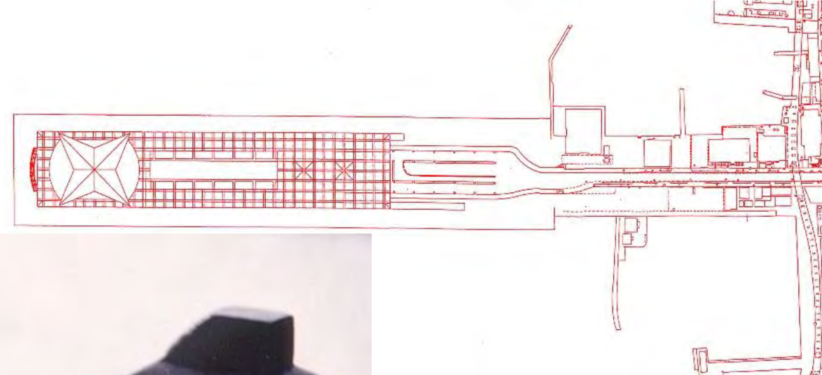


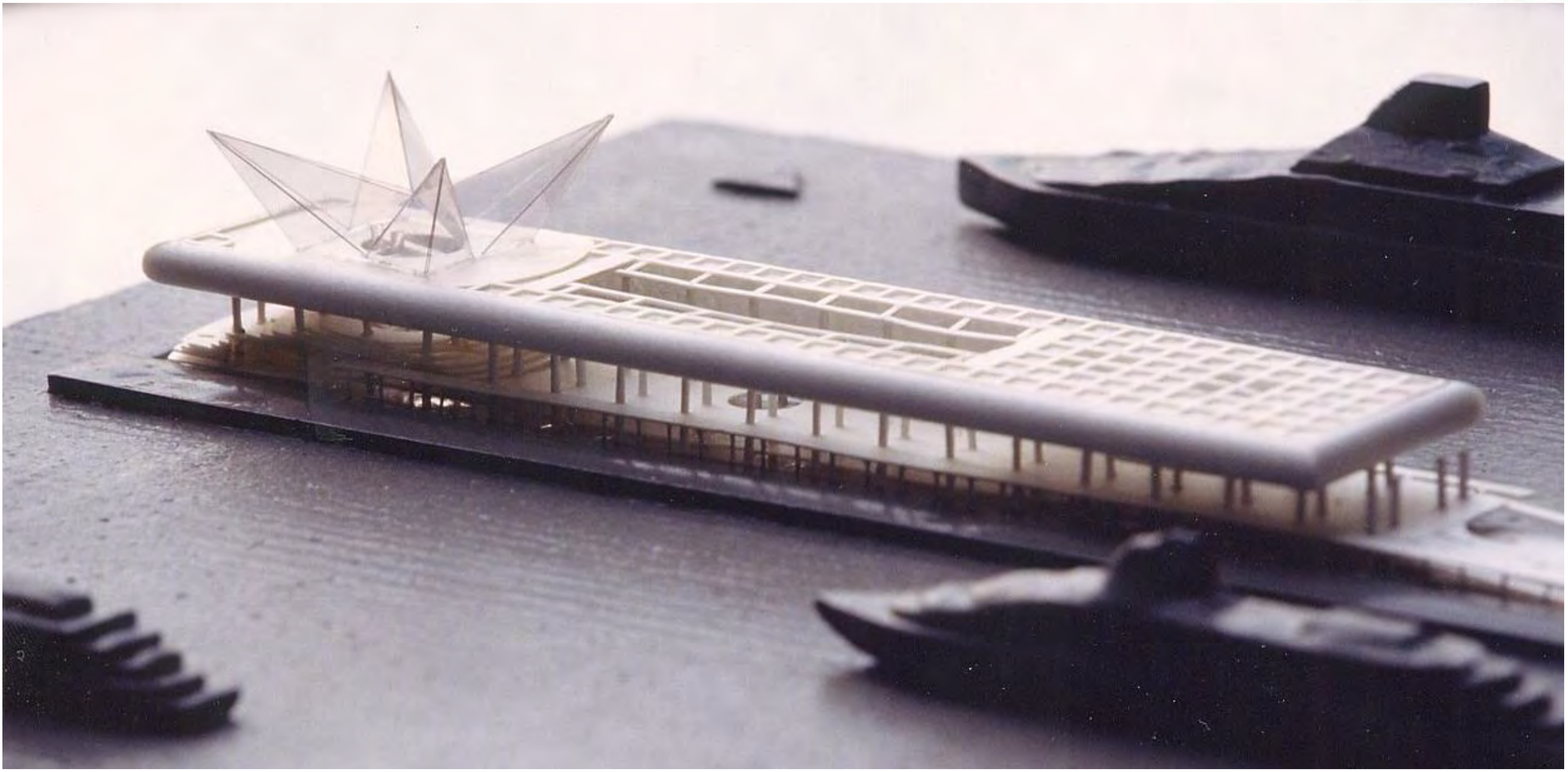
フローティング クラウン

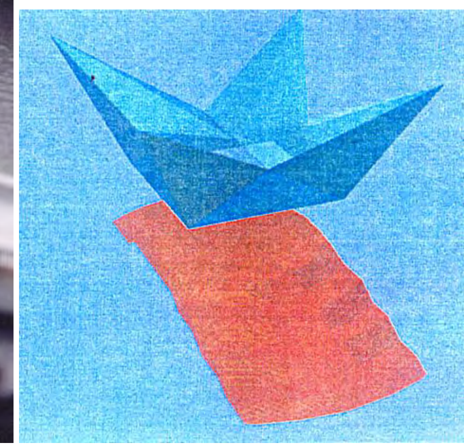
FLOATING CROWN
(1994 MINATOKU YOKOHAMA)

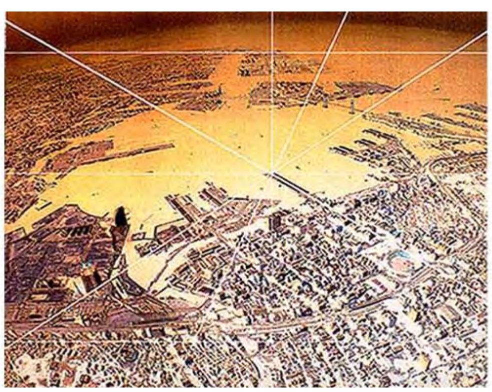


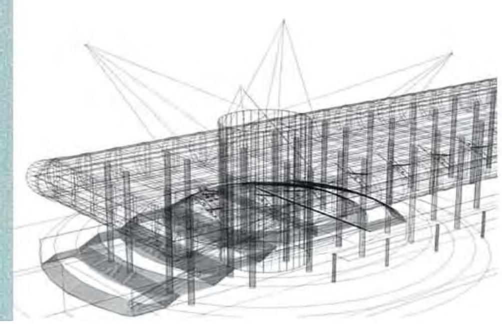
本計画地周辺には、垂直方向を示すランドマークタワーや、都市の配線状態を緩やかな起伏として示すベイブリッジなど、様々なシンボリックな場所があり。ターミナル自身が海上に突出した記名性の高いスペースを構成しうる場所である. 開放的な庭港にあってターミナルは建築を利用した海面に浮かぶ華である。その水平方向への伸長を強調した基部と、屋上から空に向かって開いたようなガラスのモニュメントは、形状から“水平線”と“浮かぶ花冠”を思わせる。ここで人は、旅あるいは人生の途中にある自分そして他人との出会い、時を過ごし、別れていく。

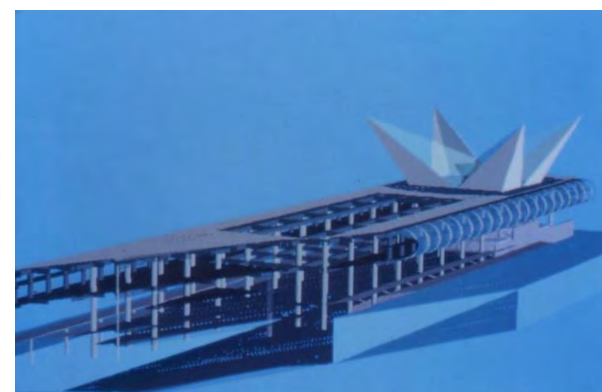








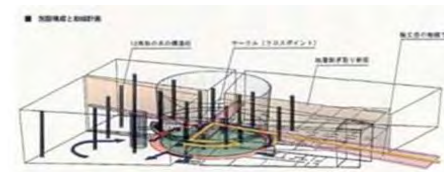


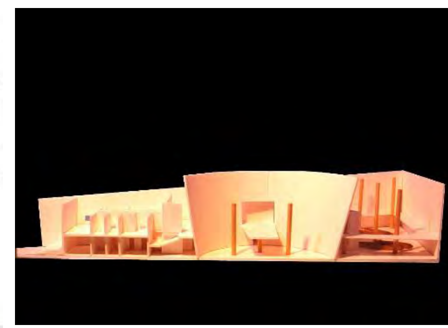


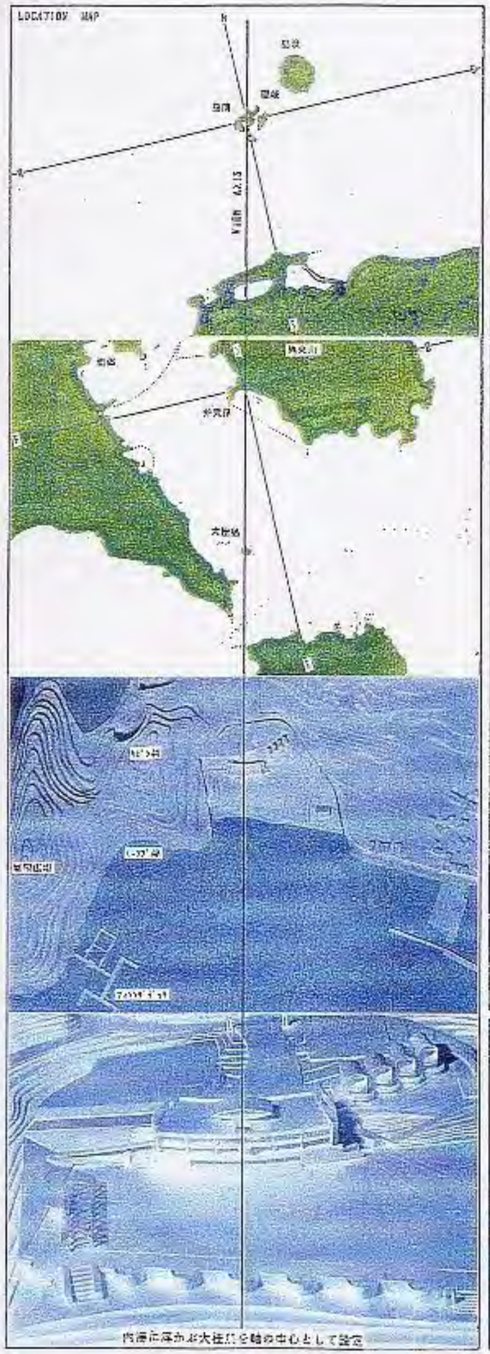
縄文博物館

JYOMON ERA MUSEUM
(1996 MIKATACHO FUKUI)

福井県三方五湖の縄文博物館のコンペ応募案である。自然への畏敬の念を、縄文人と共用すること。縄文人の歴史を表す地層を建築に再現すること。縄文人が経験したであろうを大きな木の構造の空間を象徴的に再現すること。建築の中心に逆円錐形の外部空間を構成し、空との交歓の場を設ける。建築内部は、展示空間を始めとする諸室を回遊し訪れる構成とする。この５つの軸で構成される。そしてランドマークである梅丈岳に対する軸線を持ち、内部には空に開かれた円筒形の広場が作られ森でもある公園と一体化しつつ一万年近く昔の豊かな時空間の一部を再現する。







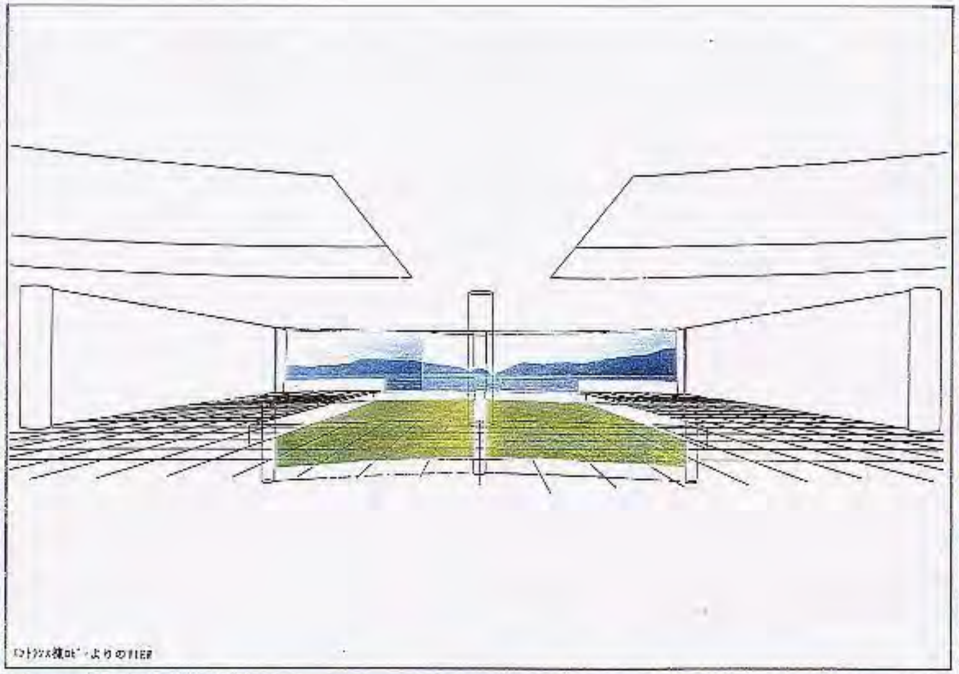
新発見ＯＫＩ

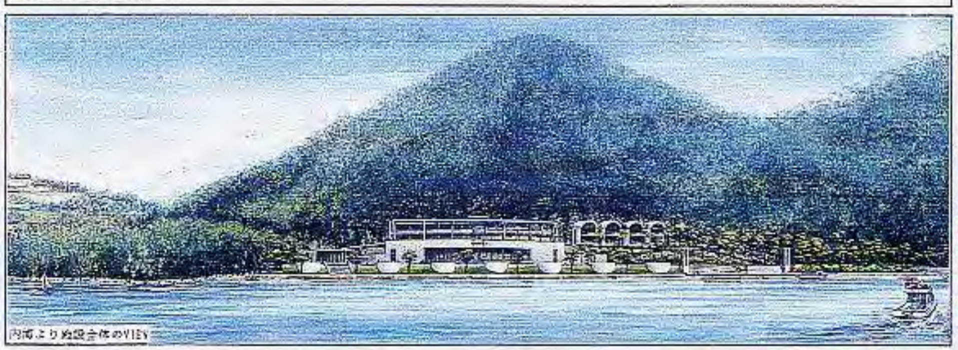
感動発振基地　感動の旅への招待席

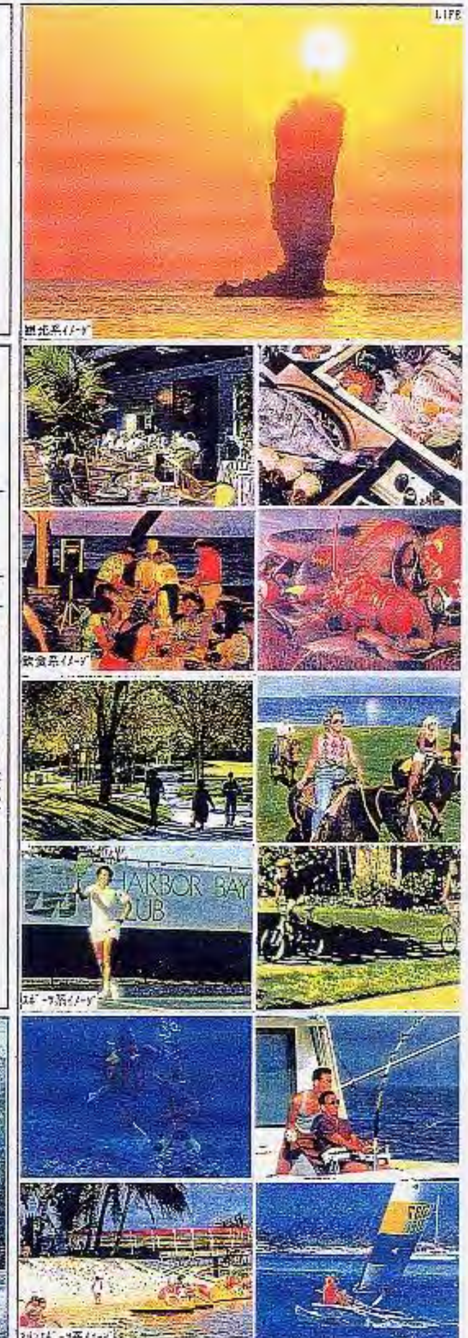
海の廻廊

ISLAND RESORT,HOTEL PROJECT

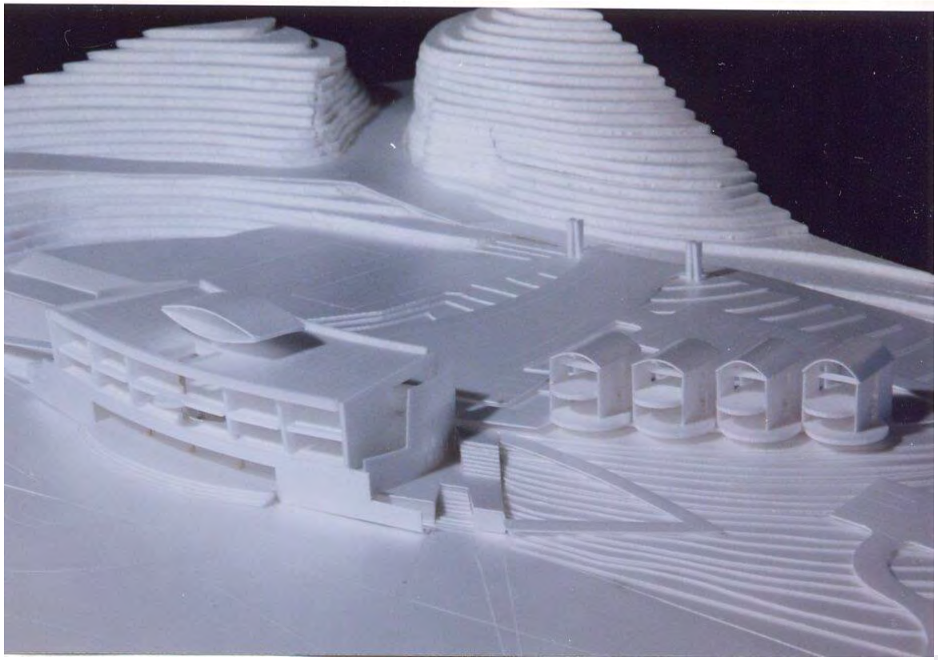
-SEASIDE CORRIDOR,OKINOSHIMA ISLAND ,JAPAN SEA

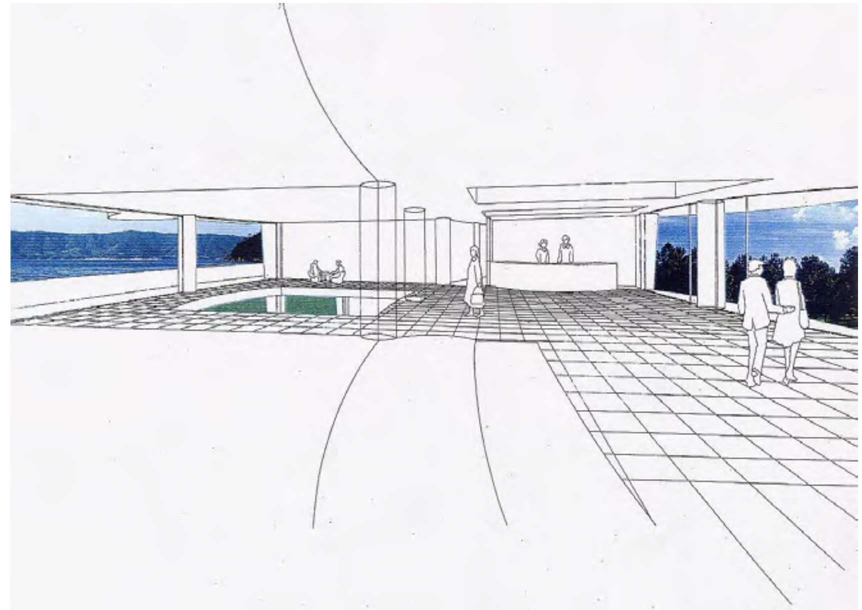


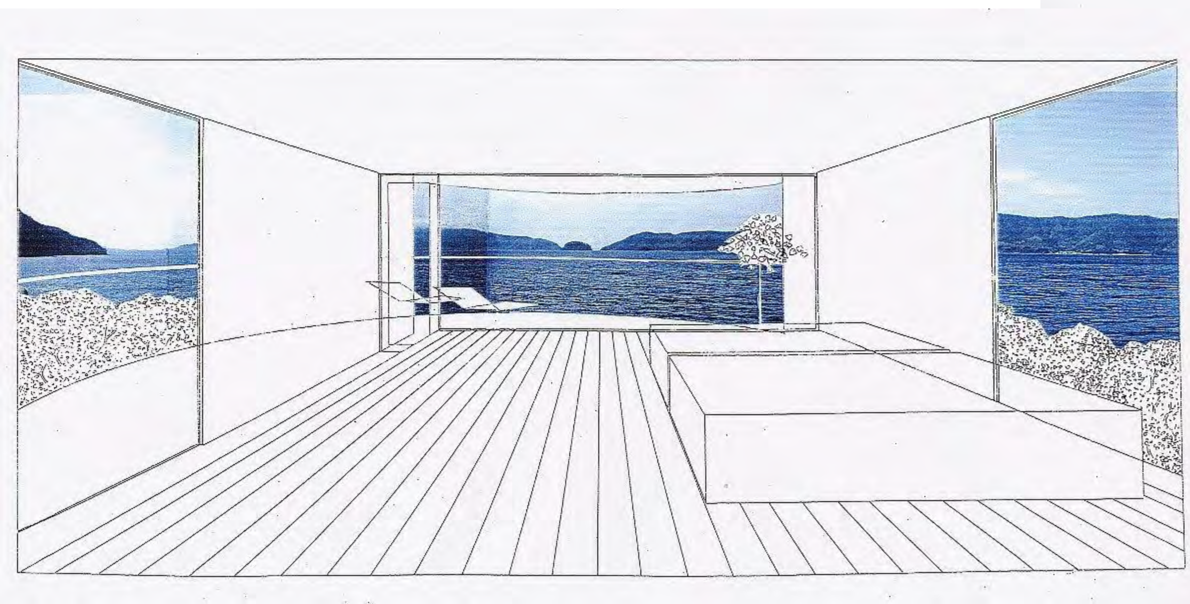


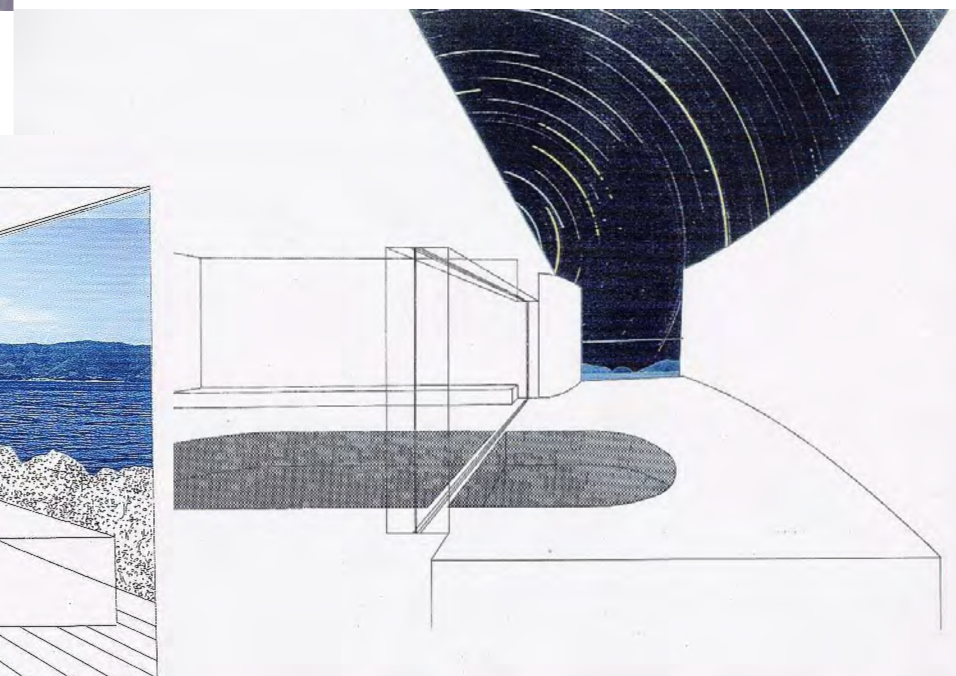


4.ISLAND RESORT,HOTEL PROJECT – SEASIDE CORRIDOR,OKINOSHIMA ISLAND ,JAPAN



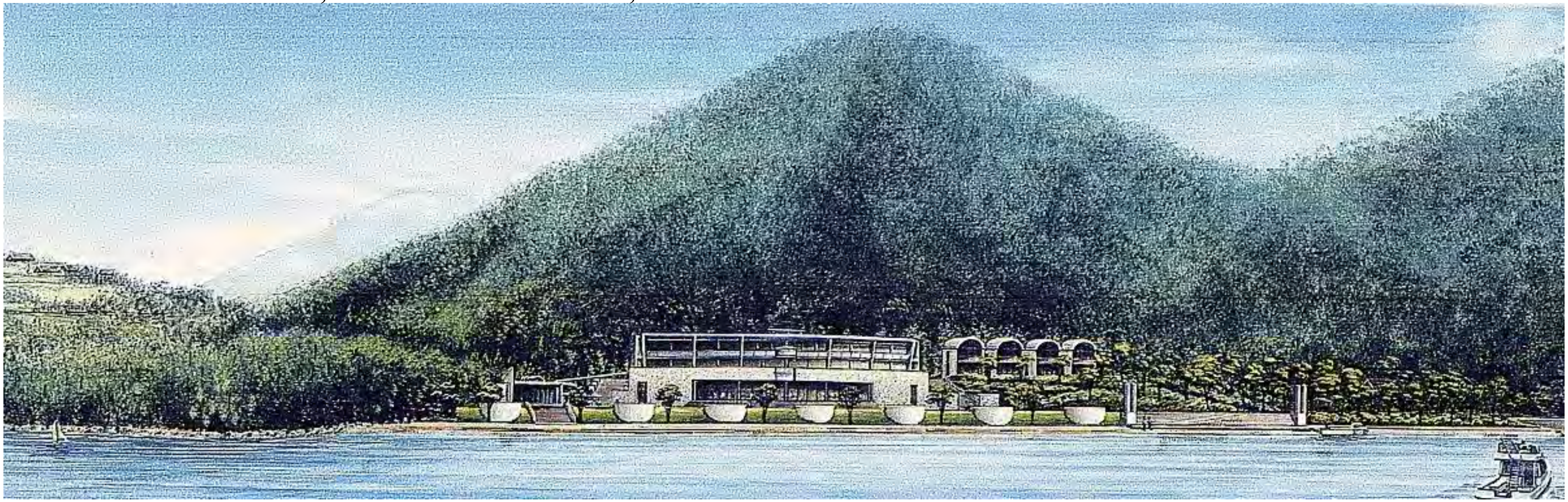


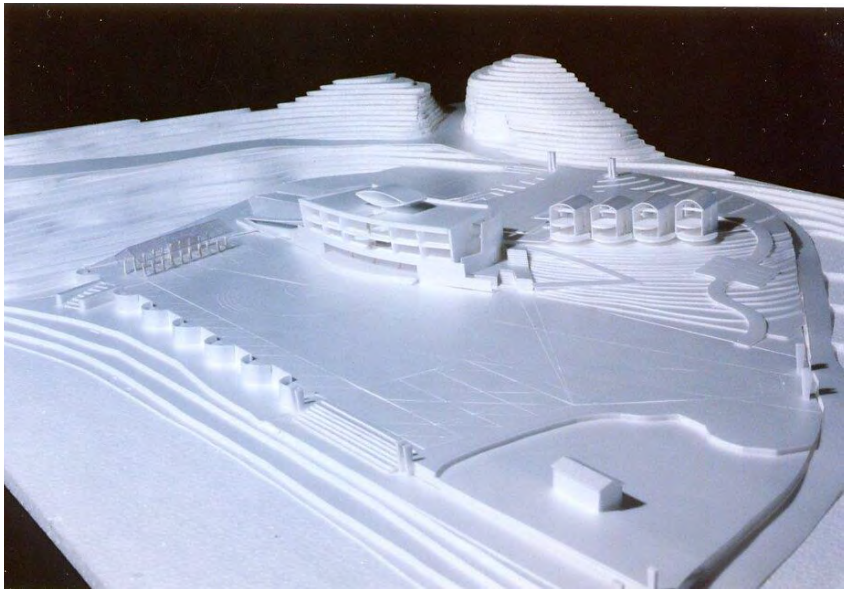




ISLAND RESORT,HOTEL PROJECT

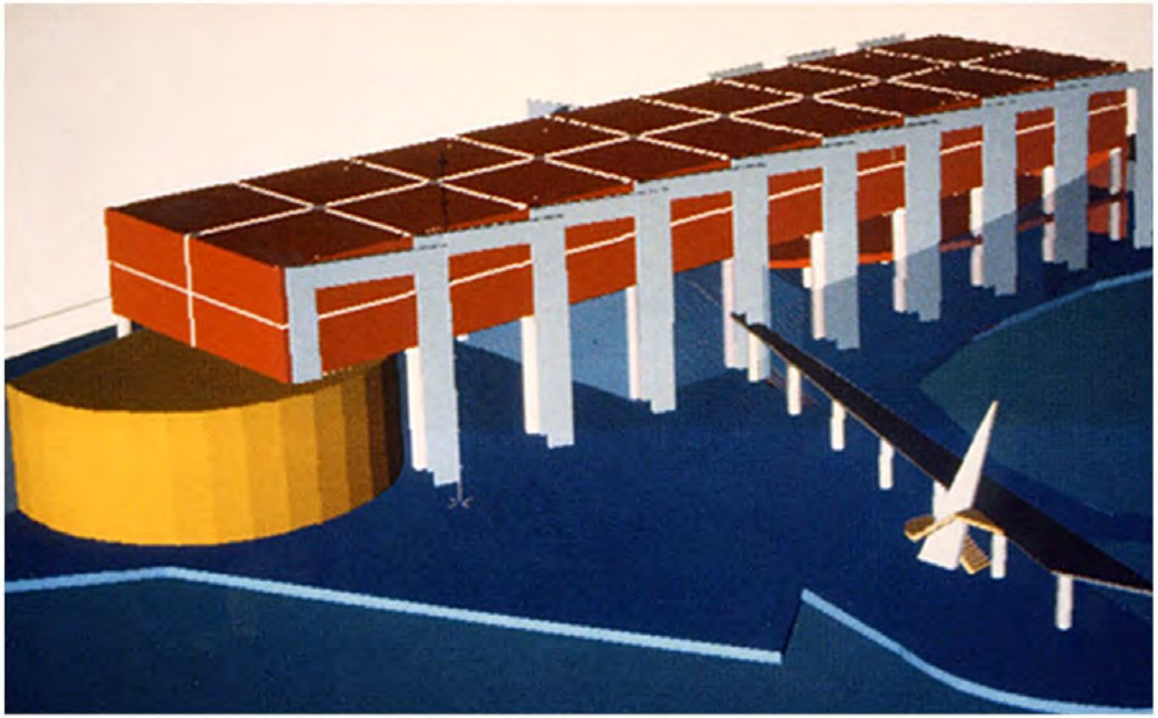
-SEASIDE CORRIDOR,OKINOSHIMA ISLAND ,JAPAN SEA

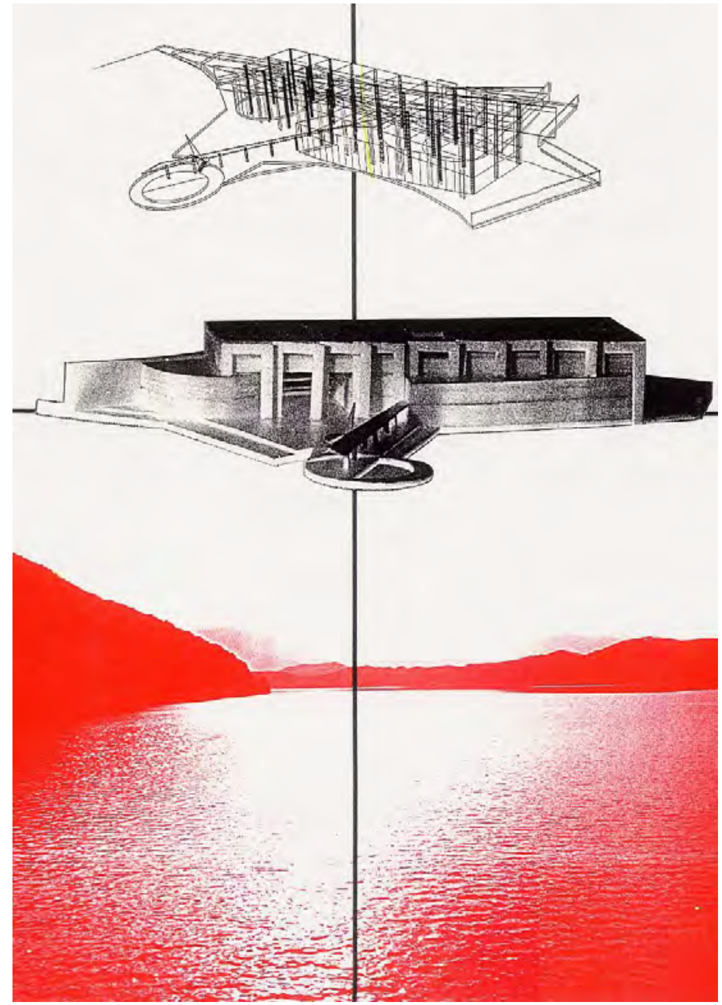


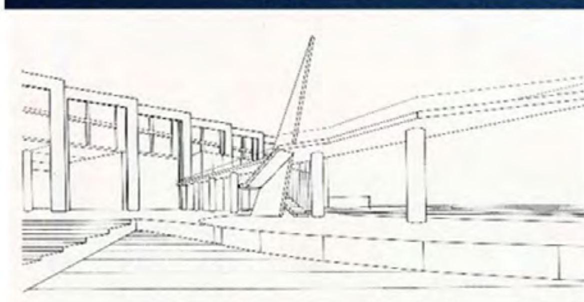


水月華
SUI-GETU-KA
(1993 MIKATACHO FUKUI)

LAKE SIDE RESORT HOTEL PROJECT -水月華 SUIGETSUKA

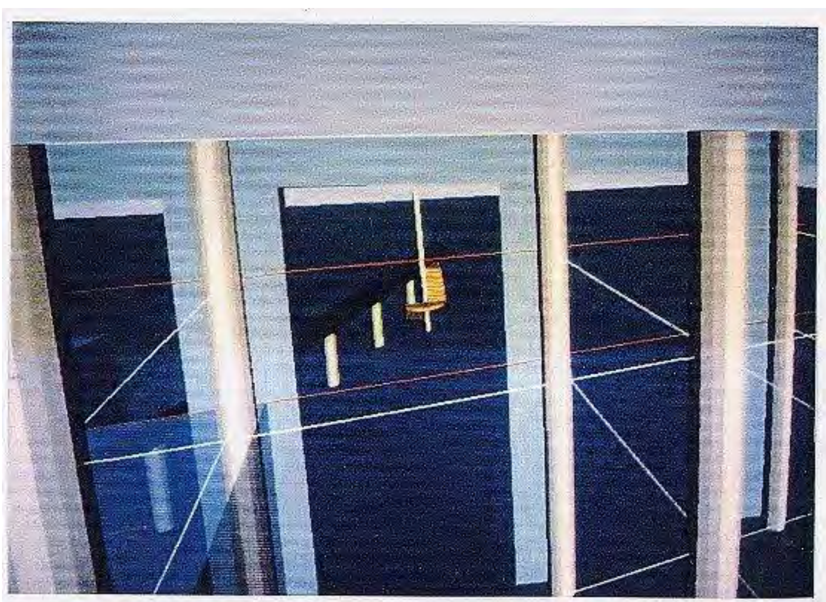


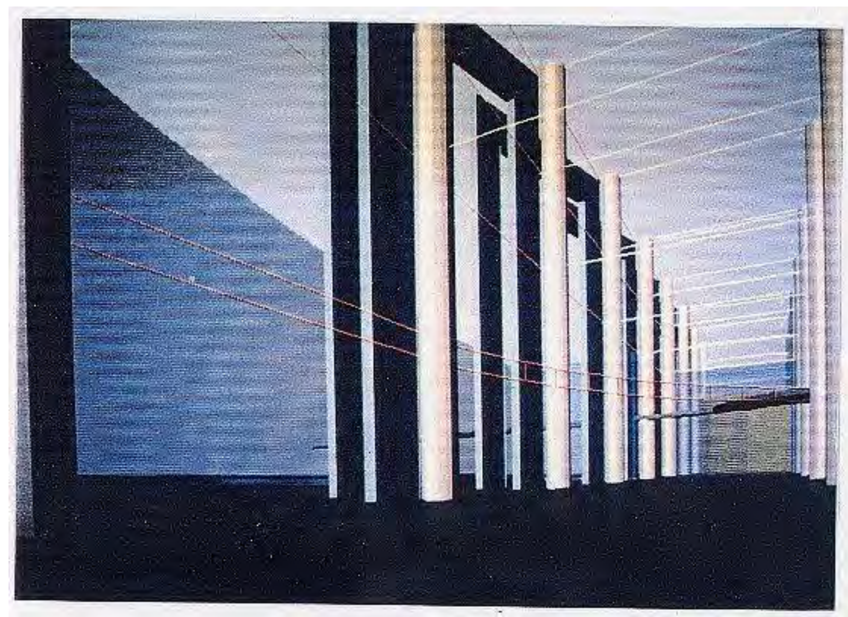


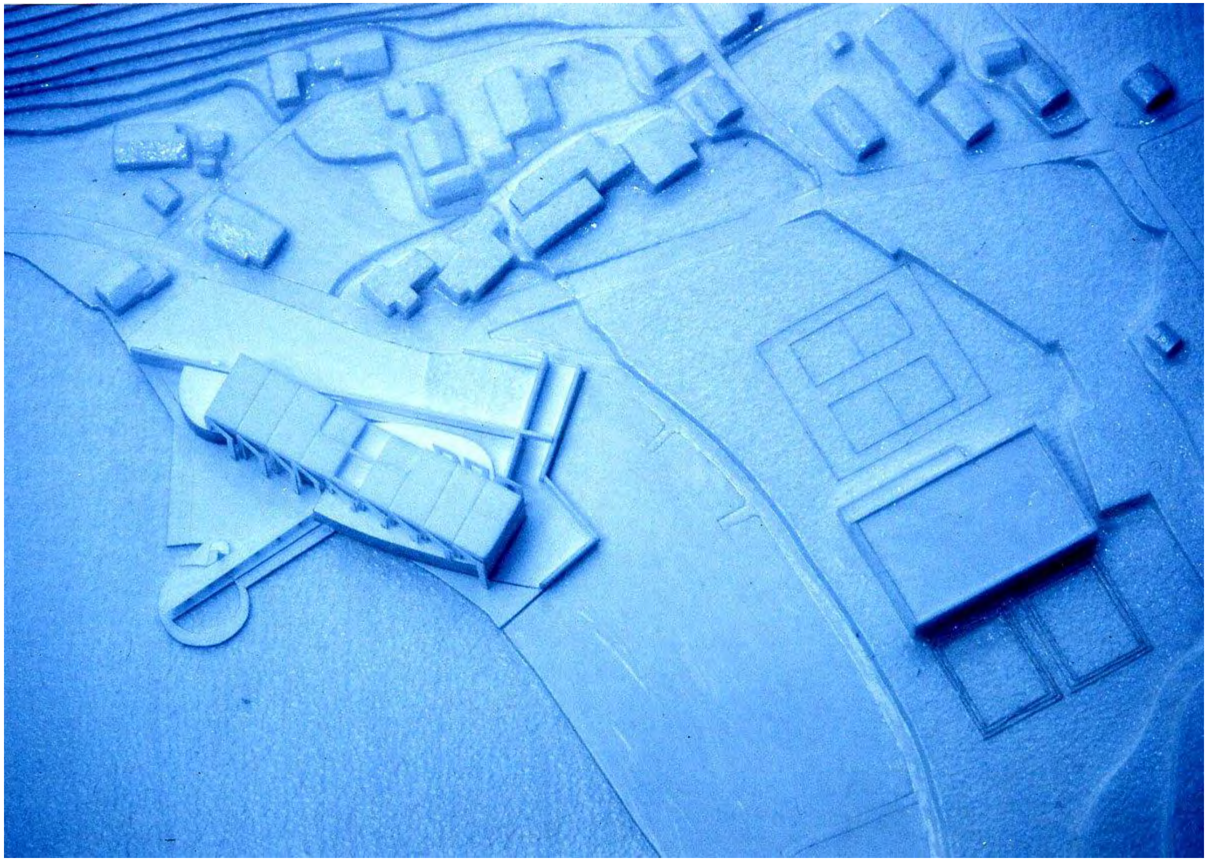
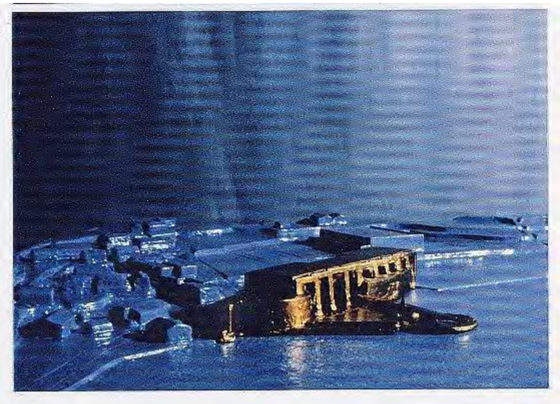


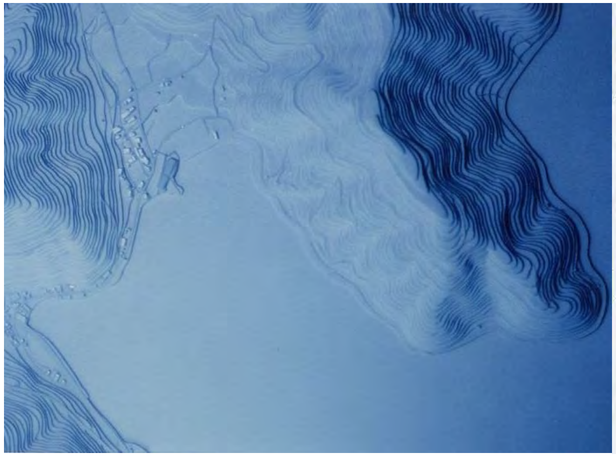
町営の国民宿舎である。かつて神秘の淵であったこの地区を中心に若狭湾の一隅の本来の姿を私達は「聖域」と考える。「本計画を契機に三方五湖を周辺を聖域として復活させること」を目標とし、聖域復活プログラムと名付けた。地方の自然な生き方が来訪者の心と呼応するような定住型の２１世紀の観光宿泊施設の可能性を内包している。

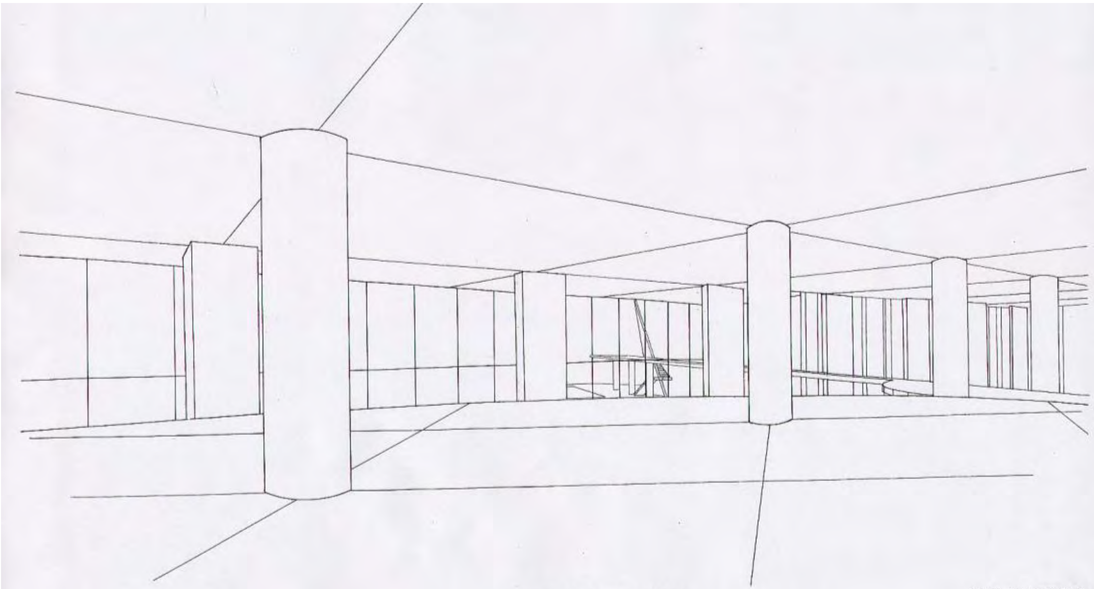
5.LAKE SIDE RESORT HOTEL PROJECT -水月華 SUIGETSUKA JAPAN





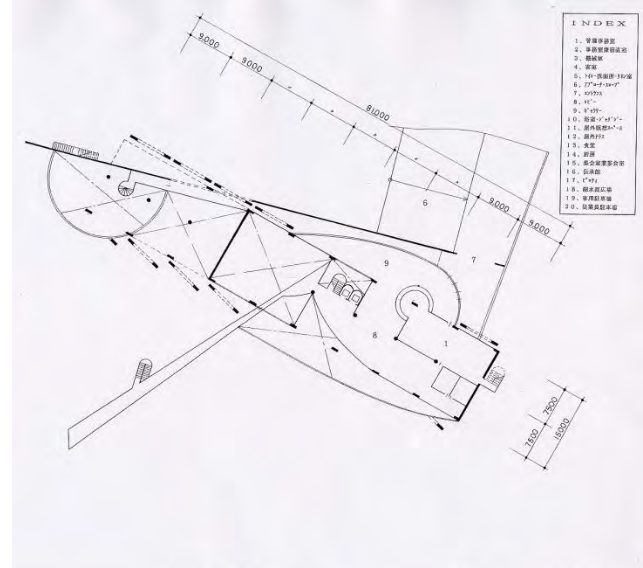





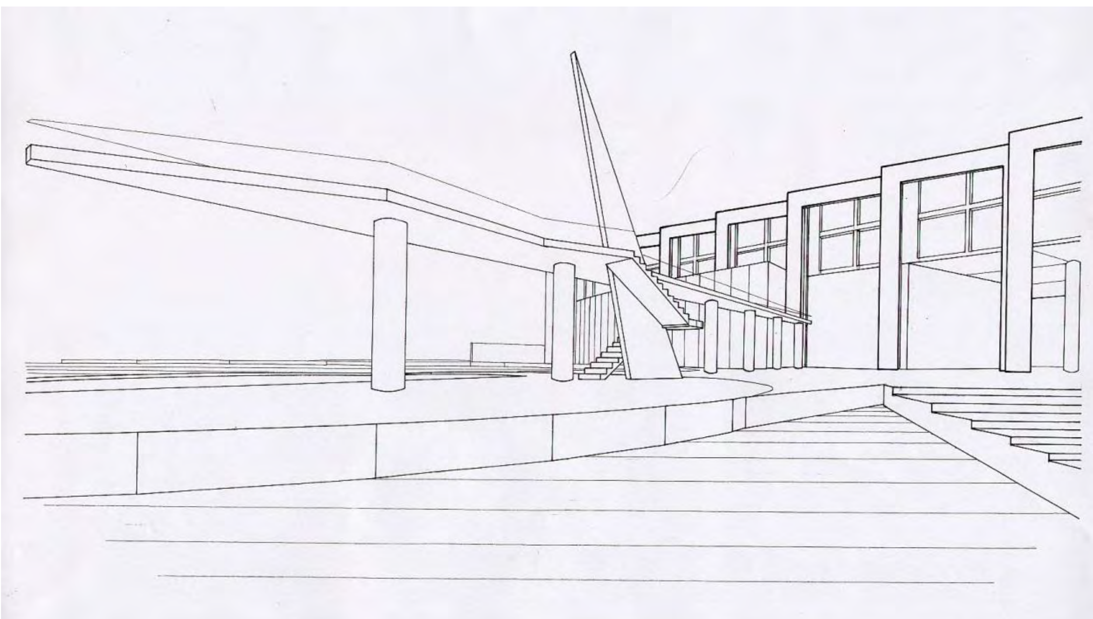


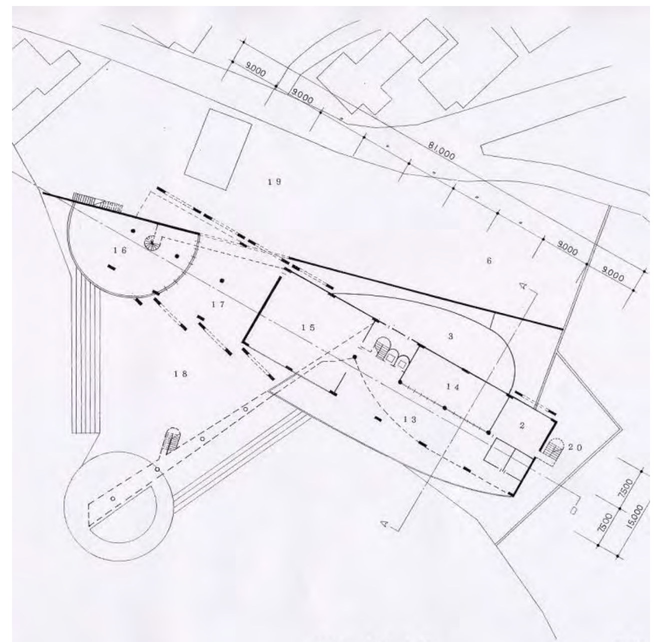
パースペクティブ⑤

2Fロビーより水月湖を見る



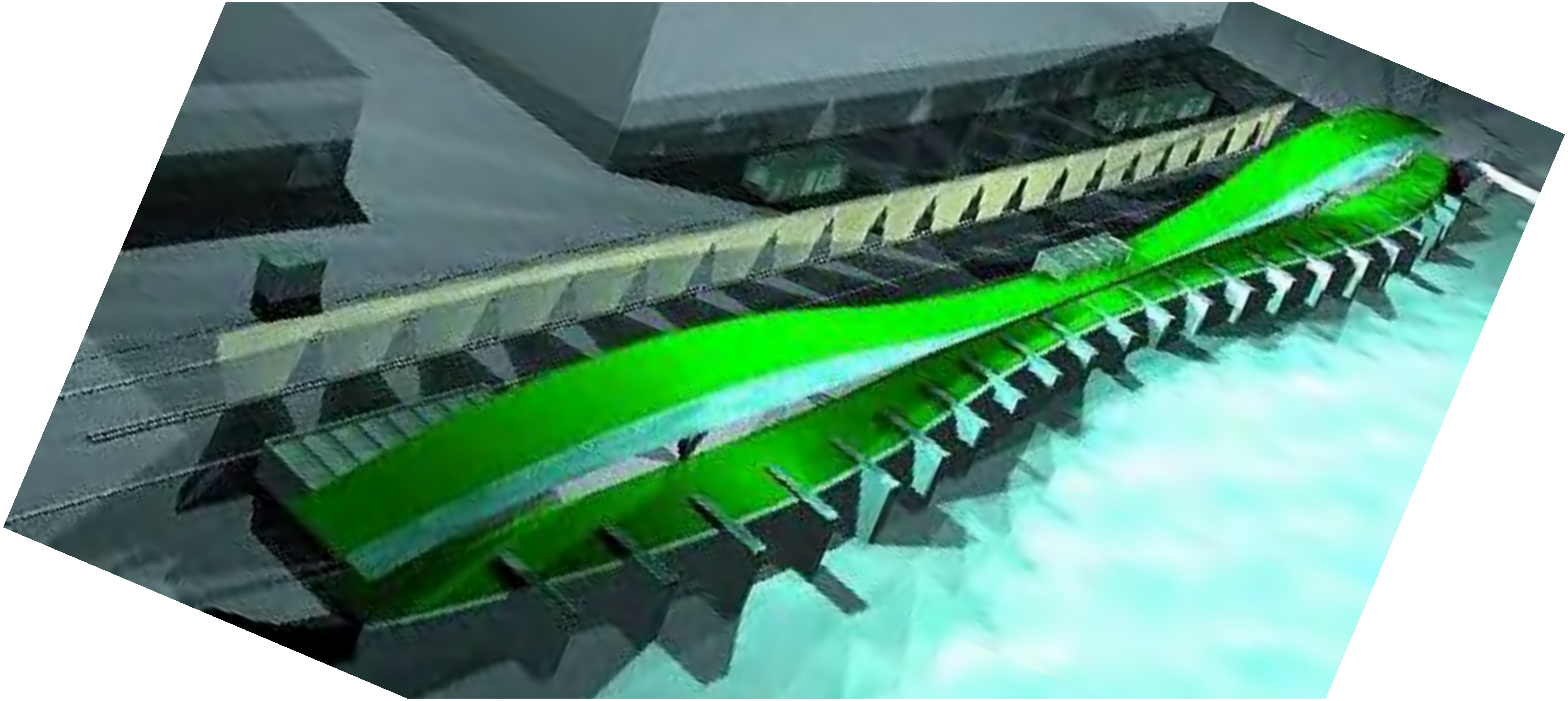
2F PLAN　　SCALE 1:400





1F PLAN　　SC

中之島冷却回廊
COOL CORRIDOR NAKANOSHIMA RIVER SIDE SUBWAY STATION PROJECT 2004



The Landscape Design by a Continuous Waterfall

MICRO BIOSPHERE – River Area of the Metropolitan Center

Embodies the MICRO CLMATE – Heat Island measures through the Transpiration of Water

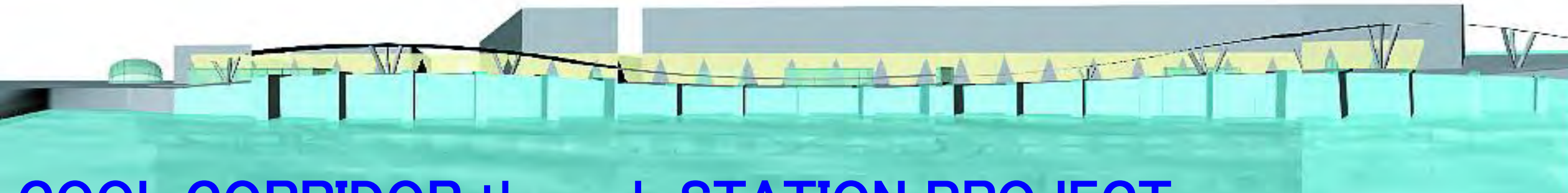
Spatial Planning of the Subway Station that take advantage of the Natural Ability of the Region

Use of River Water, Solar Power, Natural Light, Thermal Energy Utilization

連続する滝によるランドスケープデザイン

·微小生命圏–大都市中心部の河川域。 微小気候の体現–水の蒸散を通じたヒートアイランド対策。

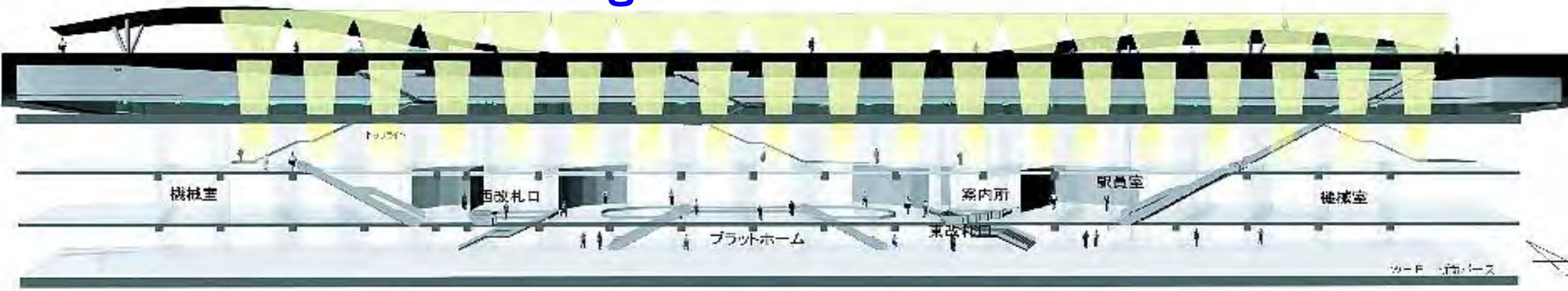
·地域の自然能力を生かす地下鉄駅の空間計画。 河川水の利用、太陽光発電、自然光、熱エネルギー利用。



COOL CORRIDOR through STATION PROJECT

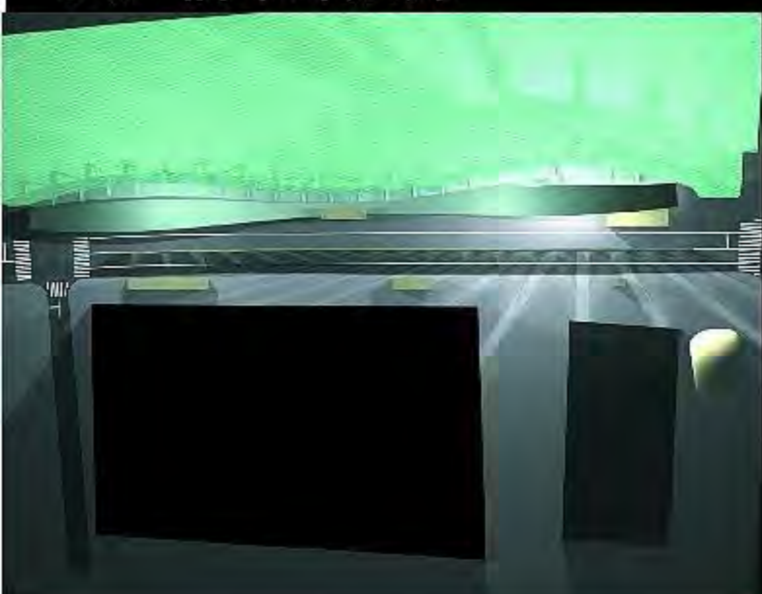
WATER FALL along RIVER

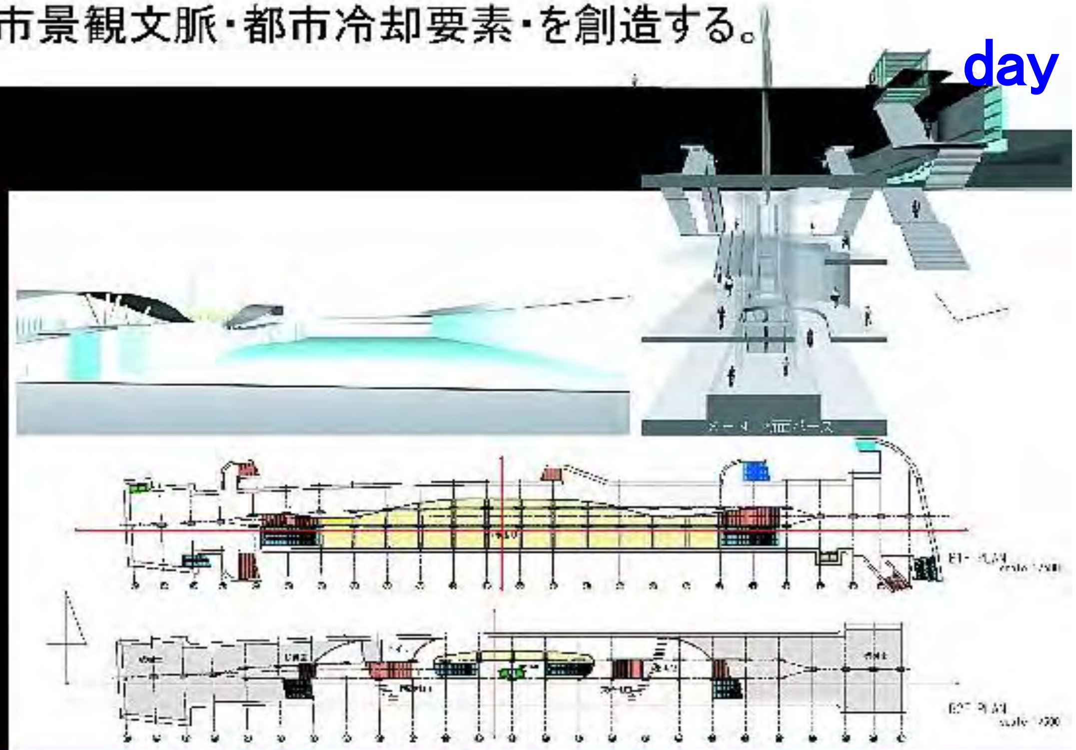
LIGHT SCAPE day & night



”水と緑と太陽の中央廻廊”中之島に都市景観文脈・都市冷却要素・を創造する。

大江橋冷却廻廊





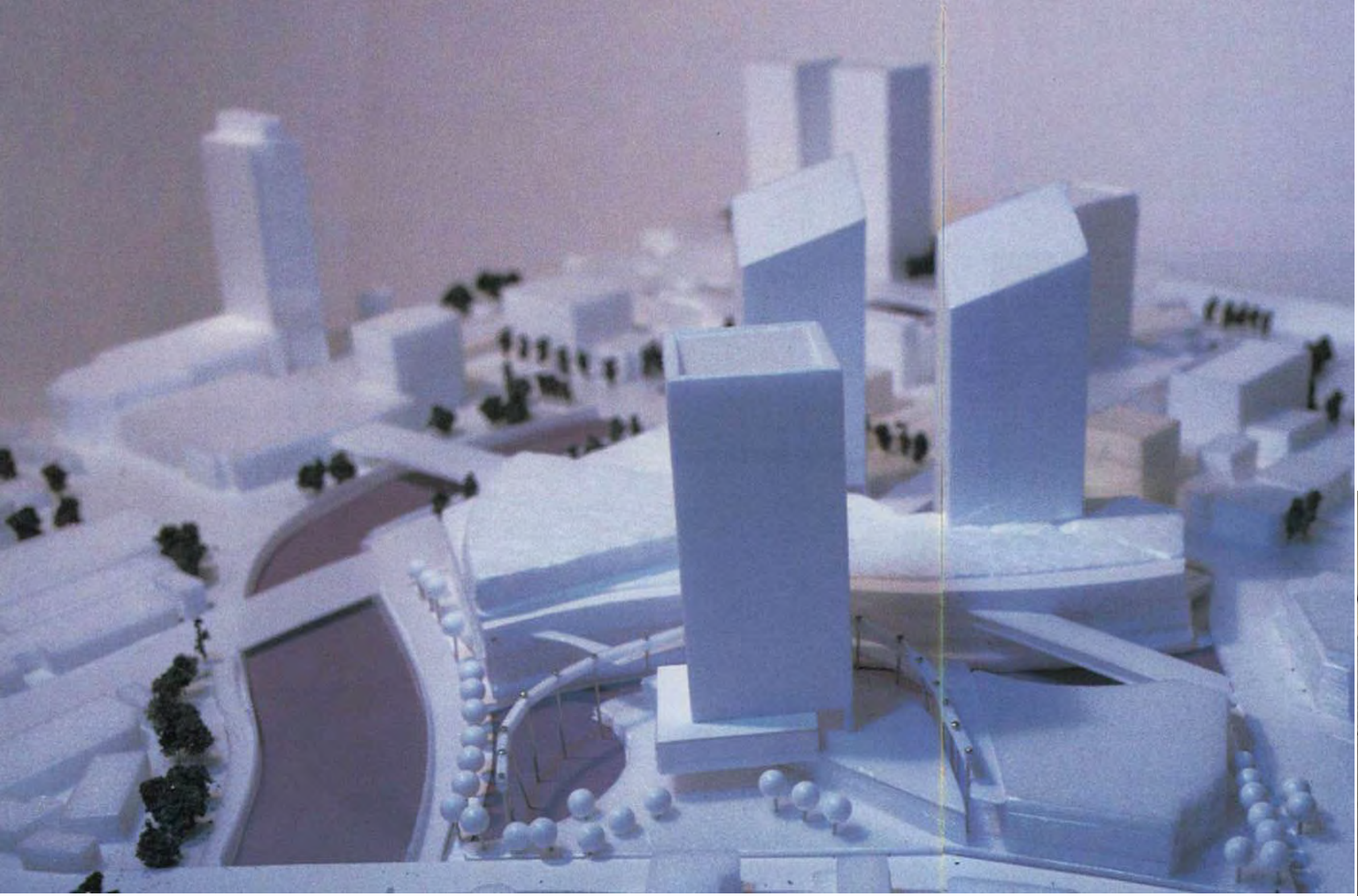
08: Urban Design

エコール鹿の子台

ECOLL KANOKODAI
CITY SCREEN XIX
(1991 KITAKU KOBE)

この施設は，神戸市最北部に位置し1万数千人の居住者を擁する住宅地の一画，神戸電鉄道場駅前に建つ。商業施設1棟と広場ヒューマンスケールに配慮した駐車場からなり，建物は，広場側，駐車場側，街路側の3方にファサードを持つ半径36m中心角60°の扇形とされている。

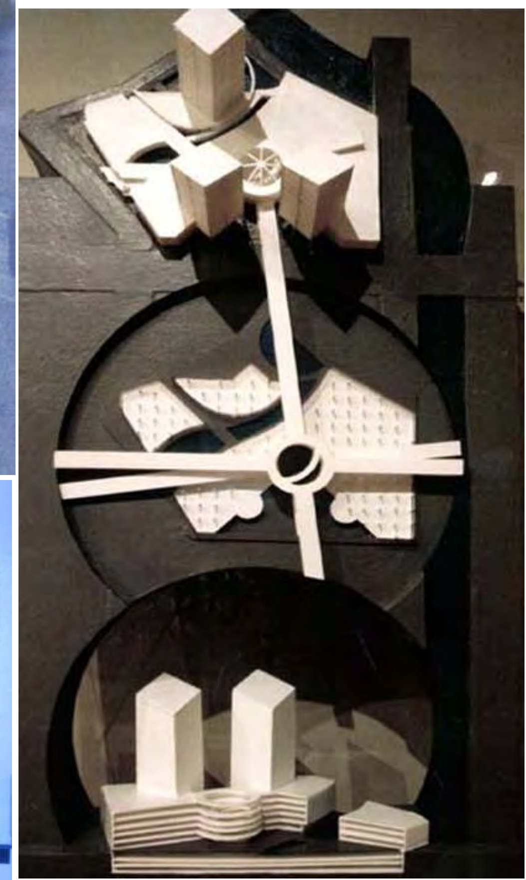
全体計画においては，都市の中心軸を生み出すことと地区に緊密な関係性を生み出すことが提案された。広場側のファサードは“街のメーンゲート”と位置付けられ，池や放射状の床パターンとともに広場の緊密性を形成する。緩い勾配を持つ街路側のファサードは，緑に包まれたニュータウンの代表的な街並みとなるよう計画された。

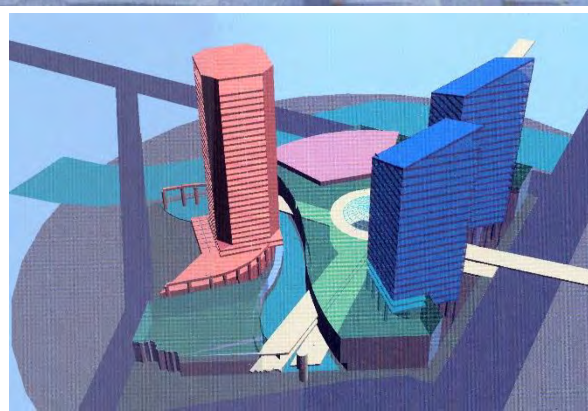


タイムサーキット

TIME CIRCUIT
(1993 AMAGASAKI HYOGO)

時の回路＝TIME CIRCUITと名付けられている兵庫県尼崎市のエネルギー施設跡地を中心とする再開発計画である。独立する住居棟、商業施設と一体化するホテル棟、オフィス棟より成立する。既存の川と一体化する運河と都市核を内在する商業施設を中心に人々の回遊が行われる。南に位置する鉄道駅や東に位置する市の文化核との連繫、前面を走る国道2号線による商圏の拡大、近隣の大規模な商店街への連続性が配慮に入れられている。





专题报道 · 曲江论坛
Special Reports

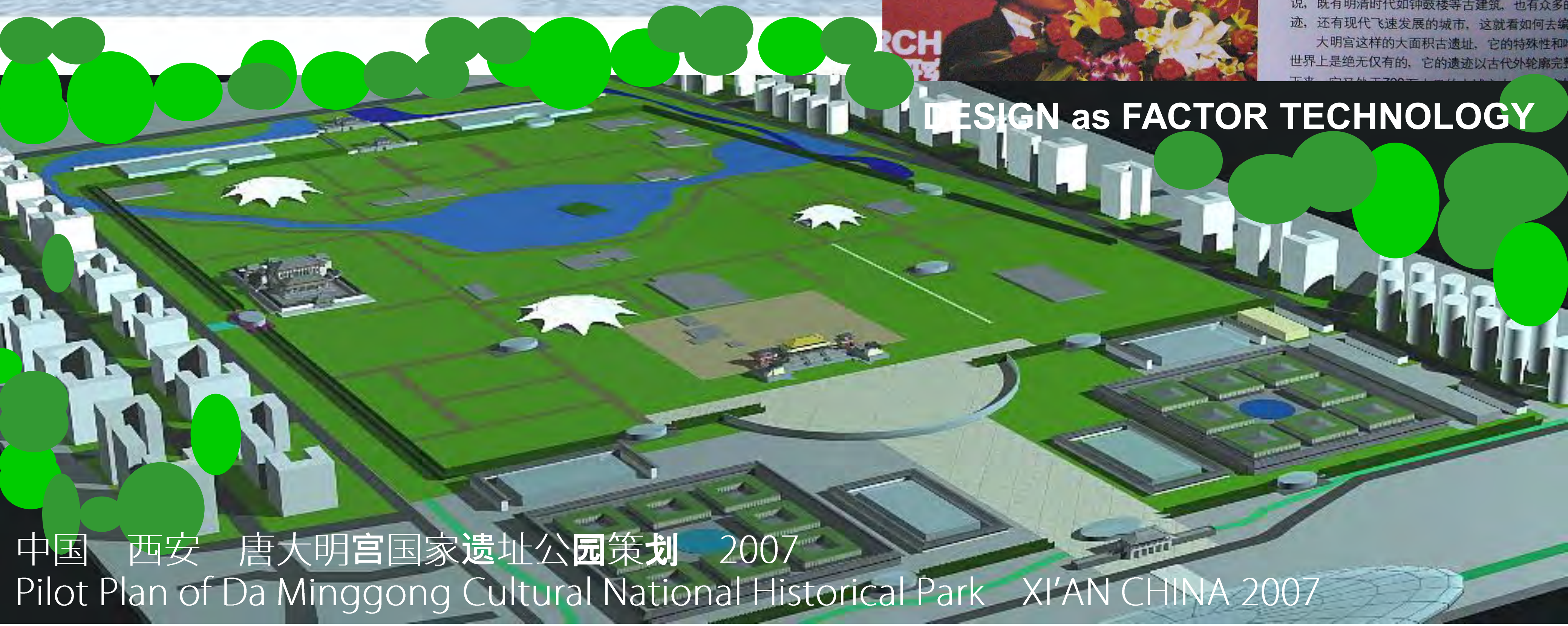
遗址公园将成西安绿肺

——日本建筑设计大师池上俊郎畅谈大明宫遗址保护

大明宫

千年后的发展。大明宫遗址这么大体量的保护改
安市的影响也应该考虑到一千年后，它的时间跨
6000~8000年的时空跨度。大明宫的位置处于西
北邻，也有低矮棚户区将变成高楼林立的发展，
展好与坏，对其的研究开发保护利用要充分考虑
其变化，就终将会毁于城市的自然发展。要营造
的美丽，最重要的是它的文脉，就像一本小说刊
线一样，城市也有它的文化脉络，设计城市如同
一样也要有自己的风格自己的脉络。对西安这
说，既有明清时代如钟鼓楼等古建筑，也有众多
迹，还有现代飞速发展的城市，这就看如何去编

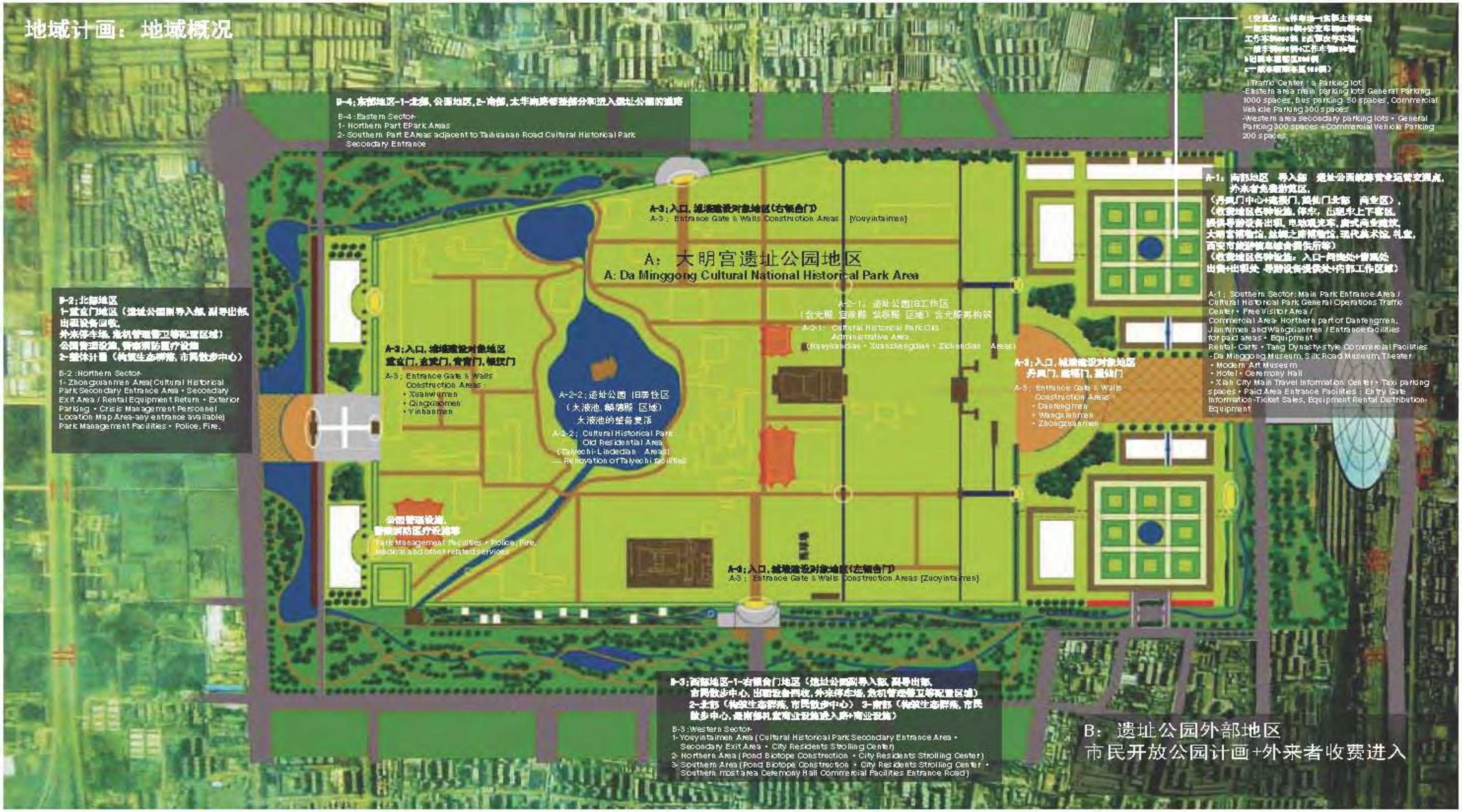
大明宫这样的大面积古遗址，它的特殊性和
世界上是绝无仅有的，它的遗迹以古代外轮廓完



DESIGN as FACTOR TECHNOLOGY

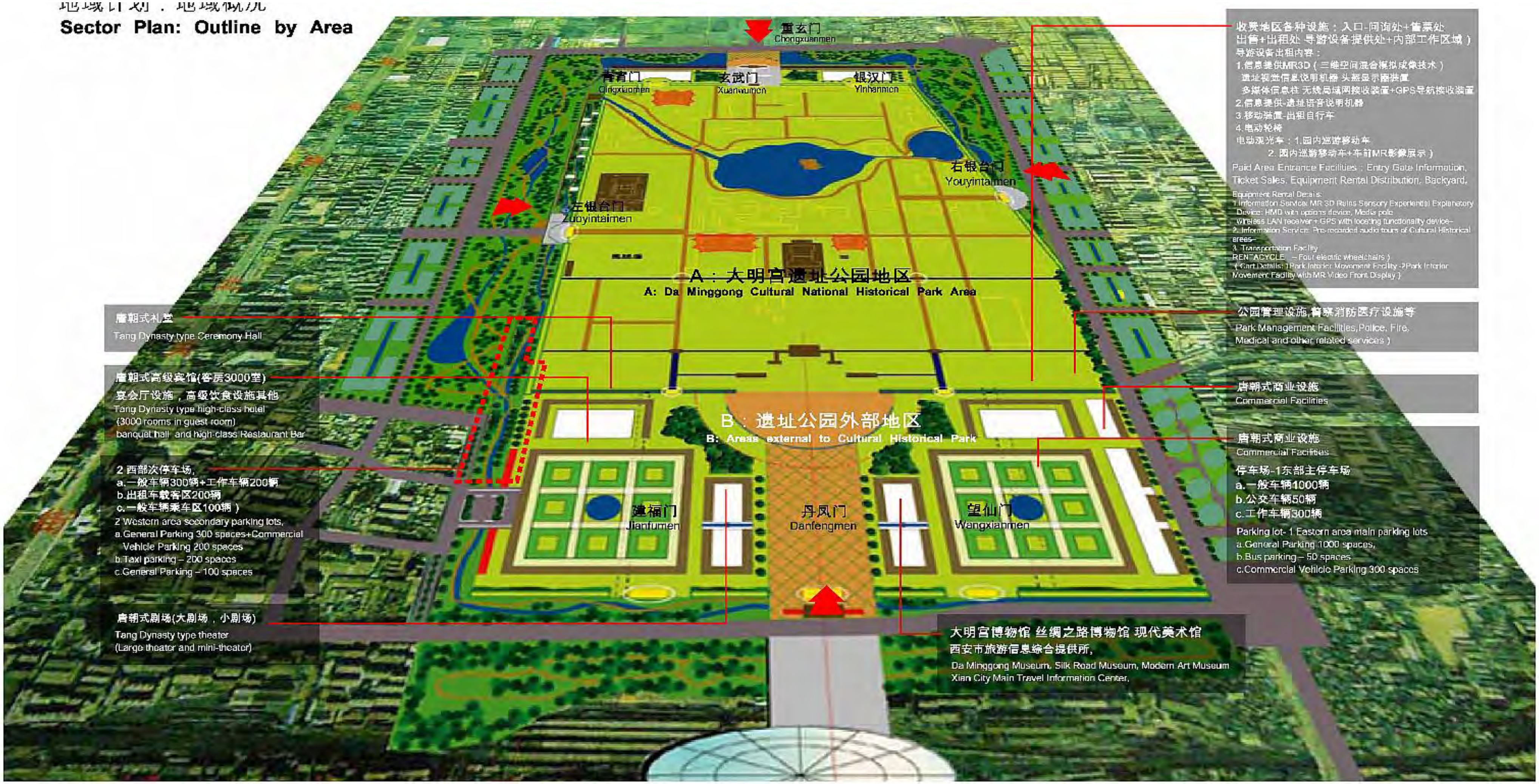
中国　西安　唐大明宫国家遗址公园策划　2007

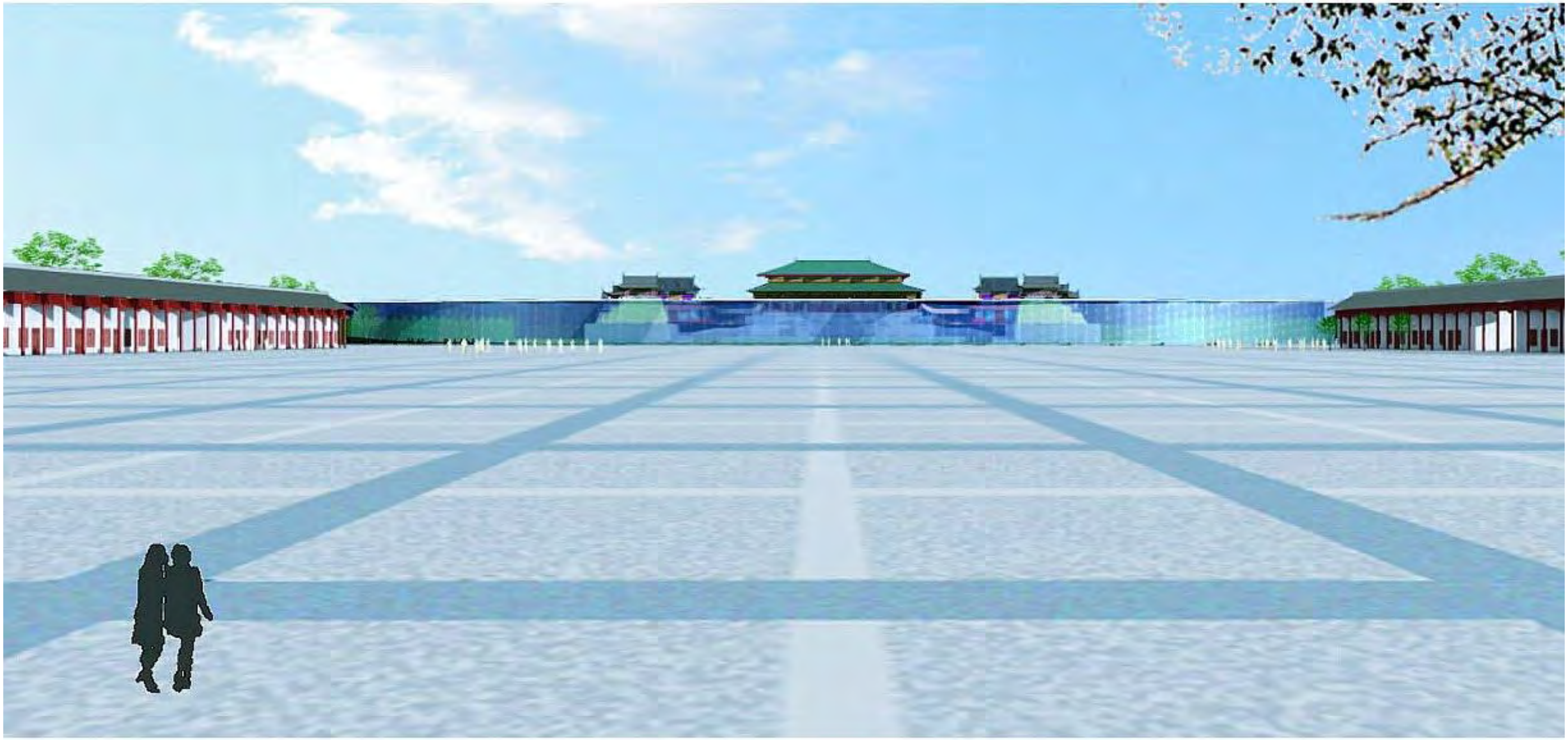
Pilot Plan of Da Minggong Cultural National Historical Park　XI'AN CHINA 2007


地域计画：地域概况
B-4 :Eastern Sector
1- Northern Part EPark Areas
2- Southern Part EAreas adjacent to Taihuanan Road Cultural Historical Park Secondary Entrance
Traffic Center : a Parking lot
-Eastern area main parking lots General Parking 1000 spaces, Bus parking 50 spaces, Commercial Vehicle Parking 300 spaces
-Western area secondary parking lots • General Parking 300 spaces +Commercial Vehicle Parking 200 spaces
A-3；Entrance Gate & Walls Construction Areas [Youyintaimen]
A：大明宫遗址公园地区
A: Da Minggong Cultural National Historical Park Area
A-2-1：遗址公园旧工作区
（含元殿 宣政殿 紫宸殿 区域）含元殿再构筑
A-2-1: Cultural Historical Park Old Administrative Area
(Hanyuandian • Xuanzhengdian • Zichendian Areas)
A-3；Entrance Gate & Walls Construction Areas :
• Xuanwumen
• Qingxiaomen
• Yinhanmen
A-2-2：遗址公园 旧居住区
（太液池，麟德殿 区域）
太液池的整备复活
A-2-2；Cultural Historical Park Old Residential Area
(Taiyechi-Lindedian Areas)
— Renovation of Taiyechi facilities
A-3；Entrance Gate & Walls Construction Areas :
• Danfengmen
• Wangxianmen
• Zhongzuanmen
A-1；Southern Sector: Main Park Entrance Area / Cultural Historical Park General Operations Traffic Center • Free Visitor Area / Commercial Area- Northern part of Danfengmen, Jianfumen and Wangxianmen / Entrance facilities for paid areas • Equipment Rental- Carts • Tang Dynasty-style Commercial Facilities -Da Minggong Museum, Silk Road Museum, Theater
• Modern Art Museum
• Hotel • Ceremony Hall
• Xi'an City Main Travel Information Center • Taxi parking spaces • Paid Area Entrance Facilities : Entry Gate Information-Ticket Sales, Equipment Rental Distribution-Equipment
B-2 :Northern Sector
1- Zhongxuanmen Area(Cultural Historical Park Secondary Entrance Area • Secondary Exit Area / Rental Equipment Return • Exterior Parking • Crisis Management Personnel Location Map Area-any entrance available)
Park Management Facilities • Police, Fire,
Park Management Facilities • Police, Fire, Medical and other related services
A-3；Entrance Gate & Walls Construction Areas [Zuoyintaimen]
B-3 :Western Sector
1- Youyintaimen Area (Cultural Historical Park Secondary Entrance Area • Secondary Exit Area • City Residents Strolling Center)
2- Northern Area (Pond Biotope Construction • City Residents Strolling Center)
3- Southern Area (Pond Biotope Construction • City Residents Strolling Center • Southern most area Ceremony Hall Commercial Facilities Entrance Road)
B：遗址公园外部地区
市民开放公园计画+外来者收费进入

地域计划：地域概况

Sector Plan: Outline by Area



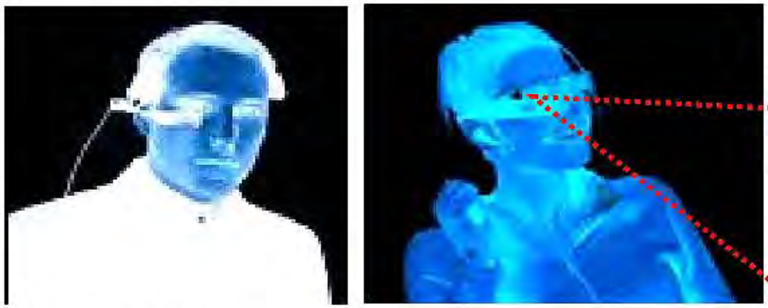



例
城市的肺--清凉岛·历史遗迹和公园共同组成的绿色森林网络
都市の肺としてのNEW YORKセントラルパーク
学习
LEARNING FROM NEW YORK CENTRAL PARK1
都市景観
丰富的都市生活
豊かな都市生活
丰富的都市演奏者
豊かな都市生活の演出者
健康

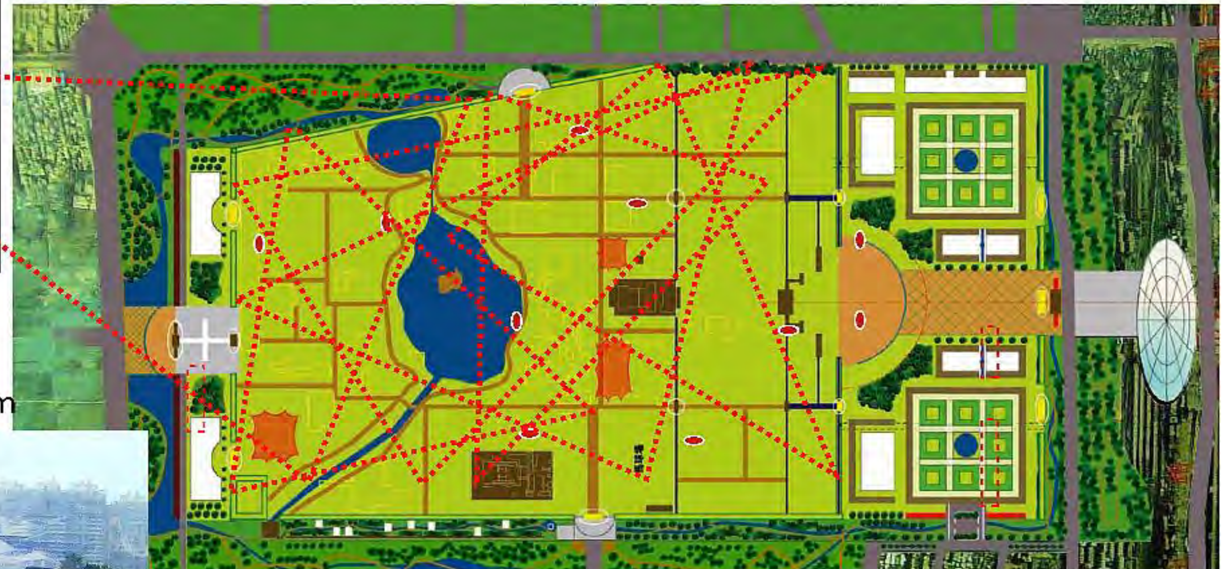
ICT – Information Communication Technology - Walk Through HiStory with 3D Wearable Glass

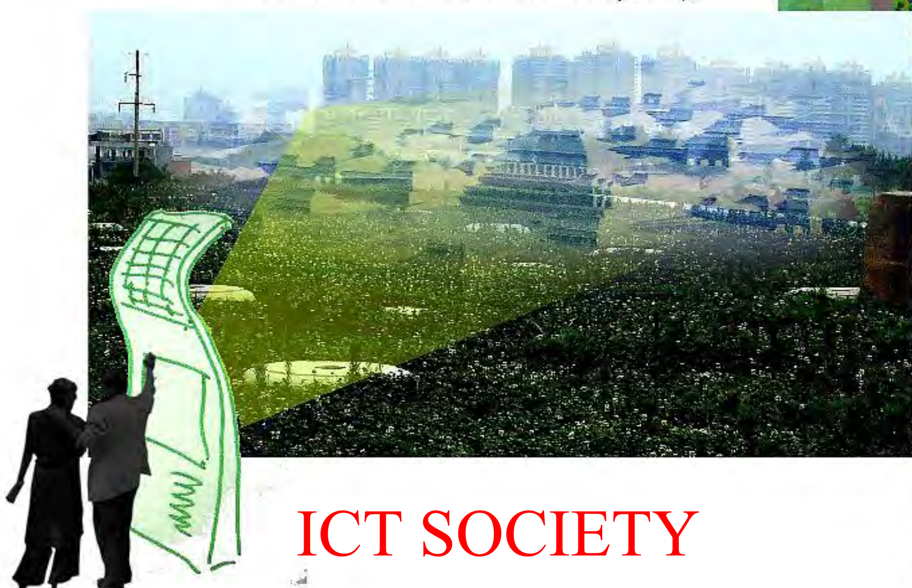
4.项目开发策划概念图解
4-3场景概念设计

4.Project Development Plan Conceptual Illustration, Commentary, Detailed Plan Explanation
4-3.Scenes concept design



Monocular
Head Mounted Display
with Global Positioning System





多媒体信息柱
MEDIA POLE

漫游唐朝
WALK THROUGH TANG DYNASTY

三维成像计画
将大明宫遗址公园内的景观设计以及各类建筑设施用三维成像技术再现。漫游将成为可能。同时通过动画展示能扩大体验。在特定区域，利用眼镜内部的3D映像，对大明宫区域的再现体验系统进行进化创造。

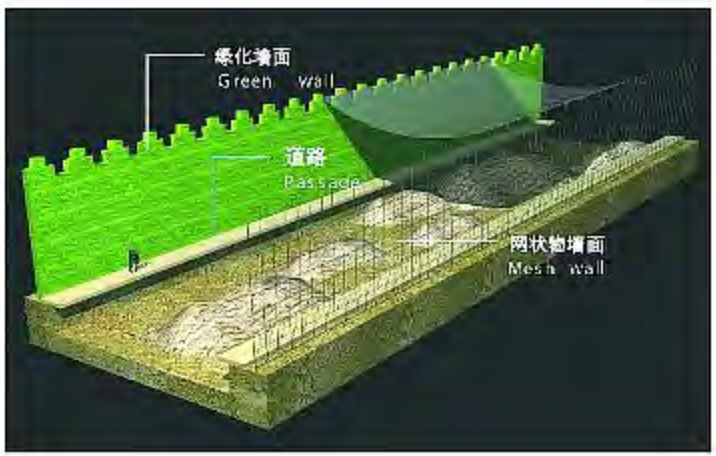
3D CAD Archive Plan
Evolutionary creation of system to reproduce and enble sensory experience of Da Minggong area through 3D images using goggles.Create 3DCAD of landscape design & architectural facilities.WALK THROUGH is available.It expands the experience by the ANIMATIONN exhibition.

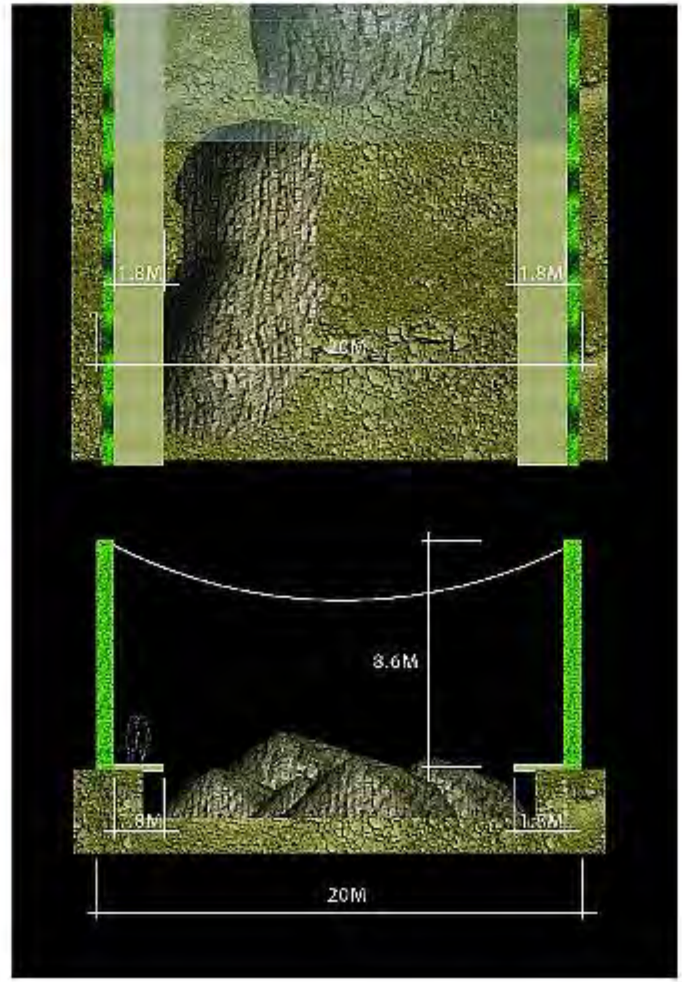
ICT SOCIETY
2007

URBANGAUSS

唐大明宫国家遗址公园策划
Pilot Plan of Da Minggong Cultural National Historical Park


遗迹墙面保存区域
Ruins wall preservation area

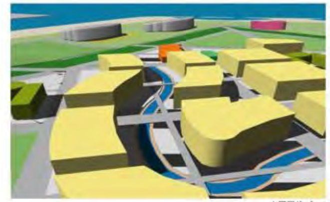

绿化墙面
Green wall
道路
Passage
网状物墙面
Mesh wall


1.8M
1.8M
20M
8.6M
1.8M
1.8M
20M

夢洲　プロジェクト

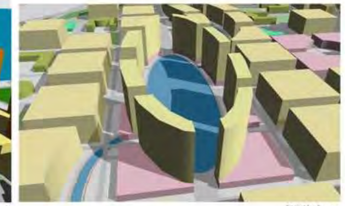
YUMESIMA URBAN SEA RESORT TOWN PROJECT
(2001 OSAKA BAY)

広域図



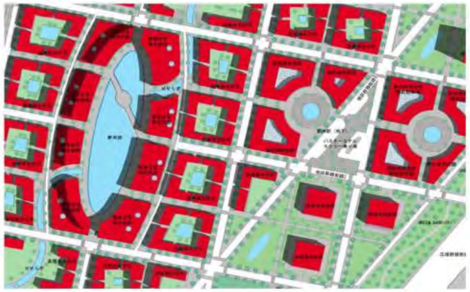
中層居住ゾーン

SOHO型住居ゾーン



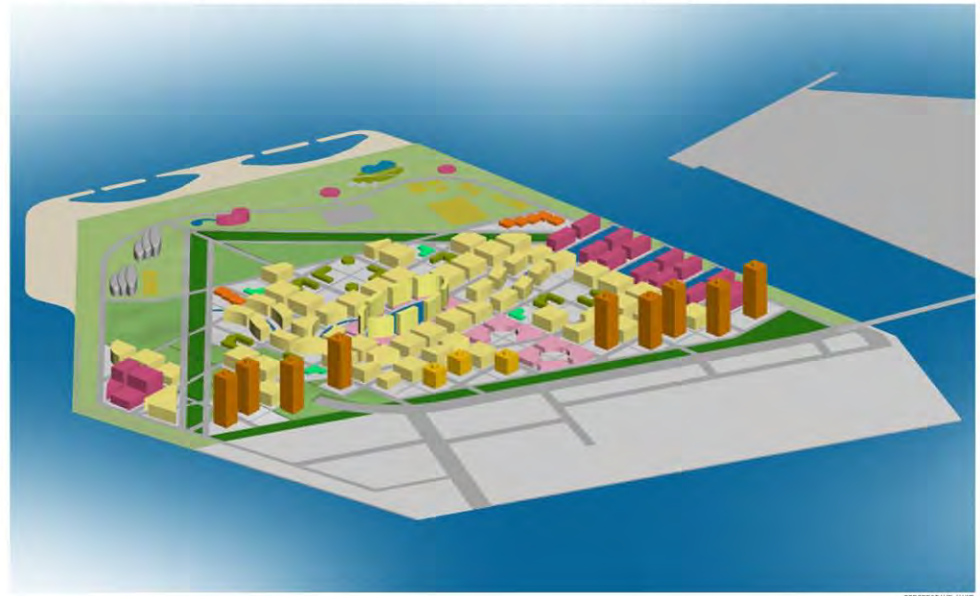
都市核ゾーン

夢洲·ゆめしまは大阪市の西端にあたる大阪湾上の埋立地である。ウォーターフロントとしての夢洲が持つ潜在的可能性を引き出し、人が住み、働き、遊べる街とすることを提言。8つの理念：市民・文化・福祉・地域環境・地球環境・危機管理・情報管理・財政の理念を体現する都市を考察。大阪市を大阪湾に開放する"3RD PLACE"="第３の場所"である海浜拠点として“アーバン シー リゾート タウン”の構築を提案する。コンテナ基地である流通拠点機能を内包しつつ豊な都市生活の構築をオアシスとしてのアメリカ西海岸型の都市形成に求めた。



PLANNING IMAGE

土地利用計画図

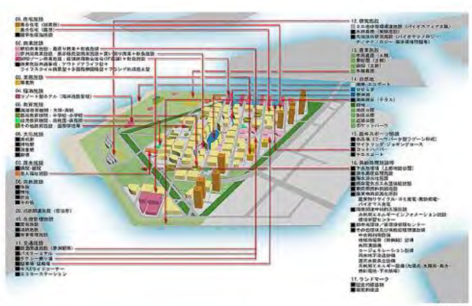


PERSPECTIVE VIWE

MODEL

交通ネットワーク図

環境共生都市提案

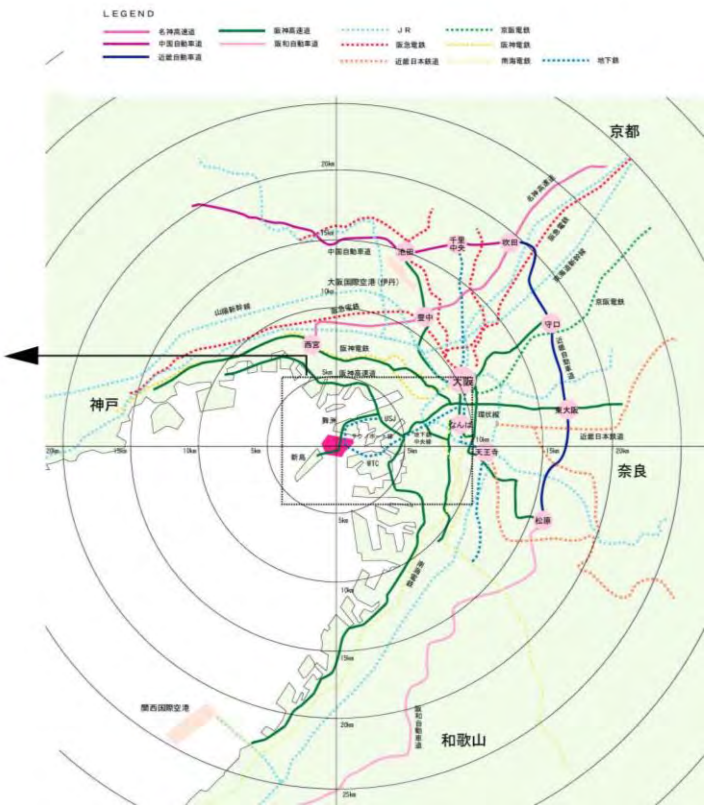


都市施設

URBAN SEA RESORT IMAGE PHOTO

ALTERNATIVE PLAN

中域図
S=1/75,000
N



夢洲 YUMESHIMA-ISLAND OSAKA JAPAN

URBAN SEA RESORT PROJECT 2001

N
S=1/200,000

10.YUMESHIMA-ISLAND URBAN SEA RESORT PROJECT.

↑北野·六甲阪神間居住地を望む

↑夢洲ー舞島

↑南港を望む

↑舞島ー夢洲間の幹線街路「夢舞大橋」

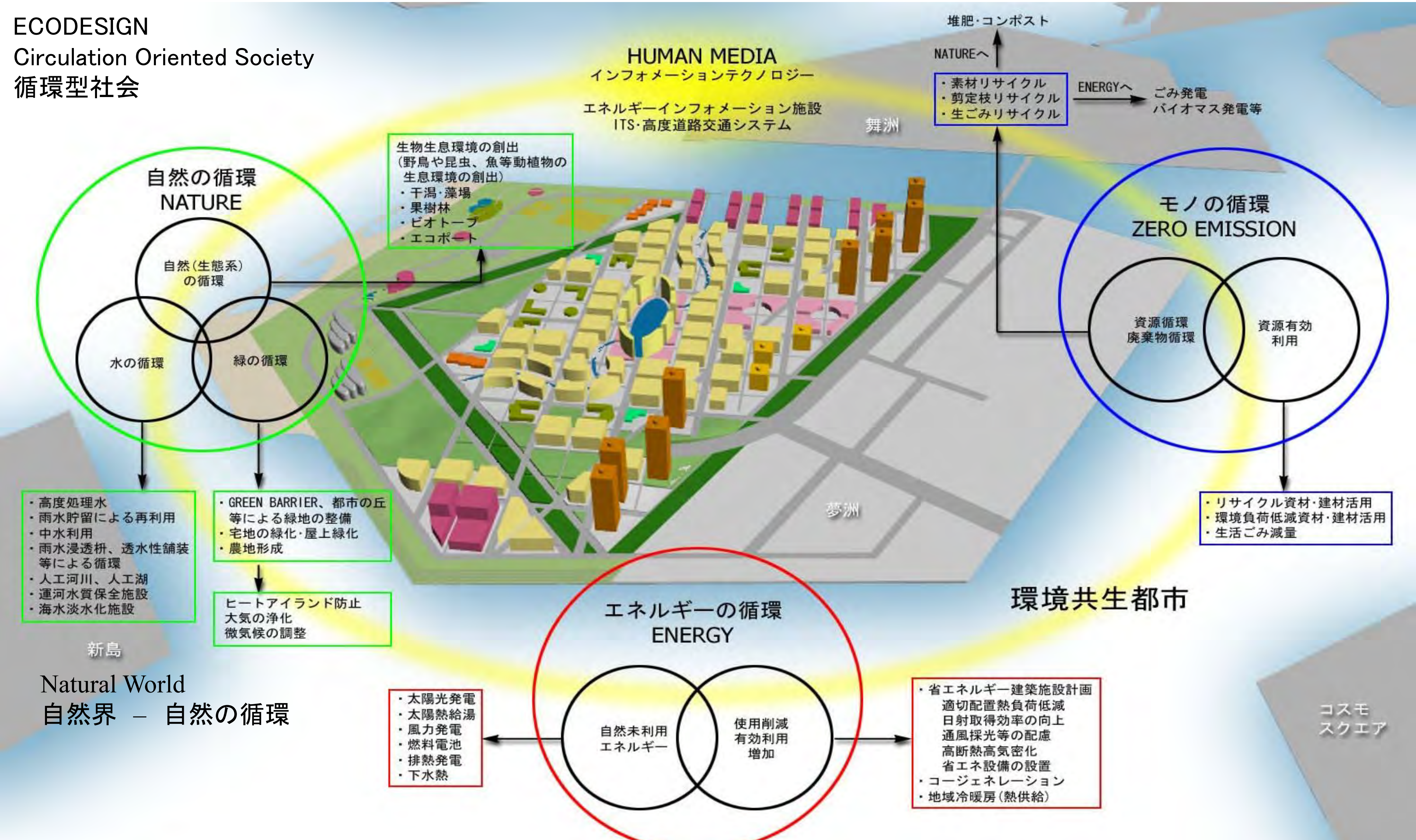
↑舞島の西端部を望む

↑コスモスクエアを望む

N

s=1/300,000

YUMESHIMA – OSAKA BAY – URBAN SEA RESORT PROJECT 2001
夢洲 ー 大阪湾 都市型海域リゾートPROJECT 2001



Artificial World – Energy Zero Emission 人工界 – エネルギーの循環 モノの循環

9. 都市施設

01. 住宅施設
- 集合住宅（超高層）
- 集合住宅（高層）
- 留学生宿泊施設

02. 商業施設
- 駅前商業施設：最寄り商業＋飲食施設
- 夢洲湖商業施設：展示販売型商業施設＋買い回り商業＋飲食施設
- SOHOゾーン商業施設：店舗併用集合住宅(1F店舗)＋飲食施設
- 商業施設共通事項：アウトドアライフ型＋ライフスタイル構築型＋多国籍無国籍型＋ブランド形成途上型

03. 業務施設
- 事業所

04. 宿泊施設
- リゾート型ホテル（海浜施設管理）

05. 教育施設
- 高等教育機関：大学・高校
- 義務教育機関：中学校・小学校
- 幼児教育機関：幼稚園・保育所
- その他教育施設：国際学校等

06. 文化施設
- 美術館
- 博物館
- 図書館
- 劇場

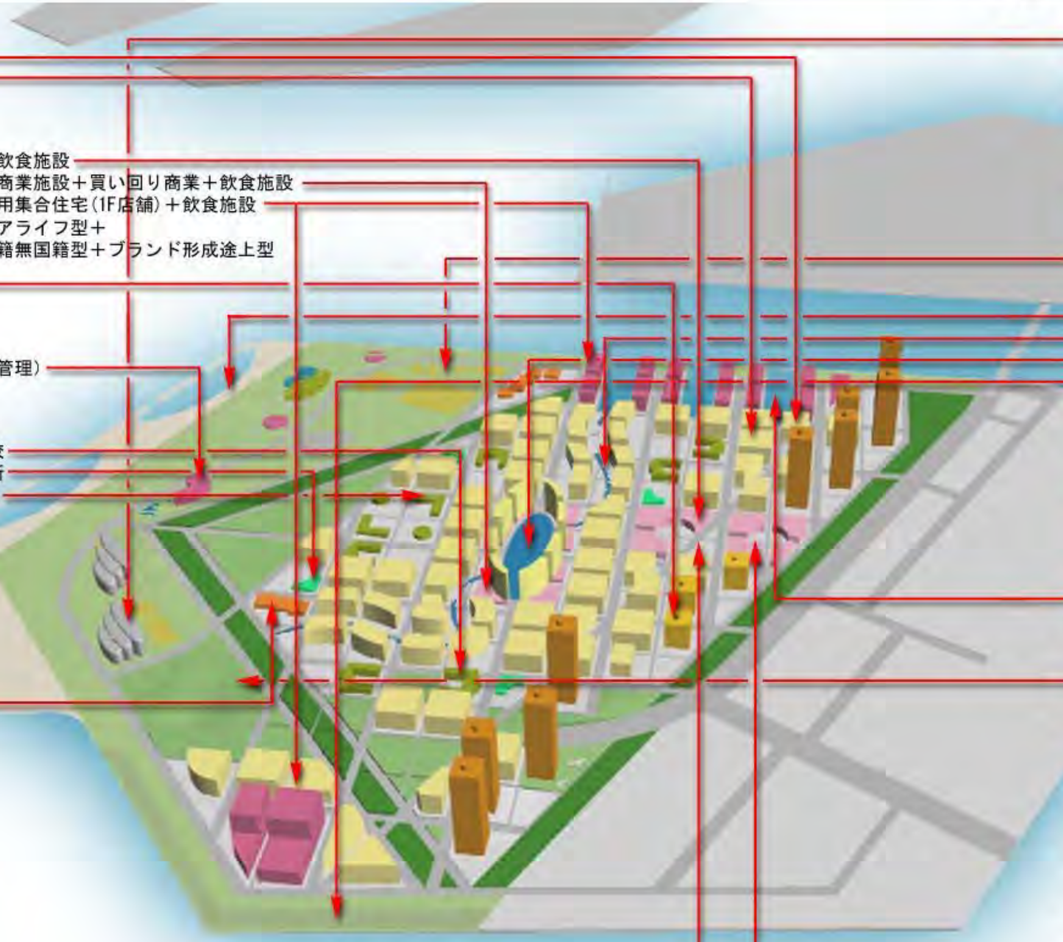
07. 厚生施設
- 病院・医院
- 老人福祉施設

08. 宗教施設
- 寺院
- 神社
- 教会
- その他

09. 行政関連施設（官公庁）

10. 危機管理施設
- 警察施設
- 消防施設
- 有事管理施設

11. 交通施設
- 鉄道関連施設（夢洲駅等）
- バスターミナル
- タクシー乗り場
- 駐車場・駐輪場
- キス&ライドコーナー
- エコカーステーション



12. 研究施設
- ミニ地球循環環境施設（バイオスフィア大阪）
- 水耕農園（実験施設）
- 先端技術研究施設（バイオテクノロジー・ナノテクノロジー・海洋環境問題等）

13. 農業施設
- 市民農園（土耕）
- 果樹園（土耕）
- 田畑（土耕）
- 水耕農園

14. 自然地
- 海岸・エコポート
- せせらぎ
- 夢洲湖
- 海岸段丘（テラス）
- 緑地
- 地区公園
- 街区公園
- 近隣公園
- ポケットパーク

15. 屋外スポーツ施設
- 水泳場（テーマパーク型ラグーン形式）
- サイクリング・ジョギングコース
- ヨットハーバー
- テニスコート

16. 供給処理施設等
- 下水処理場（上部地区公園）
- 排水高度処理施設
- 海水淡水化施設
- 既存電気ガス水道供給施設
- 車両用燃料供給施設
- 廃棄物再資源化施設
  - 廃棄物リサイクル・ゴミ発電・廃熱発電・バイオマス発電
- 環境関連中核的支援施設
  - 未利用エネルギーインフォメーション施設
  - 環境学習センター
- 都市光環境／音環境管理センター
- その他環境及び供給処理関連設備
  - 中水再利用設備
  - 地域冷暖房（熱供給）設備
  - 共同溝設備
  - コージェネレーション設備
  - 雨水地下浸透設備
  - 運河水質保全設備
  - 未利用エネルギー設備（太陽光・太陽熱・風力・燃料電池・下水熱等）

17. ランドマーク
- 歴史的建造物
- 視覚的建造

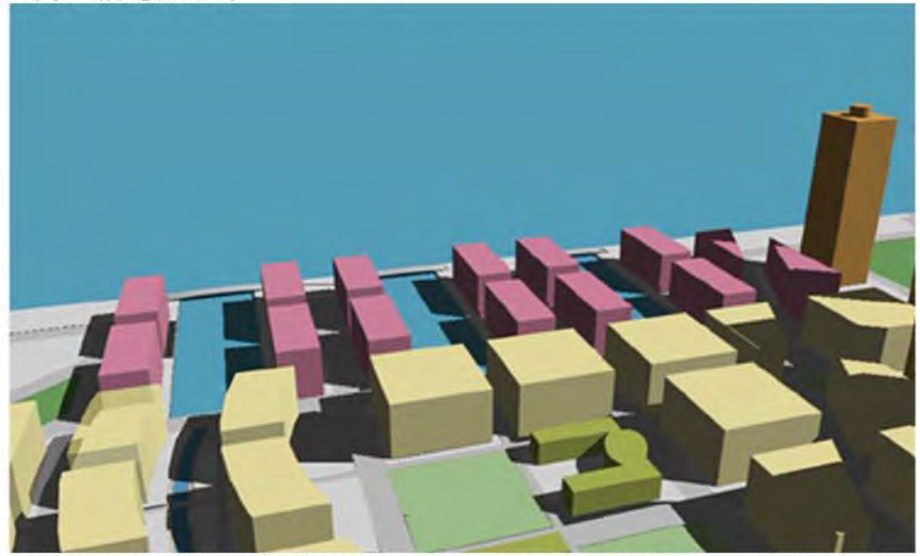
6. ゾーニング図（各ゾーンイメージ図ー1）

1）居住系区画

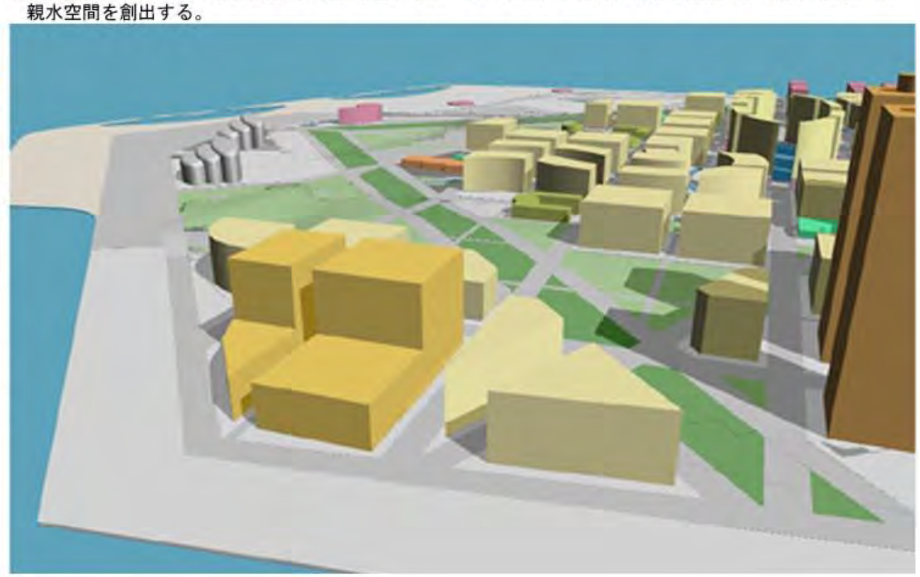
①超高層住居ゾーン 1：夢洲北東に位置する、地上55階建の超高層集合住宅ゾーン。5棟の超高層住宅が並ぶ。奥に見えているのはヨットハーバーとSOHO型集合住宅。

②超高層住居ゾーン 2：夢洲南東に位置する、地上55階建の超高層集合住宅ゾーン。4棟の超高層住宅が建ち並ぶ。GREEN BARRIER、都市の丘等の緑地に囲まれた立地である。

③SOHO型住居ゾーン1：SOHO型集合住宅を設置。舞島-夢洲間の安全な運河にヨットハーバーを隣接させ、両島の一体性を演出する。



④SOHO型住居ゾーン2：SOHO型集合住宅を配置。ウォーターフロントに海岸段丘を設置し、生活に密着した親水空間を創出する。



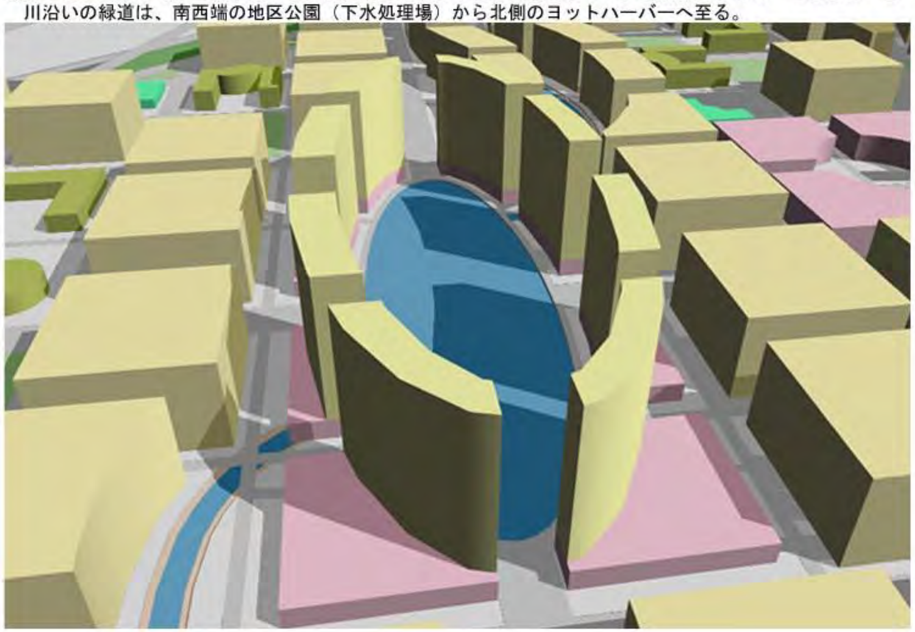
6. ゾーニング図（各ゾーンイメージ図ー2）

1) 居住系区画

⑤都市核ゾーン1：夢洲駅を中心とした、第一の都市核ゾーン。商業施設の他に、医院、クリニック、集会施設、駐車・駐輪施設を設ける。

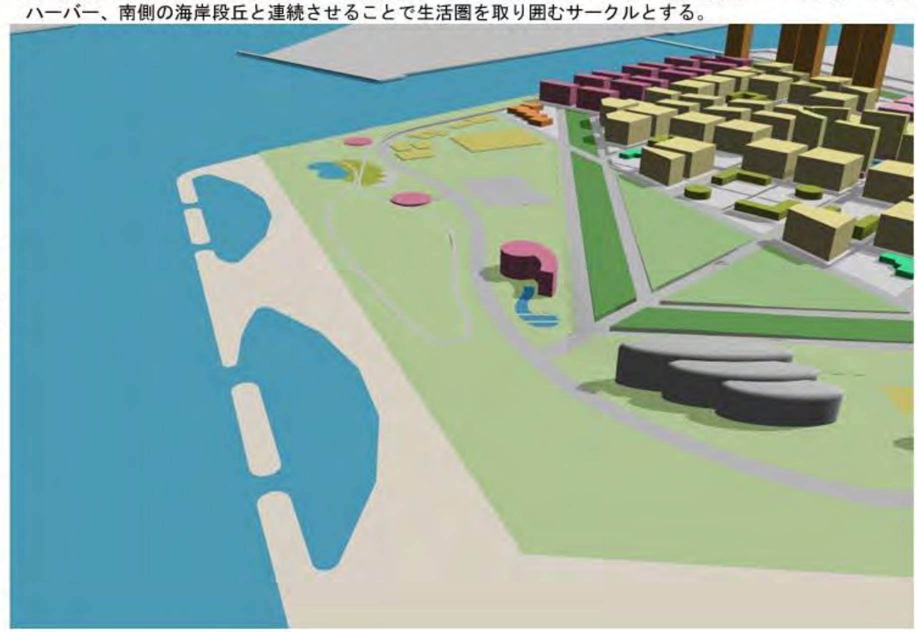
⑤高層業務ゾーン：都市核ゾーン1に隣接して高層業務施設を整備する。
下図右奥が夢洲駅前商業ゾーン。

⑥都市核ゾーン2：第2の都市核となる夢洲湖を中心とした住商複合ゾーン。夢洲湖にそそぐ“せせらぎ”と川沿いの緑道は、南西端の地区公園（下水処理場）から北側のヨットハーバーへ至る。



2) 海浜リゾート区画

人工海浜（エコポート）等のリゾート資源を生かした自然とリゾートのゾーン。住居ゾーンの北側のヨットハーバー、南側の海岸段丘と連続させることで生活圏を取り囲むサークルとする。



13. URBAN SEA RESORT IMAGE PHOTO (3rd PLACE, OASIS OF OSAKA)


海岸段丘 イメージ (Battery Park, New York)


SOHO型商業住宅複合施設 イメージ (Boston)


ヨットライフ イメージ (San Diego)


ラグーン イメージ (Bali)


夢洲・舞洲 イメージ (San Diego)


SEA TERRACE イメージ (Baltimore)


夢洲湖イメージ (Central Park, New York)


地区公園（排水高度処理施設上部）イメージ (Chicago)


リゾートホテル イメージ (Disney World, Florida)


護岸 イメージ (San Diego)

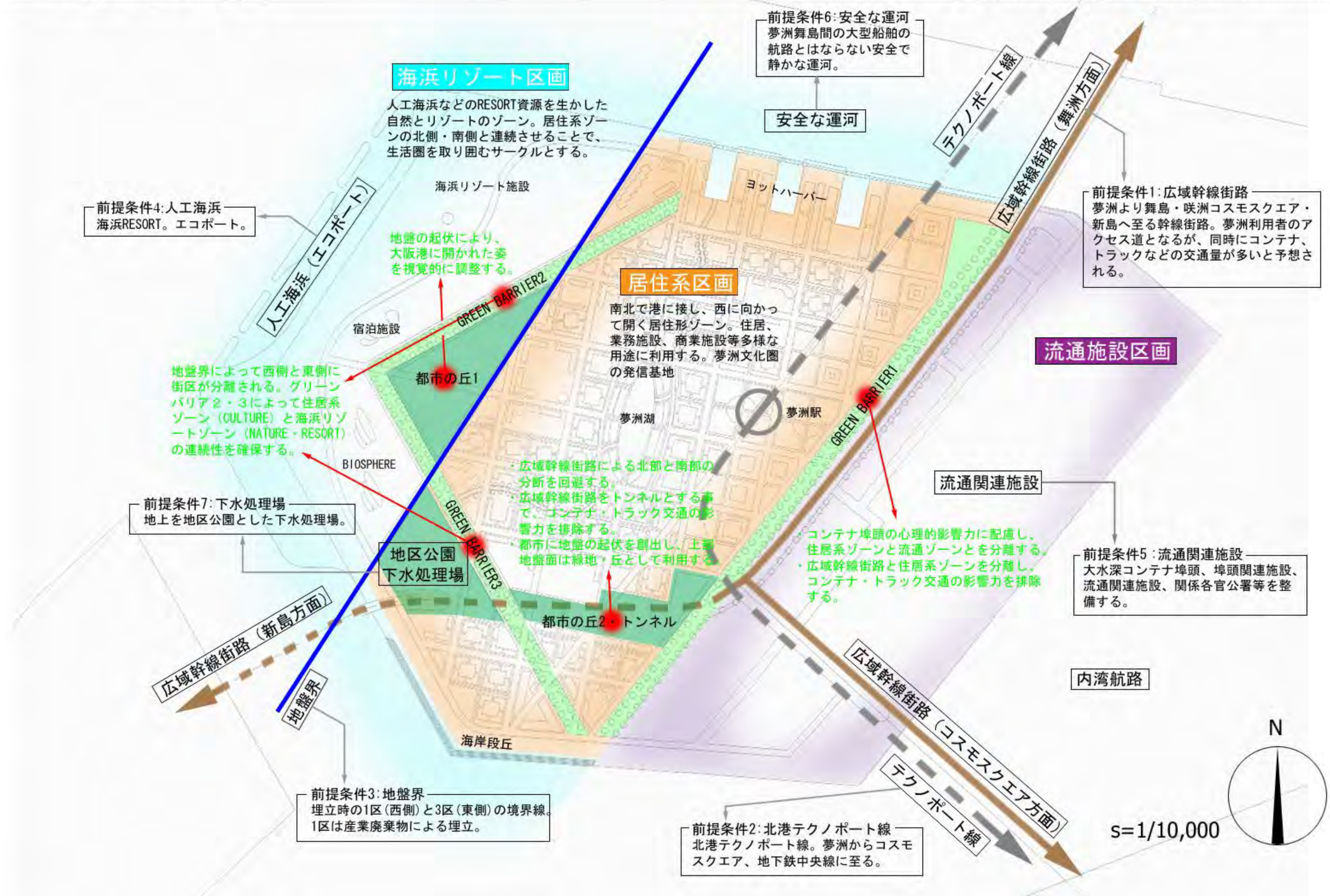

ラグーン イメージ (Bali)


エコポート・
ヨットハーバー周辺商業施設 イメージ (San Diego)

8. 土地利用計画図

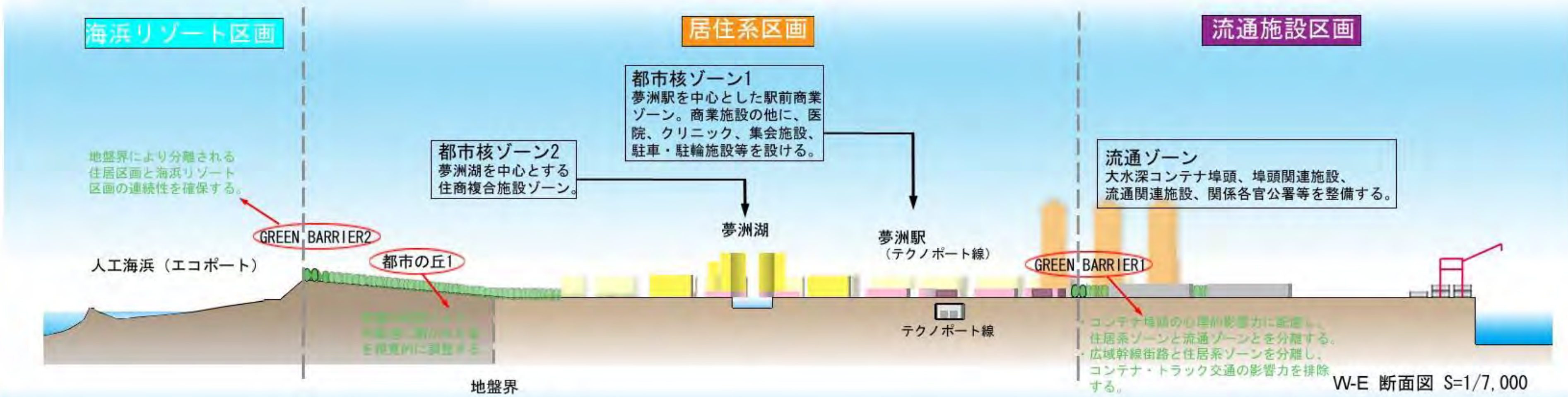
農業施設
福祉施設
海浜リゾート施設
人工海浜
（エコポート）
商業住宅
複合施設
住宅
超高層住宅
消防署等、
関連流通施設
保・幼
中学校
宿泊施設
小学校
流通関連施設
国際学校
商業施設
コンテナ埠頭
バス
ターミナル
環境関連
教育・研修施設
高層業務施設
地区公園
（下水処理）
S=1/10,000
N


テクノポート線
広域幹線街路（舞洲方面）
200m
100 100
ヨットハーバー
海浜リゾート施設
人工海浜（エコポート）
GREEN BARRIER2
宿泊施設
地区幹線街路1
GREEN BARRIER1
都市の丘1
地区幹線街路2
夢洲湖
夢洲駅
BIOSPHERE
GREEN BARRIER3
地区幹線街路3
地区公園
下水処理場
都市の丘2・トンネル
広域幹線街路（新島方面）
地盤界
SEA TERRACE
広域幹線街路（コスモスクエア方面）
テクノポート線
:広域幹線街路
舞島、コスモスクエアを経由して夢洲と大阪市内を結ぶ主要街路。コンテナ・トラック・一般車両等の動線となる。島内居住系ゾーンに侵入する一般車両は地区幹線街路１へ進入。その他の車両動線と分離する。
:地区幹線街路
1. 地下鉄テクノポート線の上部を利用。NEWYORKのブロードウェイにあたる対角線方向の基軸
2. 東西軸。夢洲駅より海浜リゾートに向かう。
3. 南北軸。南北の海を結ぶ親水都市景観の構成を探る。
:外周道路
歩行者・自転車・車が走行できる外周道路。SEA RESORTを満喫する。
:生活幹線街路
200m×200mの街区を形成。
街路幅員20m（車道12m、歩道 8m）
:歩行者自転車専用街路
200m街区の中心に設置。車では利用しない。川沿い歩行者路（RIVER WALK）も含む。
:交通広場
BUS、TAXIのロータリーなど。
:駐車・駐輪施設
駅前駐車場、駐輪場。
N
s=1/10,000

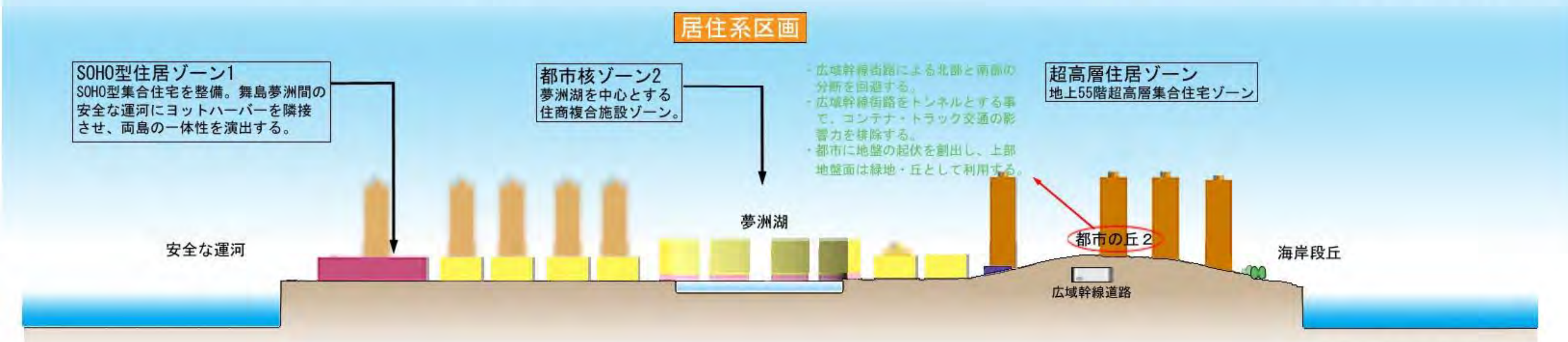

前提条件6:安全な運河
夢洲舞島間の大型船舶の航路とはならない安全で静かな運河。
安全な運河
海浜リゾート区画
人工海浜などのRESORT資源を生かした自然とリゾートのゾーン。居住系ゾーンの北側・南側と連続させることで、生活圏を取り囲むサークルとする。
海浜リゾート施設
ヨットハーバー
テクノポート線
広域幹線街路（舞洲方面）
前提条件1:広域幹線街路
夢洲より舞島・咲洲コスモスクエア・新島へ至る幹線街路。夢洲利用者のアクセス道となるが、同時にコンテナ、トラックなどの交通量が多いと予想される。
前提条件4:人工海浜
海浜RESORT。エコポート。
人工海浜（エコポート）
地盤の起伏により、大阪港に開かれた姿を視覚的に調整する。
居住系区画
南北で港に接し、西に向かって開く居住形ゾーン。住居、業務施設、商業施設等多様な用途に利用する。夢洲文化圏の発信基地
GREEN BARRIER2
宿泊施設
流通施設区画
地盤界によって西側と東側に街区が分離される。グリーンバリア２・３によって住居系ゾーン（CULTURE）と海浜リゾートゾーン（NATURE・RESORT）の連続性を確保する。
都市の丘1
夢洲湖
夢洲駅
GREEN BARRIER1
BIOSPHERE
・広域幹線街路による北部と南部の分断を回避する。
・広域幹線街路をトンネルとする事で、コンテナ・トラック交通の影響力を排除する。
・都市に地盤の起伏を創出し、上部地盤面は緑地・丘として利用する。
流通関連施設
前提条件7:下水処理場
地上を地区公園とした下水処理場。
GREEN BARRIER3
地区公園
下水処理場
・コンテナ埠頭の心理的影響力に配慮し、住居系ゾーンと流通ゾーンとを分離する。
・広域幹線街路と住居系ゾーンを分離し、コンテナ・トラック交通の影響力を排除する。
前提条件5:流通関連施設
大水深コンテナ埠頭、埠頭関連施設、流通関連施設、関係各官公署等を整備する。
都市の丘2・トンネル
広域幹線街路（新島方面）
広域幹線街路（コスモスクエア方面）
内湾航路
地盤界
海岸段丘
N
s=1/10,000
前提条件3:地盤界
埋立時の1区(西側)と3区(東側)の境界線。1区は産業廃棄物による埋立。
テクノポート線
前提条件2:北港テクノポート線
北港テクノポート線。夢洲からコスモスクエア、地下鉄中央線に至る。

AXIS1:広域幹線街路と平行して走る島内交通網の主要軸
AXIS2:主要3ゾーンを東西に貫く軸
AXIS3:居住系ゾーンを南北に貫く軸

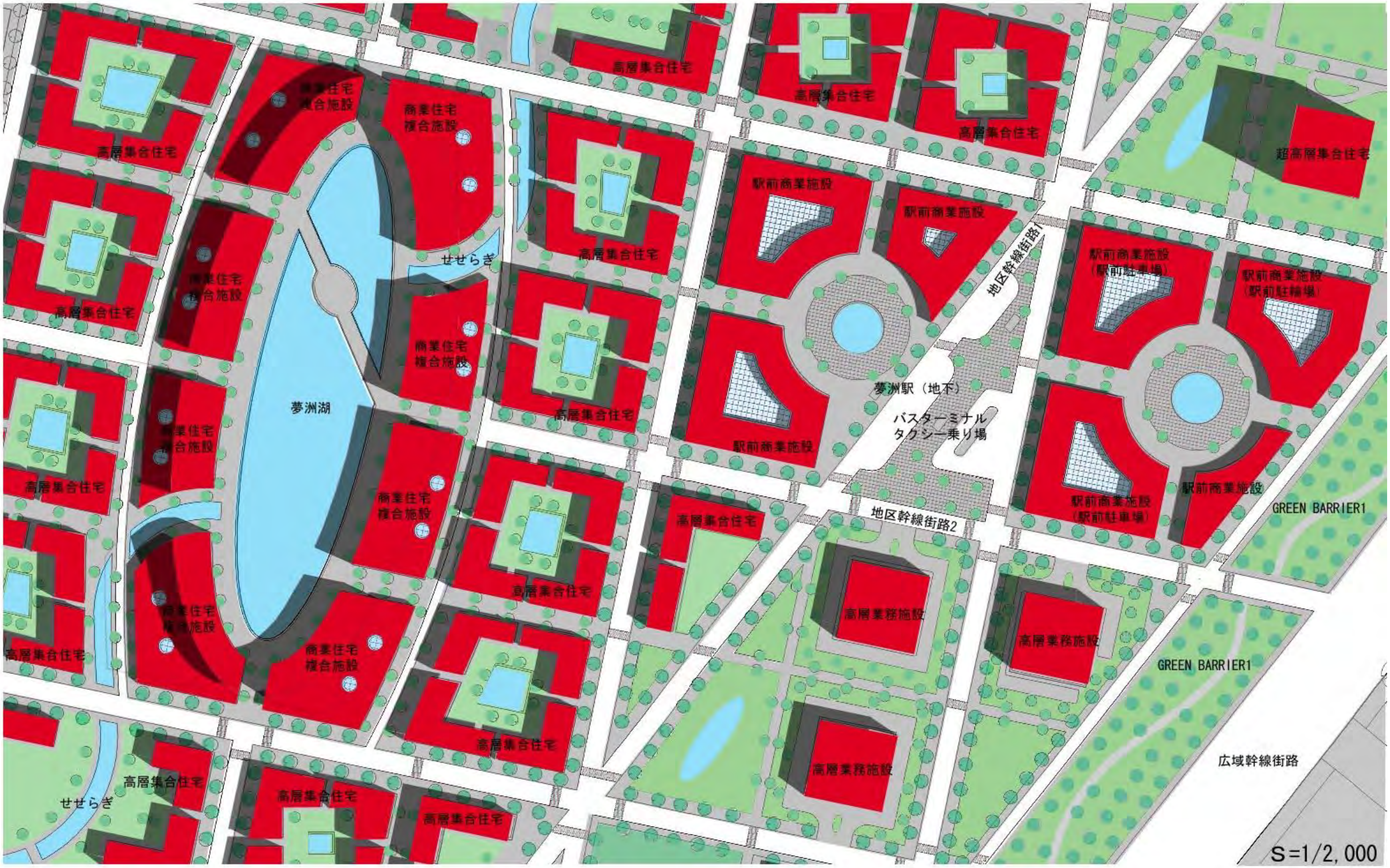
5. ゾーニング図(断面図)



W-E 断面図 S=1/7,000

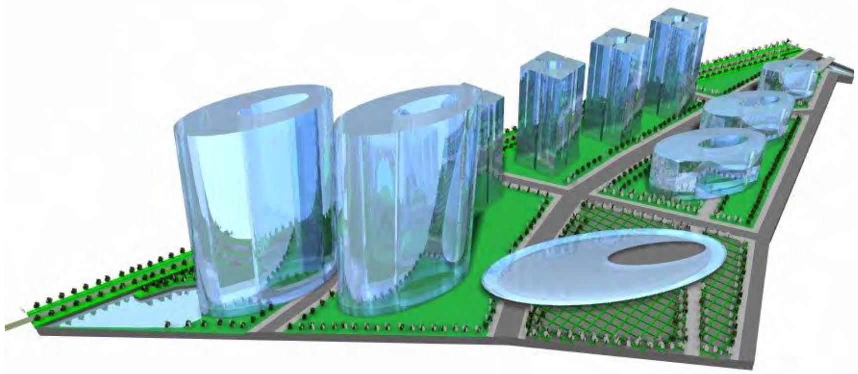


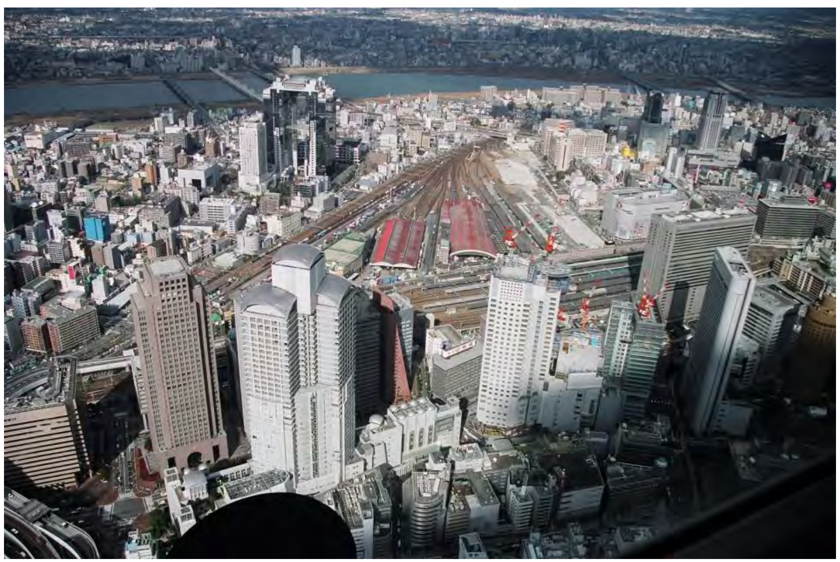
N-S 断面図 S=1/7,000

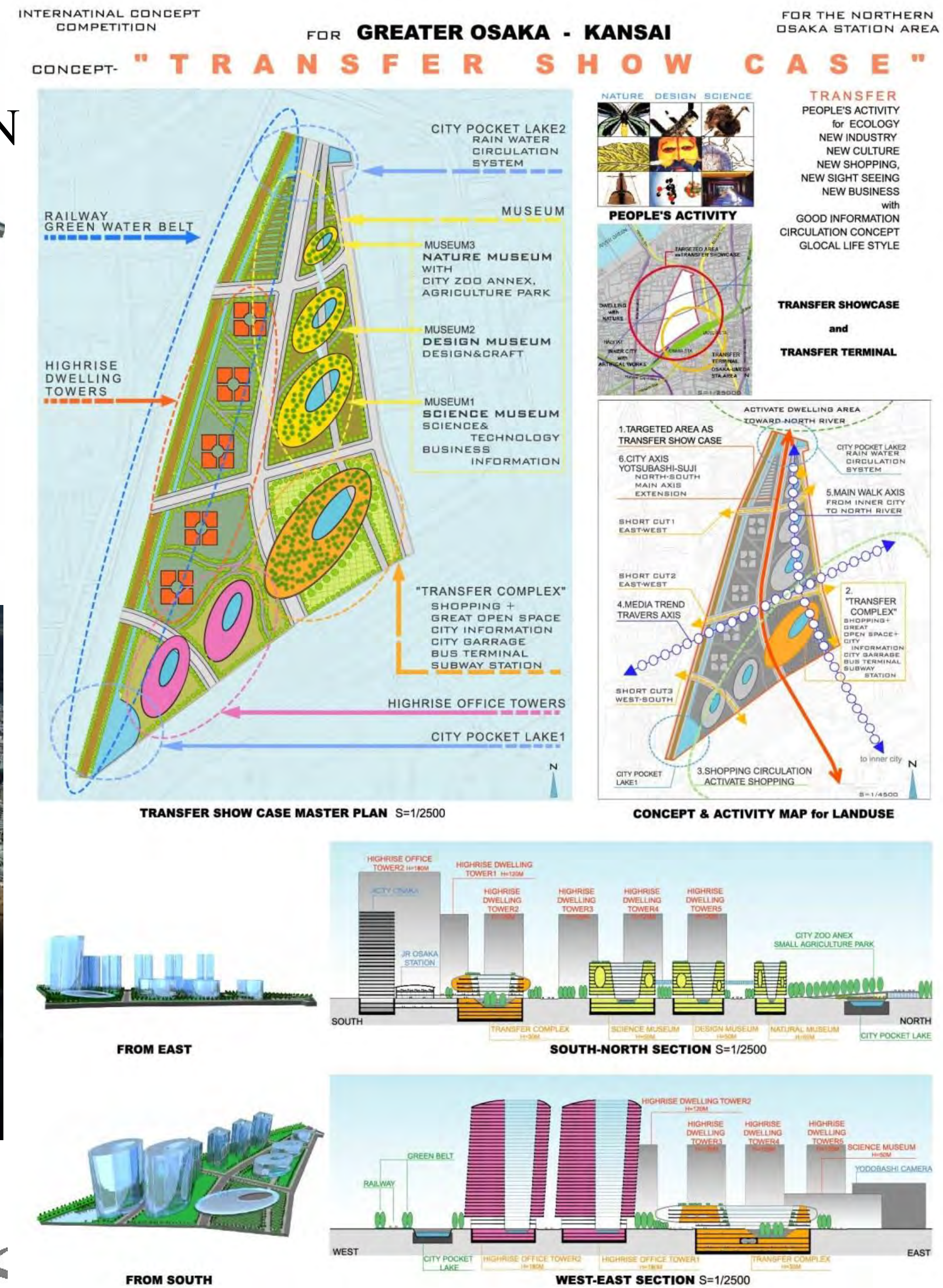

高層集合住宅
商業住宅
複合施設
超高層集合住宅
駅前商業施設
駅前商業施設
(駅前駐車場)
駅前商業施設
(駅前駐輪場)
せせらぎ
地区幹線街路1
夢洲駅（地下）
バスターミナル
タクシー乗り場
夢洲湖
地区幹線街路2
GREEN BARRIER1
高層業務施設
広域幹線街路
S=1/2,000

TRANSFER SHOW CASE

-NORTH YARD OF OSAKA STATION







1. TRANSFER SHOW CASE -NORTH YARD OF OSAKA STATION JAPAN

TRANSFER PEOPLE'S ACTIVITY

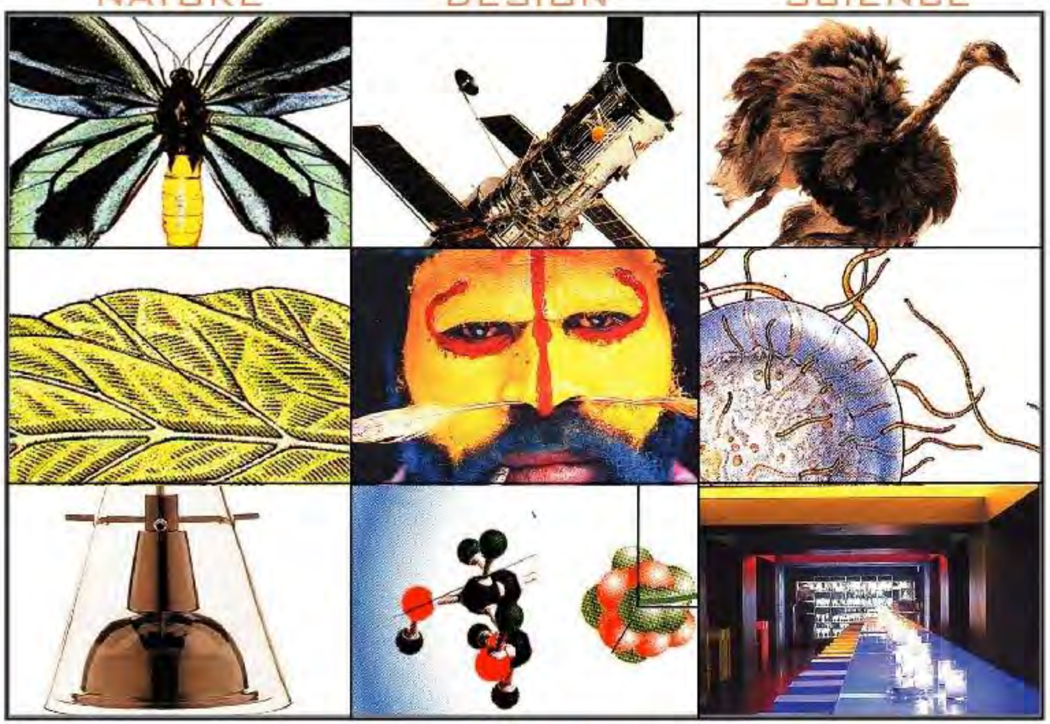
for

ECOLOGY ,NEW INDUSTRY ,NEW CULTURE,
NEW SHOPPING ,NEW SIGHT SEEING,
NEW BUSINESS

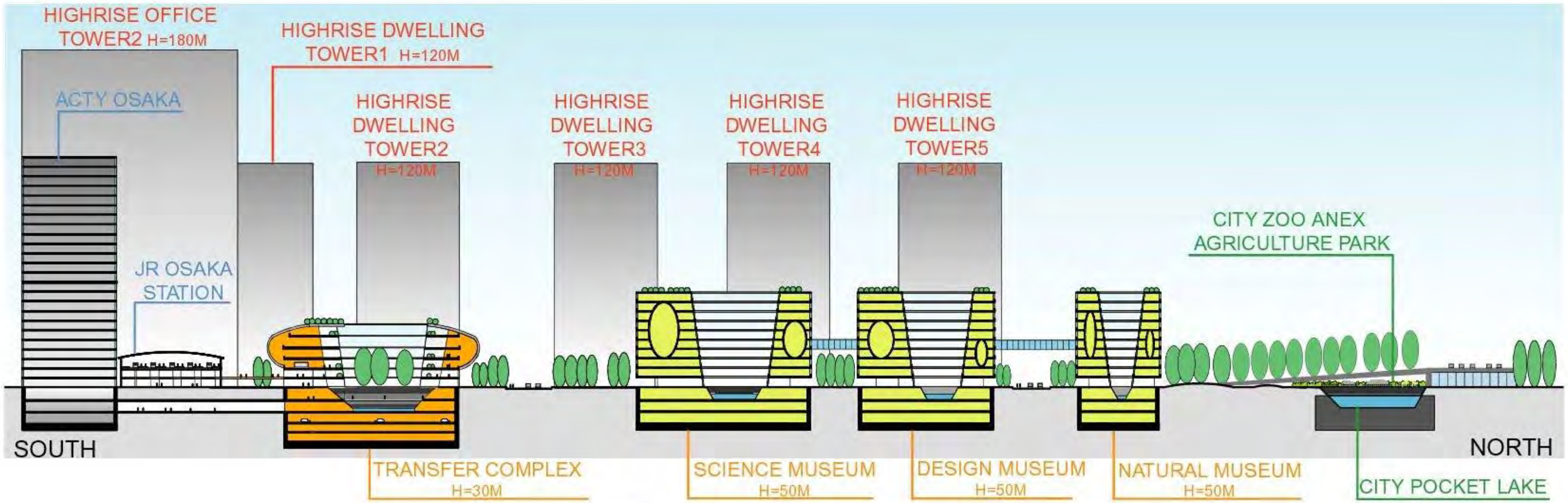
with

GOOD INFORMATION,
CIRCULATION CONCEPT,
GLOCAL LIFE STYLE

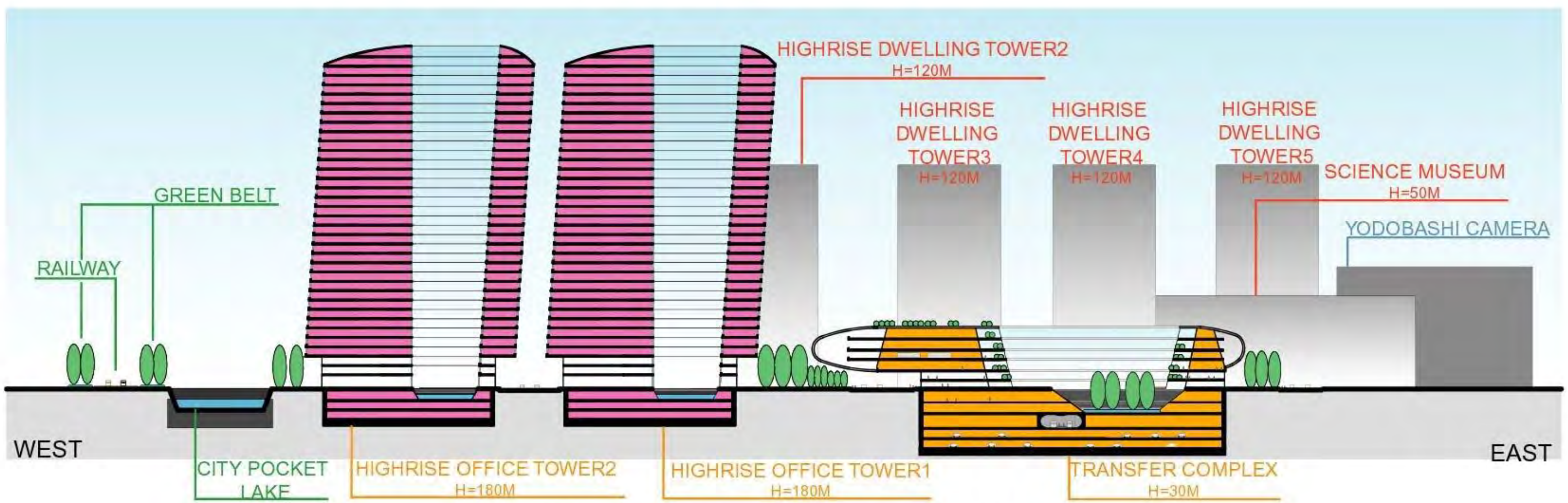
NATURE DESIGN SCIENCE



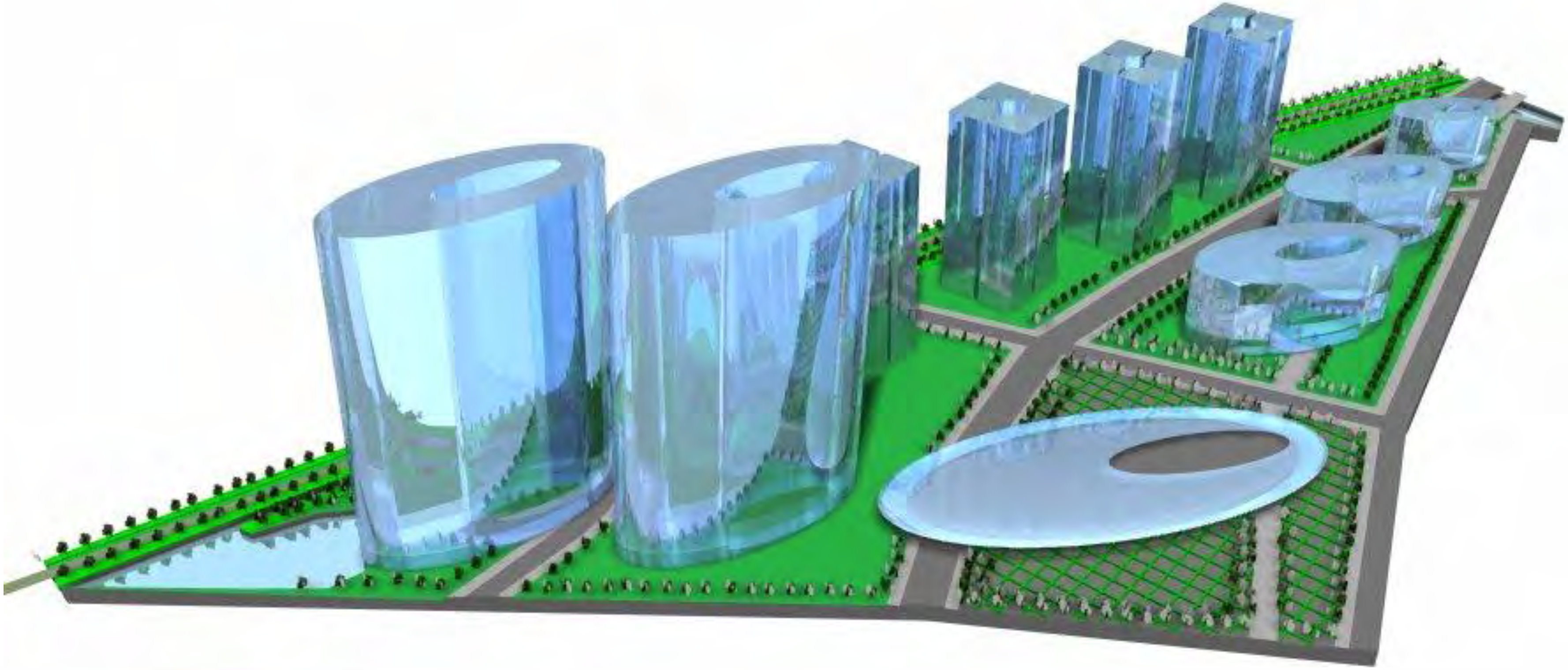
PEOPLE'S ACTIVITY

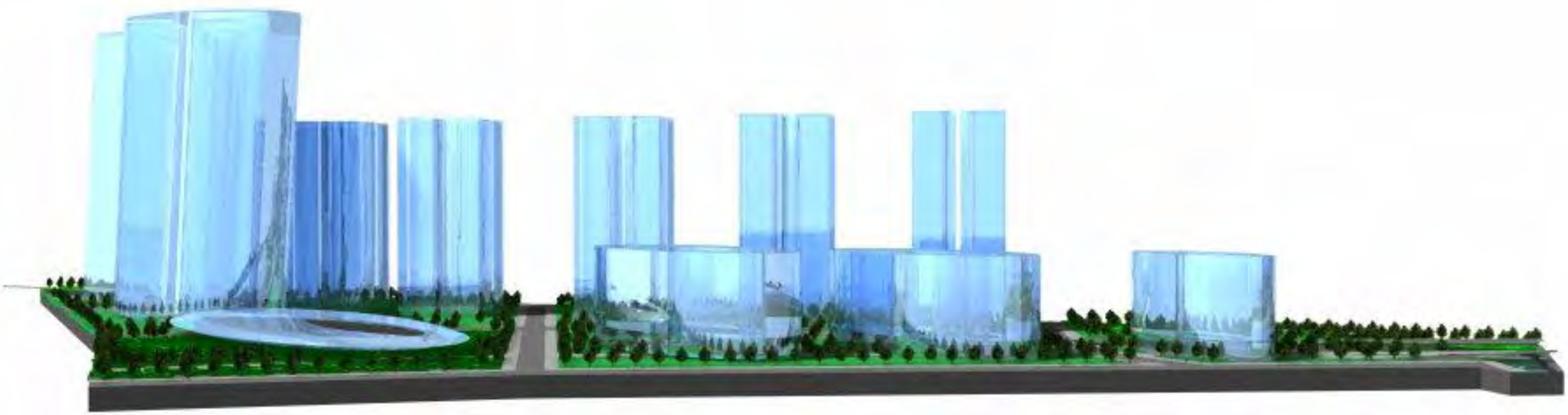


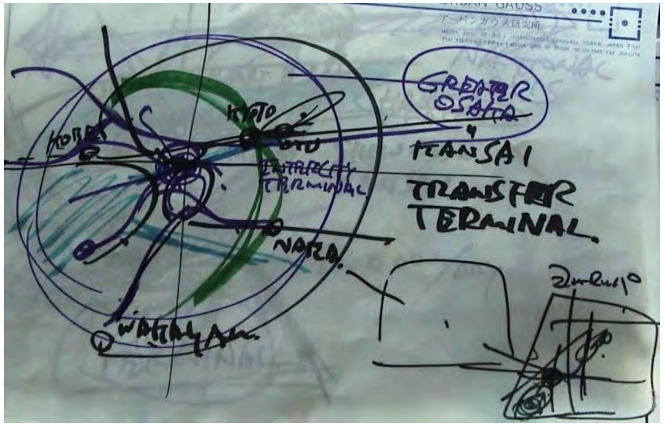
SOUTH-NORTH SECTION S=1/6000

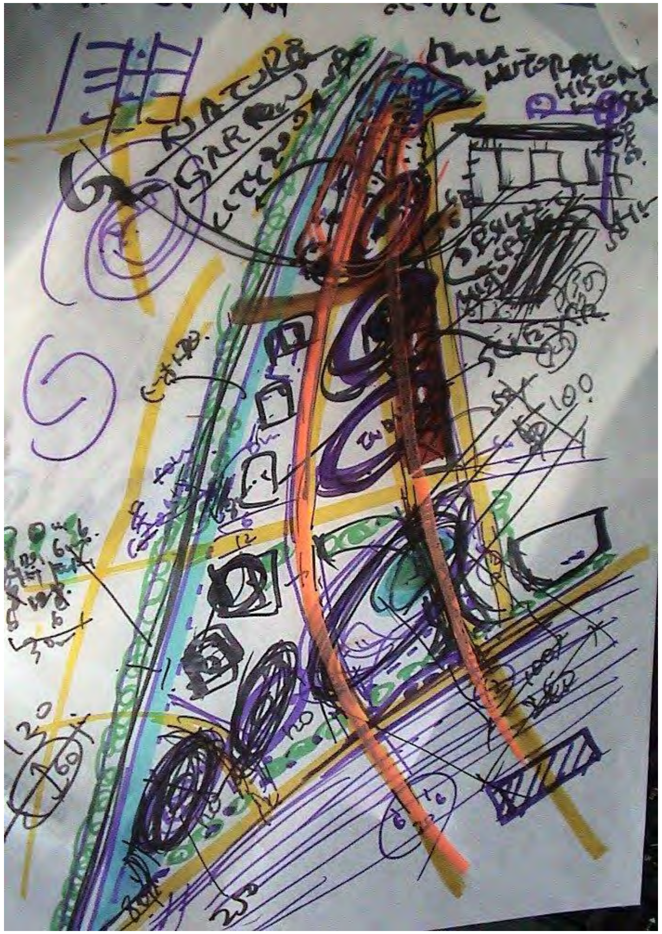


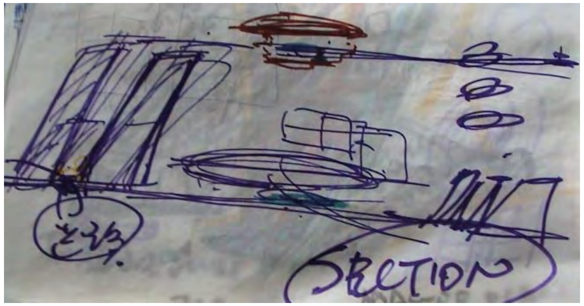
WEST-EAST SECTION S=1/6000





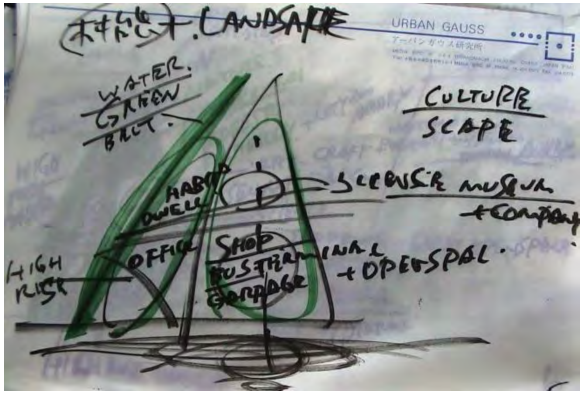

URBAN GAUSS
GREATER OSAKA
KANSAI
TRANSFER TERMINAL
KOBE
KYOTO
NARA
WAKAYAMA

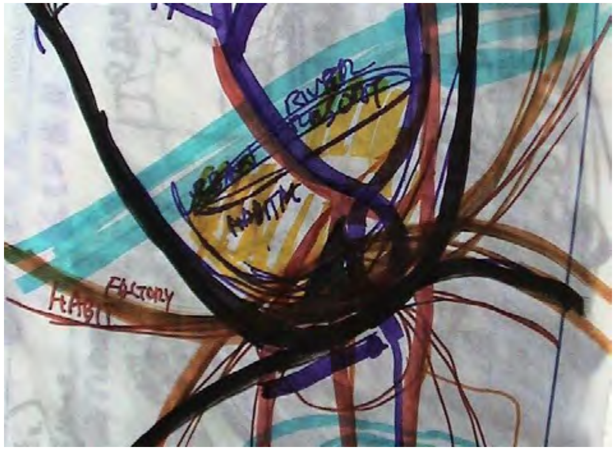

NATURE
NATURAL HISTORY


SECTION


URBAN GAUSS
WATER
RIVER
EDUCATION
TRANSFER TERMINAL
SHOPPING CIRCLE
DEPT

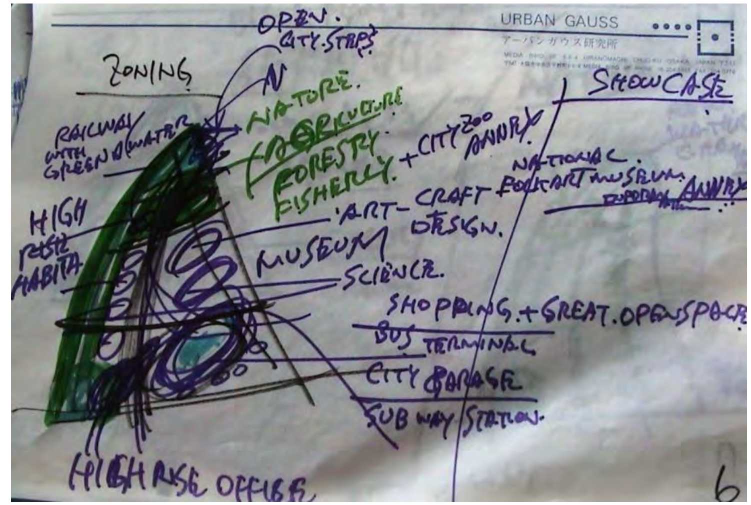

URBAN GAUSS
NATIONAL AXIS
HABIT FACTORY
SHOWCASE KANSAI
INTER CITY TERMINAL


URBAN GAUSS
LANDSCAPE
WATER GREEN BELT
CULTURE SCAPE
HIGH RISE
OFFICE
SHOP
BUS TERMINAL
+OPEN SPACE

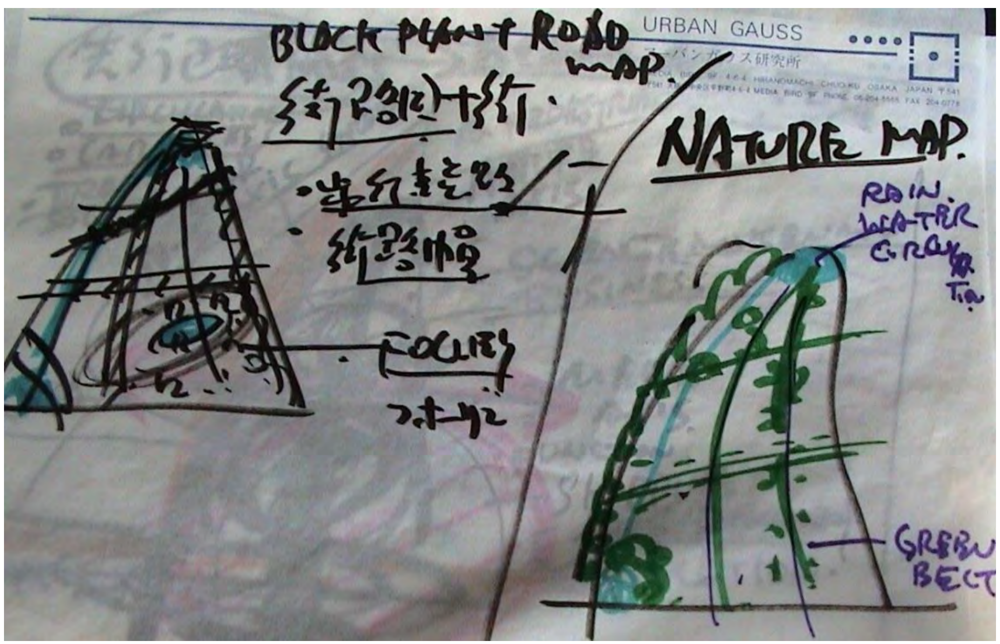

RIVER
FACTORY

CITY ZOO ANNEX

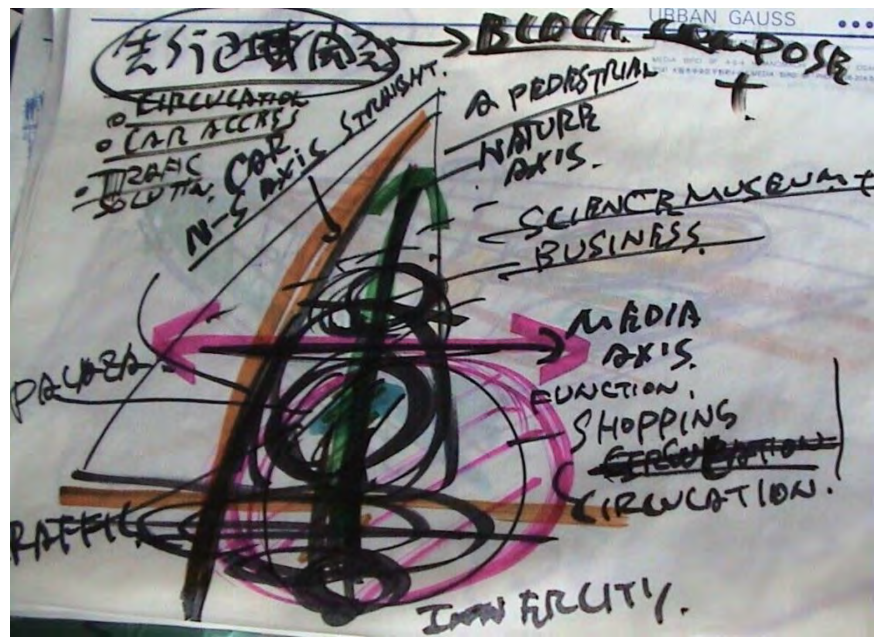
ART



URBAN GAUSS
アーバンガウス研究所
ZONING
OPEN CITY STEPS
N
NATURE
AGRICULTURE
FORESTRY
FISHERY
+ CITY ZOO ANNEX
RAILWAY WITH GREEN & WATER
HIGH RISE HABITA
ART-CRAFT DESIGN
MUSEUM
SCIENCE
SHOWCASE
SHOPPING + GREAT OPEN SPACE
BUS TERMINAL
CITY GARAGE
SUBWAY STATION
HIGH RISE OFFICE
6



BLACK PLANT ROAD MAP
URBAN GAUSS
アーバンガウス研究所
NATURE MAP
FOLLIES



URBAN GAUSS
BLOCK COMPOSE
CAR ACCESS
A PEDESTRIAN
NATURE AXIS
N-S AXIS STRAIGHT
SCIENCE MUSEUM +
BUSINESS
MEDIA AXIS
FUNCTION
SHOPPING
CIRCULATION
INFRA CITY


西梅田
新梅田シティ


新梅田シティ
中津


阪急
西梅田
新梅田シティ


茶屋町
新梅田シティ

CONCEPT- " T R A N S F E R   S H O W   C A S E "

WE PRESENT CITY FUNCTION FOR TARGETED AREA
CONCEPT - "TRANSFER SHOWCASE" for GREATER OSAKA
with 1:TRANSFER COMPLEX 2:MUSEUM - SCIENCE+DESIGN+NATURE 3: HIGHRISE OFFICE TOWERS 4:HIGHRISE DWELLING TOWERS

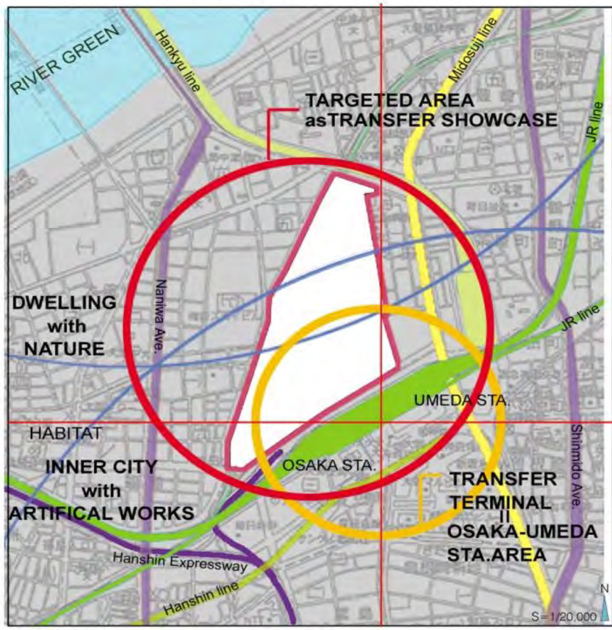


FIG1.
TRANSFER SHOWCASE and TRANSFER TERMINAL
CONPETITION AREA as "TRANSFER SHOW CASE" for GREATER OSAKA - KANSAI

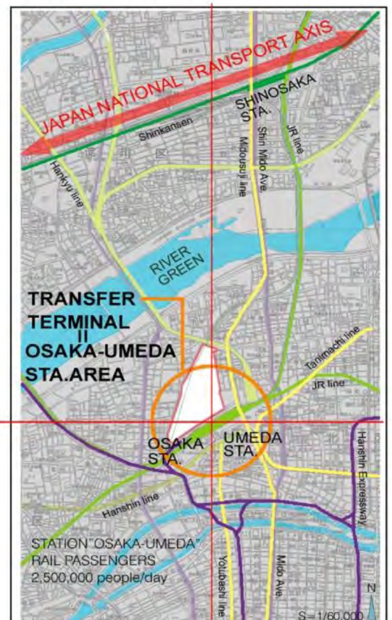


FIG2.
TRANSFER TERMINAL
"OSAKA UMEDA STA.AREA" as "TRANSFER TERMINAL"

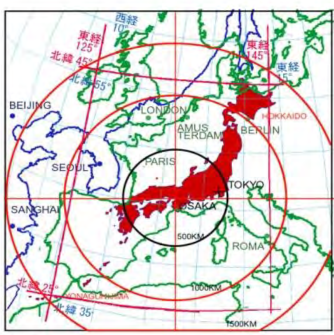


FIG3.
COMPARE JAPAN TO EUROPE.ASIA
JAPAN IS DIAGONAL LONG COUNTRY

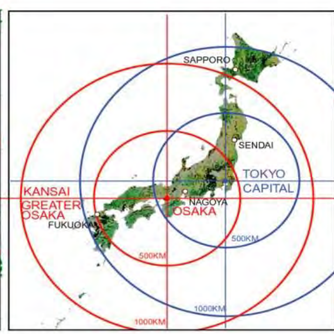


FIG4.
GREATER OSAKA - KANSAI
RECOGNIZE LOCATION IN JAPAN

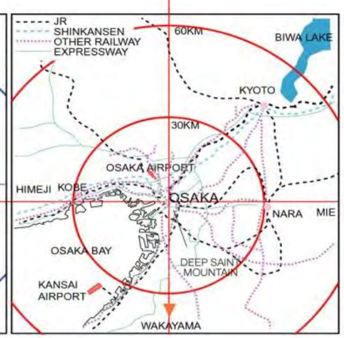


FIG5.
LOCATION MAP
GREATER OSAKA-KANSAI

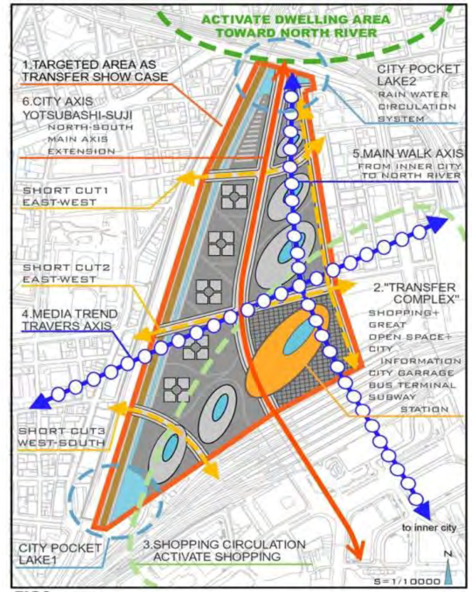


FIG6.
CONCEPT & ACTIVITY MAP for LANDUSE
1. TRANSFER SHOW CASE 2. TRANSFER COMPLEX
3. SHOPPING CIRCULATION 4. MEDIA-TREND TRAVERS AXIS
5. CITY WALK AXIS from INNER CITY to NORTH RIVER
6. CITY AXIS

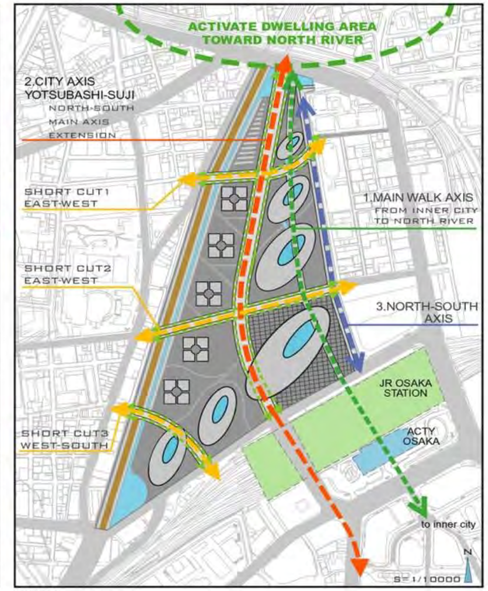


FIG7.
BLOCK PLAN & ROAD PLAN for FUNCTION EXPLANATION

FIG8.
DISTRICT GREEN with ECOLOGICAL WATER CIRCULATION
from ARCHITECTURE, ROAD

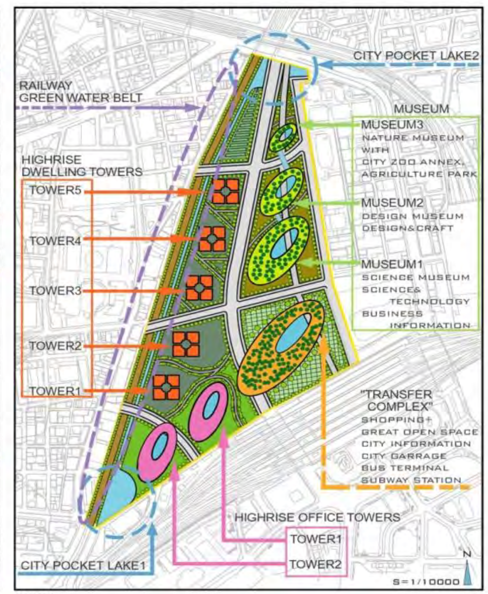
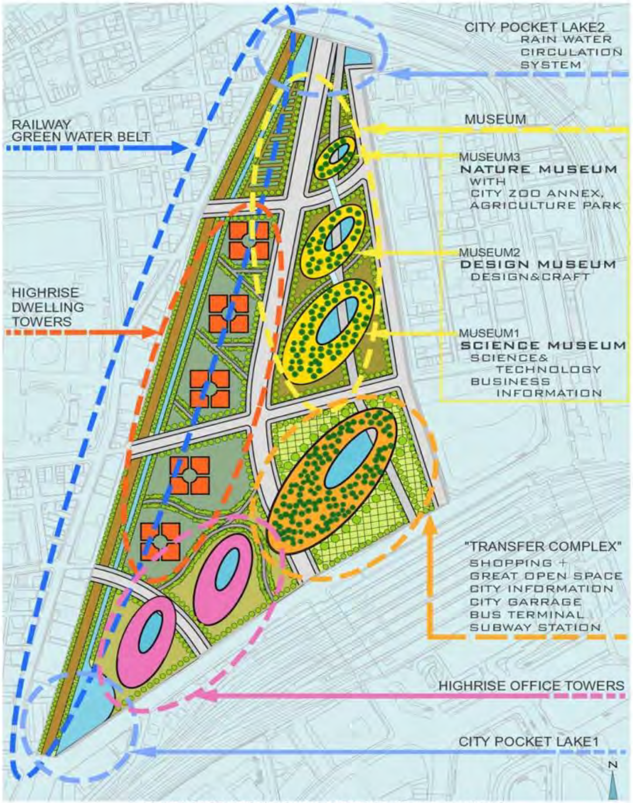
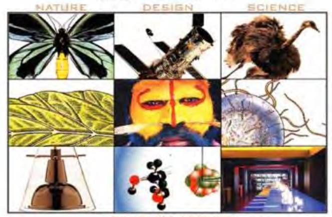


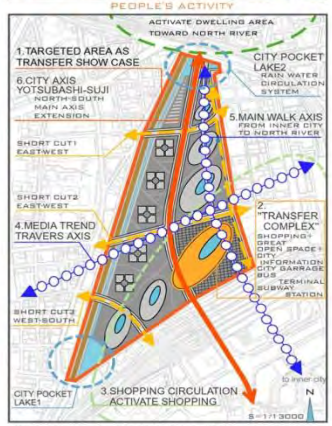
FIG9.
FACILITIES PLAN



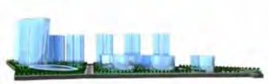
TRANSFER SHOW CASE MASTER PLAN S=1/6000

TRANSFER PEOPLE'S ACTIVITY
for
ECOLOGY ,NEW INDUSTRY ,NEW CULTURE,
NEW SHOPPING ,NEW SIGHT SEEING,
NEW BUSINESS
with
GOOD INFORMATION,
CIRCULATION CONCEPT,
GLOCAL LIFE STYLE

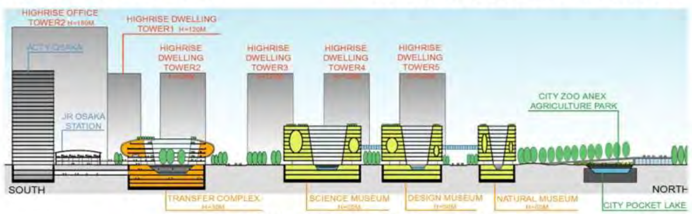




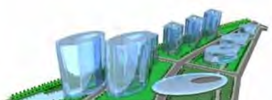
CONCEPT & ACTIVITY MAP for LANDUSE



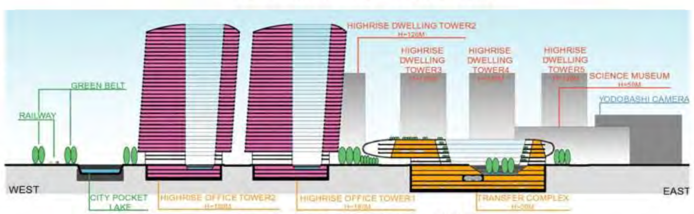
FROM EAST



SOUTH-NORTH SECTION S=1/6000



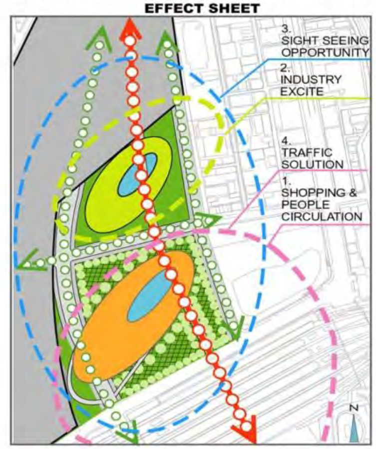
FROM SOUTH



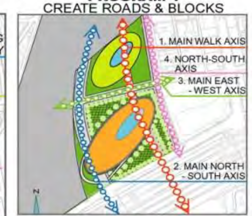
WEST-EAST SECTION S=1/6000

PROGRAM for development of INITIAL APPROX 6 HECTARE SITE

EFFECT SHEET



PROGRAM 1
CREATE ROADS & BLOCKS

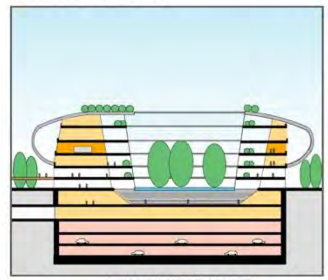


PROGRAM 2
TRANSFER COMPLEX

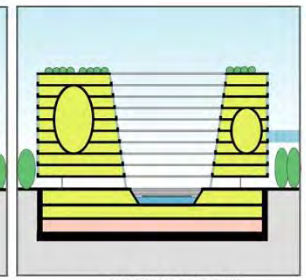
1. MAIN - GREATER OPEN SPACE with CITY INFORMATION CONNECT DIRECTLY to JR OSAKA STA. & ENCOURAGE PEOPLE'S ACTIVITY
2. CREATE SHOPPING CIRCULATION
3. CREATE TRAFFIC SOLUTION
A: BUS TERMINAL B: SUBWAY STATION
C: CITY GARRAGE

PROGRAM3
SCIENCE MUSEUM CREATE INDUSTRIAL ACTIVITY

SCIENCE MUSEUM
1.INFORMATION CENTER FOR NEW SCIENCE
2.INFORMATION CENTER FOR NEW TECHNOLOGY
3.INFORMATION CENTER FOR BUSINESS ACTIVITY FOR LATEST SCIENTIFIC WORKS
4.INCUVATION CENTER FOR VENTURE BUSINESS
5.ECOLOGICAL ARCHITECTURE

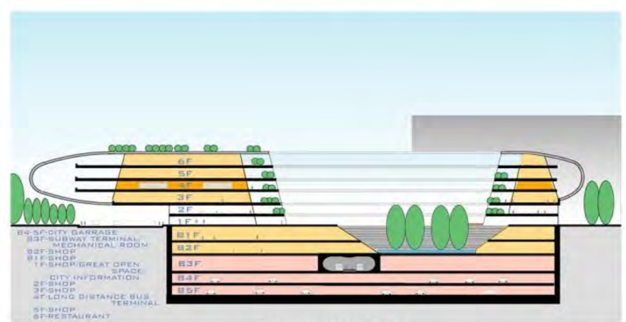


TRANSFER COMPLEX



SCIENCE MUSEUM

SOUTH-NORTH SECTION S=1/2000



TRANSFER COMPLEX
EAST-WEST SECTION S=1/2000

TRANSFER COMPLEX
PLAN S=1/10000

cool habit
green work
with
circulation system,
material,
landscape method

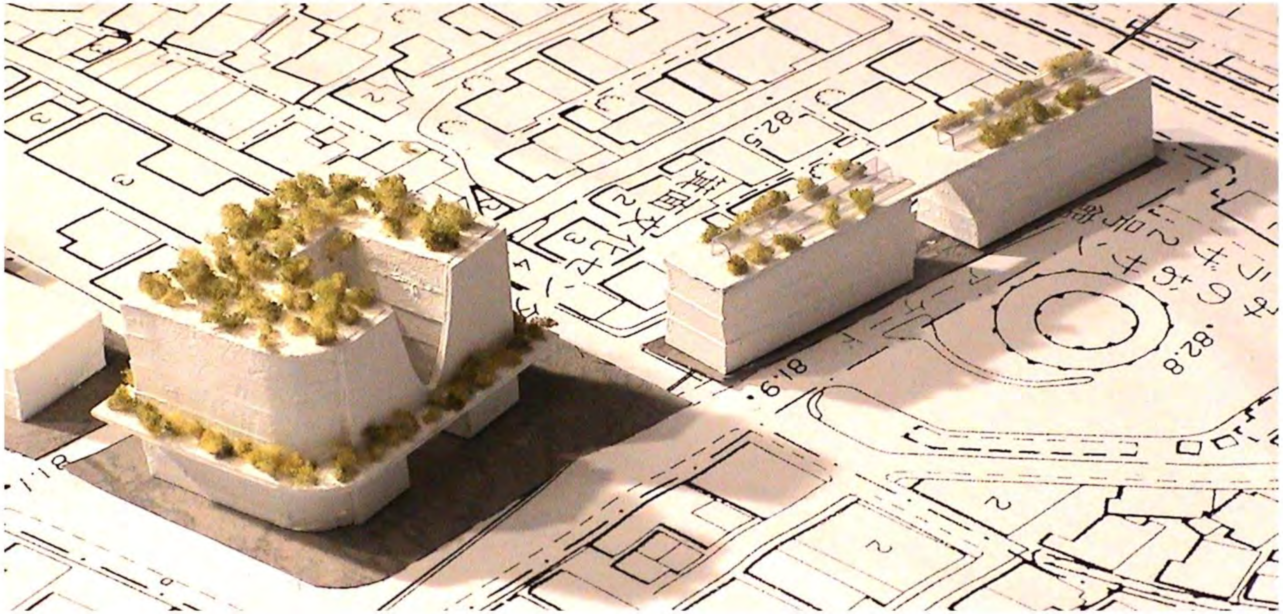
enjoy life in beijing

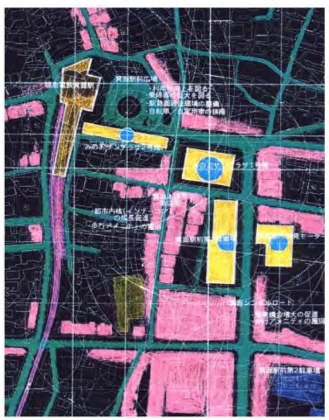
BEIJING WANJING A-1AREA

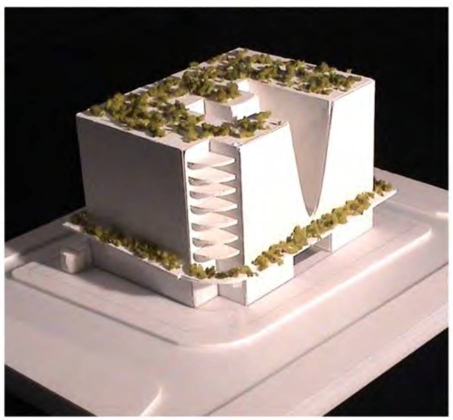
COMPETITOIN
2004

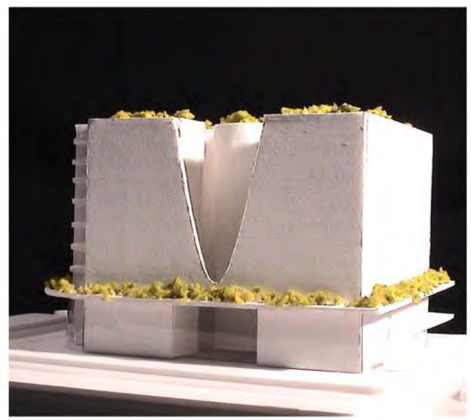
箕面駅前地区　みのおサンプラザ1ル建替計画PROJECT

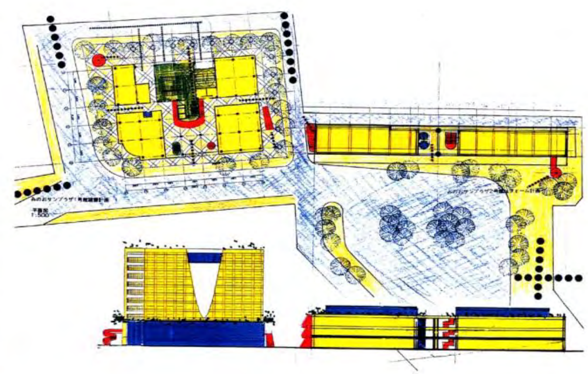
MINOH PROJECT
（2002 MINOH OSAKA)





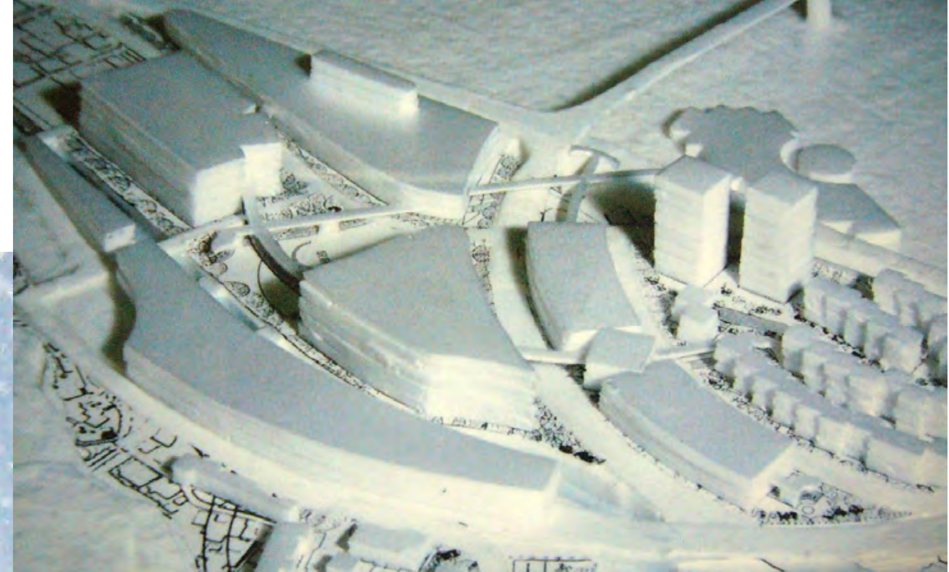


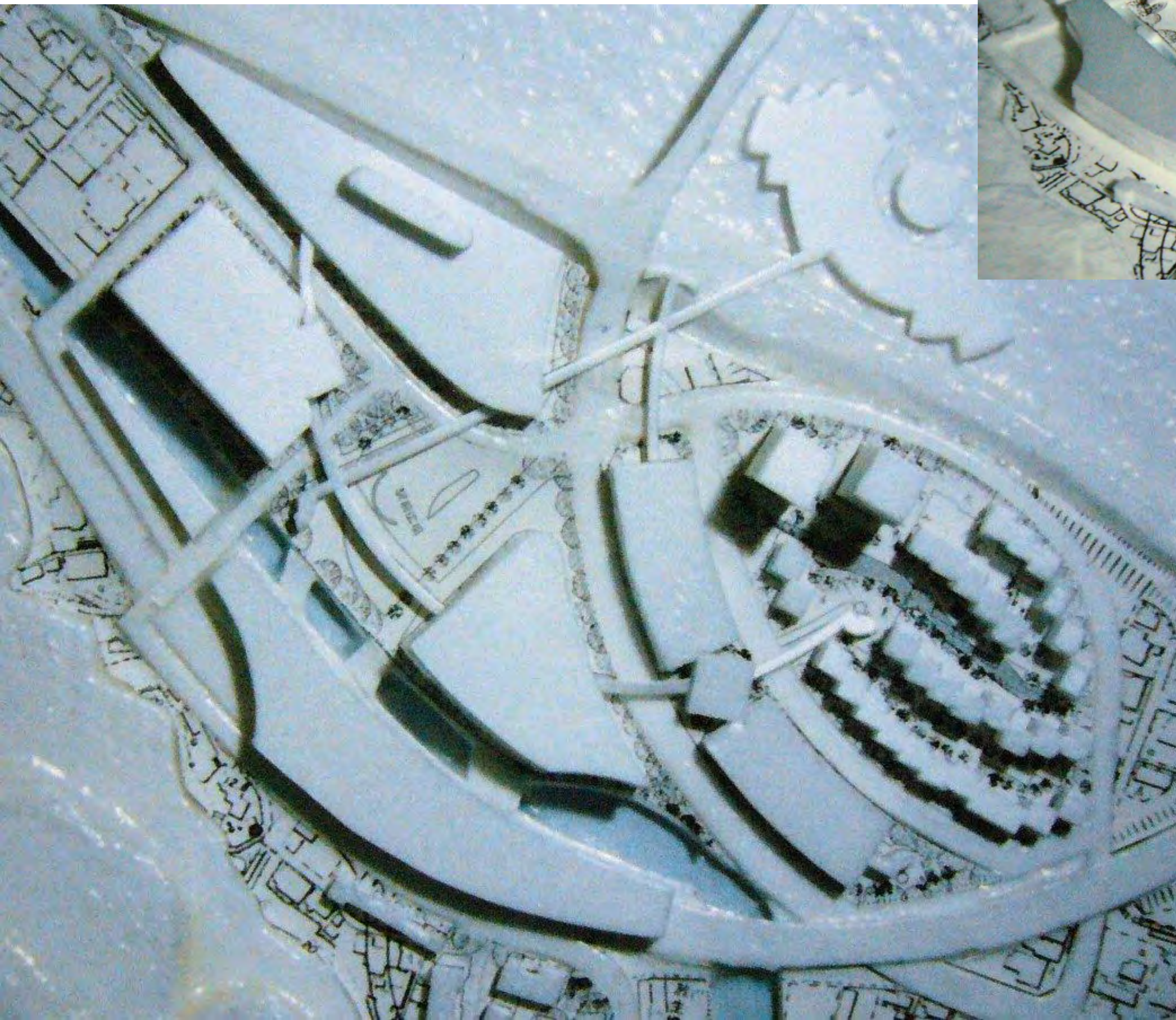




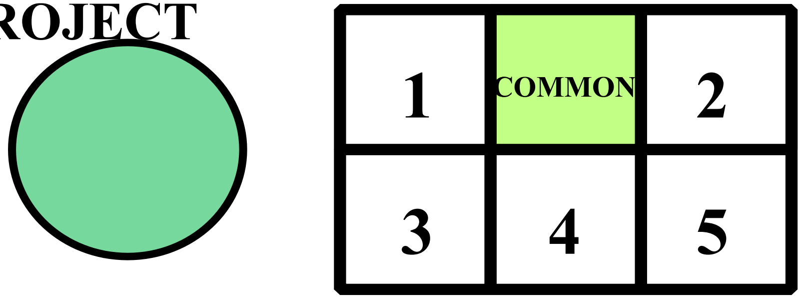
09: Project Design

YAWATA PROJECT KYOTO





SMART GREEN COMMUNITY PROJECT

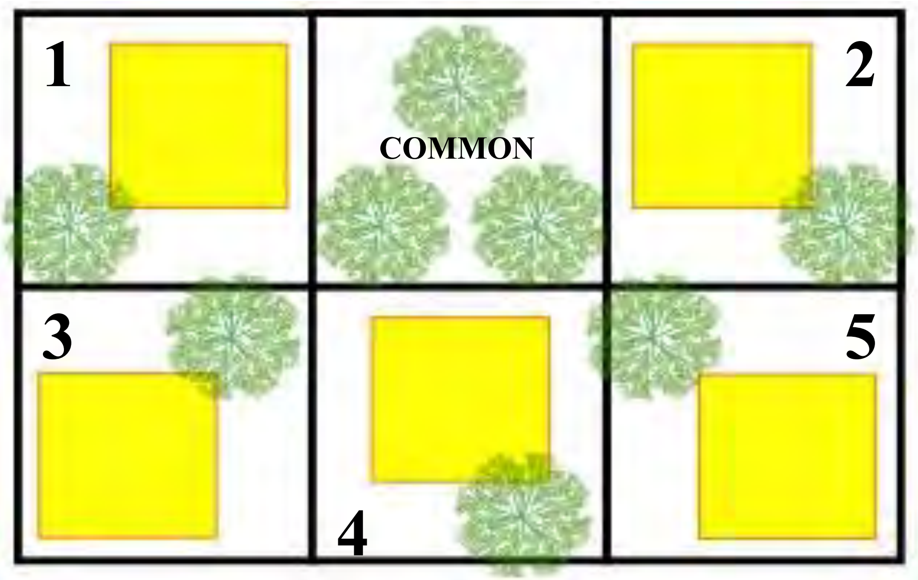


SELF SUPPLY COMMUNITY by 5 FAMILIES

- ELECTRICITY WATER WASTE FOOD EV&FCV
- SMART GREEN CONCEPT with COMMON SPACE

SELF SUPPLY COMMUNITY by 5 FAMILIES + COMMON

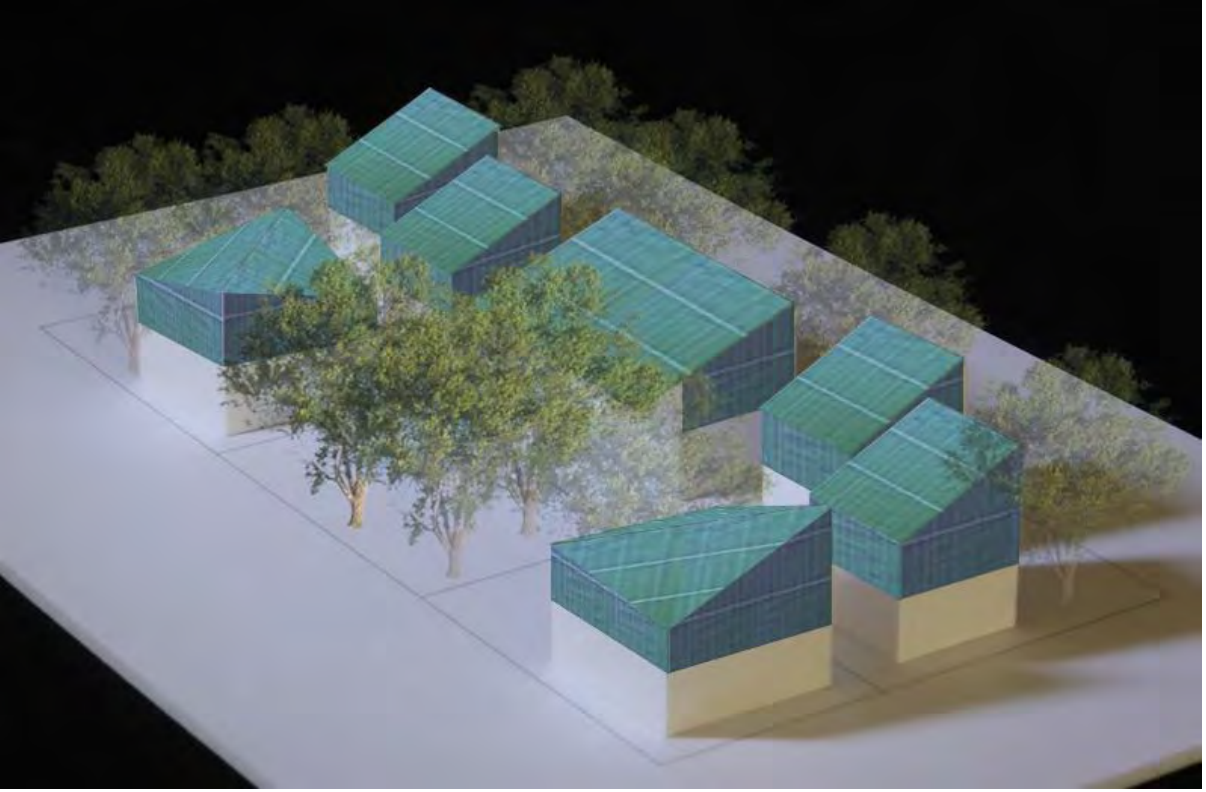
AGRICULTURE EXPERIMENT, DEVICE for SEA LIFE FORMS

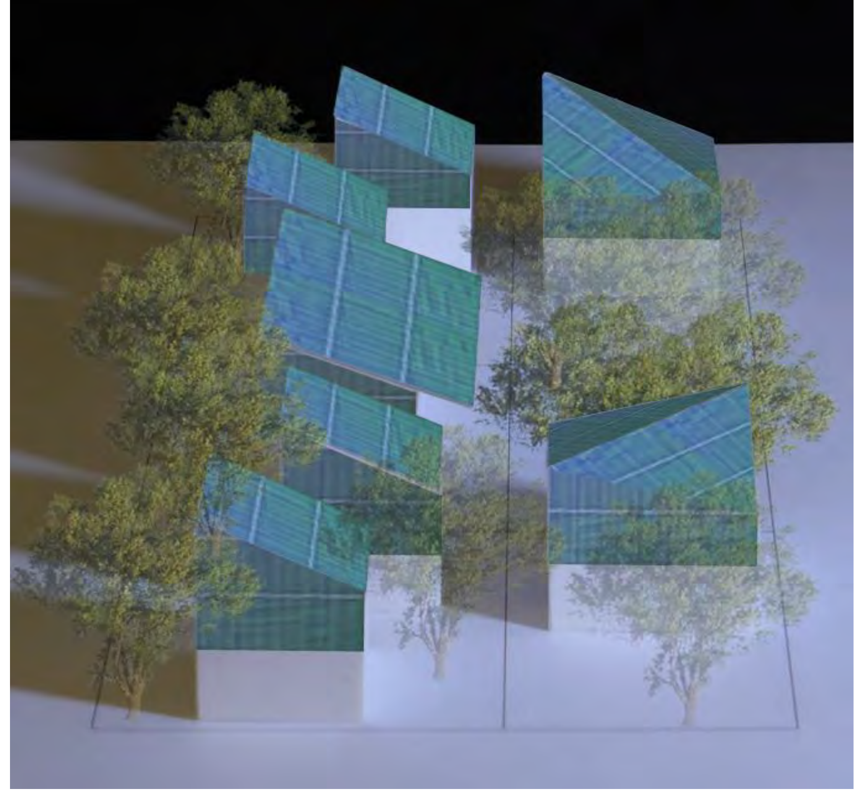


Min. ENERGY PLAN with LCA - LIFE CYCLE ASSESSMENT

1: ARCHITECTURE; STRUCTURE / SPECIFICTION IN/OUT SIDE MATERIALS INSULATION Low-E GLASS
2: EQUIPMENT; CREATE /SAVE/REUSE/HYBRID ENERGY PHOTOVOLTAIC GENERATION / SOLAR HEAT / GEOTHERMAL ENERGY / BIOMAS ENERGY
3: WATER; WATER WORKS / RAIN WATER /WELL WATER / SEWAGE / WATER PURIFIER / DESALINATION
4: IN SIDE HOUSE SAVE ENERGY GOODS
5: ICT; INFORMATION COMMUNICATION TECHNOLOGY
6: AIR CONDITIONING; CONTROL TEMPERATURE / CLEAN AIR/ HUMIDITY

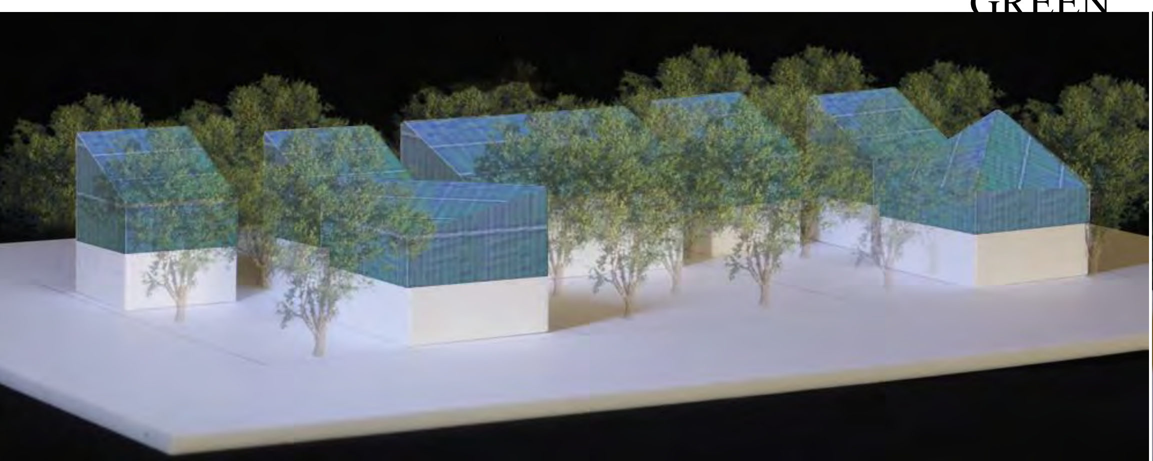
7: MOBILITY; BYCICLE EV / E-BIKE CAR SHARING E/H STATION
8: SOLAR SHARING PV+ RAISING OUT DOORS + + +
9: AGRICULTURE; RAISING OUTDOORS / GARDENING / FACTORY TYPE AGRICULTURE FACILITIES
10: FISHERY; ACTIVATE SEA LIFE FORMS / FISH RAISING

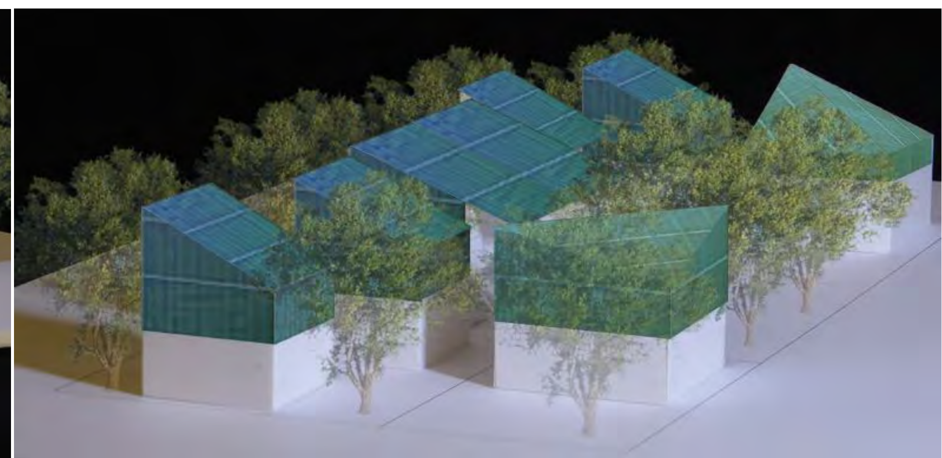


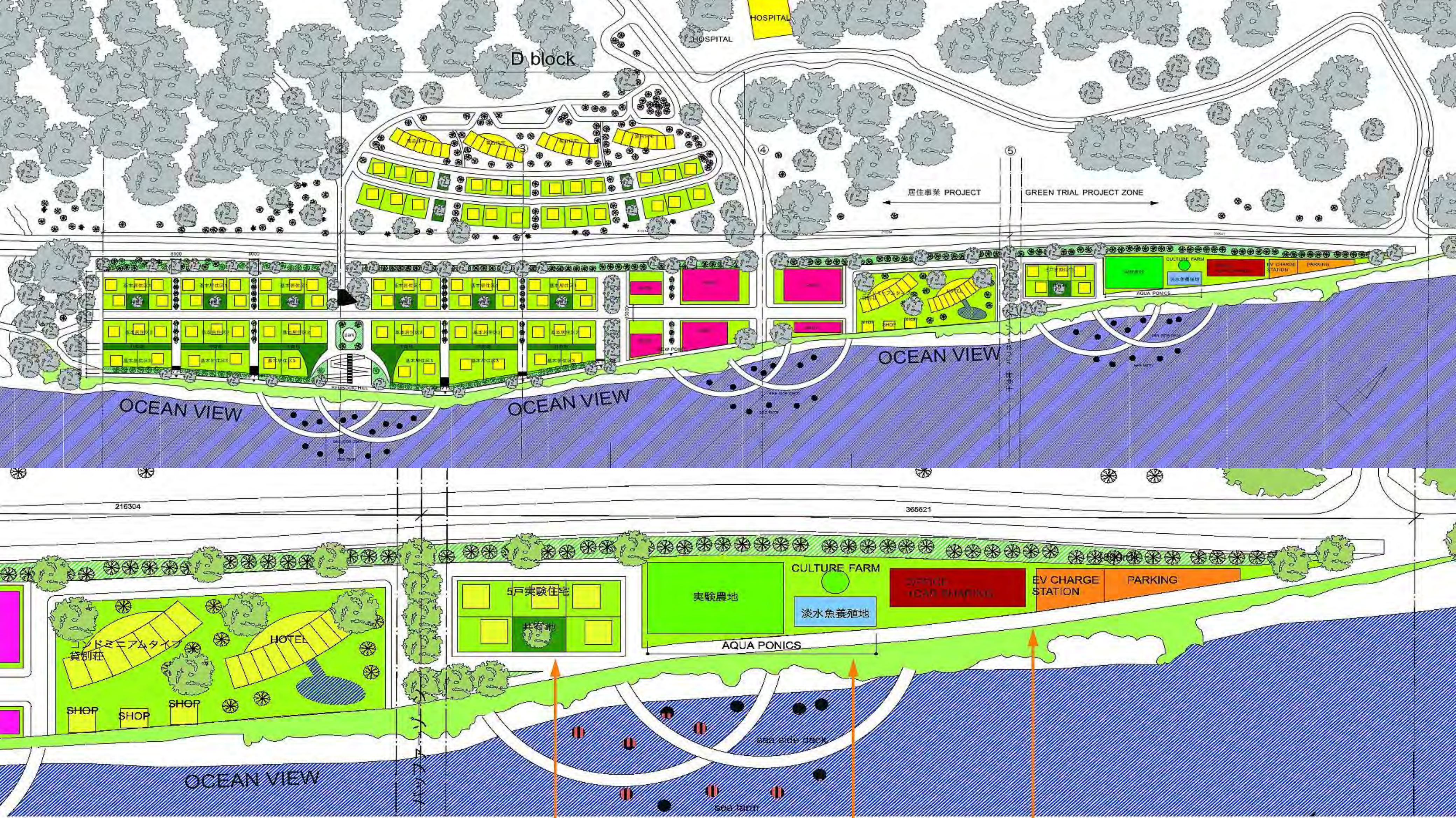


SMART GREEN CITY PROJECT

ENERGY SELF SUPPLY COMMUNITY - ELECTRICITY WATER WASTE FOOD EV&FCV – with SMART GREEN







CRCC
CONDOMINIUM+HOTEL

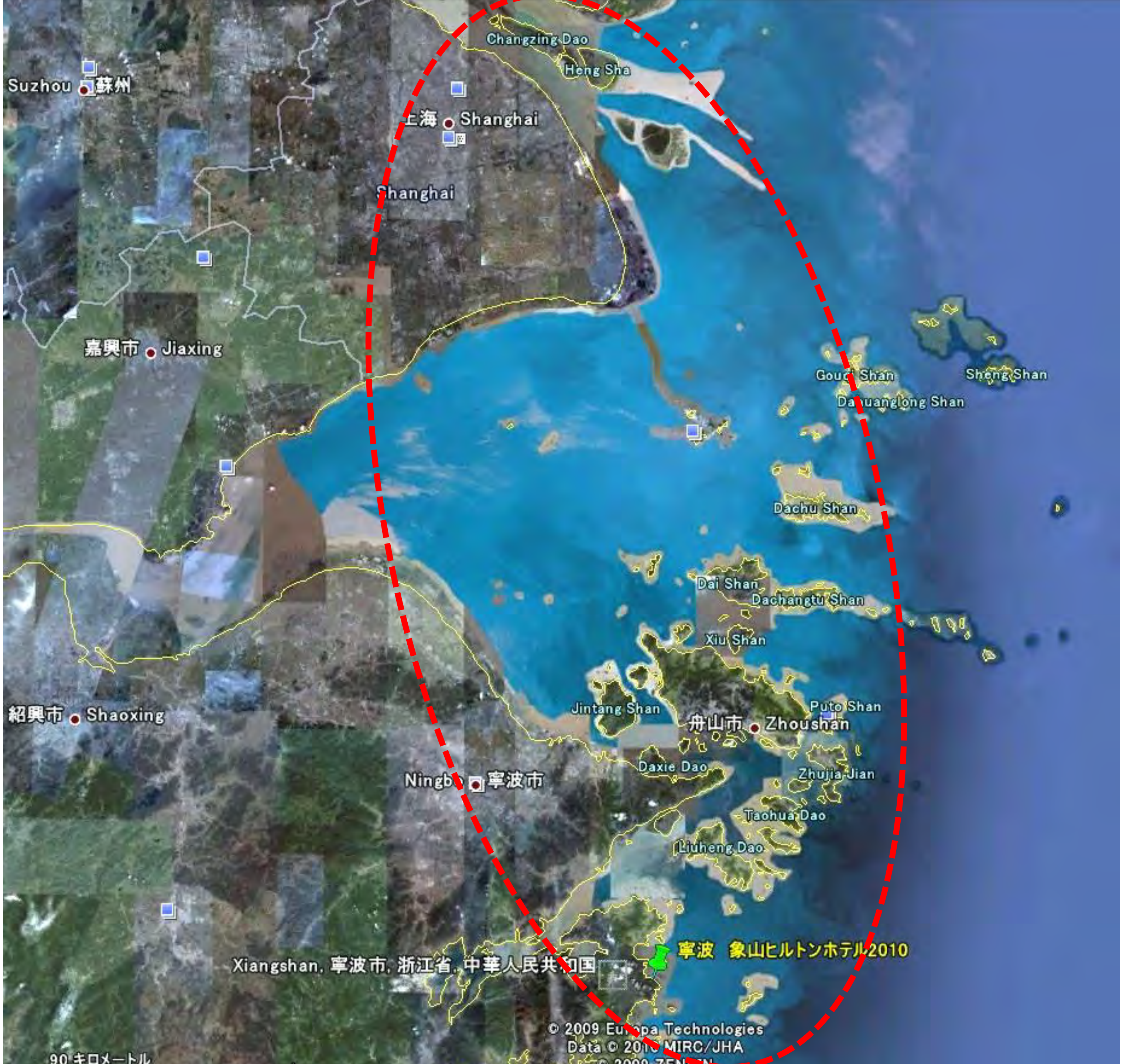
OFFICE/EV+FCV CHARGE CAR SHEARING

AQUAPONICS/CULTURE FARM/AGURICULUTURE FISH POND

EXPERIMENTAL 5RESIDENCES+COMMON SPACE

SMART GREEN COMMUNITY PROJECT

ENERGY SELF SUPPLY COMMUNITY – ELECTRICITY WATER WASTE FOOD EV&FCV – with SMART GREEN



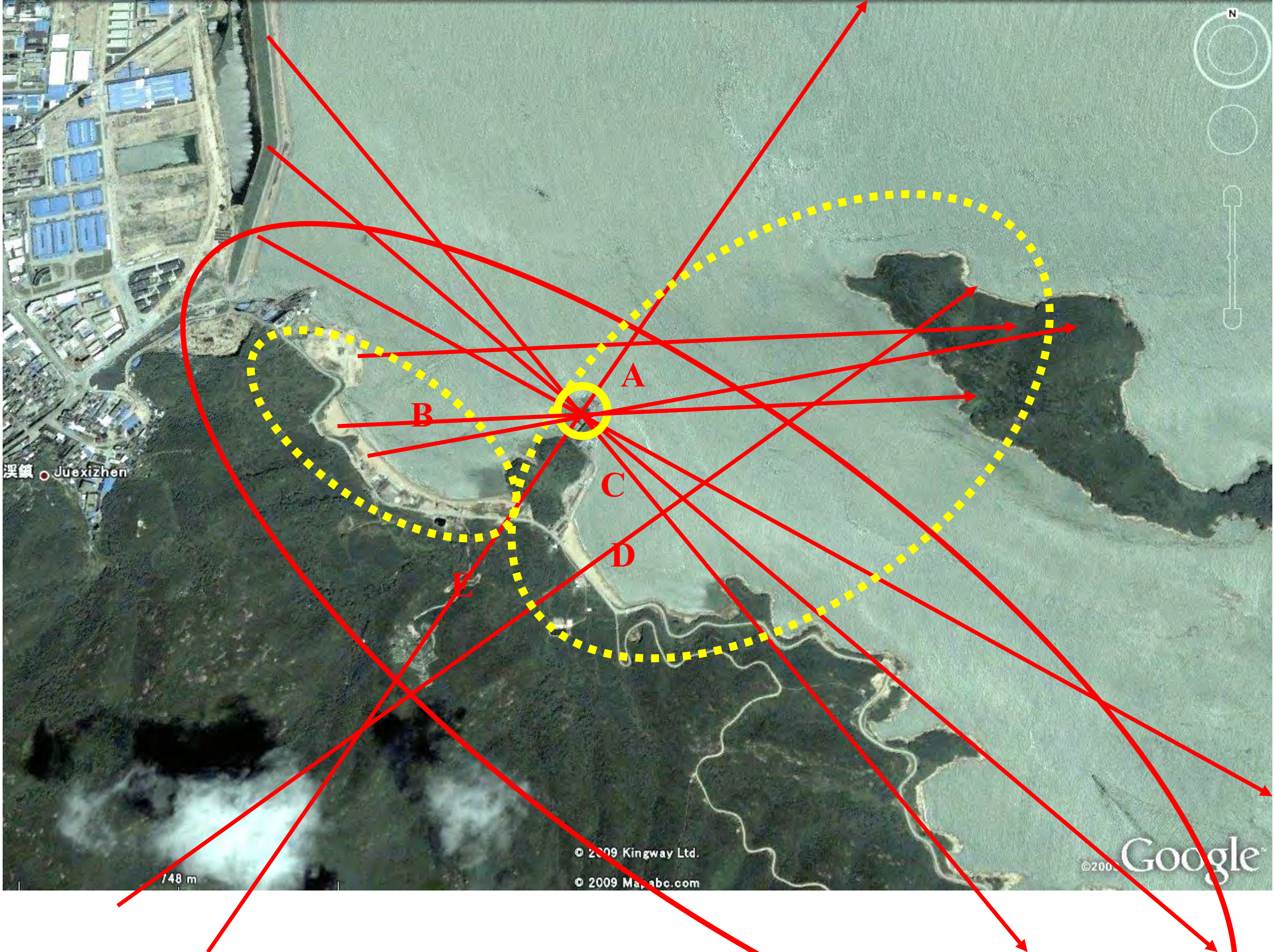
象山

聖域復活

PROGRAM

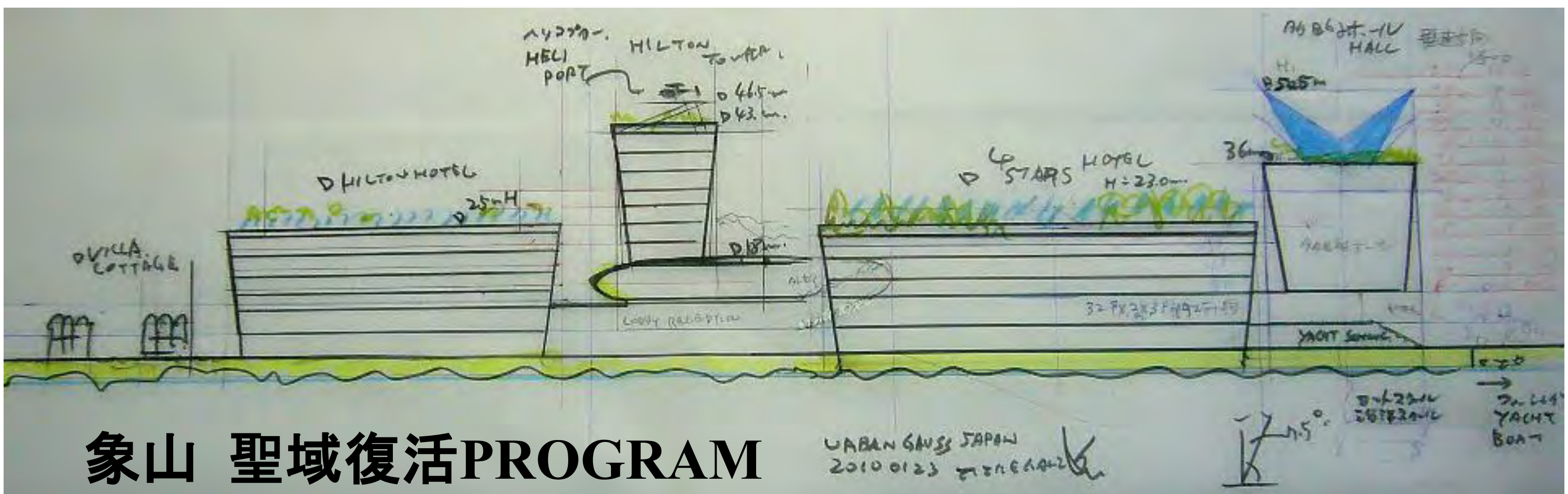
CHINA

LOCATION



A
B
C
D
E
渓鎮 Juexizhen
© 2009 Kingway Ltd.
© 2009 Mapabc.com
Google

VILLA. COTTAGE.
URBANAUTS JAPAN
H25m
H465m
HELI PORT
H11m
H18m
太陽光パネル
温泉
健康の丘
H11m
H57.5m
YACHT SCHOOL
NORTH



001　象山 聖域復活PROGRAM

10: Landscape Design

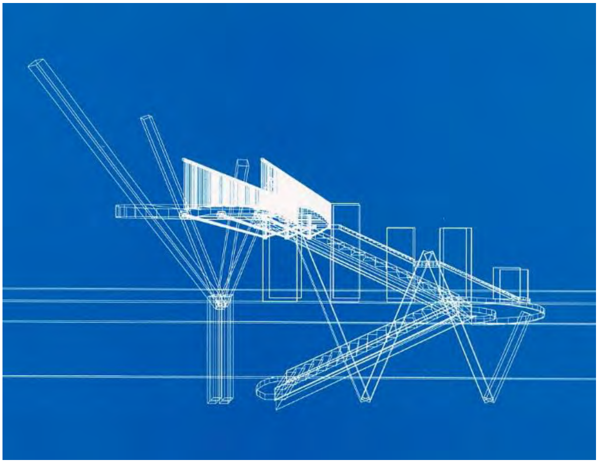
熊野小学校景観整備事業ー都市像復活プログラムI

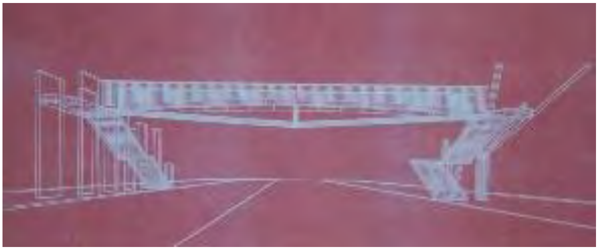
YUYA LANDSCAPE PROJECT

大阪府堺市の中心部の熊野小学校の敷地南側が対象地である。この景観整備事業を「都市像復活プログラム」と名付けた。環境デザインを通じて、滑らかなコンテクストをシンボルロードにおいて構築すること。堺市市街地における往年の歴史的な都市存在の意味を、現在という時間の中で再度探っていくことを目指した。敷地である線状の場に、双方向の起承転結のドラマを構成することを意図し全体として街路公園とでもよべるような公共空間を生み出そうとした。中心となるのは,非シンメトリーな配置で、鉄骨造とコンクリート造となっている歩道橋で、都市の中にリズミカルな回遊性を垂直に産みだすことと、街路の南北を結ぶ都市内対話手段となることを意図し、ネーミングも遊歩橋とした。

熊野小学校景観整備事業ー都市像復活プログラムⅠ

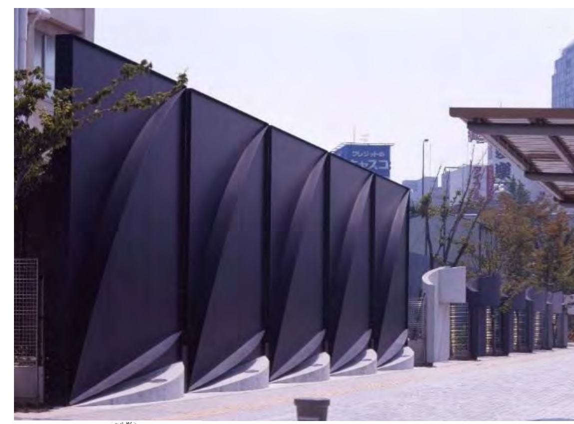
YUYA LANDSCAPE PROJECT
(1996 SAKAI OSAKA)

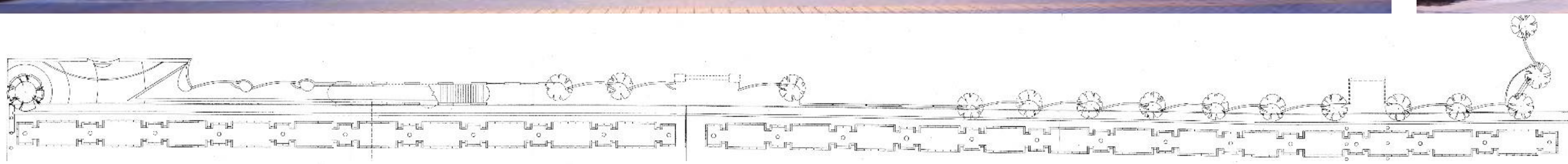


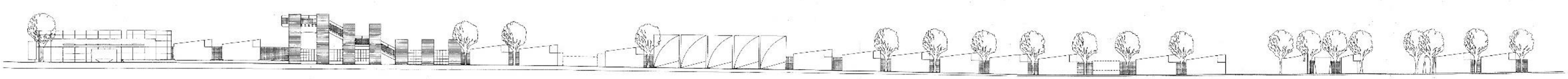


熊野小学校景観整備事業一都市像復活プログラムⅠ

YUYA LANDSCAPE PROJECT
(1996 SAKAI OSAKA)







熊野小学校景観整備事業ー都市像復活プログラムⅠ

YUYA LANDSCAPE PROJECT
(1996 SAKAI OSAKA)

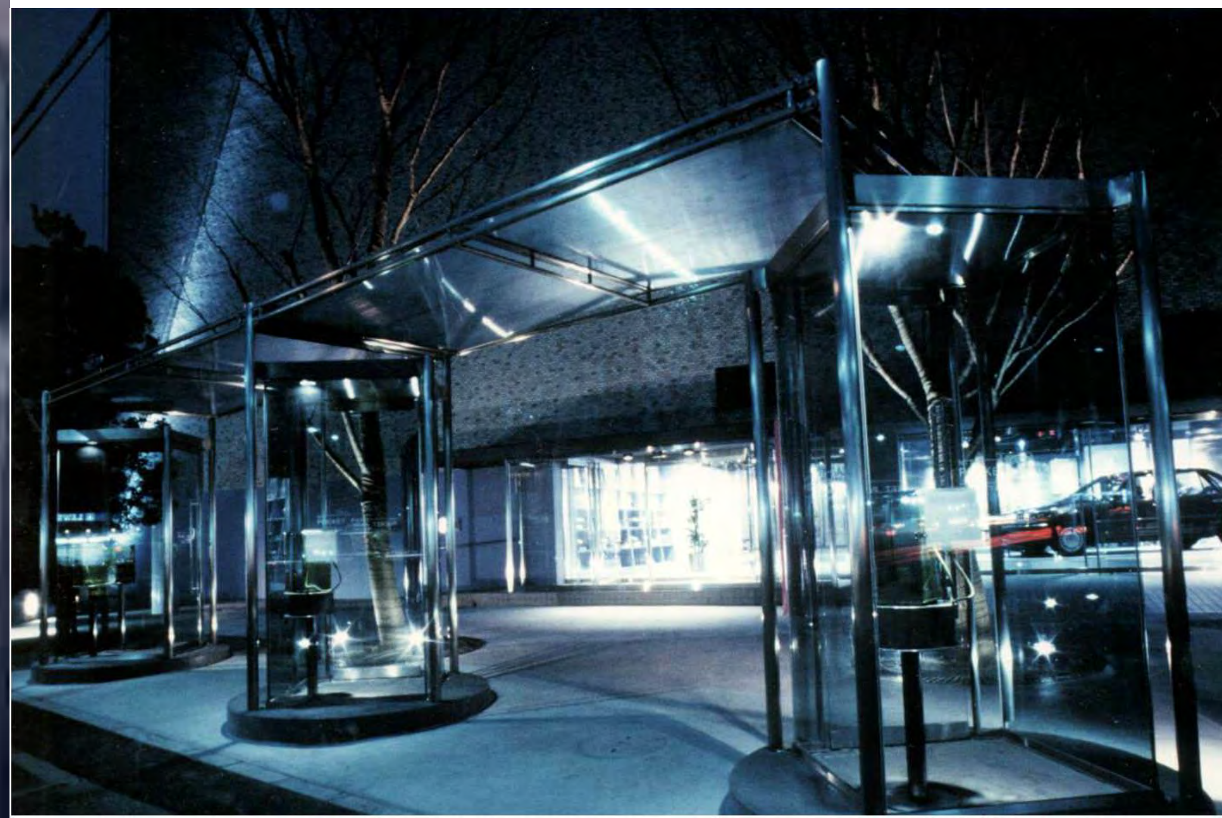
from Google Earth 2019


AIR NEST
気巣
きす
飛翔する三つの力
三島市の平和･自然･文化が、支え合う
三本の柱で表現されています。
水と緑の街 三島
素材のステンレスは流れる湧水を表現し
楠とともに水と緑の広場を創ります。
未来への希望
先端が向かう富士山からの空気の流れ
を受け、感謝と希望を表現します。
三島大好き市民より
20091001
制作　池上 俊郎



KOBE BRIDGE 1997

NTT POCKET PARK NEYAGAWA

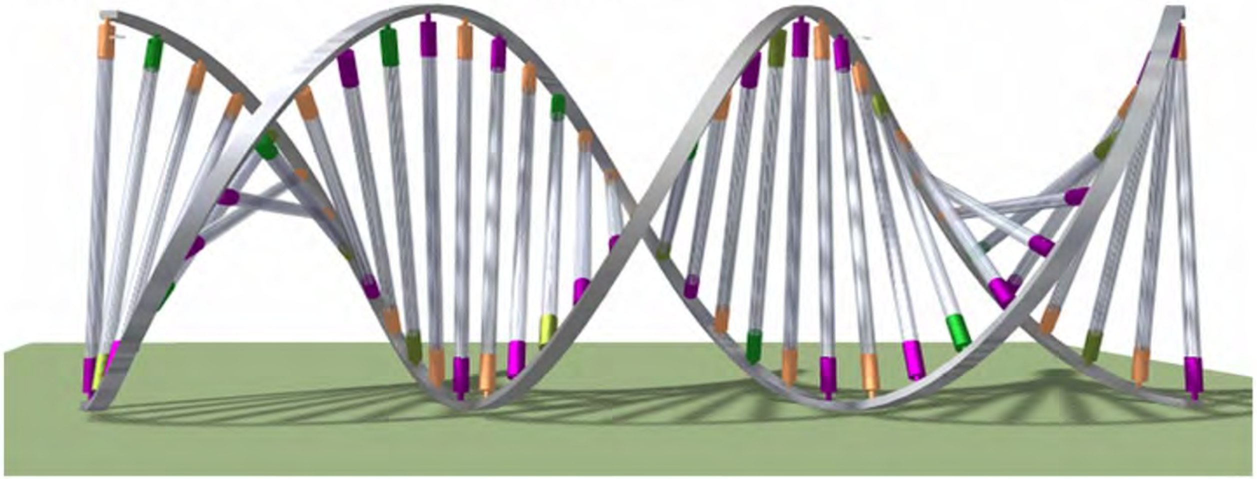


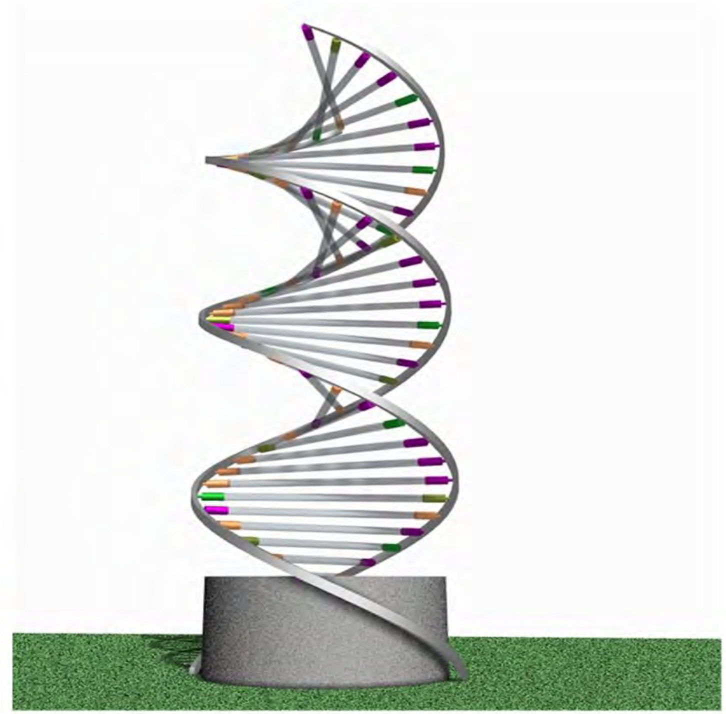
OTEMAE SENIOR HIGH SCHOOL
OSAKA PREF. JAPAN

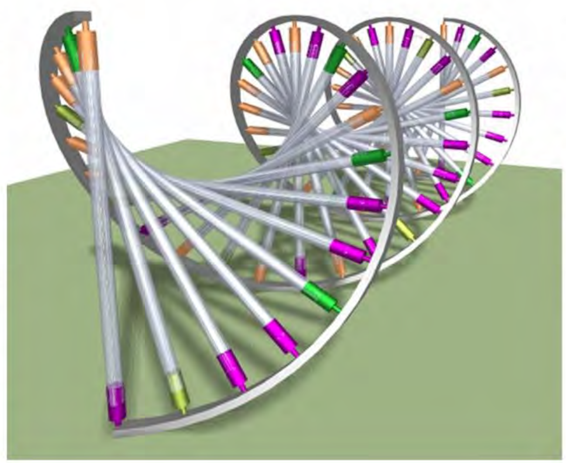
太陽の記憶

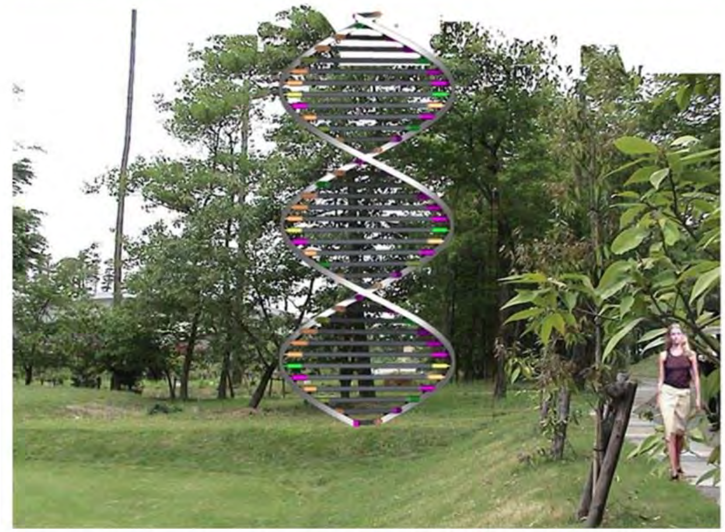
MEMORY OF THE SUN
(2002 IBUKICHOU SHIGA)

敷地であるジョイ伊吹（薬草の里文化センター）芝生広場は太陽に満たされ､豊かな木々とともにある。
あらゆる生命は太陽の恵みである。薬草もそうした恵の産物であり､ここ伊吹には遠く西欧から得られた植物が数百年の時を超えて根づいている。
モニュメント「太陽の記憶」は、”薬草がいざなう自然の力への憧憬”を”生物の記憶の根源の構成”である２重螺旋で表現しようとするものである。
２重螺旋構造の中を巡る水はソーラーチューブを経て温水となって人々を癒す役割を担う。
「太陽の記憶」　として太陽から直接熱を得て薬草風呂に供給される。
訪れた人々の心を伊吹山のもてなしとして薬草とともに満たしていく。
地球環境問題への真摯な取り組みが求められている現在、私たちは自然との豊かな関係の構築が求められている。
モニュメント「太陽の記憶」　は”自然との豊かな関係”を具体的に示し活動するモニュメントである.



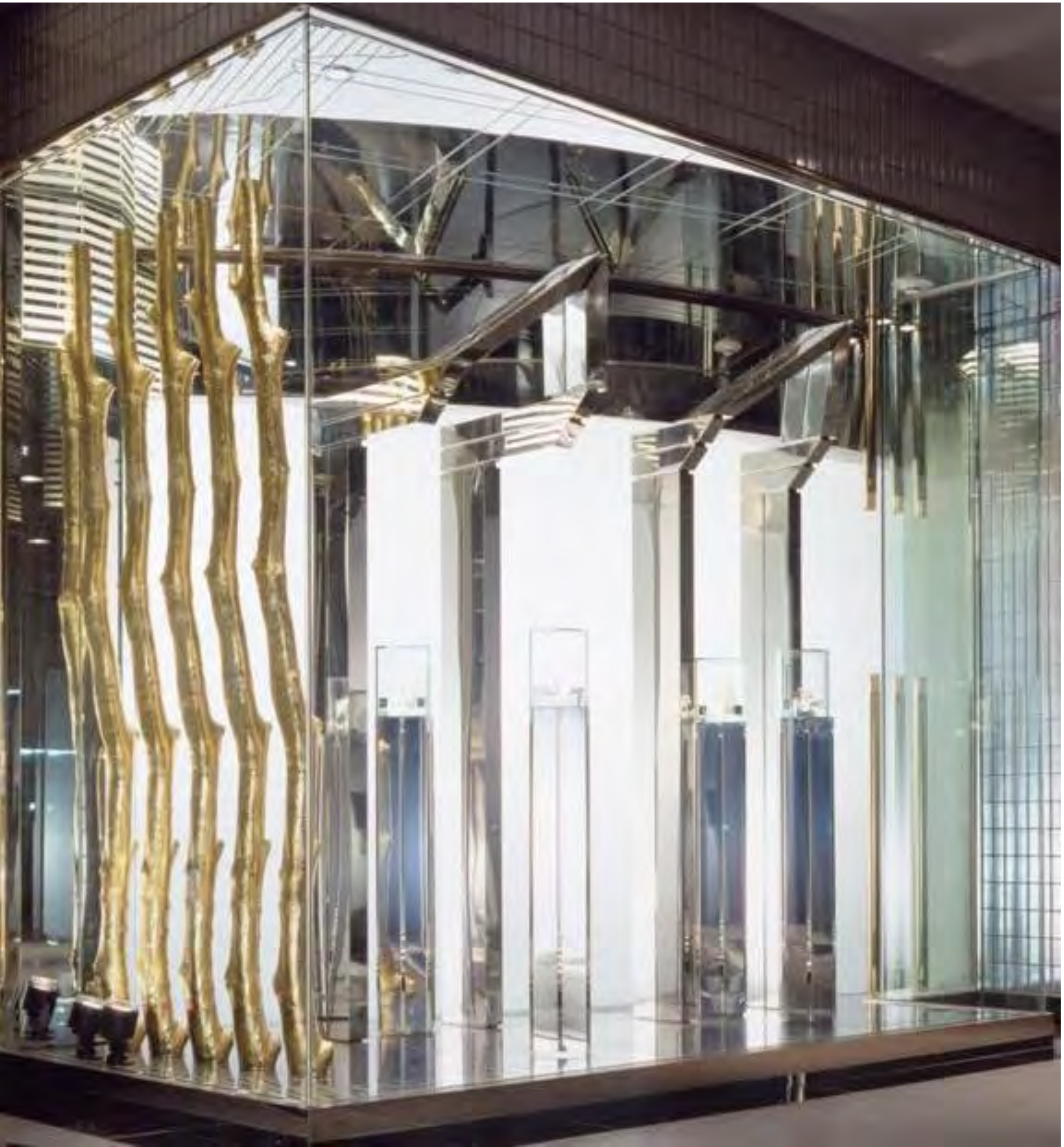


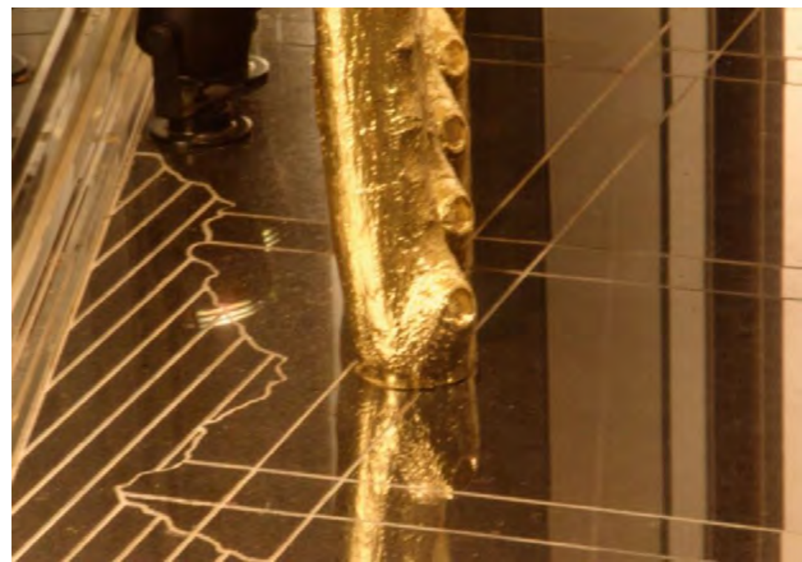


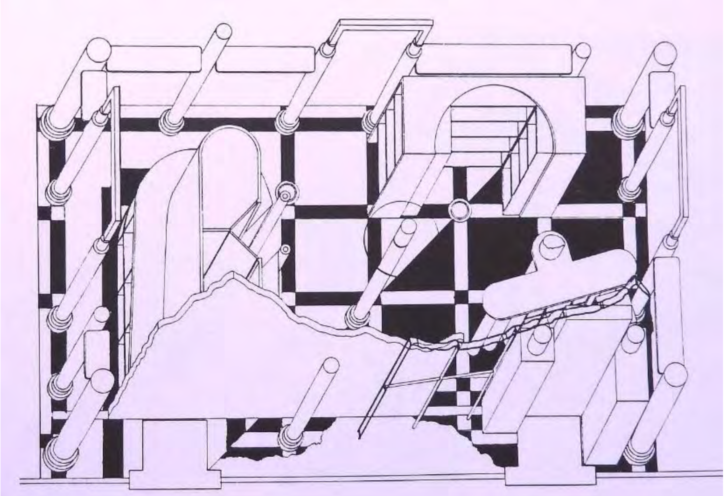


11: Interior Design

PEARL DIMENSION 大月真珠





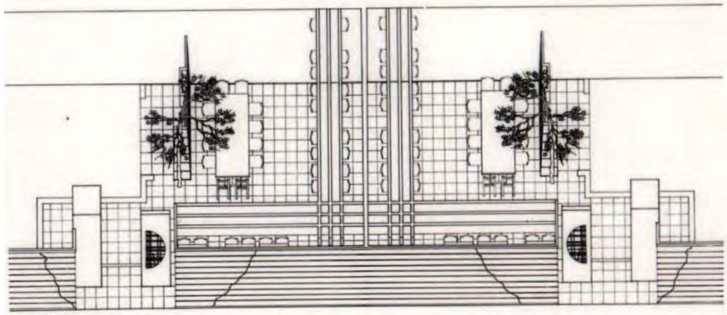



AMBER HOUSE 1982

本みやけ

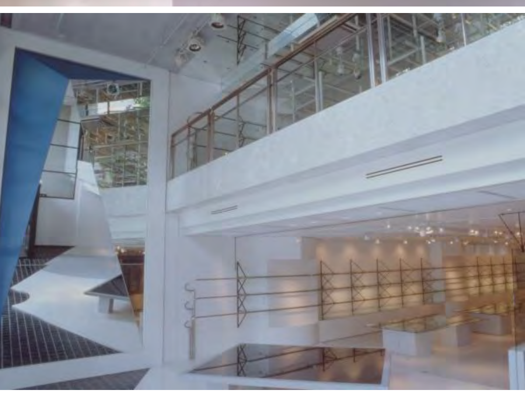
HONMIYAKE
(1985 KITAKU OSAKA)

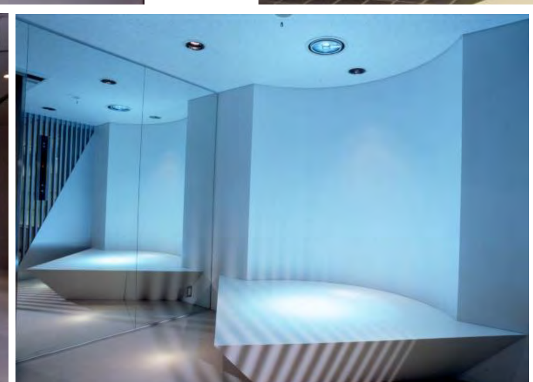
“D.D.House” と名付けられたこのフロアは “江戸の街” というサブタイトルのもとに飲食店ゾーンを構成している。このフロアの「本みやけ」は,初めてのいわゆる “和風” である。 “和風” ではなく “和” でありたい。ビル内部とはいえ都市への指向を持つビル側のコンセプトの上に街形成のシークエンスを作りたい。ファサードは不整形なアルミパネルと一部透明なラインの入ったスリガラスを使用した。アルミパネルは、格子戸を中心とする町並みに塀のもつ柔らかさを持ち込み、街のアルコーブでもあるエントランスは、自然な導入を促す。内部は濃灰色を基調とし、天井のクロスする梁により場に緊張感を与え、全体としてさらなる外部空間を形成することを図った。

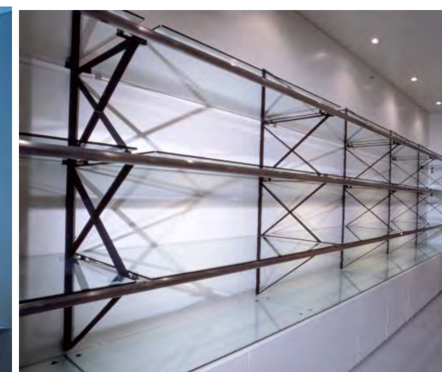


新三浦　SHIN MIURA OSAKA HOUZENJI

京都クラフトセンター　KYOTO CRAFT CENTER



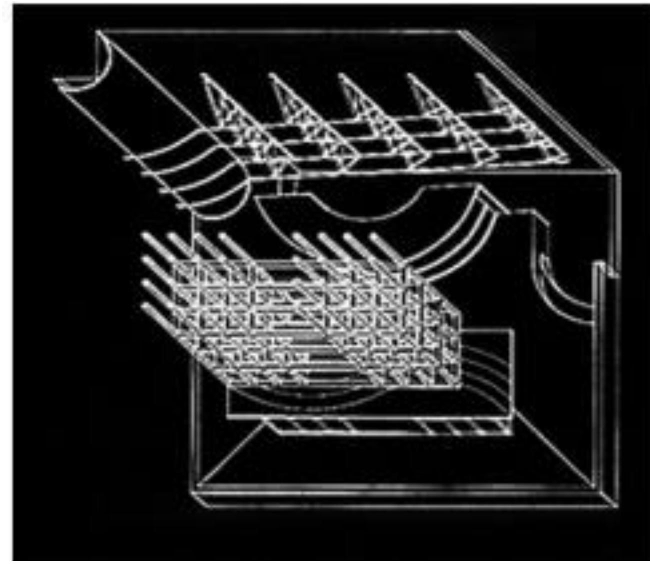


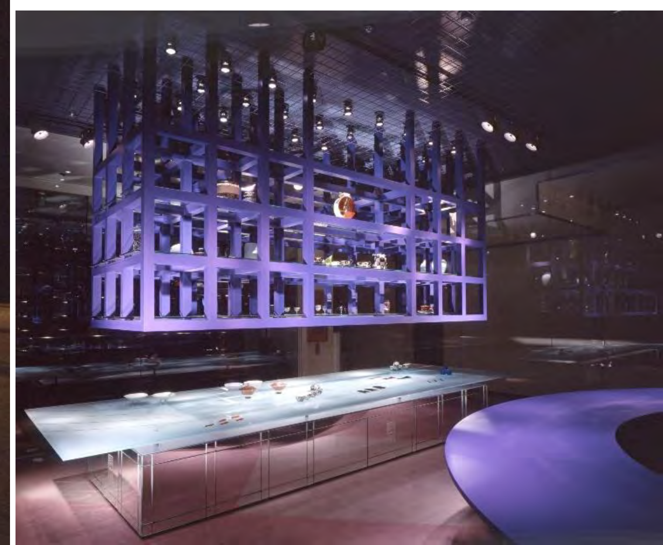


ステージ京都

STAGE KYOTO
(1989 MINATOKU TOKYO)

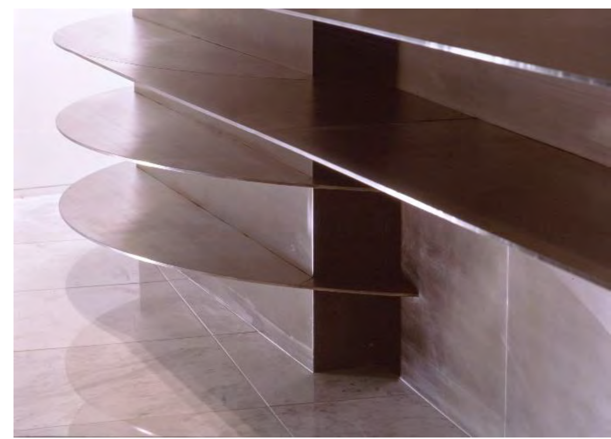
「ステージ京都」は南青山に立地し京都市の第三セクターが運営する自治体主導型の現代クラフトのパイロットショップである。立地する建物の１・２階には日本の伝統産業の拠点が入居している。ここでは比較的無性格な建物内における、店舗構成上の空間的序列の組替え、テナント傾向の連続性を探った。３方向にあった壁を撤去しオブジェを内包するガラスのショーケースとしての空間構成を求め、吊り下げられた立体格子は、視覚的重心を上方に移動し、垂直方向を強調する。





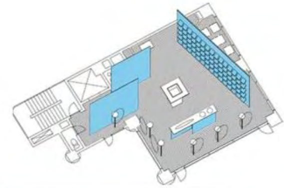
上村花園　UEMURAKAEN KOBE

WILL HAGIYA CLEANING HIROO TOKYO

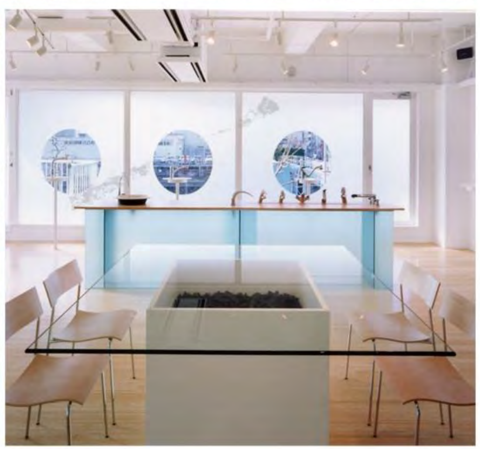


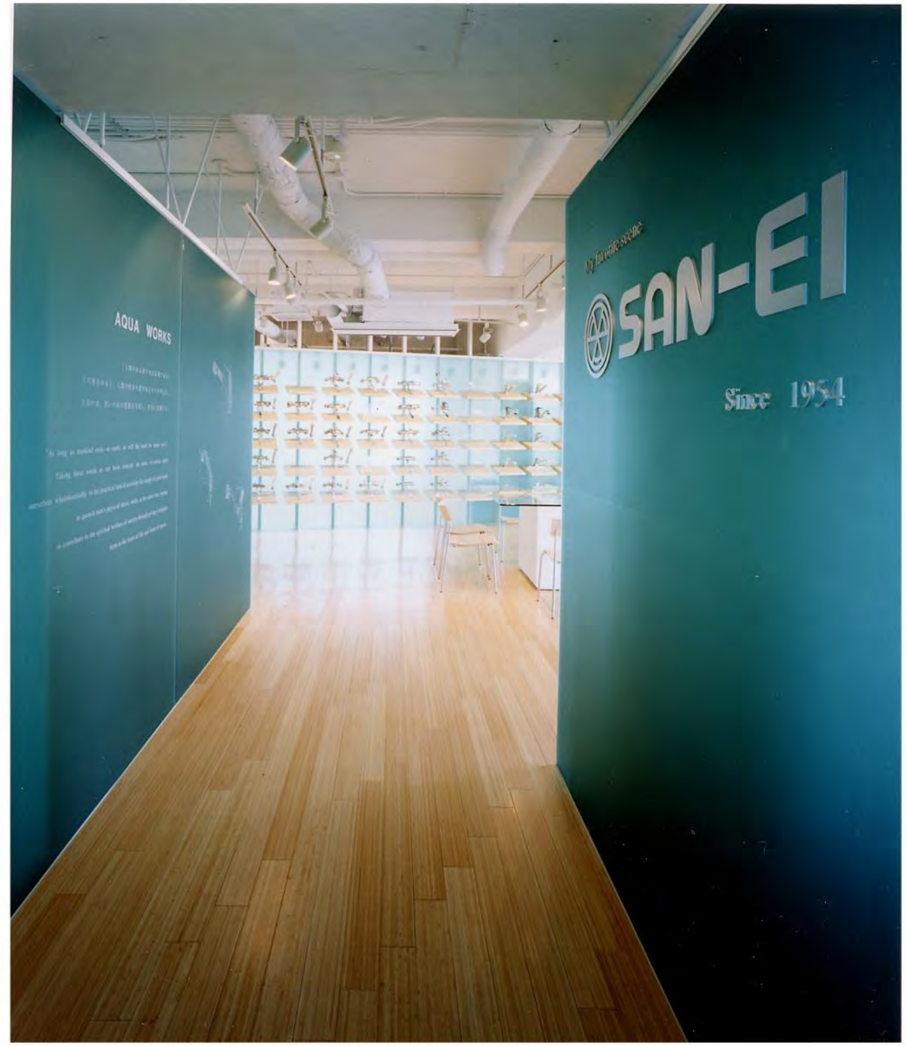
OZAKI DENTAL CLINIC OSAKA

三栄水栓ショールーム
(2000 KOHTOHKU TOKYO)



水まわりの製品とシステムの専業企業のショールームである。
基本要素は水平面を地下茎の水脈を意味する竹材の床、垂直面淡水の印象を直喩的にグリーンガラス、基調色としての白とした。ショールームの展示は、企業ポリシーを反映している商品が有する構造性を分かりやすく空間構成に重ねることと考える。





池上俊郎　　TOSHIROH IKEGAMI

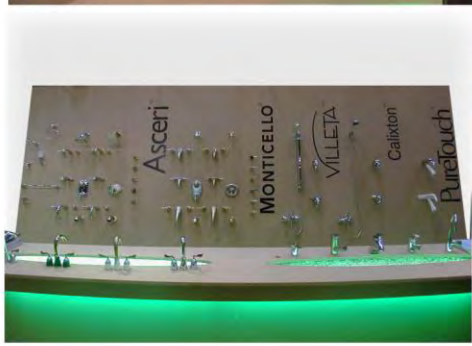
URBANGAUSS　　www.urbangauss.com

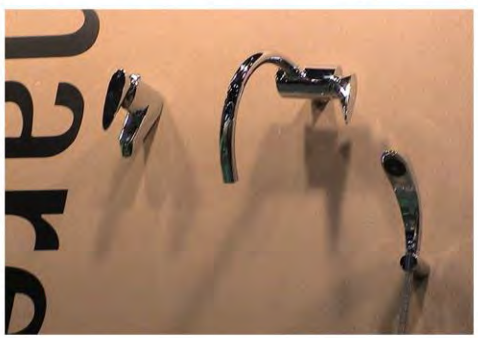
インスタレーション ワークス

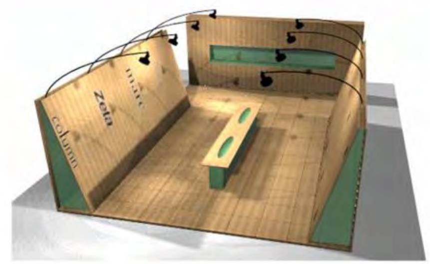
INSTALLATION WORKS 2001
(2001 TOKYO - ORLANDO,USA - SHANGHAI,CHINA - TOKYO - OSAKA)

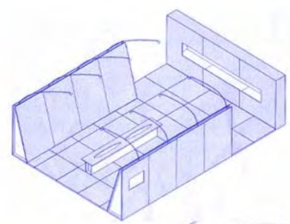
展示会の宿命である、短期間で行われ解体される展示会インスタレーションについて、環境問題の視点からアプローチし、低コスト、廃棄物利用、再利用性、簡略性を考慮にいれ、素材選定、デザイン構成を決定した。乾燥した大地—砂漠—の暗喩として使用しているパーティクルボードは再生素材である。出展企業の提唱するメッセージである、自然との調和、水の潤い、美しさ、優しさといったイメージを閲覧者に表象させる空間を目指した。

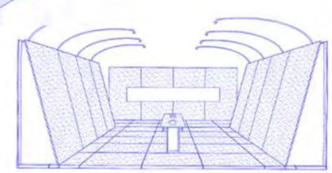
- Tokyo Big Sight, Tokyo, Japan（March 6-9, 2001）
- Orange Country Convention Center Orlando, Florida, USA（April 27-29, 2001）
- Shanghai Everbright Convention & Exhibition Center Shanghai, China（July 3-6, 2001）
- Tokyo Big Sight, Tokyo, Japan（August 2-4, 2001）
- Intex Osaka, Osaka, Japan（September 13-15, 2001）











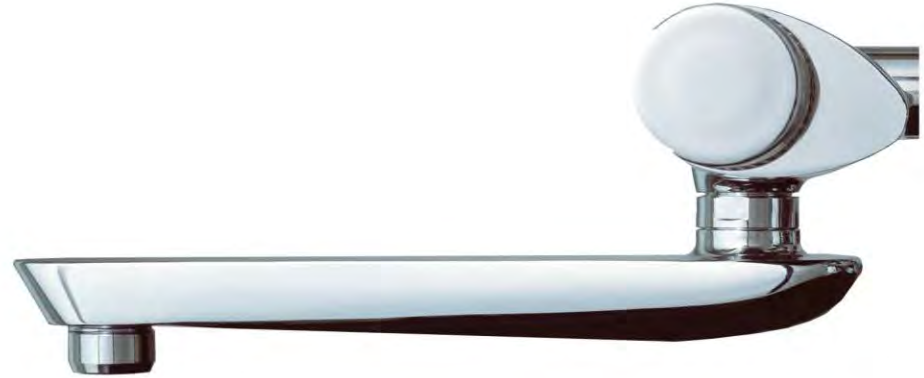
12: Product Design

マーレ

mare

SAN-EI FAUCET MFG.CO.,LTD

水栓金具メーカーの商品構成中、最高位機種に位置付けられる本製品は、企業のフラッグシップ製品としてのデザインが求められた。シンプルな断面形を組合わせる事で、重厚かつ浮遊感のあるデザインを目指した。



mare

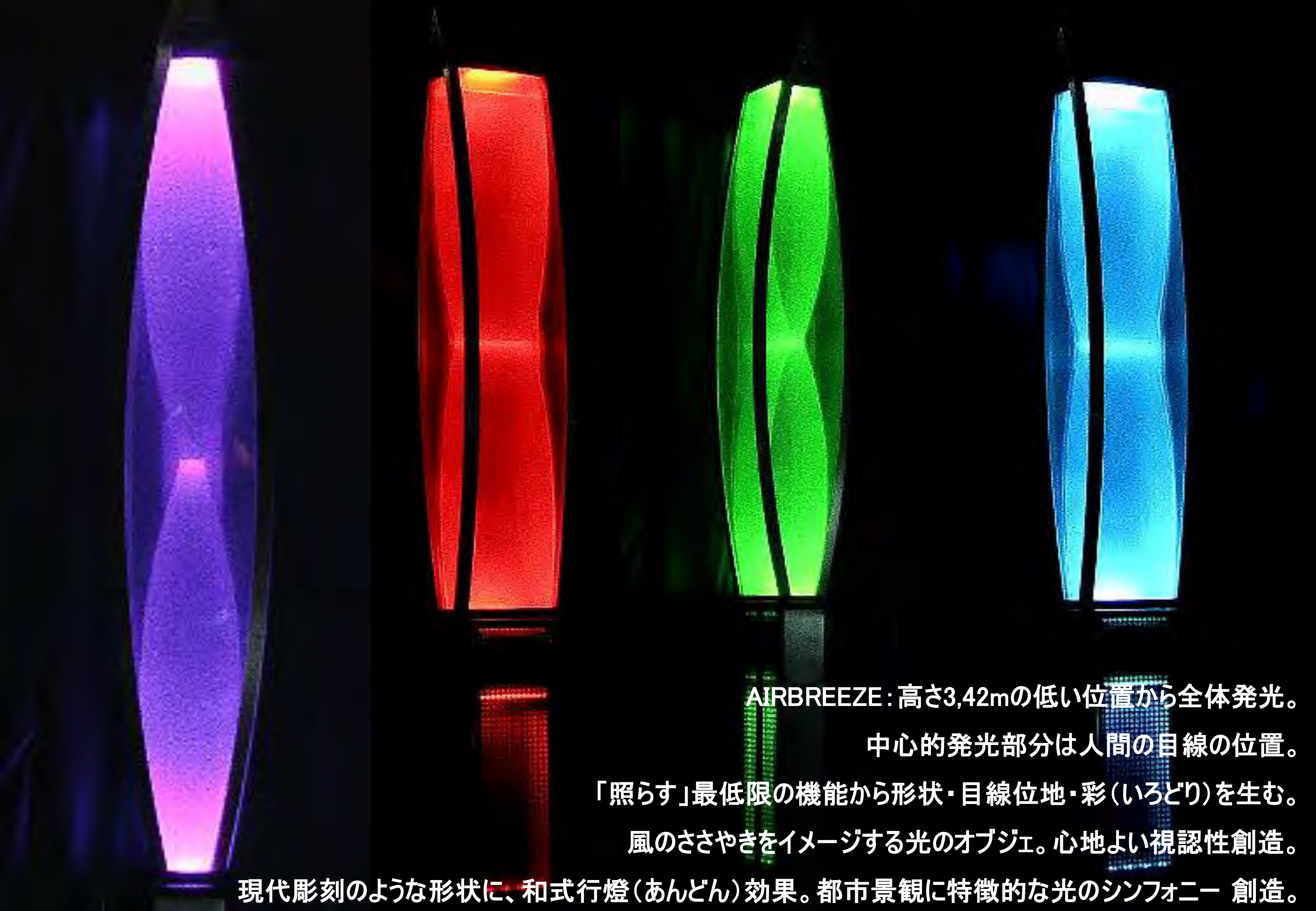
サーモシャワ混合栓　Good Design Award 2000

サーモ混合栓

シングルワンホール洗面混合栓

シングルワンホールスプレー混合栓

シングルワンホール混合栓



AIRBREEZE：高さ3,42mの低い位置から全体発光。

中心的発光部分は人間の目線の位置。

「照らす」最低限の機能から形状・目線位地・彩（いろどり）を生む。

風のささやきをイメージする光のオブジェ。心地よい視認性創造。

現代彫刻のような形状に、和式行燈（あんどん）効果。都市景観に特徴的な光のシンフォニー 創造。

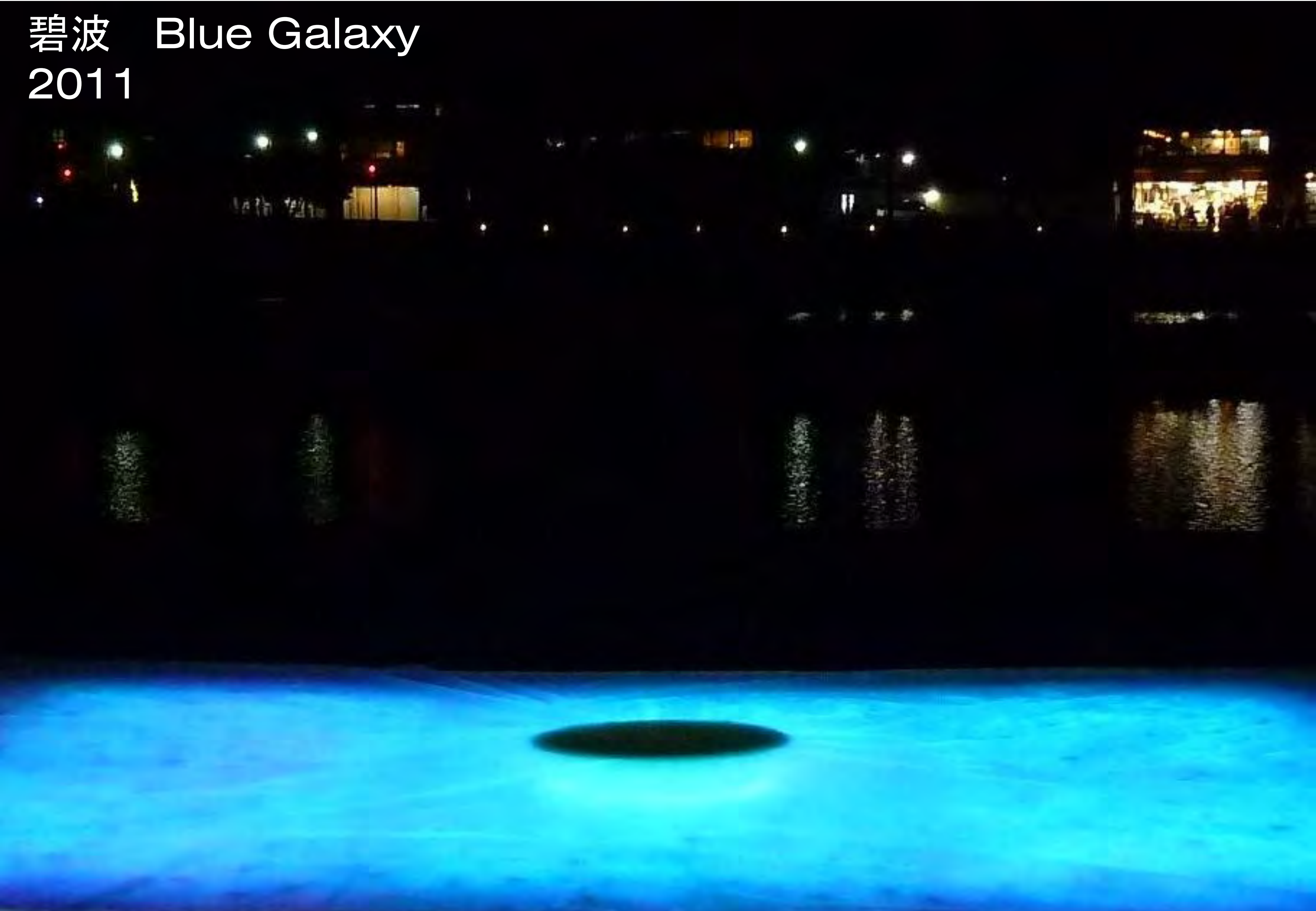

AIR BREEZE LED SAVE ENERGY NEW 楽しむ LAND SCAPE ENJOY SUSTAINABLE LIFE
LED 省エネルギー 新ランドスケープ 精神的に豊かな持続可能社会を楽しもう

見る角度により異なる色彩。

40w蛍光灯2本分の長さ2Mが、6V　4.5W1灯で光ります。

200M先の渡月橋対岸より視認。

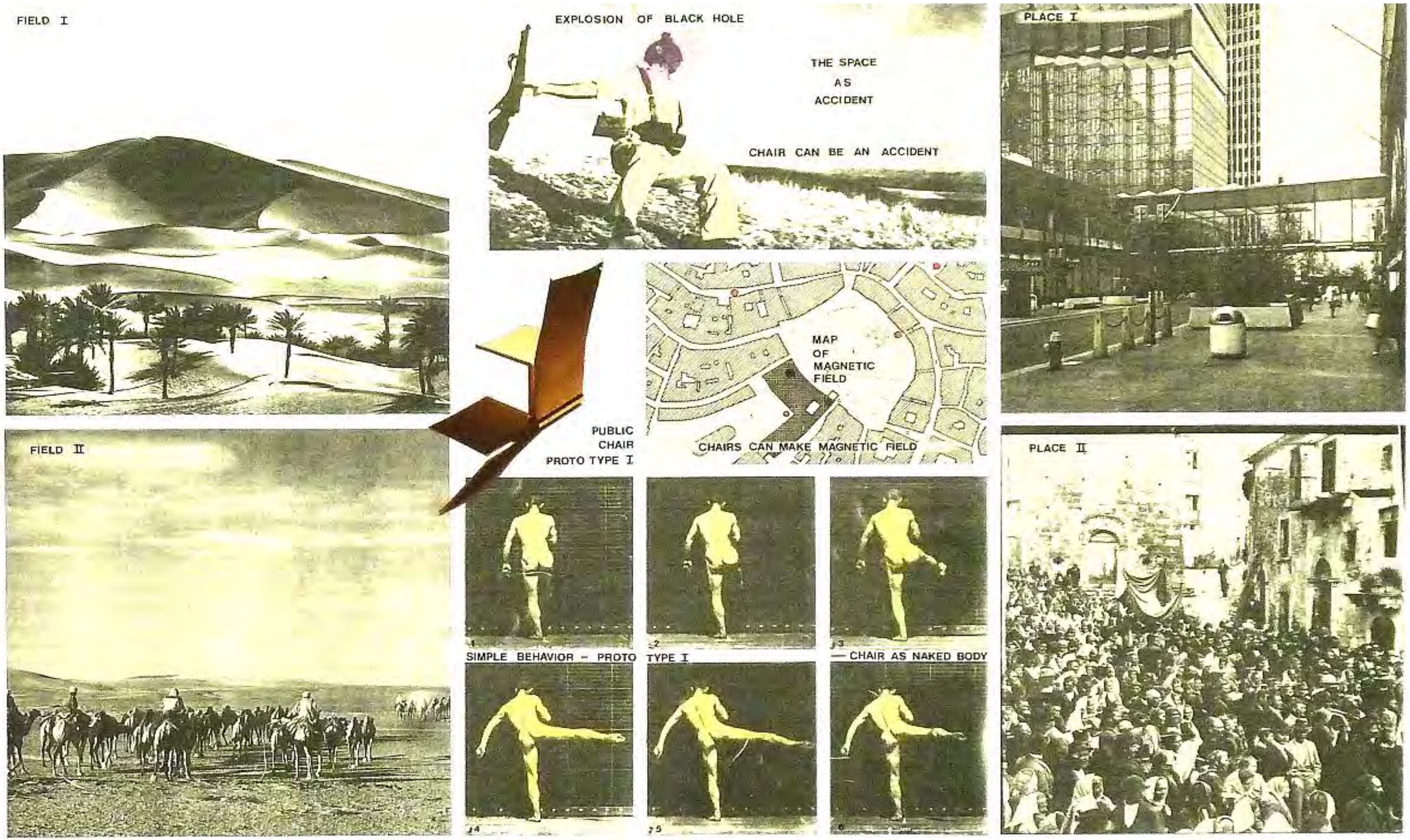

R A N　鸞
LED光源4.5Wで点灯、7灯全体でわずか30W強。見る角度により色彩が異なります。
生命体の機能を模したデザインなどに BIOMIMICRYという手法があります。玉虫の輝きです。環境負荷軽減照明を環境美学として嵐山華灯路2008に提案しました。


碧波　Blue Galaxy
2011

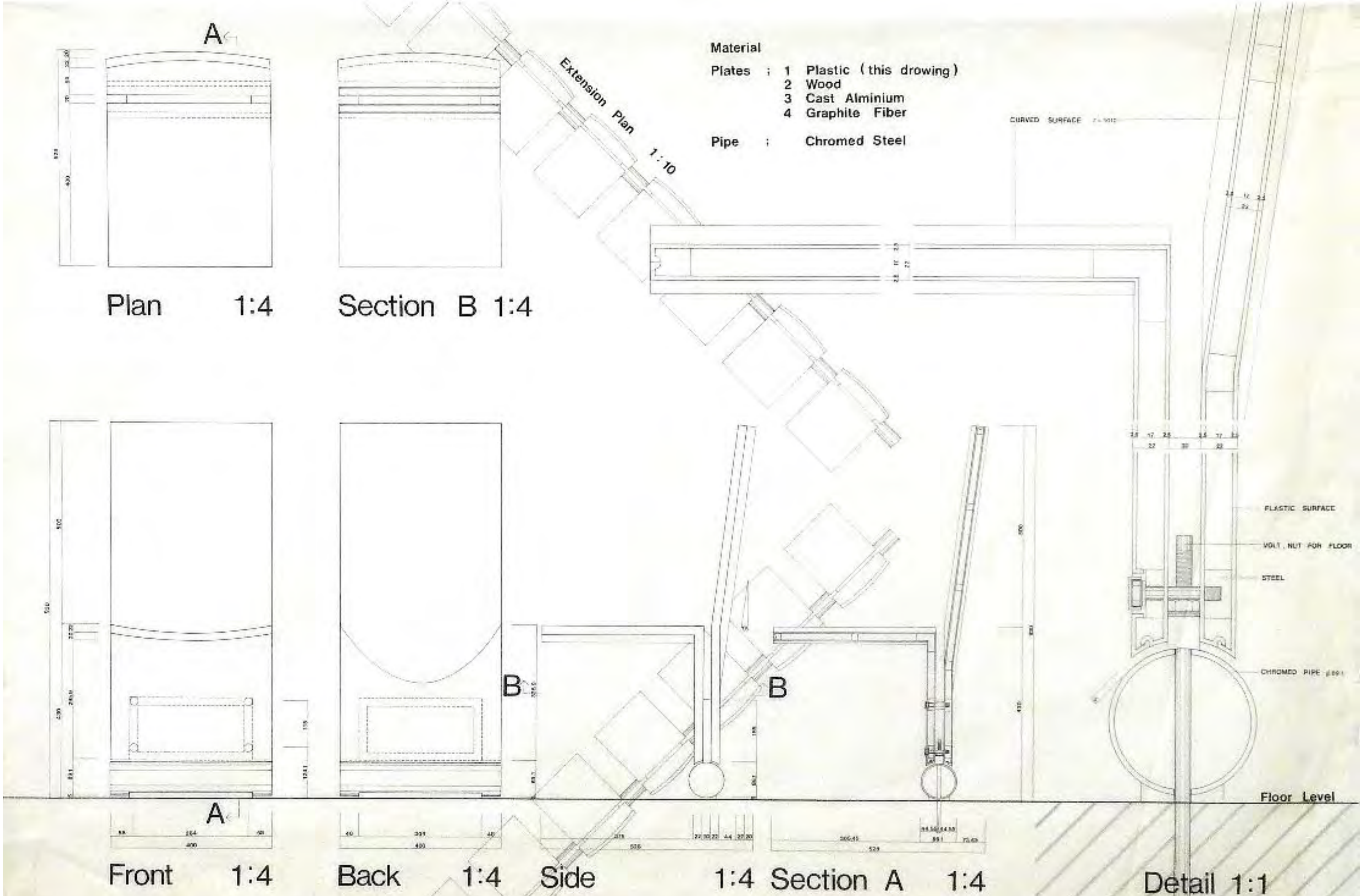
碧波　Blue Galaxy
2011

13: Furniture Design

PUBLIC CHAIR PROTOTYPE 1



PUBLIC CHAIR PROTOTYPE 1 1983
SIMPLE BEHAVIOR CHAIR as NAKED BODY EXPLOSION of BLACK HOLE CHAIR CAN BE AN ACCIDENT



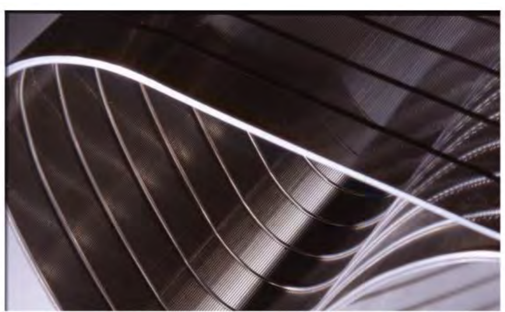
PUBLIC CHAIR PROTO TYPE I

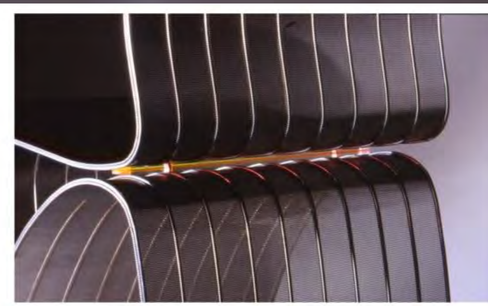
公衆用の椅子試作品 Ⅱ

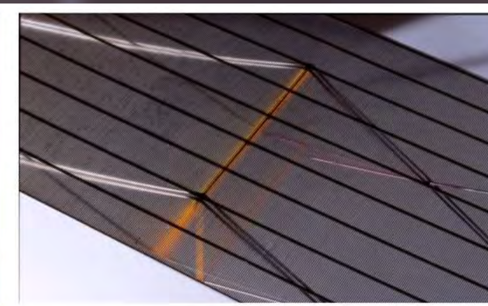
PUBLIC CHAIR PROTO TYPE Ⅱ
（2001 Tokyo Designer's Week）

Material:Stainless steel-Wedge Wire Scrren,22B × 0.5mm/D45 × 50P(Toyo Screen)

空間において,椅子が果たす役割は限りない。
建築空間の写真に意図的に配置された椅子がそのことを雄弁に語っている。
私たちは椅子が決定する人のしぐさを読み取り,居住者や建築家の存在まで感知する。
一方、空間の何者をも喚起しない椅子がある。多くの公共施設に見られる椅子である。
1983年に"公衆用の椅子試作品 Ⅰ"を発表した。今回"試作品 Ⅱ"として可能性を探る。

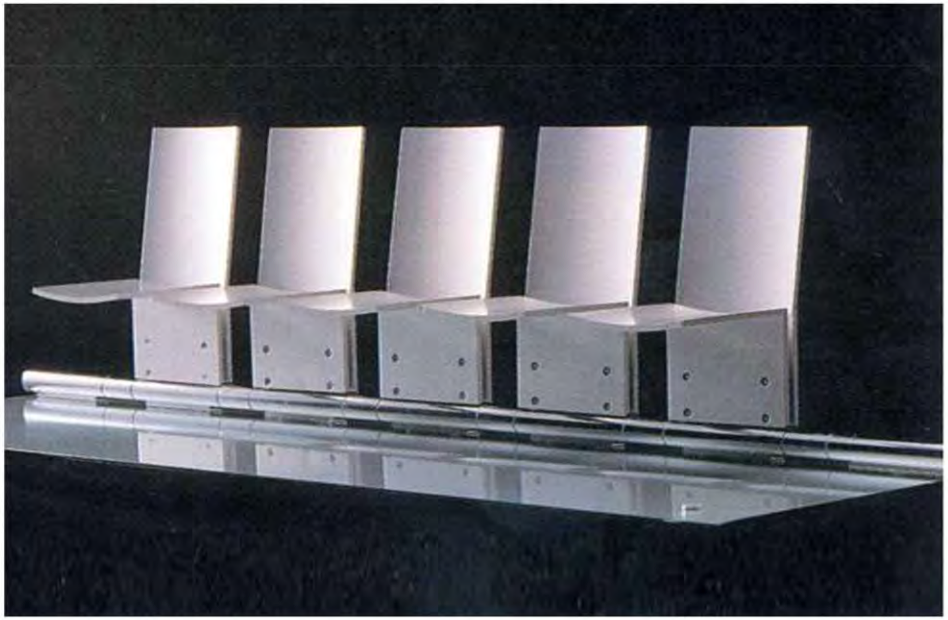


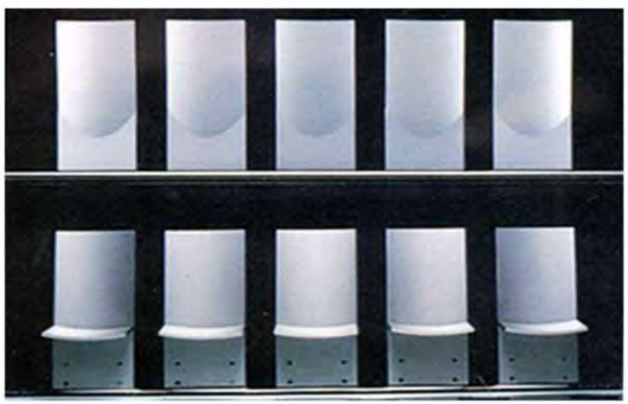




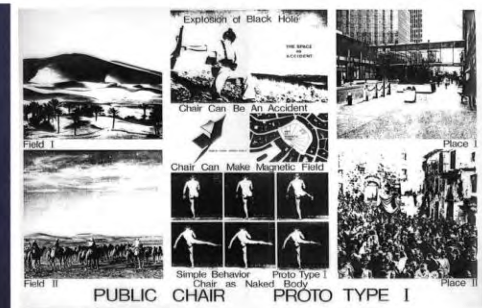
公共用椅子試作品 I

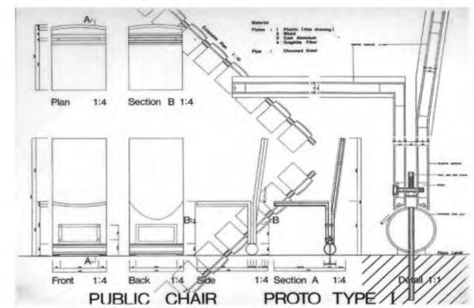
PUBLIC CHAIR PROTO TYPE I
(1988-1992 OSAKA)

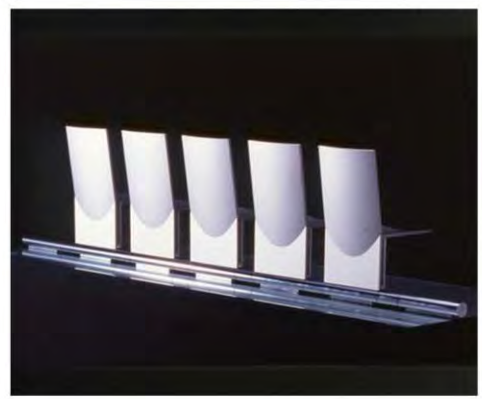


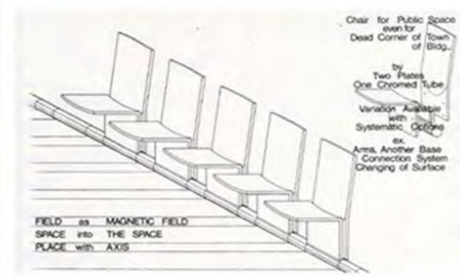


この「公衆用の椅子」は、2枚の板と1本のスチールパイプとで構成され、これをつなぎ合せると何人でも座れるような椅子にすることができる。日々通り過ぎる駅舎での電車待ちの時間。プラットフォームにあるものは、何一つ心に訴えかけてはくれない。地下街や街中のデッドスペース。そうした心のエアポケットを展開する場を人々に対して“用”を提供するこの椅子の設置によって、感動のある場に変換していきたいと考えた。“デザイン”が持つ機能性、構造性、言語性等のハードな“技術性”が内在化され、現実化されてくるとき、一見ソフトな“デザイン”は、単なる表面的な美しさを越えて、環境を切り開き、社会に対してすら関与できると考えている。









PRIZE

1ST INTERNATIONAL DESIGN COMPETITION
(1983 Japan Design Fundation)

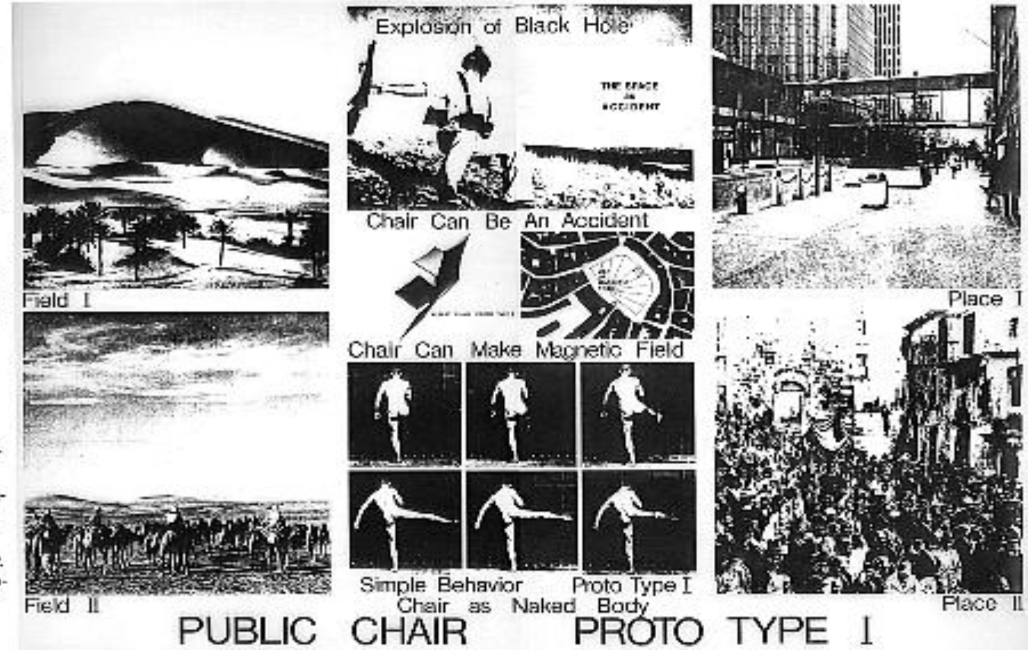
Public Chair Prototype 1
Toshiroh Ikegami   Japan

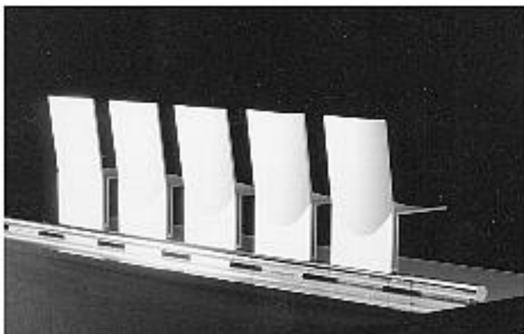
CreativeConcept

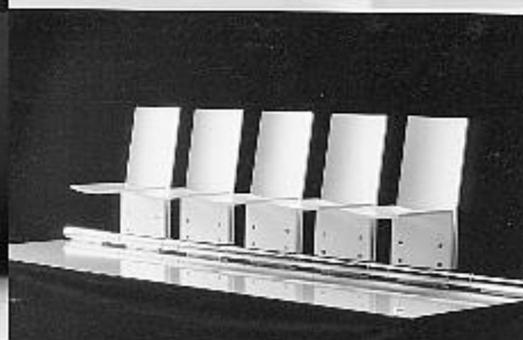
This"Public Chair"is composed of two plates and one Steel pipe.When these are joined together,the chair is capable of accommodating a limitless numberofpeople.
The curved surface of the plates makes it easier to install the public chair in places such as a station or street.The simple repeated formation of chairs transforms such a placeinto a new vivid landscape.

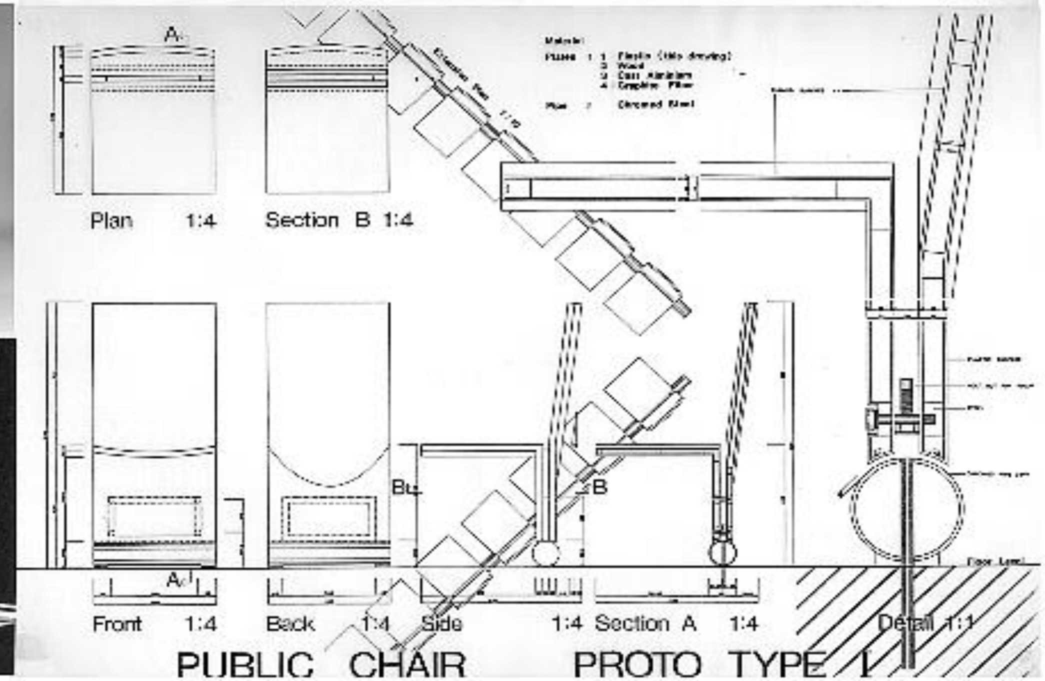
Comment of the Prize Winner

Now is the time for design again.All "objects related to us human beings,which have all their functions,positions,directions,sizes,structure,morphology,languages,etc.,come to be enged with our spirit as anintegration of multi-dimensional vectors. In a sense,even absence of excitement can become"excitement" .We are all surrounded by an affluence of material richness.But little of it is worthwhile,touching our hearts.The "Public chair -Prototype 1 ", chosen for this award, is really many chairs which can be joined together ina public place accessible to an indefinite number of people.
While waiting for our commuter trains at the station every day,nothing found on the platform appeals in any way at all to our hearts.We see dead spaces on the streets or in underground shoppig arcades.This publicchair that I designed originated from my wish to convert these spots presenting air pockets in Our hearts into places where there exists some emotion by means of a"thing"serving a 'purpose"for people.
As the design's hardware aspect of "technicality" ,such as functionability,structure and linguistic element,become inherent and realistic,the apparently software-like "design" ,I believe,opens up its own environment by surpassing its simply superficial beauty.Leven being able to be engaged with society.
I am firmly convinced ofthe necessity of such designs today. Ishould like to continue creating sure things which have something to say to the human heart,staying free fromthe existing genres.



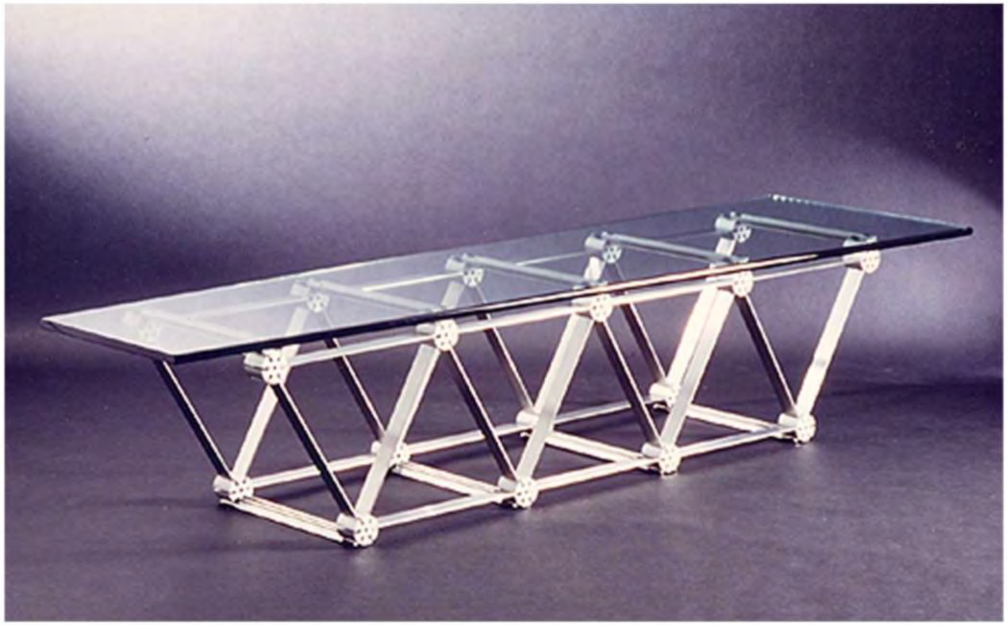
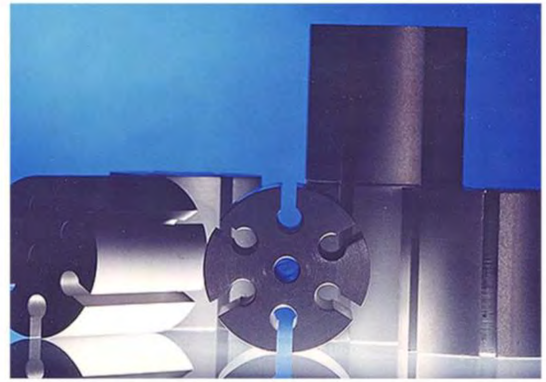
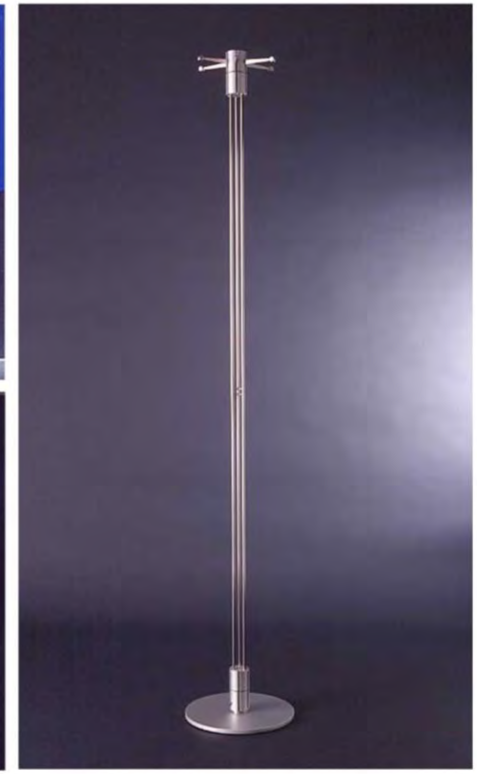
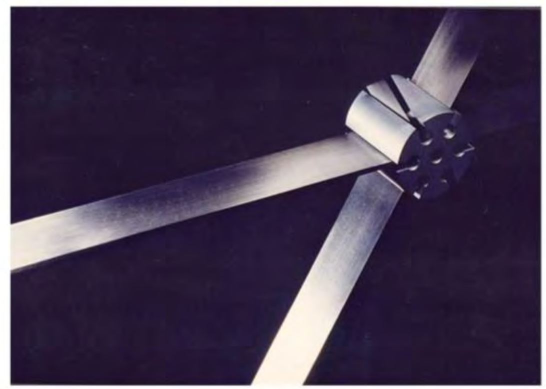


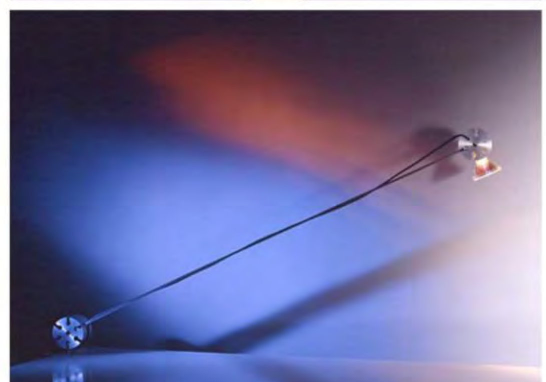


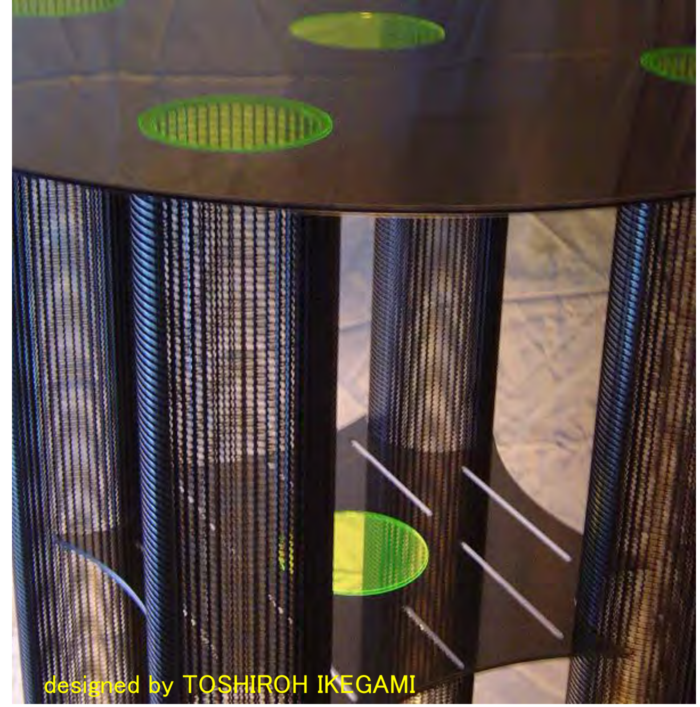


UNITED GALAXY BY TRANSLATORS
(1988-1992 CHUOKU OSAKA)

＜Translator＝翻訳者＞と名付けられたジョイント部材は、様々な機能を解き翻訳し、必要なサブの部材とともに、より大きな空間を射程において形態化されていく。直径54mm、長さ54mmの小さなトランスレーターを出発点として、その60度の放射線上に空間が多様に展開しようとしている。いつか、建築が、都市が、同一の延長上に構成できないかと考えている。

ECO MATERIAL 1

UNIQUE ECO MATERIAL

CREATES NEW DESIGN

14: Research Project

SIMULATING "the DWELLING SPACE" from PAST to FUTURE for HOW WE LIVE NOW

MY RESEARCH PROJECTS 2000-2006

from PAST: RESEARCH PROJECT 1:2000-2004

LEARNING & ARCHIVES of SPACE HERITAGE 1200 YEARS

Exhibition :Tōji Temple Kyoto–ANATOMY in CYBER SPACE

JAPAN2003 CHINA2004

works of graduate school / Kyoto City University of Arts

to the FUTURE: RESEARCH PROJECT 2: 2001-2003

HOW to DWELL in INTERNATIONAL SPACE STATION

ARTISTIC APPROACH TO SPACE/ Kyoto City University of Arts

NOW :RESEARCH PROJECT 3:2003-2006

RESEARCH PROJECT 1:2000-2004

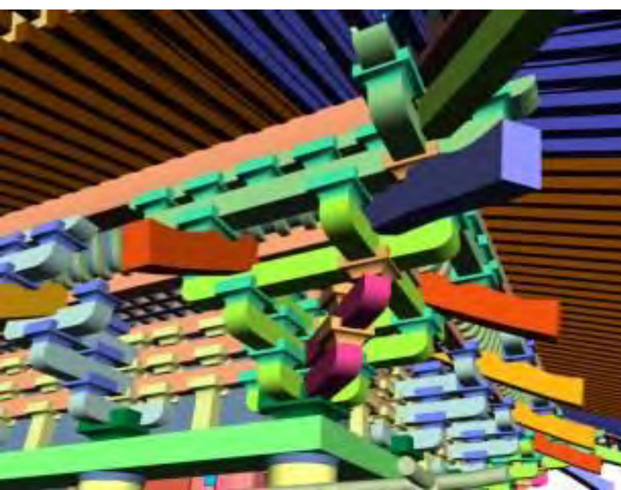
from PAST:

LEARNING SPACE HERITAGE 1200 YEARS

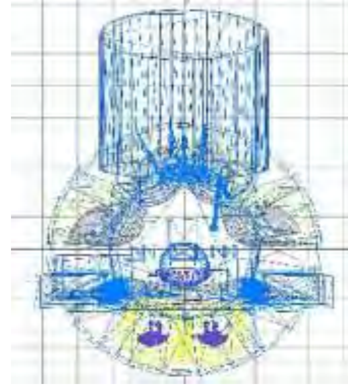
Exhibition: Tōji　Temple　Kyoto—ANATOMY　in　CYBER　SPACE

works of graduate school / Kyoto City University of Arts

JAPAN 2003 CHINA2004

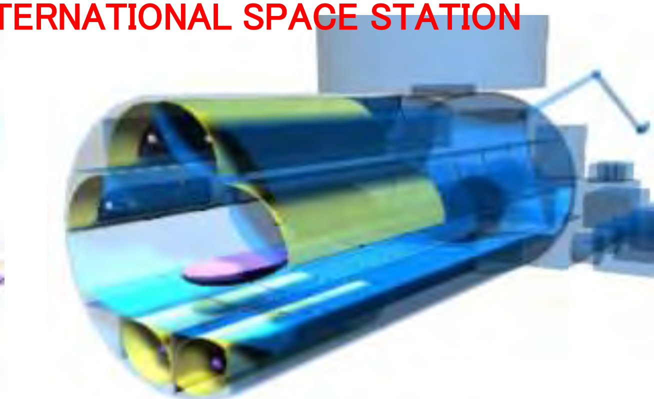







HOW to DWELL on the PLANET

THINKING & SIMULATING INTERNATIONAL SPACE STATION

RESEARCH PROJECT 2: 2001–2003

To the FUTURE:

ARTISTIC APPROACHES TO SPACE

Kyoto City University of Arts

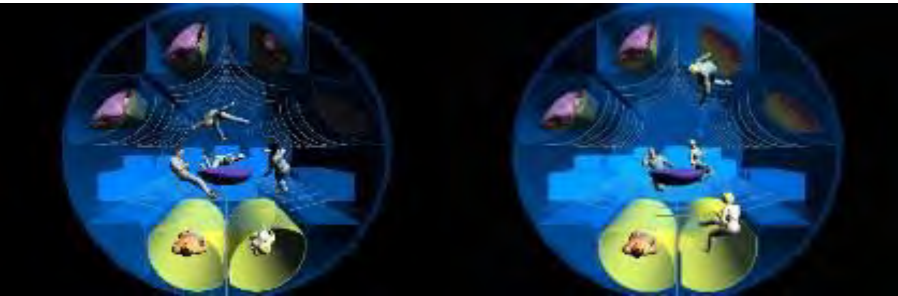
HOW to DWELL in SPACE

NO AIR/NO GRAVITY

NO WATER/NO ENERGY/NO FOOD

without PLANTS & ANIMALS

SYSTEM



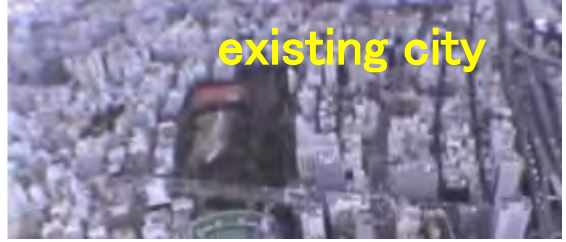

designed by TOSHIROH IKEGAMI

ARTISTIC APPROACHES TO SPACE

TEAM AXIS4 NPO ECODESIGN NETWORK

saka model of circulation oriented society through case study of existing city & neighborhood nature

2003–2006
Based on results from
Japan Science and Technology Agency / RISTEX



By DESIGN

Creating a Circulation-oriented Society
through Lifestyle Aesthetics of Eco-Design

专题报道 · 曲江论坛
Special Reports

遗址公园将成西安绿肺

——日本建筑设计大师池上俊郎畅谈大明宫遗址保护

大明宫

千年后的发展。大明宫遗址这么大体量的保护改
安市的影响也应该考虑到一千年后，它的时间跨
6000~8000年的时空跨度。大明宫的位置处于西
北邻，也有低矮棚户区将变成高楼林立的发展，
展好与坏，对其的研究开发保护利用要充分考虑。
其变化，就终将会毁于城市的自然发展。要营造
的美丽，最重要的是它的文脉，就像一本小说刊
线一样，城市也有它的文化脉络，设计城市如同
一样也要有自己的风格自己的脉络。对西安这
说，既有明清时代如钟鼓楼等古建筑，也有众多
迹，还有现代飞速发展的城市，这就看如何去编

大明宫这样的大面积古遗址，它的特殊性和
世界上是绝无仅有的，它的遗迹以古代外轮廓完

DESIGN as FACTOR TECHNOLOGY

中国　西安　唐大明宫国家遗址公园策划　2007

Pilot Plan of Da Minggong Cultural National Historical Park XI'AN CHINA 2007

Future Expo
The Blue Planet

基調講演

ブルーエコノミー　The Blue Economy
《プレミアム・レクチャー》グンター・パウリ　Gunter Pauli 氏

ベルギー生まれ。ZERI財団 代表
1994年に国連大学よりゼロエミッションを提唱する。製造段階で排出される廃棄物を他の産業でも有効活用しながら、循環型社会や持続可能な社会への提案を行う。"ブルーエコノミー"は、自然から発想を得たイノベーションを用いて、現在は廃棄物となっている物質を利益が得られる商品に変えていくアイデアを展開する。これからの社会のイノベーションの創出について語る。

展示会及び分科会 主要テーマ

1. BIO DIVERSITY ·BIO TECHNOLOGY
生物多様性のもと、生命体に学び創造するバイオテクノロジーイノベーション
モデレーター：赤池 学　株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所 代表

2. DWELL
良好な環境を求めて進化する、豊かでユニバーサルな生活空間イノベーション
モデレーター：芦原 太郎（社）日本建築家協会会長　芦原建築設計研究所 代表

3. ROBOT
生命体都市ロボシティーコアに始まるロボットとの共生社会のイノベーション
モデレーター：浅田 稔　大阪大学大学院　知能・機能創成工学専攻 教授

4. ENERGY
新エネルギー・省エネルギー技術のハイブリッドな展開と素材開発のイノベーション
モデレーター：吉川 暹　京都大学　エネルギー理工学研究所 特任・名誉教授

5. WATER
水都大阪から考える豊かなウォーターフロント形成と世界の水のイノベーション
モデレーター：宇山 浩　大阪大学　大学院工学研究科応用化学専攻 教授

6. MOBILITY
未来の自動車交通と電池技術の進化による、エコ社会のモビリティーイノベーション
モデレーター：塩路 昌宏　京都大学　大学院エネルギー科学研究科 教授

7. INFORMATION & COMMUNICATION
情報通信サービス技術による、次世代ブロードバンド・ユビキタスイノベーション
モデレーター：三宅 功　日本電信電話株式会社　情報流通基盤総合研究所 所長

8. SRI-Socially responsible investment
社会的責任投資 ー持続可能なお金の流れを作るイノベーション
モデレーター：河口 真理子　NPO 法人 社会的責任投資フォーラム 代表理事兼事務局長

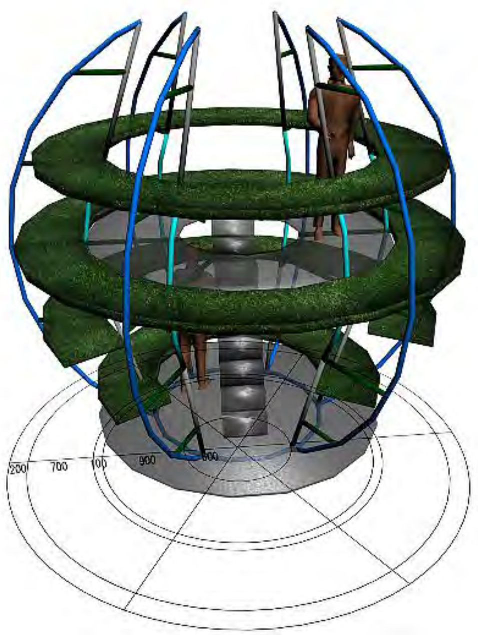
9. from EUROPE
ベルギー王国ワロン地域を中心とする中小企業によるイノベーションパラドックス
モデレーター：クレール・ギスレン ベルギー王国ワロン地域政府貿易・外国投資振興庁 日本代表

総合プロデューサー
池上 俊郎 / Toshiroh IKEGAMI
建築家　京都市立芸術大学教授　NPO法人エコデザインネットワーク理事長


DWELL
TOSHIROH IKEGAMI
−棲息すること− 空間デザインの未来展
A MICRO CLIMATE IN A MICRO BIOSPHERE “微小生命圏における微小環境の最適化”
池上俊郎と関係者の記録と可能性 1981-2013

15: New Territory Design

SEASIDE FARM - MICRO BIOSPHERE - CREATE MICROCLMATE for AGRICULTURE 2005-07



URBAN FOOD CHAIN & LANDUSE

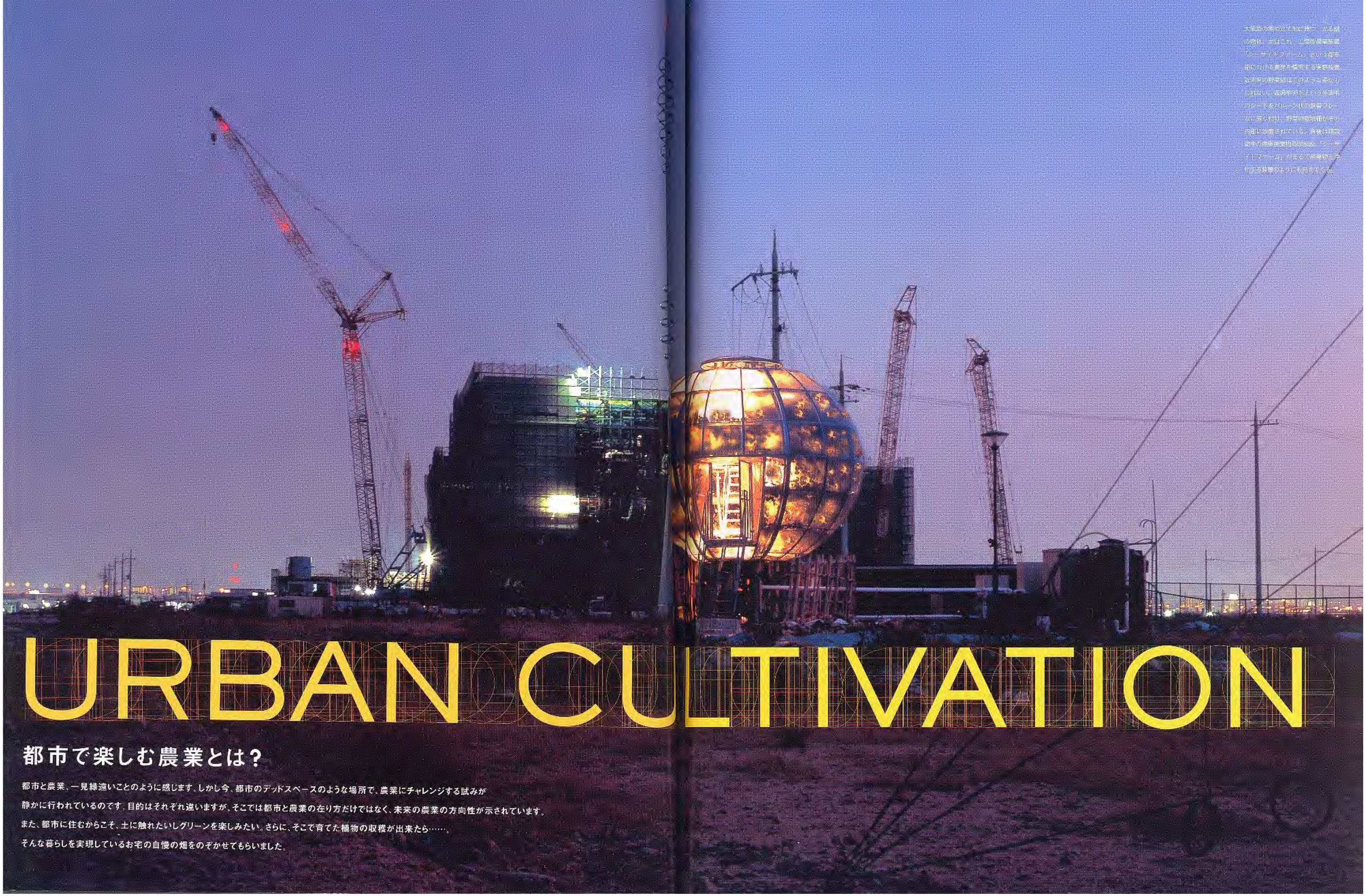
都市の食糧自給と土地利用の効率化を探る

SEASIDE FARM

2005-2007

URBAN AGRICULTURE

·都市農業



URBAN CULTIVATION

都市で楽しむ農業とは？

都市と農業、一見縁遠いことのように感じます。しかし今、都市のデッドスペースのような場所で、農業にチャレンジする試みが静かに行われているのです。目的はそれぞれ違いますが、そこでは都市と農業の在り方だけではなく、未来の農業の方向性が示されています。
また、都市に住むからこそ、土に触れたいしグリーンを楽しみたい。さらに、そこで育てた植物の収穫が出来たら……。
そんな暮らしを実現しているお宅の自慢の畑をのぞかせてもらいました。

Indoor Green Style1

URBAN CULTIVATION

SEASIDE FARM @ KISHIWADA

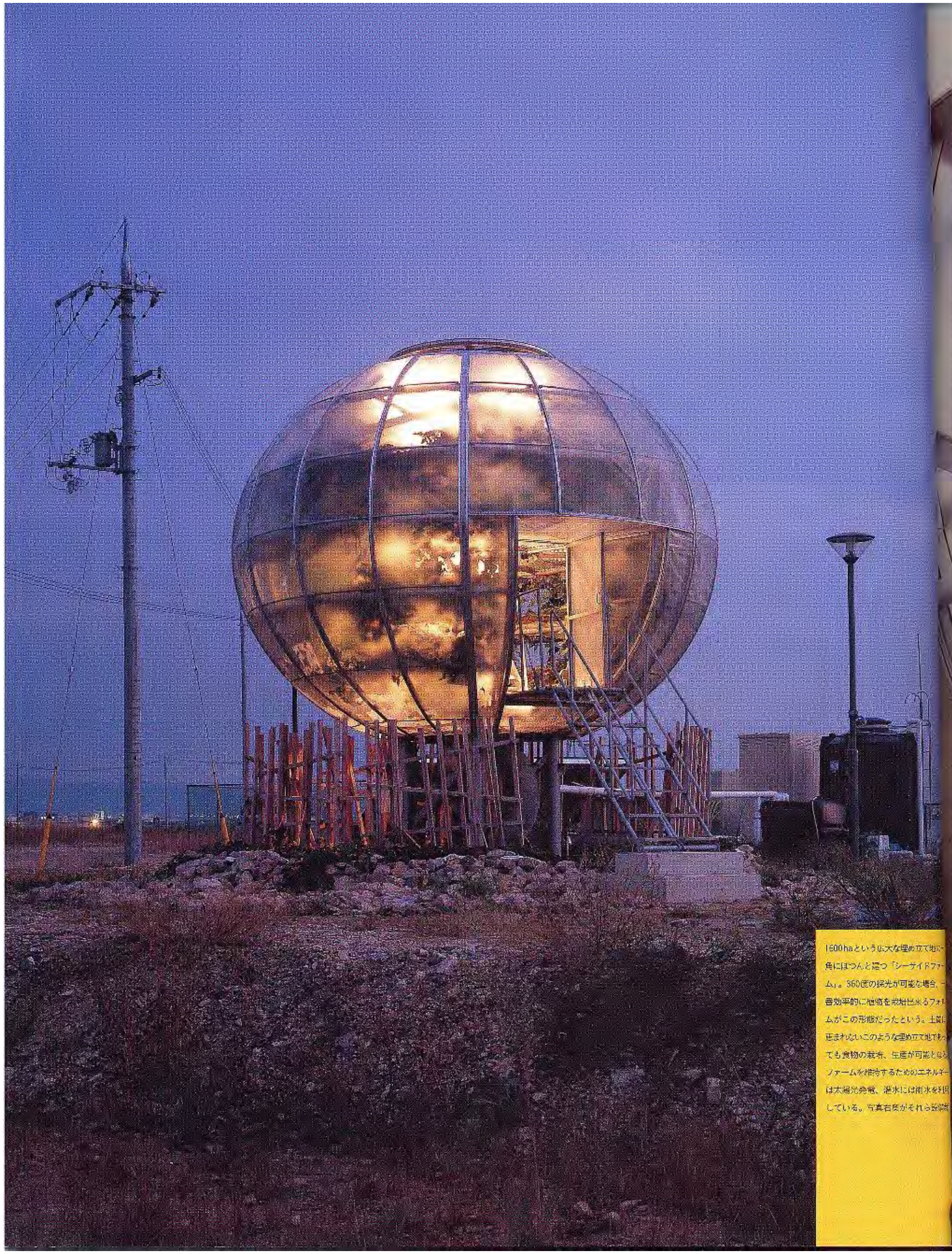
シーサイドファーム

@大阪·岸和田市

農業で大阪湾を再生させる。そんな構想のもと進められている実験施設がこの「シーサイドファーム」です。
1600haもあるといわれている大阪湾の埋め立て地を有効利用しつつ、循環型社会を実現させるための試みなのです。
都市と農業の新しい関係を築くだけでなく、バイオテクノロジー、エネルギーさらには都市計画など多方面で循環型社会へ向けた可能性を切り開く実験でもあるのです。

撮影／松岡宏和（P38、39含む）

「シーサイドファーム」内部。サツマイモの栽培棚がぐるりと建物内を巡る。写真では収穫のときを静かに待つサツマイモといった風情だが、成長期には葉が壁面を覆うように青く繁っていた。この実験は'06年9月まで。後、何回収穫出来るのであろうか。



1600haという広大な埋め立て地の一
角にぽつんと建つ「シーサイドファー
ム」。360度の採光が可能な場合、一
番効率的に植物を栽培出来るフォル
ムがこの形態だったという。土壌に
恵まれないこのような埋め立て地であっ
ても食物の栽培、生産が可能となる
ファームを維持するためのエネルギー
は太陽光発電、潅水には雨水を利用
している。写真右頁がそれら設備

まるで宇宙船のハッチのよう。「シーサイドファーム」エントランスまわりの風景。外壁を覆うシートは透過率95%のETFE膜。この施設の維持管理、また実験データを取りに行くことは、そう頻繁にはないそう。自然に任せ、その結果を受けて次の実験へとつないでいく。

URBAN CULTIVATI

SEASIDE FARM @ KISHIWADA

Indoor Green Style 3

いよいよ収穫のときを迎えたサツマイモたち。2種類の人工土壌に植え込まれてしっかり育った。栽培面積と採光とが検討されて出来た栽培棚は4段。サツマイモの葉がつたってグリーンの壁のようになっている。

シーサイドファーム

所在地：大阪府岸和田市岸之浦町地先
グリーン監修・建築設計：池上俊郎　京都市立芸術大学美術学部
＋エコデザインネットワーク チームアクシス4
施工：太陽工業
構造：本体／S造　基礎／RC造
規模：φ6m　h5m（装置全体h6.7m）
外壁：ETFE（エチレン-テトラフルオロエチレンコポリマー）膜（旭ガラス）
内部：床／エキスパンドメタル　栽培棚内1／不織布、ケイソウペレット、ケイソウドライ（日本ホームプロダクツ）　栽培棚内2／ロックウール、不織布、パーライト　栽培植物（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科、日本ホームプロダクツ）
外構：本体基礎周辺／御影石　棚／木材45mm角　外部栽培／ケイソウドライ、ケイソウペレット（日本ホームプロダクツ）


左／収穫されようとするサツマイモ。ここまで大きく育った。
右／ファーム最上段から俯瞰する。サツマイモがファームを取り巻いている様子がよく分かる。上部に付いているのは換気扇。栽培の際は通風も重要だ。

大阪湾フェニックス計画を担う施設として

エジプトの伝説的な霊鳥・フェニックス。アラビアの砂漠に棲んで、500年生きると自らの古き肉体を焼き尽くし、
灰塵となった灰の中から新たな生命を享けて蘇るという不死鳥である。
便利さと引き替えに汚された海と、
便利さと引き替えに造成された廃棄物の陸をもつ大阪湾沿岸部の
片隅で、フェニックスの蘇生のごとく未来への輝きが胎動し始めた。

取材・文／大塚久光
撮影／松岡宏和

「シーサイドファーム」模型。御影石、角材を使った棚、そして最後にシートを張ったバルーン状の形態などほぼこの模型通りに実現した。

陸に置き去り海に打っ棄る

いま大阪湾では、近畿圏の2府4県を対象区域に海面埋め立てによる廃棄物の最終処理が行われる一方で、その埋め立てた土地を有効に活用しながら港湾機能の整備を図ろうとする「大阪湾フェニックス計画」が進んでいる。2004年3月には「大阪湾再生行動計画」が策定されて、水質改善に向けた取り組みも始まった。

特定非営利活動法人（NPO法人）エコデザインネットワークのAXIS4研究部会（池上俊郎部会長）が推進するプロジェクトも大枠でこの流れに与しながら、大阪府岸和田市の阪南2区で何やら面妖な実験を行っている。「大阪湾沿岸域の環境保全と循環型都市再生」と題されたこのプロジェクトは、プロトタイプの工場型農業装置「シーサイドファーム」1機をぽつりと陸に置き去り、沿岸における生物回帰装置「シーファーム」1機をぷかりと海に打っ棄るというもの。出来るだけ人の手は掛けず、掛からず。自然の営みに事の行方を委ねている。環境適合設計（エコデザイン）とは、持続可能な社会の実現を目的として、製品のライフサイクル全体における環境効率を高める設計・生産技術・システム管理のことをいう。

都市再生って言うけれど？

「都市再生ってよく言われるけども、内容、目的、実際に出来上がったものを見ると、その都市再生ってちょっと同違っていないかと、ときどき問いたくもなる。建築基準の緩和もあって、いま都市の中心部では超高層マンションが次々と安い費用で建てられては高値で売られていく。確かに超高層マンションは、人が大勢集まる所だから良質な店舗も周辺に出来てくるだろうし、街を活気づける集客装置になるだろう。しかし、それは再開発とは言っても都市再生だとは言わない。人間には人間らしい住み方っていうものがあり、地域には地域に合った住み方っていうものがある。超高層マンションをあちこちにつくっては『夜景がきれいに見えるように』とかロマンチックに言葉を紡いで少しだけ模様替えしたインテリアを次々と展開し、『ほら、センスが好くなったでしょ』などとひどく曖昧なせりふで施主を喜ばすばかりがデザインではない。建築家だから、インテリアデザイナーだからとか、そんなつまらない境界など飛び越えて、今日あるすべての空間を生命が棲息するにふさわしい場所へとつくり替えていく努力をする。そうした気概を形として表現していくのが、僕ら設計者にとってのデザインだと思う。人間は自然の営みなくして生きられない。自然の営みは人間のもたらした多くの不純物を浄化してくれるが、それは人間以外の多様な生命体が生態系を保持してはじめて得られる恩恵でもある。都市の再生っていうのは自然と一体となって多様な生命体が共存出来る社会をつくり出すことなんだと、僕は思う」

大阪湾から、夢よ再生して

池上俊郎さんは大阪湾に都市再生の思いを込めた。「シーサイドファーム」は、透過率95％のETFE膜を楕円形の鉄骨フレームに張った高床式のバルーン体だが、それは土壌にやや難を持ちながらも360度採光可能なロケーションにおいて、植物栽培用棚の面積と日光の照射角度をいかに効率よく確保するかを考えて帰着したフォルムである。太陽光発電を動力とし、ヒートパイプとエアコンで室内保湿、雨水利用の貯水タンクで灌水源を確保した。「1600haはあるという大阪湾沿岸の広大な未利用地を、僕は何とか緑であふれる第一次産業の基盤として育みたい」。池上さんは、大阪湾沿岸を埋め尽くすほどに群生したシーサイドファームの未来図に、紹介予定派遣等で募った経験浅い就農希望者がいきいきと働いている姿をだぶらせて、新しい日本の農業システムの構築を夢に描いていた。

URBAN CULTIVATION
SEASIDE FARM@KISHIWADA

池上俊郎（いけがみ・としろう）
大阪府出身。アーバンガウス研究所主宰 '99から京都市立芸術大学教授。現在NPO法人エコデザインネットワーク副理事長。近年は環境問題克服、有人宇宙飛行に関わるデザインなど、人間の棲息空間の在り方を探る幅広いデザイン分野の研究実践活動に力を注ぐ。


左／「シーサイドファーム」と同時に進む、大阪湾の海洋生物の回帰と自然再生を目指した実験装置「シーファーム」。
右／このプロジェクト、ゆくゆくはスペースコロニーでの栽培をも模索しているという。写真はその模型。

URBAN ECO FARM - MICRO BIOSPHERE - CREATE MICROCLMATE for AGRICULTURE 2012-

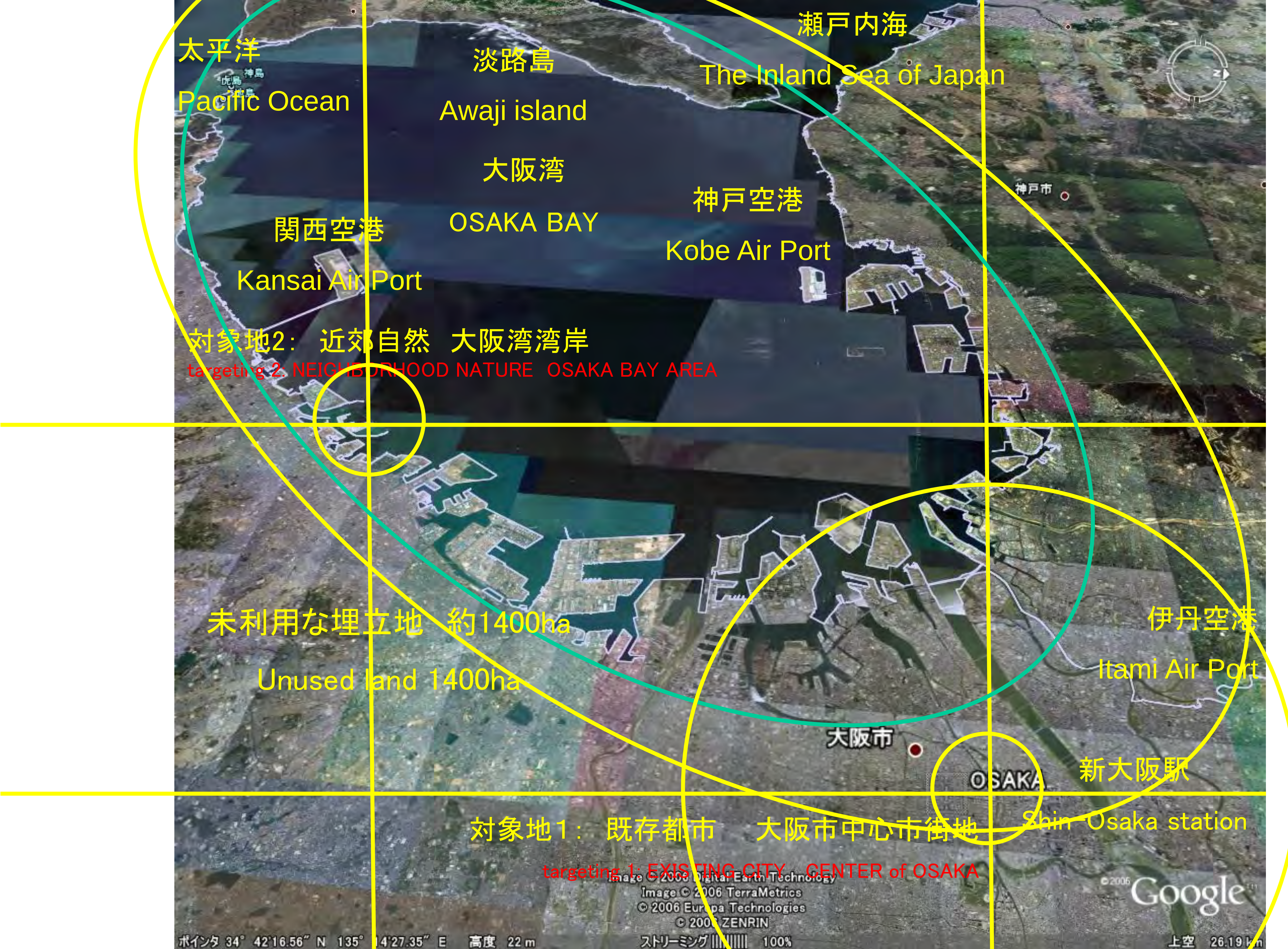
URBAN AGRICULTURE SPACE - EXPLORE as a NEW SYSTEM
APPROPRIATE LIGHT, TEMPERATURE, WATER, AIR MANAGEMENT, and FERTILIZATION.
都市内農業空間は、適切な光、温度、空気管理、施肥を新たなシステムとして探る。

URBAN ECO FARM - MICRO BIOSPHERE - CREATE MICROCLMATE for AGRICULTURE 2016

URBAN AGRICULTURE SPACE – EXPLORE as a NEW SYSTEM

APPROPRIATE LIGHT, TEMPERATURE, WATER, AIR MANAGEMENT, and FERTILIZATION.

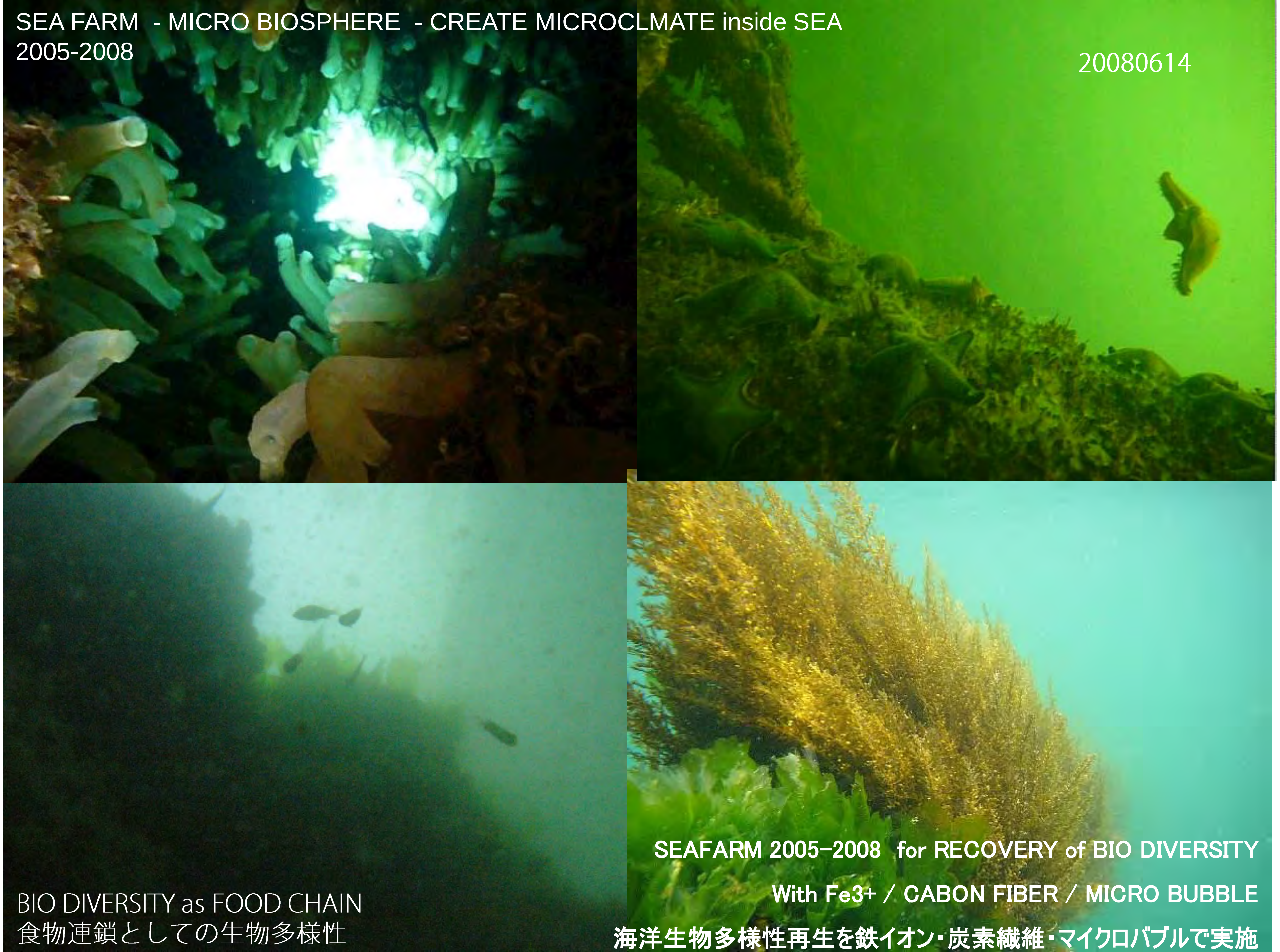
都市内農業空間は、適切な光、温度、空気管理、施肥を新たなシステムとして探る。



瀬戸内海
The Inland Sea of Japan
太平洋
Pacific Ocean
淡路島
Awaji island
大阪湾
OSAKA BAY
神戸空港
Kobe Air Port
関西空港
Kansai Air Port
神戸市
対象地2： 近郊自然 大阪湾湾岸
targeting 2: NEIGHBORHOOD NATURE OSAKA BAY AREA
未利用な埋立地 約1400ha
Unused land 1400ha
伊丹空港
Itami Air Port
大阪市
OSAKA
新大阪駅
Shin-Osaka station
対象地1： 既存都市 大阪市中心市街地
targeting 1: EXISTING CITY CENTER of OSAKA
Image © 2006 TerraMetrics
Google
ポインタ 34° 42'16.56" N 135° 14'27.35" E 高度 22 m
ストリーミング 100%
上空 26.19 km

SEASIDEFARM SEAFARM 2005 summer
SEAFARM 2005
SEAFARM 2006
SEASIDEFARM
大阪岸和田阪南2区


SEA FARM
RECOVERY of URBAN FISHERY / BIODIVERSITY
都市漁業･都市生物多様性の再生
experimental equipment setup for recovery of marine organisms for urban marine industries
-Ocean Report:
experimental equipment setup for recovery
of marine organisms for urban marine
industries
SEA FARM - MICRO BIOSPHERE - CREATE MICROCLMATE inside
SEA 2005-2008
Coexistence of various life organisms - tidelands , shoal , fishing ground and seaweed beds
Fixing carbon by food-chainUse a recycled resources adhesive property
Cleaning up the waters of the bay by capability of organisms and plants



SEA FARM - MICRO BIOSPHERE - CREATE MICROCLMATE inside SEA
2005-2008
20080614
BIO DIVERSITY as FOOD CHAIN
食物連鎖としての生物多様性
SEAFARM 2005-2008 for RECOVERY of BIO DIVERSITY
With Fe3+ / CABON FIBER / MICRO BUBBLE
海洋生物多様性再生を鉄イオン・炭素繊維・マイクロバブルで実施


参考 : MICRO BUBBLE DETAIL

参考1：大阪城公園　東外濠　大阪トライアスロン水泳コース

2017年秋　状況

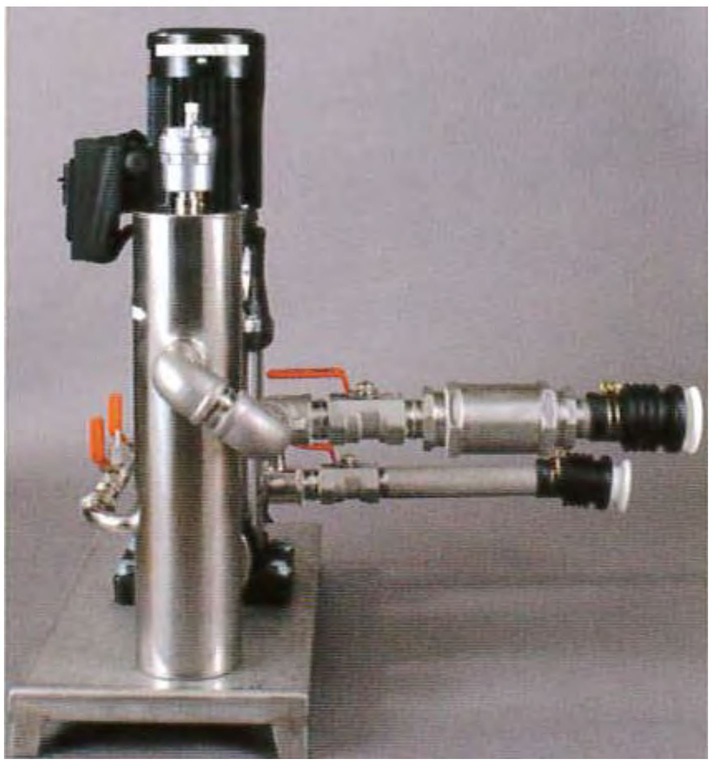
左上および下：2017年11月2日南部・中間部

右上：同年9月29日　南部

使用装置１：マイクロバブル発生装置(MB)

浮遊物に吸着し水面上に浮き上がる特性に伴い、
微細ゴミ、アオコなど藻類を除去・繁殖抑制する。
好気性微生物の活性化を通じて有機物の分解を進める。

マイクロバブル発生装置MB：三洋設備産業株式会社製
SMB-C-50　W600*D550*H900　3相200V基準



計画３：水質改善実証実験計画　装置設置並びに配管概要図

装置設置構成の目的；北から南へマイクロバブル水の還流を起こし、効果を促進する。
装置：
１：水槽WA：容量3トン。MB水20T/Hを北部に送る。北端に排水処を1ヶ所設ける。
２：マイクロバブル発生装置MB：1ヶ所2基。
３：微細スクリーン設置装置FA；1基　。
４：補助曝気装置AR；ポンプ2台陸上設置。水中吹き出し個所を12ヶ所設置。
５：配管計画：装置から送る配管は、濠底に沈める。

20171227版



20180610 大阪城トライアスロン大会2018
完走者から泳ぎやすいと好評に終わった。


微細気泡直径；1 ： Micro bubble ：気泡直径1μm －200μm
2 ： Nano bubble ：気泡直径1μm未満
3 ： Micro nano bubble ：気泡直径600nm－10μm

微細気泡特徴；

水質：湖沼・池（＋オゾン・酸素）（溶存酸素・好気性微生物活性浄化）

海域：生物浄化・食物連鎖・貧酸素対策・高濃度酸素水供給

農業：水耕栽培・散水　（収量増加・栽培期間短縮・成長促進・味覚向上）

畜産：養豚・養鶏場・（飲料水・成長促進・肉質向上・期間短縮・死亡低減）

水産業：養殖（海洋・陸上）品質向上・酸欠対策・水質浄化・水質改善

食品・飲料：除菌効果・液体食品中MB状態気体溶存熟成

製造分野：半導体洗浄・ウェハ剥離・油分除去

環境：洗浄（道路・橋梁・トイレ）・塩分除去

環境：産業排水処理（工場排水・ホテル・病院）悪臭対策（＋オゾン・酸素）

医療・美容・健康：風呂・シャワー・スポーツ後

Microbubble diameter:
1: Micro bubble: bubble diameter 1 μm -200 μm
2: Nano bubble: bubble diameter 1 μm or less
3: Micro nano bubble: Bubble diameter 600 nm - 10 μm

Micro bubble features;

Water Quality: Lake / Pond (+ Ozone / Oxygen) Marine Area: Biological Purification / Oxygen

Agriculture: Hydroponic cultivation · Sprinkling water Livestock farming: pig / poultry farm

Fisheries: Aquaculture (Marine · Athletics) Food · Beverage: Sterilization effect ·

Manufacturing area: Semiconductor cleaning Environment: Cleaning (roads, bridges, toilets)

Environment: Industrial wastewater treatment Medical Beauty / health: bath / after sports

提案：
東京オリンピック・パラリンピック
20200724-0809
水泳コース　お台場海浜公園
お台場水泳環境提案

TOKYO FISH LOVE PROJECT 2020
201803

特定非営利活動法人（NPO法人）エコデザインネットワーク
理事長　池上俊郎
〒559－0034 大阪市住之江区南港北2-1-10
アジア太平洋トレードセンターATC／ITM棟11F
p: 06-6615-5272　 f: 06-6616-7098　 info@eco-design.net
連絡先：株式会社アーバンガウス研究所
c 81+(0)9015845031 p 81+(0)662045565 office@urbangauss.com

Fig.06　TFL　配置鳥観図

３：提案：積極策：
使用主装置　TFL：TOKYO FISH LOVE マイクロバブル発生装置(MB)

マイクロバブル発生装置には多様な機能がある。
目的：
　水泳コースの環境を整える
　糞便性大腸菌群数の減少効果、赤潮発生要因の回避、CODの確保
機能：
　①　水域の汚濁浮遊物質の浮上除去、好気性微生物による底質の改質、溶存酸素の増加による貧酸素海の防止、魚介類の成長促進、フリーラジカルによる大腸菌の減少。
　②　補足としてオゾンマイクロバブルによる大腸菌等滅菌。
　③　自然の持つ自浄力の活性化を通じ、海洋生物が求める基本的に良好な海洋環境形成を図る。

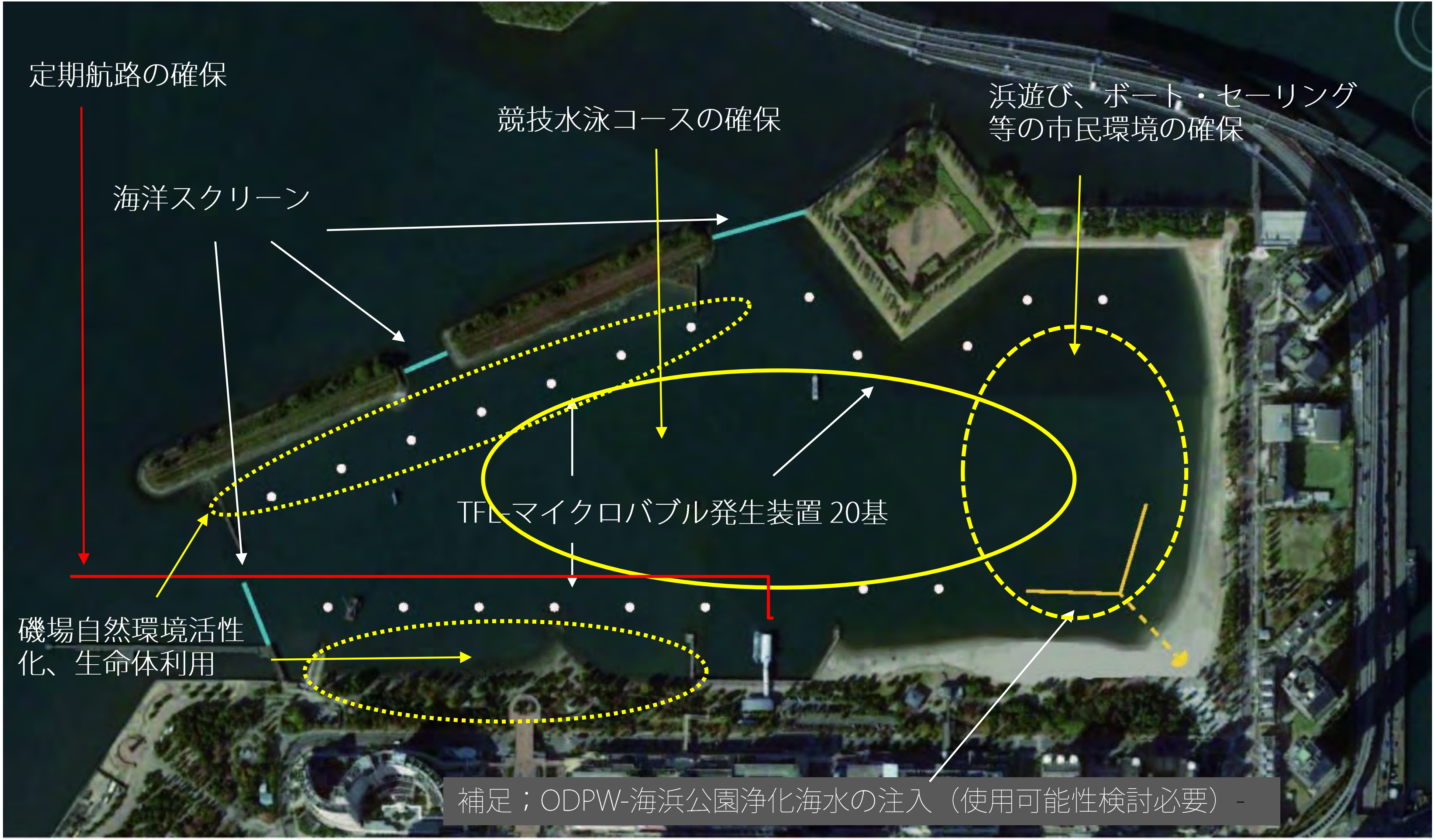
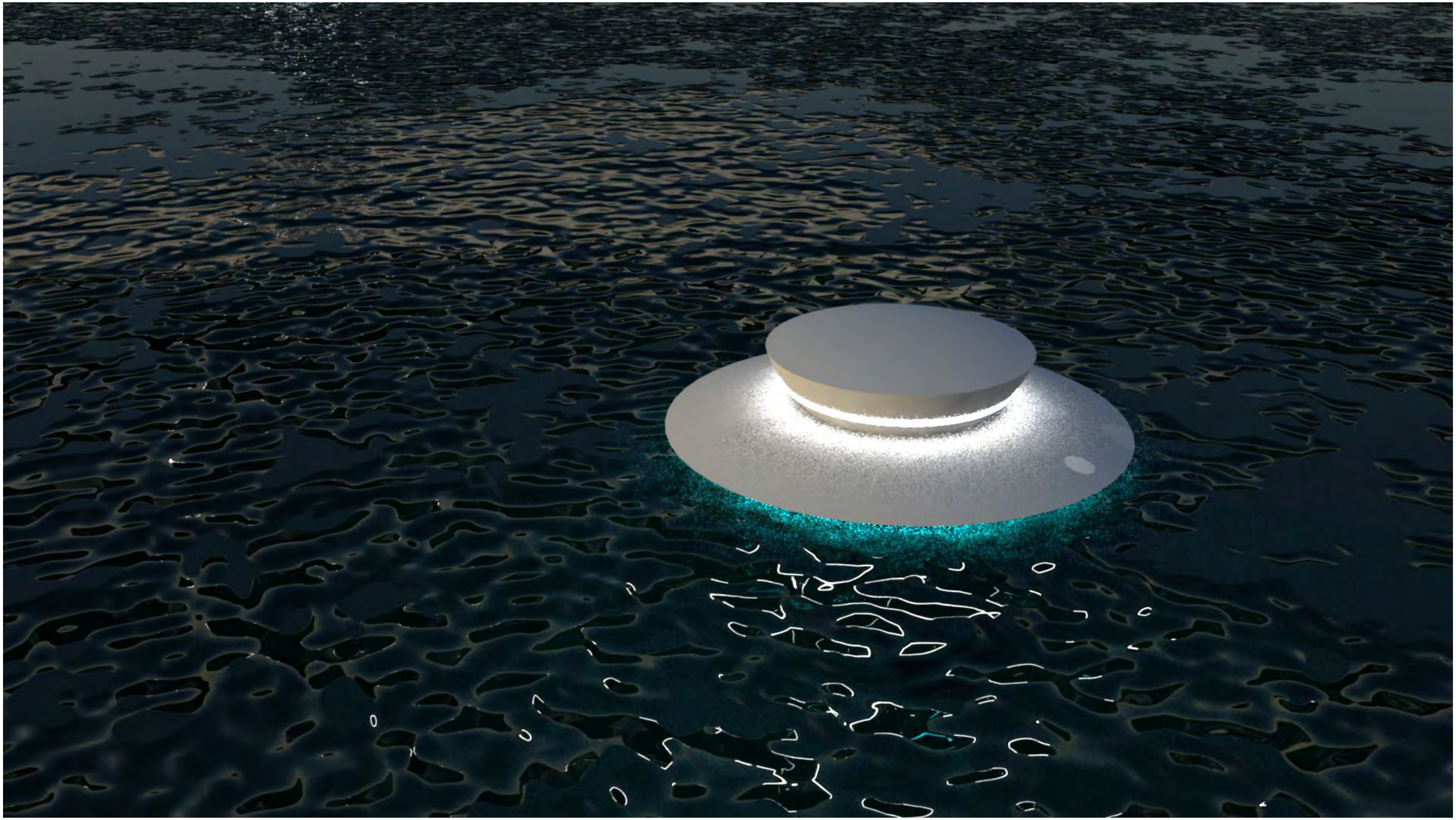
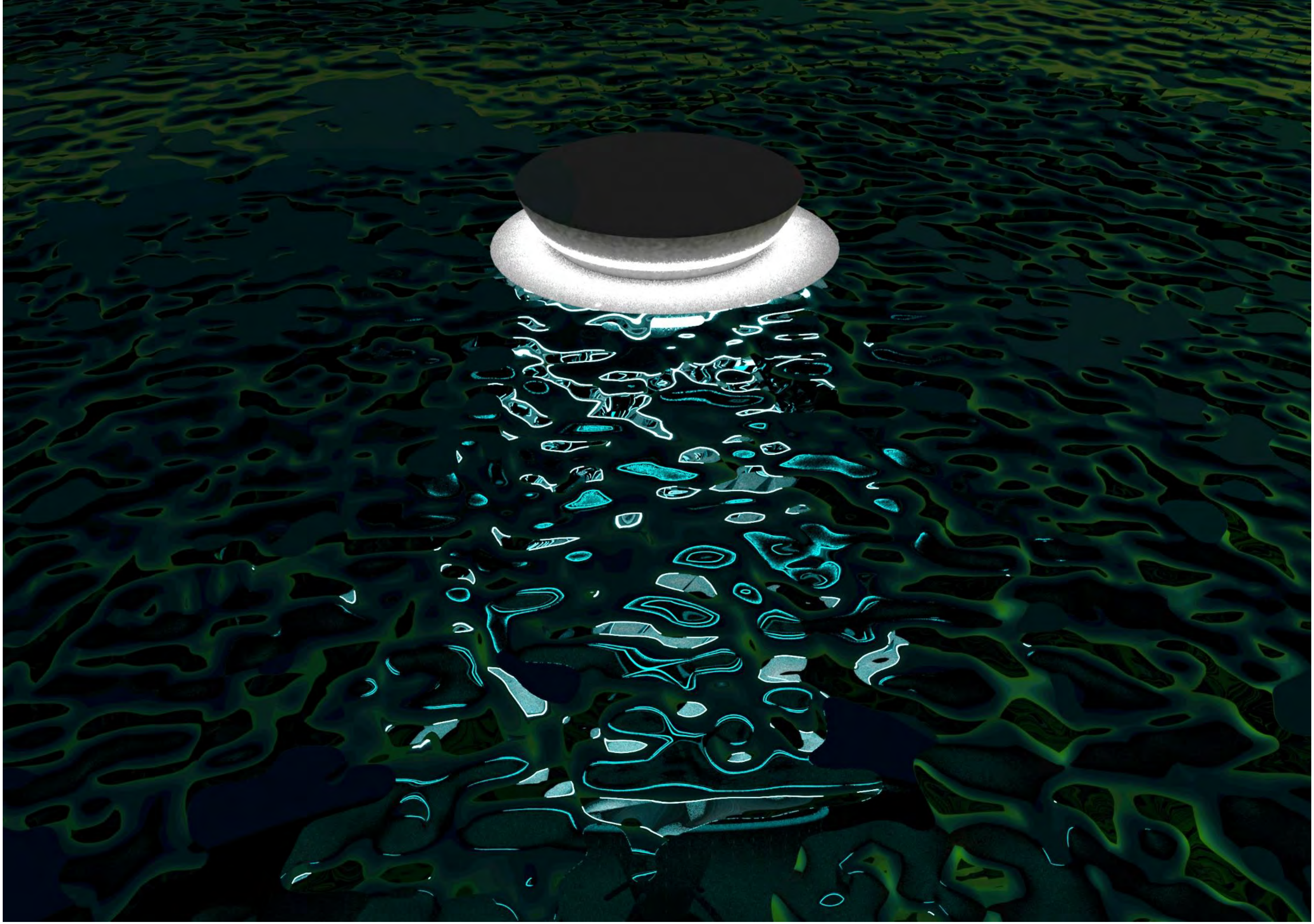


Fig.01-1 補足　TFLーマイクロバブル発生装置配置図



7 ：参考3： 3DCG夜間海面イメージ

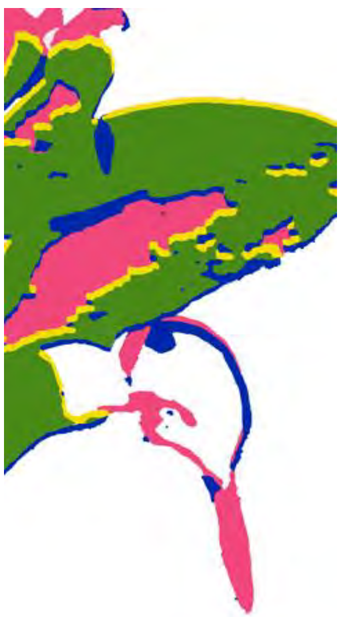


７：参考4：3DCG夜間海面イメージ

Stage Architecture







Graphic design scene
for
stage architecture


熱帯幻想　by HIKARI BABA

16: Art Director Works


DWELL
TOSHIROH IKEGAMI
−棲息すること− 空間デザインの未来展
A MICRO CLIMATE IN A MICRO BIOSPHERE “微小生命圏における微小環境の最適化”
池上俊郎と関係者の記録と可能性 1981-2013

DWELL 2013 TOSHIROH IKEGAMI WORKS from 1981-2013
"棲息する事　–　空間デザインの未来展"

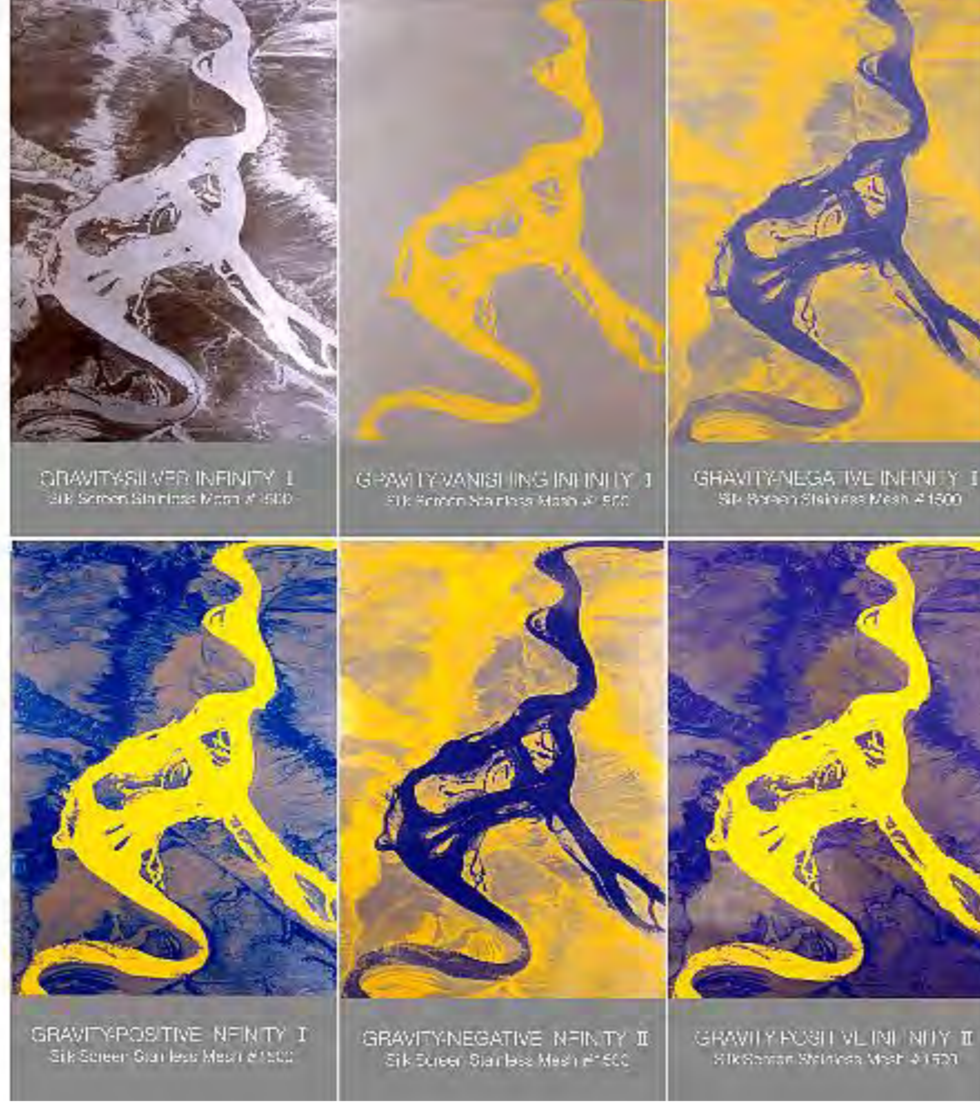

SILENCE


DWELL


DWELL


未来メッセ

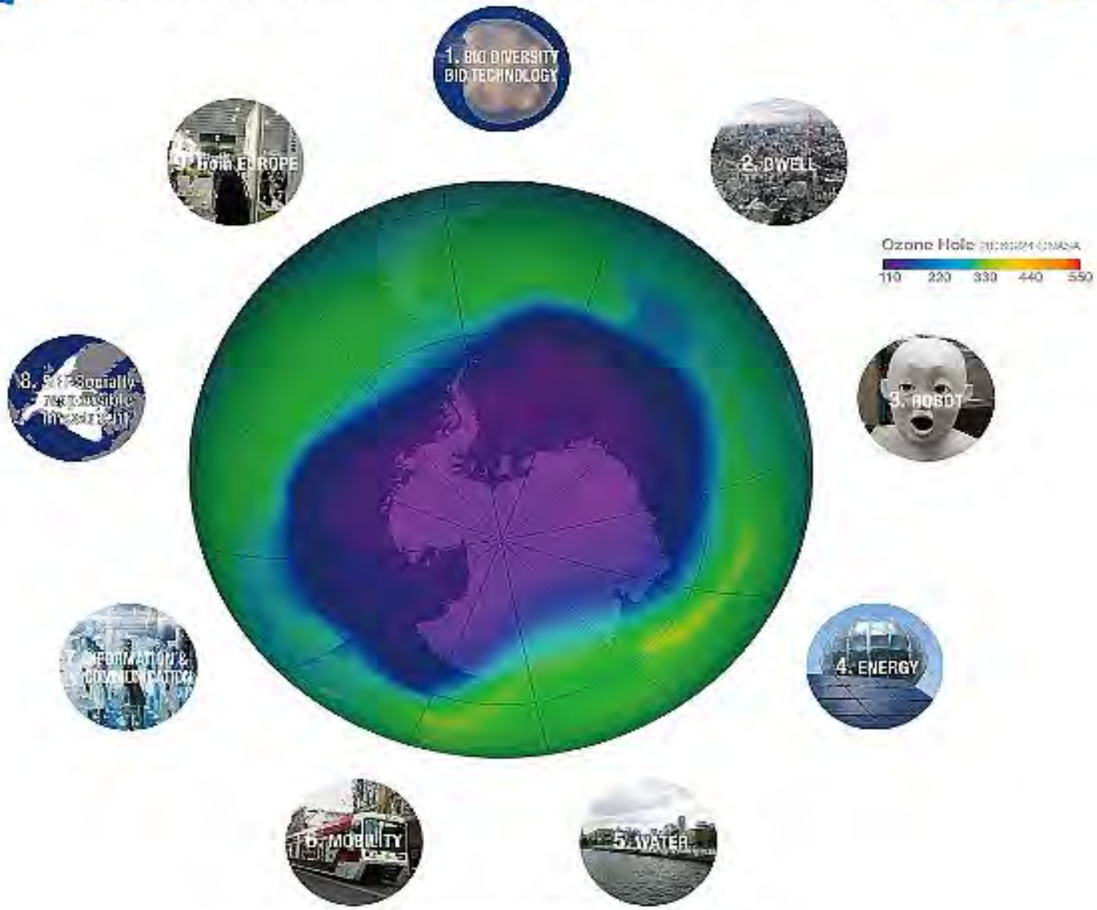
1981年秋の事務所創設以来、"解剖台上の私性群"という言葉が脳裡からはなれない。様々なフェティシズムに充ちた"物"記憶の塗込められた"建築／都市"あらゆるものが、解剖台上での相互の作用によって引き合い精神的ランドスケープを形成する。
そうした意図で不定形な世界を表現するのが今回発表する、"POSITIVE INFINITY／NEGATIVE INFINITY"と題する版画である。図面を中心とした設計という行為は、機能と存在形式の関係性を探ることである。都市はどのような形式をしているのであろうか。
"都市の天区数"と名付けたオブジェがある。トランスレーター＝翻訳者と名付けたジョイント金物の位置によって、都市の発生地点を予想的に採っている。
例えば、圧縮はきっ気持よい構造体である。有機的で素朴な操作を通じて地域環境のインフラストラクチャーとも言える形式を探りたいと思う。そして地球環境を地球景観へと組み付けていくことを考えたい。GRAVITY＝重力という言葉に導かれて、私達が生息している宇宙の一部の三割方について考えてみたい。



GRAVITY 1992 TOSHIROH IKEGAMI WORKS from 1981-1992

″解剖台上の私性群　–　INDIVIDUALES ON THE DISSECTING TABLE″

2010 JCI WORLD CONGRESS OSAKA JCI



2010 JCI世界会議大阪大会

Future Expo
The Blue Planet

基調講演

ブルーエコノミー The Blue Economy
《プレミアム・レクチャー》
グンター・パウリ Gunter Pauli 氏

ベルギー生まれ。ZERI財団 代表
1994年に国連大学よりゼロエミッションを提唱する。製造段階で排出される廃棄物を他の産業でも有効活用しながら、循環型社会や持続可能な社会への提案を行う。"ブルーエコノミー"は、自然から発想を得たイノベーションを用いて、現在は廃棄物となっている物質を利益が得られる商品に変えていくアイデアを展開する。これからの社会のイノベーションの創出について語る。

世界各地である40歳以下の行動する若い青年事業家の集団JCI世界会議大阪大会が開催されます。"気候変動と生物多様性""エネルギー""水""社会インフラの世界における共有"などの課題を克服し"豊かな未来"に向かう行動を、それぞれ異なる権利・国家・民族・宗教などの違いを大切にしながら、全世界で展開するときが来ました。世界が注目する2020年に向けて、広い視野を背景に"for the Blue Planet—取り戻そう青い地球"のテーマで、すべての生命体とも共存する未来社会を指標する技術やイメージを分科会・展示会を通じて示します。

2010.11.4 thu 11.5 fri 11.6 sat

開演 9:00-17:00 入場無料

Future Expo
The Blue Planet

基調講演

ブルーエコノミー The Blue Economy
《プレミアム・レクチャー》グンター・パウリ Gunter Pauli 氏

ベルギー生まれ。ZERI財団 代表
1994年に国連大学よりゼロエミッションを提唱する。製造段階で排出される廃棄物を他の産業でも有効活用しながら、循環型社会や持続可能な社会への提案を行う。"ブルーエコノミー"は、自然から発想を得たイノベーションを用いて、現在は廃棄物となっている物質を利益が得られる商品に変えていくアイデアを展開する。これからの社会のイノベーションの創出について語る。

展示会及び分科会 主要テーマ

1. BIO DIVERSITY・BIO TECHNOLOGY
生物多様性のもと、生命体に学び創造するバイオテクノロジーイノベーション
モデレーター：赤池 学　株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所 代表

2. DWELL
良好な環境を求めて進化する、豊かでユニバーサルな生活空間イノベーション
モデレーター：芦原 太郎（社）日本建築家協会会長　芦原建築設計研究所 代表

3. ROBOT
生命体都市ロボシティーコアに始まるロボットとの共生社会のイノベーション
モデレーター：浅田 稔　大阪大学大学院　知能・機能創成工学専攻 教授

4. ENERGY
新エネルギー・省エネルギー技術のハイブリッドな展開と素材開発のイノベーション
モデレーター：吉川 暹　京都大学　エネルギー理工学研究所　特任・名誉教授

5. WATER
水都大阪から考える豊かなウォーターフロント形成と世界の水のイノベーション
モデレーター：宇山 浩　大阪大学　大学院工学研究科応用化学専攻 教授

6. MOBILITY
未来の自動車交通と電池技術の進化による、エコ社会のモビリティーイノベーション
モデレーター：塩路 昌宏　京都大学　大学院エネルギー科学研究科 教授

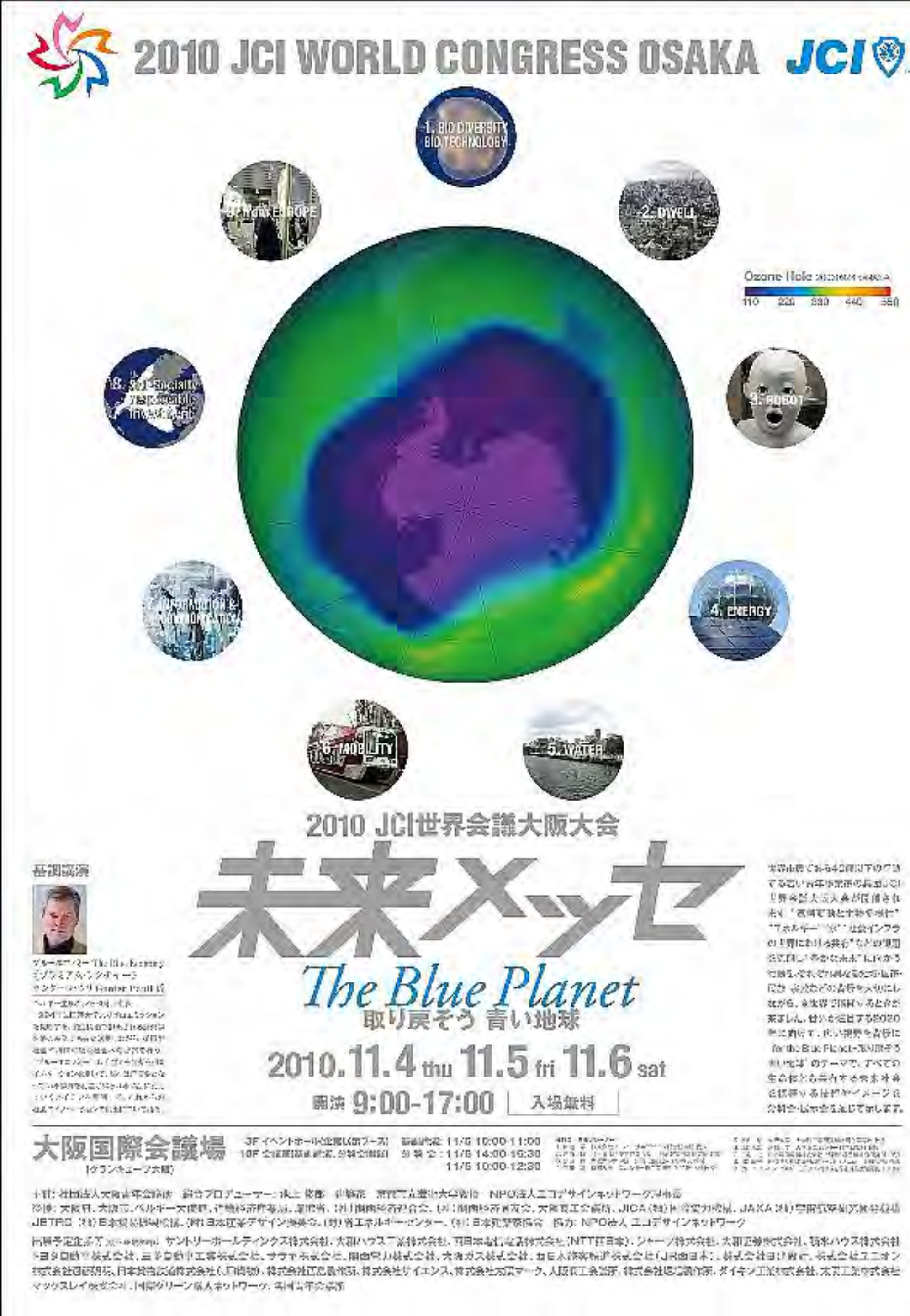
7. INFORMATION & COMMUNICATION
情報通信サービス技術による、次世代ブロードバンド・ユビキタスイノベーション
モデレーター：三宅 功　日本電信電話株式会社　情報流通基盤総合研究所 所長

8. SRI-Socially responsible investment
社会的責任投資 ー持続可能なお金の流れを作るイノベーション
モデレーター：河口 真理子　NPO 法人 社会的責任投資フォーラム 代表理事兼事務局長

9. from EUROPE
ベルギー王国ワロン地域を中心とする中小企業によるイノベーションパラドックス
モデレーター：クレール・ギスレン ベルギー王国ワロン地域政府貿易・外国投資振興庁 日本代表

総合プロデューサー

池上 俊郎 / Toshiroh IKEGAMI
建築家　京都市立芸術大学教授　NPO法人エコデザインネットワーク理事長


2010 JCI WORLD CONGRESS OSAKA
JCI
1. BIO DIVERSITY BIO TECHNOLOGY
2. DWELL
3. ROBOT
4. ENERGY
5. WATER
6. MOBILITY
Ozone Hole
110 220 330 440 550
2010 JCI世界会議大阪大会
基調講演
未来メッセ
The Blue Planet
取り戻そう 青い地球
2010.11.4 thu 11.5 fri 11.6 sat
開演 9:00-17:00
入場無料
大阪国際会議場


2010 JCI WORLD CONGRESS OSAKA
Future Expo
The Blue Planet
Nov. 4, 5 & 6
(Thursday.Saturday), 2010,
9 AM to 5 PM
Organizer:
Junior Chamber International Osaka
Sponsors:
Osaka Prefecture, Osaka City,
Embassy of Belgium,
Kansai Bureau of Economy,
Trade and Industry,
Ministry of the Environment,
Kansai Economic Federation,
Kansai Association
of Corporate Executives,
Osaka Chamber of Commerce and Industry,
Japan International Cooperation Agency (JICA),
Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA),
Japan External Trade Organization (JETRO),
Japan Industrial Design Promotion Organization,
Energy Conservation Center, Japan (ECCJ),
Japan Institute of Architects (JIA)
In collaboration with: NPO Eco Design Network
©NASA


2010 JCI世界会議大阪大会
未来メッセ
The Blue Planet
取り戻そう 青い地球
2010年11月4日(木)5日(金)6日(土)
9:00～17:00
主催:
社団法人 大阪青年会議所
後援:
大阪府、大阪市、ベルギー大使館、
環境省、近畿経済産業局、
(社)関西経済連合会、
(社)関西経済同友会、
大阪商工会議所、
JICA(独)国際協力機構、
JAXA(独)宇宙航空研究開発機構、
JETRO(独)日本貿易振興機構、
(財)日本産業デザイン振興会、
(財)省エネルギーセンター、
(社)日本建築家協会
©NASA

Future Expo
The Blue Planet

17: Lectures

Lecture 1: Works as an Architect from 1981-2011

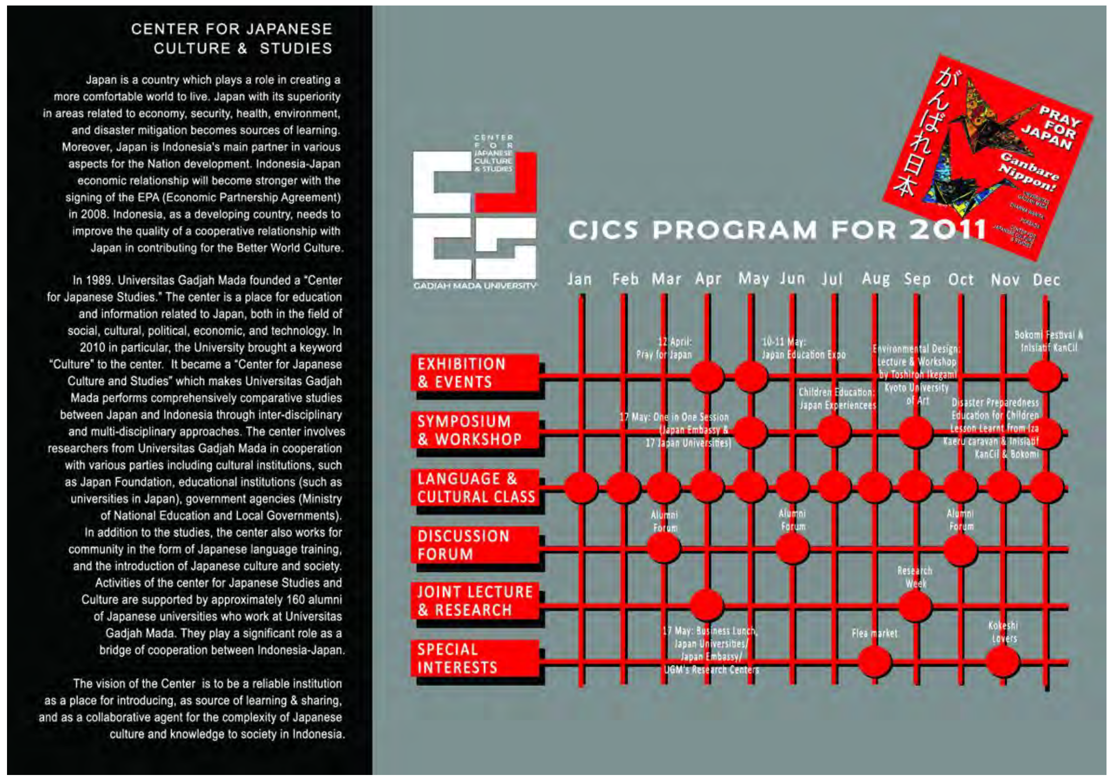
for Undergraduate Program / Department of Architecture & Planning, Faculty of Engineering

Lecture 2: about Designing Space with view point of human scale / interior & product design

for Universitas Sebelas Maret (Surakarta)
/ Department of Architecture & Planning, Faculty of Engineering

Lecture 3: Eco-design is design itself

for Public & Doctoral Students / Department of Architecture & Planning, Faculty of Engineering

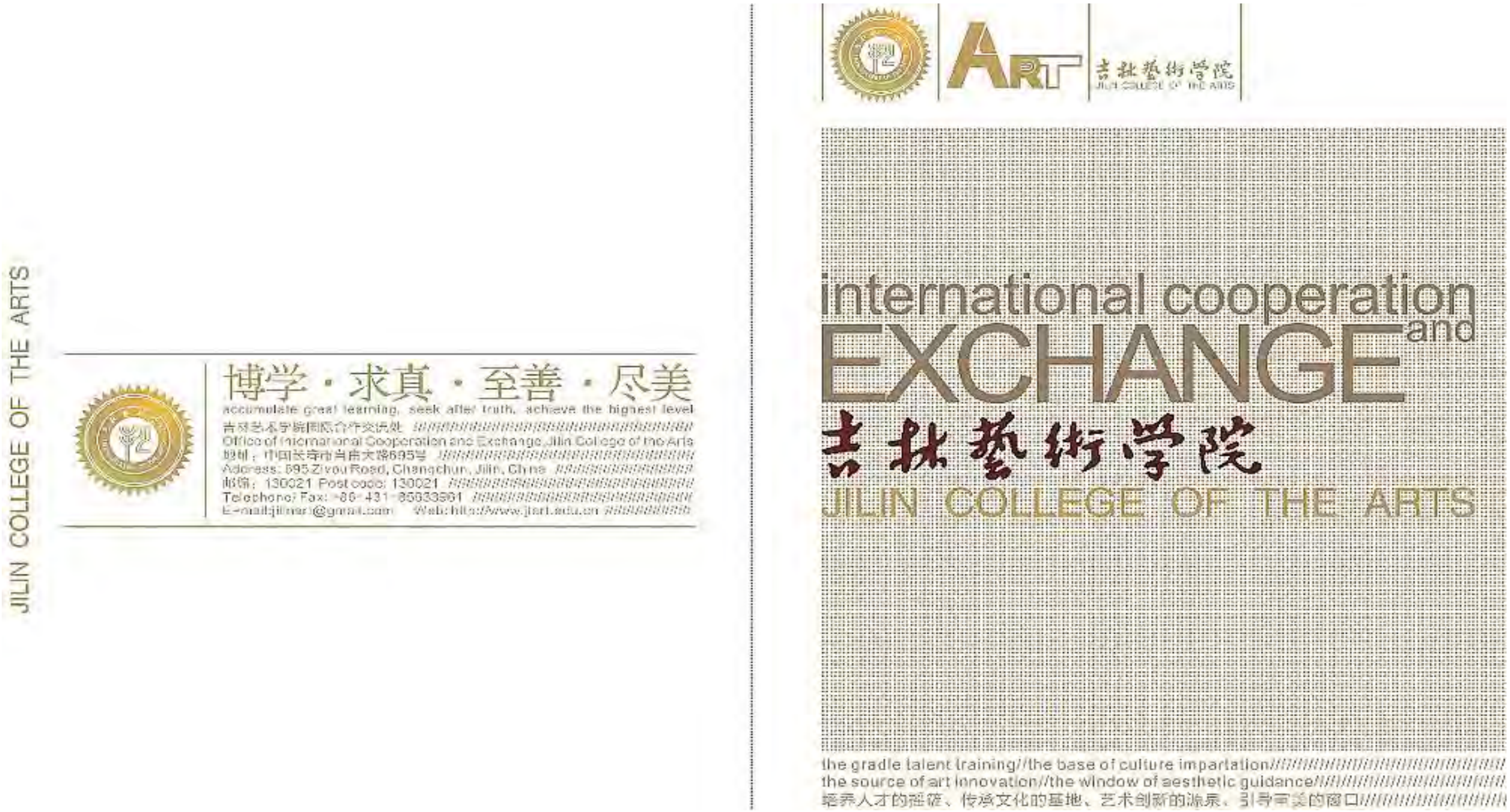


Universitas Gadjah Mada Center for Japanese Culture & Studies

Toshiroh IKEGAMI

Lecture 1: Works as an Architect from 1981-2012

Lecture 2: Eco-design is design itself



Toshiroh IKEGAMI

吉林艺术学院国际合作交流处
Jilin College of The Arts
Office of International Cooperation & Exchange

Future Expo
The Blue Planet

基調講演

ブルーエコノミー　The Blue Economy
《プレミアム·レクチャー》グンター·パウリ　Gunter Pauli 氏

ベルギー生まれ。ZERI財団 代表
1994年に国連大学よりゼロエミッションを提唱する。製造段階で排出される廃棄物を他の産業でも有効活用しながら、循環型社会や持続可能な社会への提案を行う。"ブルーエコノミー"は、自然から発想を得たイノベーションを用いて、現在は廃棄物となっている物質を利益が得られる商品に変えていくアイデアを展開する。これからの社会のイノベーションの創出について語る。

展示会及び分科会 主要テーマ

1. BIO DIVERSITY ·BIO TECHNOLOGY
生物多様性のもと、生命体に学び創造するバイオテクノロジーイノベーション
モデレーター：赤池 学　株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所 代表

2. DWELL
良好な環境を求めて進化する、豊かでユニバーサルな生活空間イノベーション
モデレーター：芦原 太郎（社）日本建築家協会会長　芦原建築設計研究所 代表

3. ROBOT
生命体都市ロボシティーコアに始まるロボットとの共生社会のイノベーション
モデレーター：浅田 稔　大阪大学大学院　知能·機能創成工学専攻 教授

4. ENERGY
新エネルギー·省エネルギー技術のハイブリッドな展開と素材開発のイノベーション
モデレーター：吉川 暹　京都大学　エネルギー理工学研究所　特任·名誉教授

5. WATER
水都大阪から考える豊かなウォーターフロント形成と世界の水のイノベーション
モデレーター：宇山 浩　大阪大学　大学院工学研究科応用化学専攻 教授

6. MOBILITY
未来の自動車交通と電池技術の進化による、エコ社会のモビリティーイノベーション
モデレーター：塩路 昌宏　京都大学　大学院エネルギー科学研究科 教授

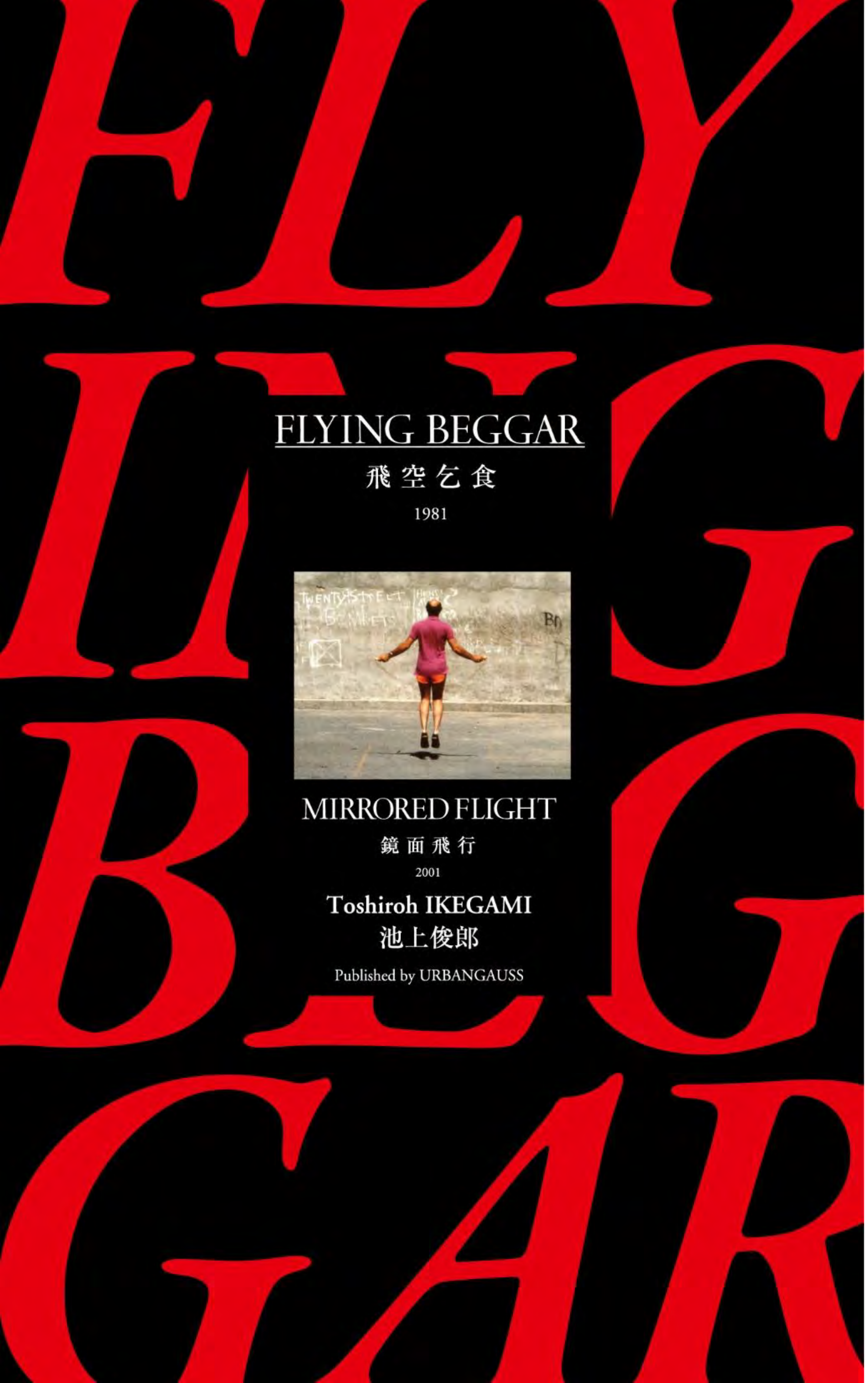
7. INFORMATION & COMMUNICATION
情報通信サービス技術による、次世代ブロードバンド·ユビキタスイノベーション
モデレーター：三宅 功　日本電信電話株式会社　情報流通基盤総合研究所 所長

8. SRI-Socially responsible investment
社会的責任投資 ―持続可能なお金の流れを作るイノベーション
モデレーター：河口 真理子　NPO 法人 社会的責任投資フォーラム 代表理事兼事務局長

9. from EUROPE
ベルギー王国ワロン地域を中心とする中小企業によるイノベーションパラドックス
モデレーター：クレール·ギスレン ベルギー王国ワロン地域政府貿易·外国投資振興庁 日本代表

総合プロデューサー
池上 俊郎 / Toshiroh IKEGAMI
建築家　京都市立芸術大学教授　NPO法人エコデザインネットワーク理事長

18: Publication


FLYING BEGGAR
飛空乞食
1981
MIRRORED FLIGHT
鏡面飛行
2001
Toshiroh IKEGAMI
池上俊郎
Published by URBANGAUSS


FLYING BEGGAR
飛空乞食
1981
Toshiroh IKEGAMI
池上俊郎
Published by URBANGAUSS


MIRRORED FLIGHT
鏡面飛行
2001
Toshiroh IKEGAMI
池上俊郎
Published by URBANGAUSS

DOMUS
(653 SPTEMBER 1984)

FROM JAPAN — TOSHIROH IKEGAMI

From architecture to interiors and industrial design: the expressive balance in the various spheres explored by a joung Japanese architect.

Since opening his own office in Osaka in 1981, young Japanese architect Toshiroh Ikegami has specialized in non-specialization: ranging widely and eclectically from architecture to interior decoration, from street furnishing to house furnishing. His approach to space tries to encourage the intercommunication between the individual elements of form and meaning in order to create a space which is abstract, yet also suggest images that are concrete.

Such an aim is clearly expressed in his design for the "Amber House, osaka" boutique here. In an open-fronted shop in the basement shopping arcade of the Osaka Nikko Hotel,Ikegami has created a composition dominated by stone and wood. The main side is in glass, backed by an irregularly-edged mirror; the counter is organized around a broken column bearing the incised name of shop. Materials used in the interior (white FRP, aluminium, chrome, glass and mirrors) help to create an air of unreality, suggestive and elusive as a mirage.

By means of the cunning alignment of curved columns, crumbling walls, marks in steel reminiscent of slim columns, an attempt has been made at an active dialogue between interior and exterior.

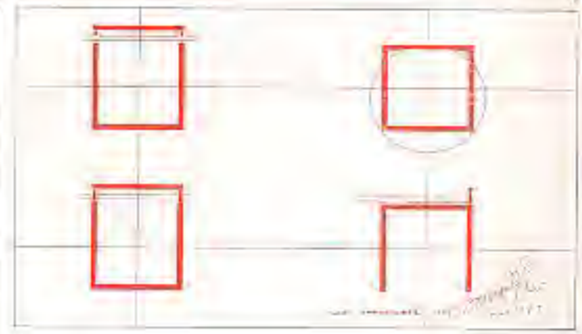
Another work, by Ikegami is the "Public Chair Prototype 1" prizewinner at the International Design Competition held during the Osaka Design Festival of last October. A simple and economical chair constructed from two wooden boards and a section of metal tube, suitable for any kind of public space.

KAGU
Tokyo Designer's Week
in Makuhari
(1990 Rikuyo-sha)

FURNITURE. FUNCTION FORM-EXISTANCE-AREA.

I named it Public Chair Prototype 1 I designed this street furniture chair in 1982. My main purpose was to change the areas that nothing can be done into areas infused with energy by utilizing something which holds functional value for human beings. Accordingly, I was searching for not only a chair whose form was functional, but also one which harmonizes with the area.

On the occasion of the autumn, KAGU Tokyo Designer's Week '88 (first year) I thought more about purifying than about function form, existence, and area. What I thought up at that time was a system called United Galaxy. The joints of this system named the translator come apart and translate into many different functions. Using the needed auxiliary joints, larger spaces are brought into range to be configurated into chosen forms.
There's a platform named the Glass Bed, a table. A desk that will bridge the space is being built at this time. With a diameter and length both of 54 mm, the small translator got its start by space trying to develope variously along the 60 degree line. I think probably at some time, structures and cities will be able to be extended as one.
The word "furnitur", taken in its more comprehensive meaning, expresses the concept of being used as an avant garde tool. When furniture was replaced by furniture – KAGU, I think we started searching for new relationships between function, form, existance and area. The purpose of today's furniture, is to separate space into parts each with a specific function, as it were, an objet d'art (without regard to whether its one-function or multi-function).
The word I tend to think of for this now is infrastructure. This is the supporting trunk, the main trunk which supports a city. This includes such as roads and railways. It's thought that furniture can take the role of the infrastructure in spaces which are familiar to oneself. Furniture is a design product, a play thing, its environment, even furniture. It connotes direction and main principle determing space. Furniture which connotes infrastructure overcomes the spell of being categorized, suspends and directs the area as a free entity.
I am building prototype furniture at the furniture exhibition. Nothing extravagant, a basic configuration will be possible. We would like to search the functional domain. I would like to search for a configuration of spacial infrastructure in which additions and operations other than form are eliminated. It is thought that the development of the relationship of function, form, existence, and area, becoming colors, light, and free-form creations which we have yet to see, are coming sometime soon as the next mental image.



TOSHIHIKO IKEGAMI

1 United Galaxy "By Translator", 1988, [illegible]
2 Working Chair 2, 1989, [illegible]

JAPAN 2000
Architecture and Design for the Japanese Public
(2000 Prestel)

36 SILVER WAVE (Ceramic Plates)

Designer: Toshiroh Ikegami

The five thematic colors of Kutani-ware possess the warmth of the earth and the gentleness of tradition. These plates differ from the Kutani ceramics of the past in that they are made of translucent porcelain. These products are examples of high-quality goods produced in Japan today that incorporate local design techniques that have been developed over centuries.

Local industry develops in relation to such basic factors as materials, colors, texture and pattern, manufacturing methods, and distribution routes. Moreover, forms of expression change, closely reflecting the intellectual trends of the times.

In producing Silver Wave, white porcelain was used instead of ordinary clay to create the fluid, white texture. The only colors employed are the white of the porcelain and platinum silver. Projected onto the conical bowls are patterns produced by a computer-processed photograph taken by the designer in 1991, when flying over Alaska on a flight from New York to Tokyo. In using these images of the arctic terrain to embellish the bowls, the designer has attempted to address the relationship between the earth and human beings.

SEP 2005

装飾

ART & DESIGN

清華大学美術学院

IQ
INTERIORS QUARTERLY IQ
(Autumn 1988 GPI)

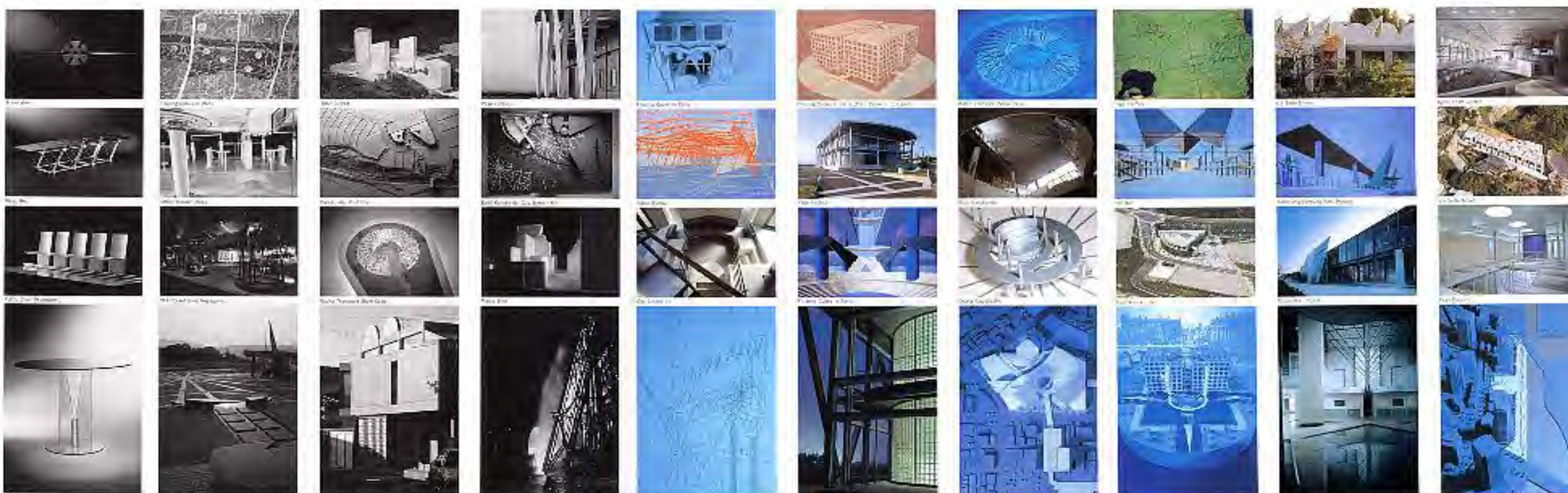
RESTAURANTS AND THE EMPIRE OF THE SUN

Interiors Quarterly shows here a selection of cafe and restaurant interiors from the IFI publication WorldWide Interiors (see IQ, vol 2 no2, page 60). There is an international style in mid 1980s restaurant design – it is essentially sophisticated kitsch – like Spielberg's movies. The Japanese, however, do this kind of thing with more polish than most and can get away with gold plating trees.

Honmiyake Restaurant, Shibata, Osaka, Japan, completed July 1985. Interior design by Toshiro Ikegami with the sculptured tree by Tsutomu Tamura. Ikegami's design policy is, "Harmony is expressed by aluminium and ground glass. A gold plated maple tree and other articles help create an outdoor feeling in the interior, with centripetalism, of proliferative nature"

INTERIOR DESIGN 113
The Journal of Japan Interior
Design Association
(1993 japan interior design association)

Work out a matrix.
The vertical and horizontal axes provide a meaning and give a clue to the hierarchical order.
When a diagram or visual image secures a 'position,' it appears to mean that my idea constitutes an inevitable social 'position.'
I think a design comes under one of the following
three categories: 1. Environmental design 2. Product design 3.Communication design
I am engaged in environmental and product designs involved in an architecture.
I am now using the following 13 keywords to sum up the components of the above:
1. Individuals on the dissecting table 2. Urban gauss 3. Context 4. Edit 5. Direction 6. Axis 7.Multi-focus 8. Multi-vector
9. Concentration IO.Symbol II. Labyrinth I2. Excursion I3. Storyteller
Here I make 9 major ones the vertiCal axes, andthe 4 hierarchICal levels I used for a prototypefurn ture the horizontal axes to compose amatriX.
I wish you can recognize the fact that my worksassociated with a multiplicity of categories such as urban planning, architecture, interior designand furniture are getting logical acknowledgement and securing an appropriate position.
I hope design can get rid of arbitrariness to even a slightest degree.



19: Creating International Model of Ecodesign

CREATING INTERNATIONAL MODEL of ECODESIGN
from
EACH COUNTRY, EACH REGION , EACH CITIES

エコデザインの国際モデルをそれぞれの国家・地域・都市から探る

for Carrying out the Role for Global Climate Change
Starting from Different Settings

異なった背景に基づき地球的気候変動課題に答える役割を実行する

-Nature,Culture-
Urbanization-Industry,Waste,Transportation,Water
Land-Agriculture,Forestry,Fishery

自然・文化　—　都市化　産業・廃棄物・交通・水　–　大地　農業・林業・漁業

Creating a Circulation-oriented Society
through Lifestyle Aesthetics of Eco-Design

エコデザインの感性ライフスタイルを通じて　循環型社会を構築する

Photo by Toshiroh IKEGAMI

for Carrying out the Role for Global Climate Change Starting from Different Settings

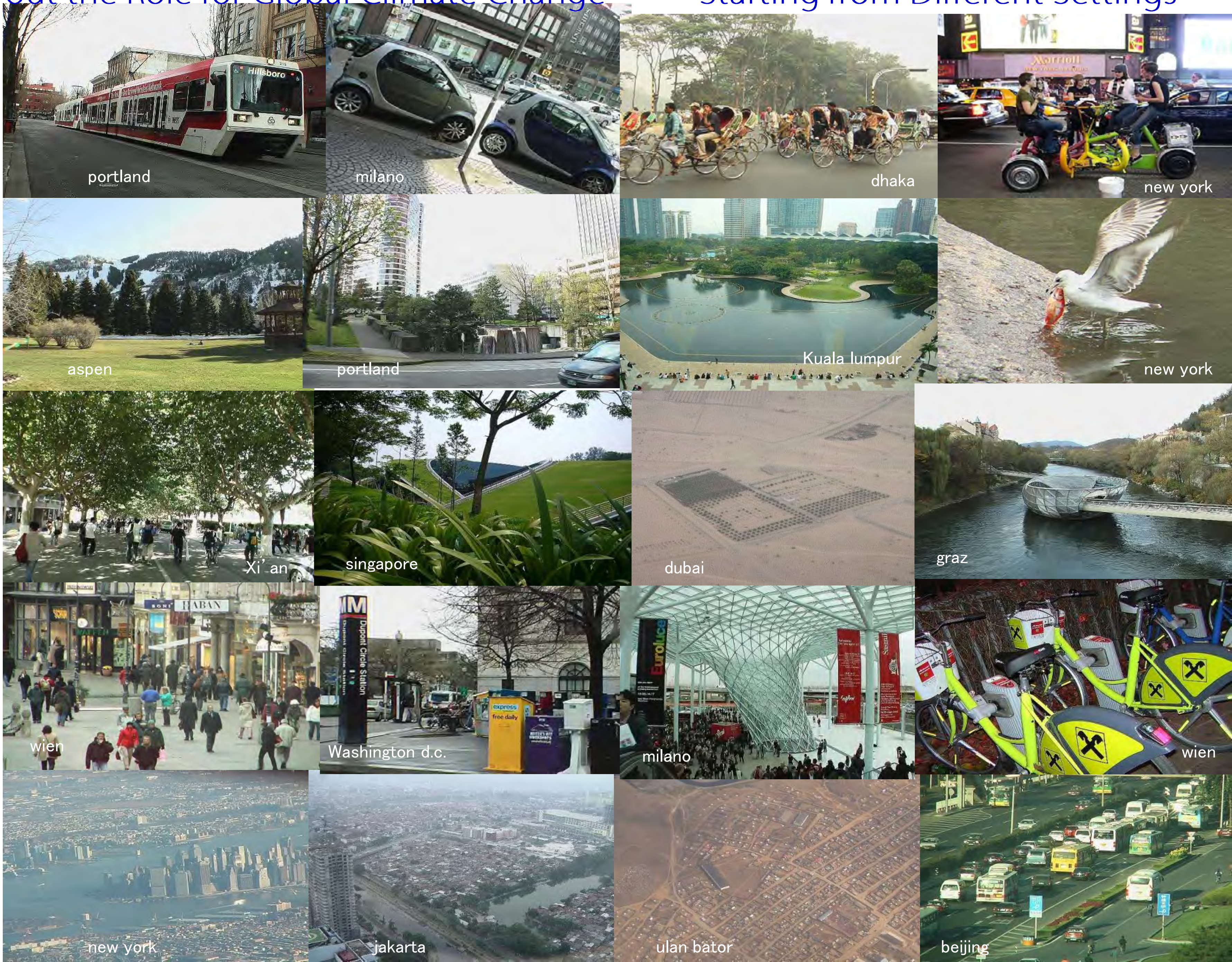
transportation

landscape design

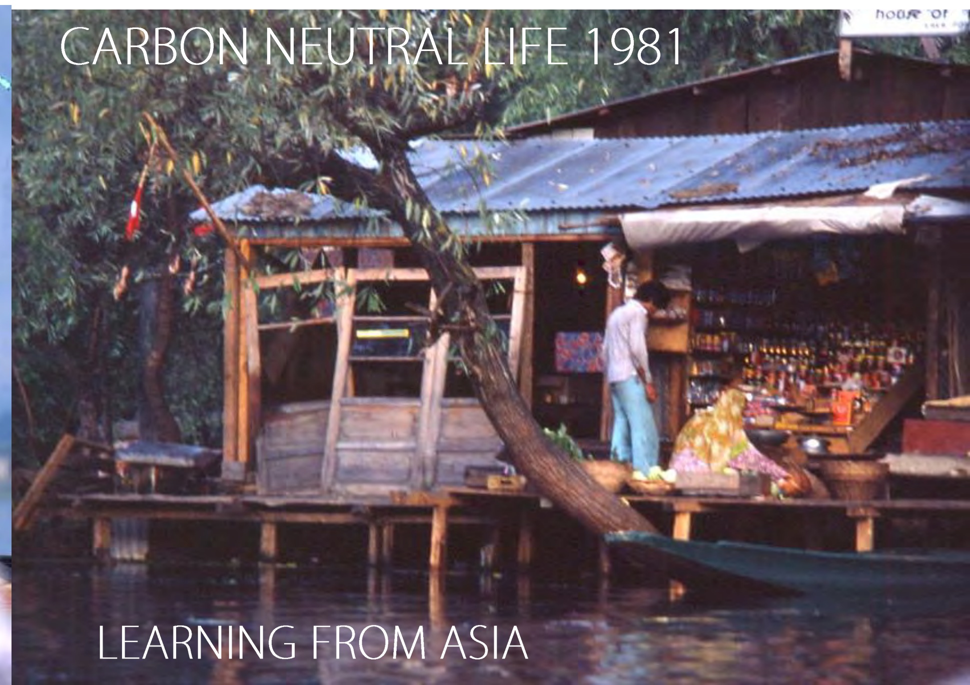
green + artificial work

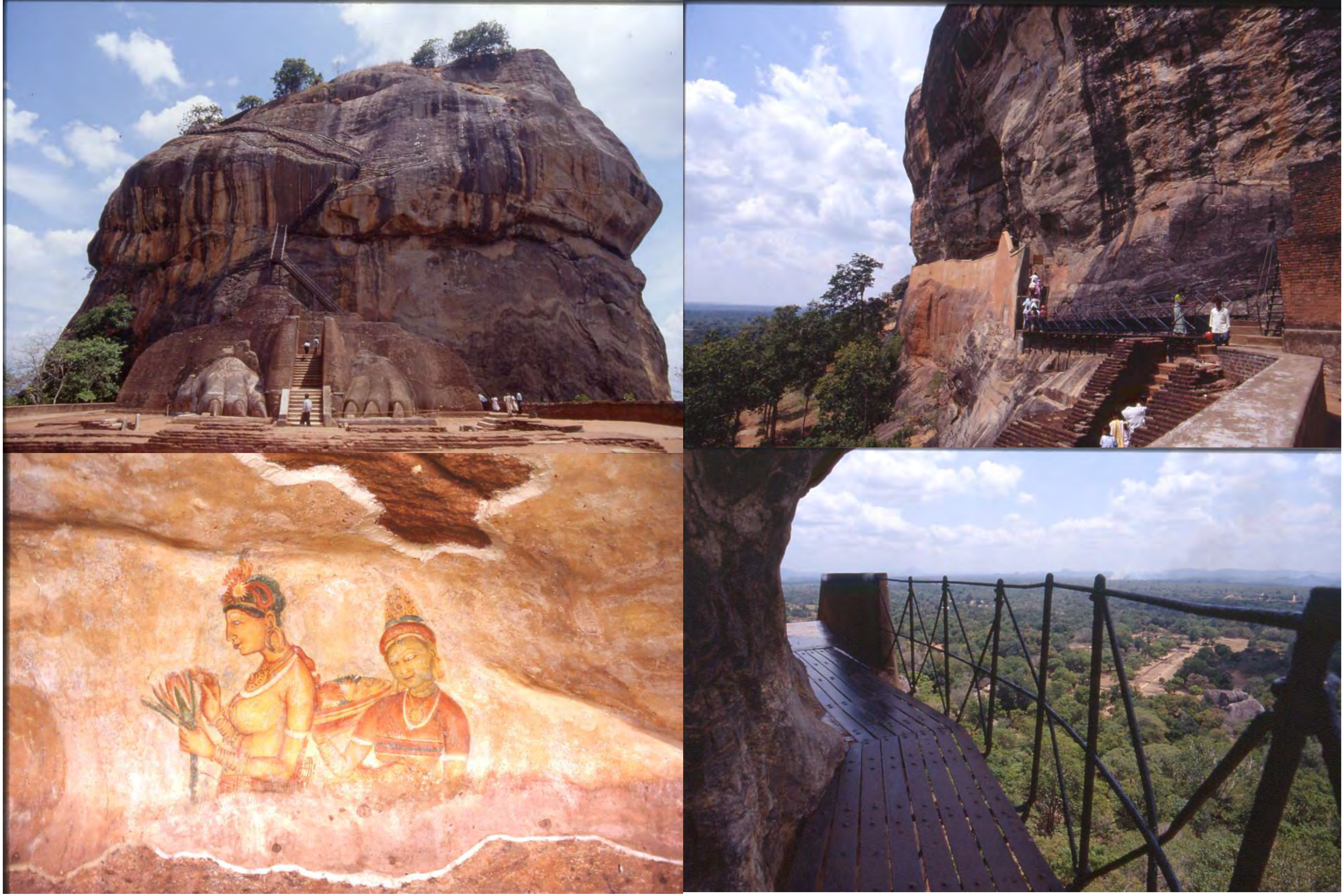
design

city
dwell
work



1981 Local Material Dwell /Shelter upper Ladakh with Indus river. below Srinagar of water life





SRILANK SYGIRIA 5C


MONGOLIA
MOUNTAIN RIVER SIDE STEPPE
農業創出
食料・バイオエネルギー
バイオプラスティック


STEPPE


ANIMAL EXCREMENT

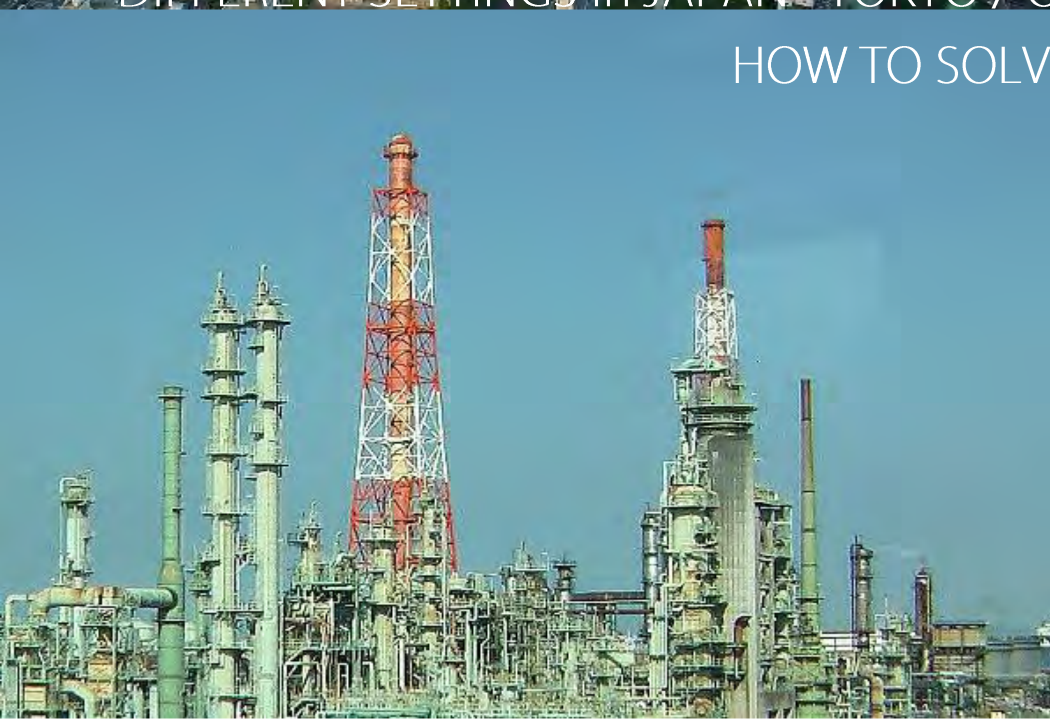
人為的行為としての都市

DIFFERENT SETTINGS in ASIA BANGLADESH 2004
SEEKING NEW SYSTEM for MODERNIZATION

人為的行為としての都市

DIFFERENT SETTINGS in JAPAN TOKYO / OSAKA/ KYOTO/ MODERN & TRADITION

HOW TO SOLVE CONTRAST



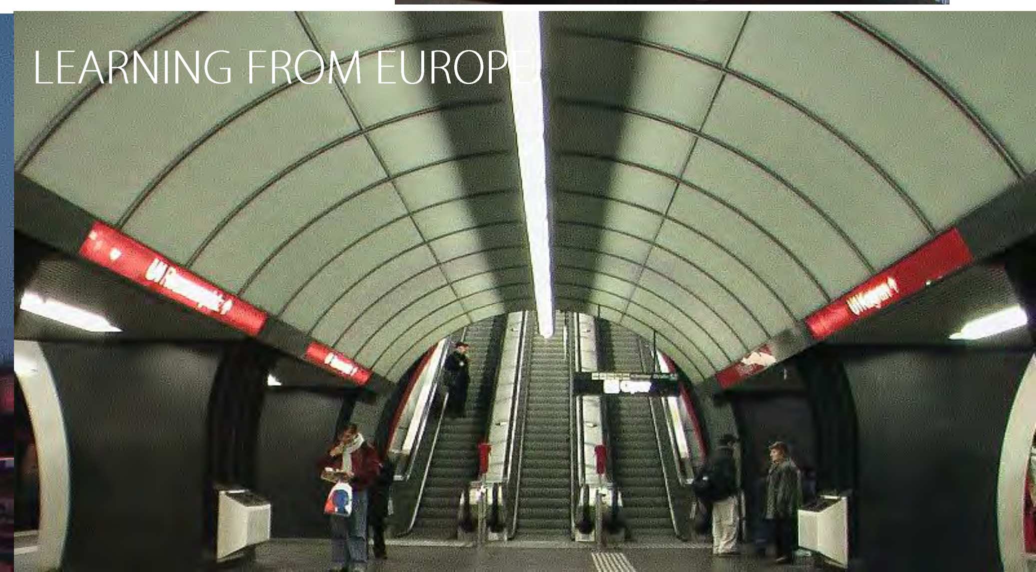
DIFFERENT SETTINGS
in AUSTRIA
LIVING WITH
19C/20C/21C

DESIGNING OUR AGE

LIVING WITH

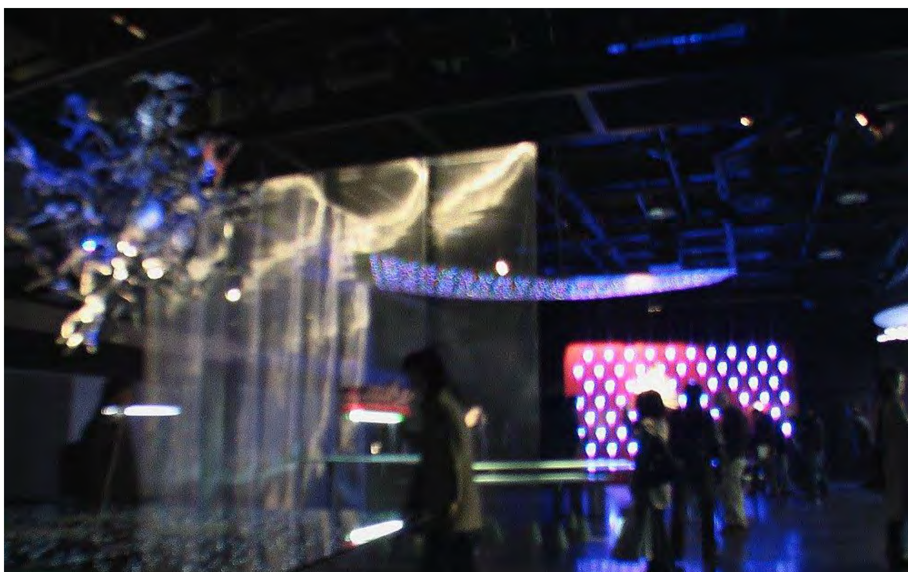
CREATING

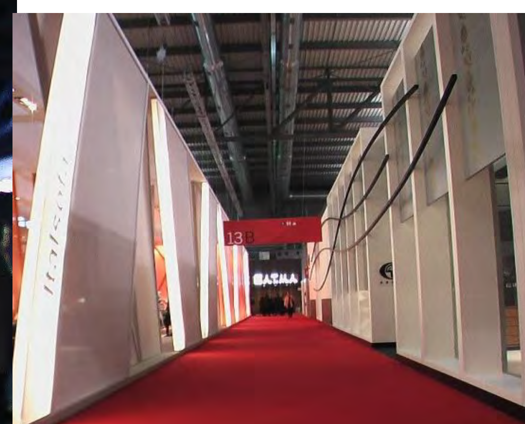
ARTIFICIAL SCAPE



AESTICS also PROGRESSING RAPIDLY

美学的都市　MILAN





HOW TO USE

HOW TO SHARE

with good possession

without possession

under

HIGH ECO EFFICIENCY

by

IDEA/SYSTEM/DESIGN

of

ECO SERVICE

エネルギー
交通
使用
所有
共有

自然エネルギー利用

or

人為的バイオエネルギー利用

Amsterdam 2002 beer bar bicycle

New York 2006 7 persons bicycle

価値観の変革　遊び・楽しむ心 vs 労働


Dhaka

LIVING with NATURE in CITY CENTER
既存都市　5
人為的自然を内包する都市
DIFFERENT SETTINGS in USA NEWYORK CENTRAL PARK 2004


ランドスケープデザイン
光合成によるＣＯ2固定と酸素の供給、
バイオマス資源の供給をデザインする
with GREEN WATER SHADE

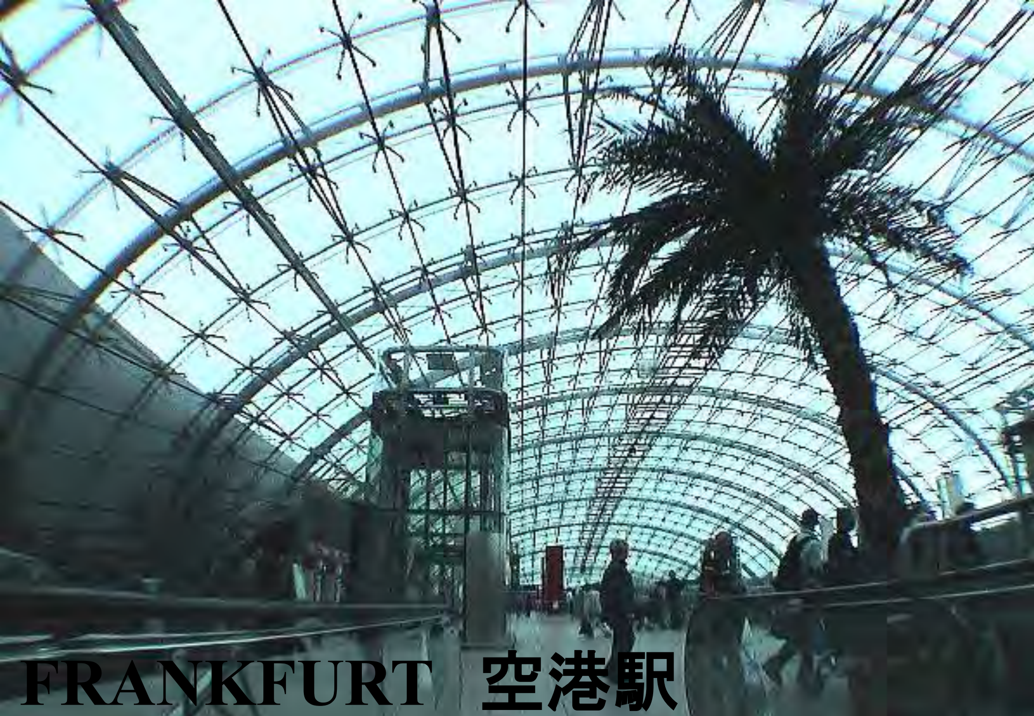

AGE OF LAND SCAPE DESIGN 2006
for SUSTAINABLE REGION & PLANET

WIEN　パルメハウス　温室植物園



BERLIN　REICHSTAG　国会議事堂

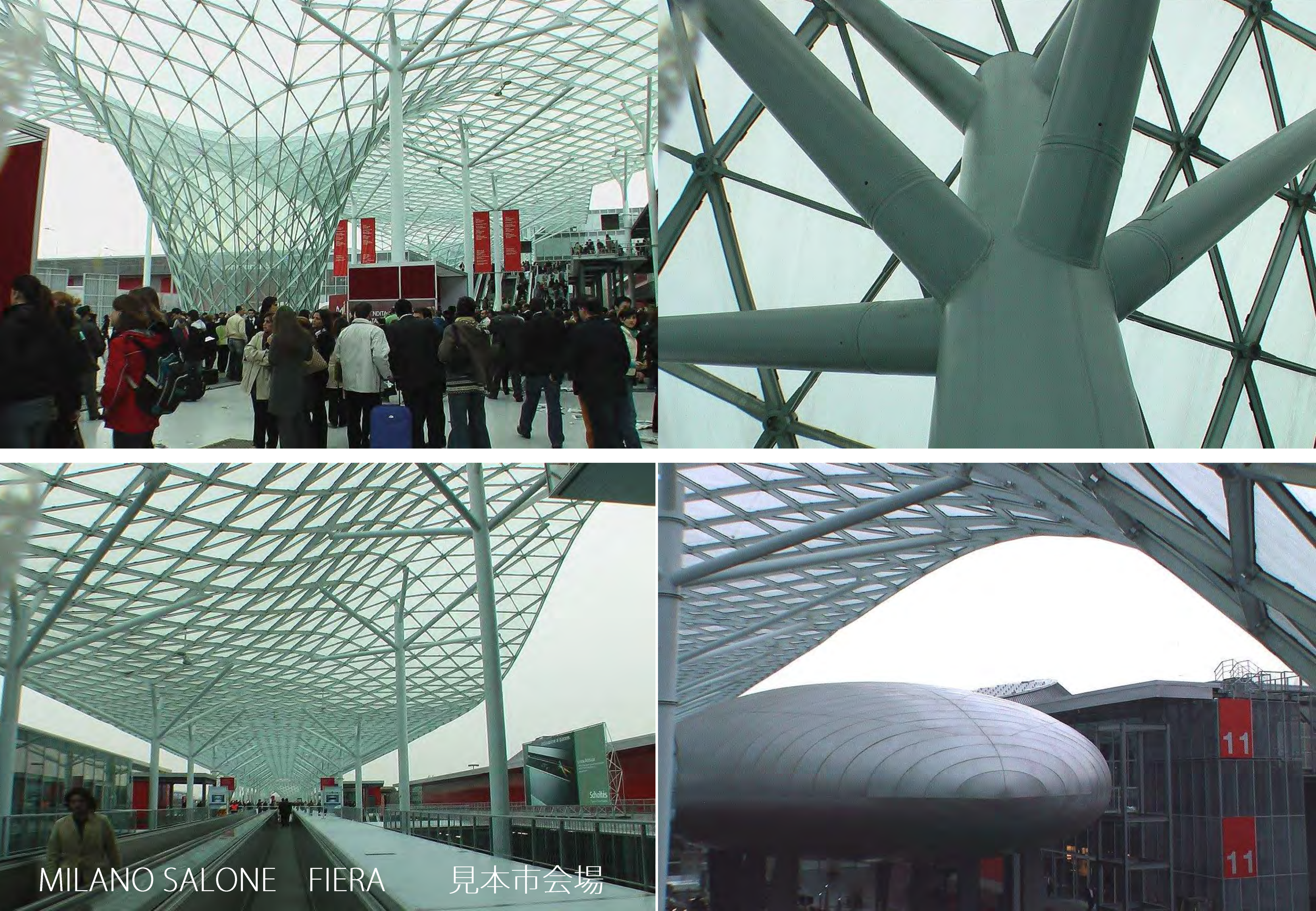
BERLIN　中央駅


FRANKFURT 空港駅


LONDON CITYHALL

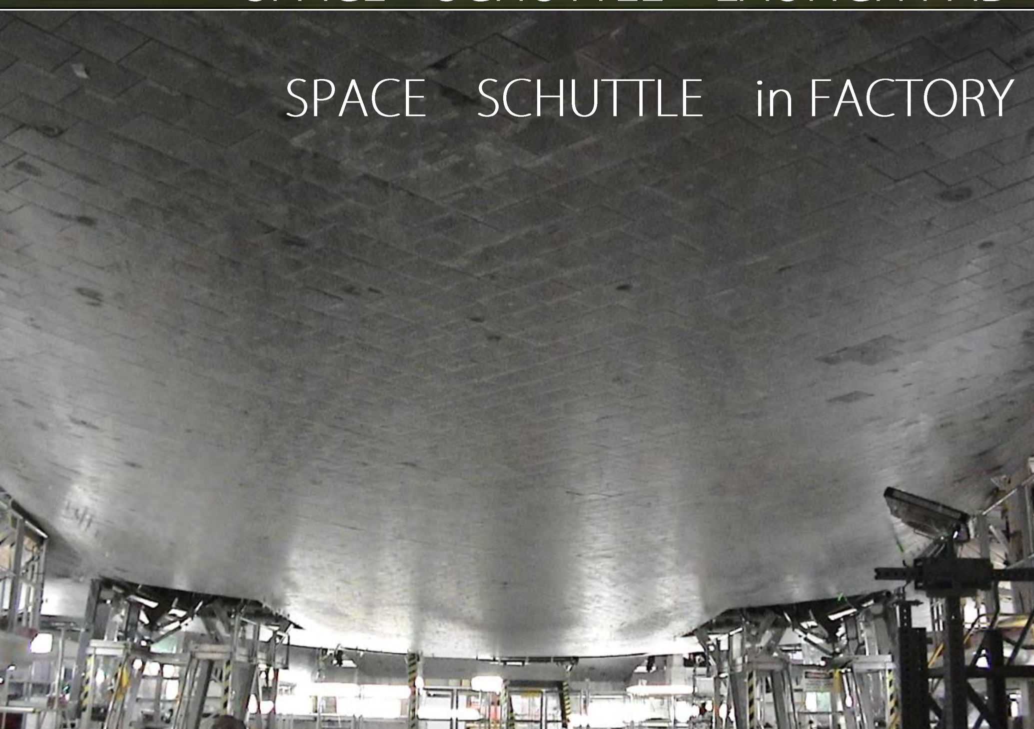

BERLIN REICHSTAG 国会議員


LONDON CANARY WHARF



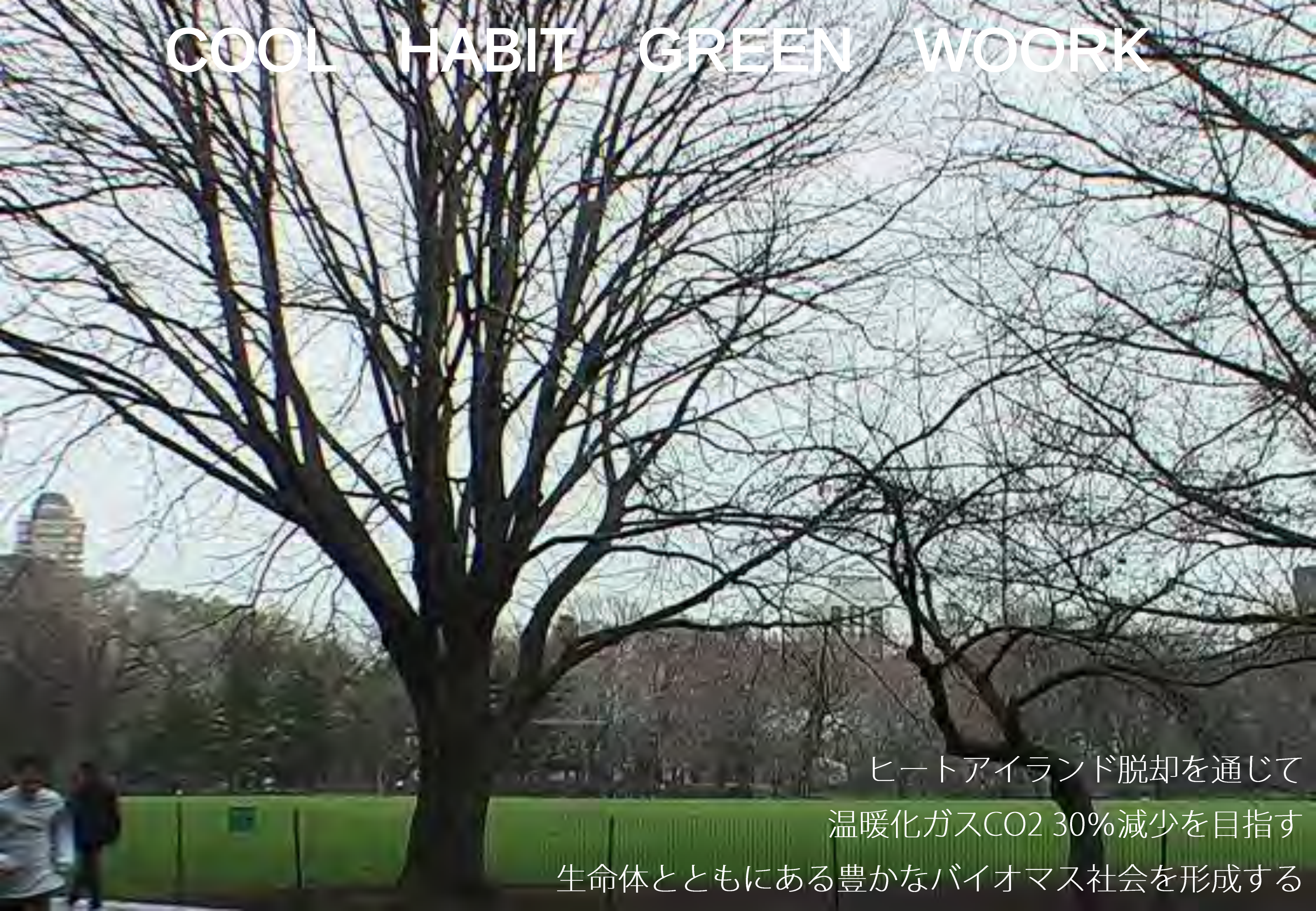
MILANO SALONE　FIERA　見本市会場


NASA
SPACE SCHUTTLE LAUNCH PAD


SPACE SCHUTTLE in FACTORY

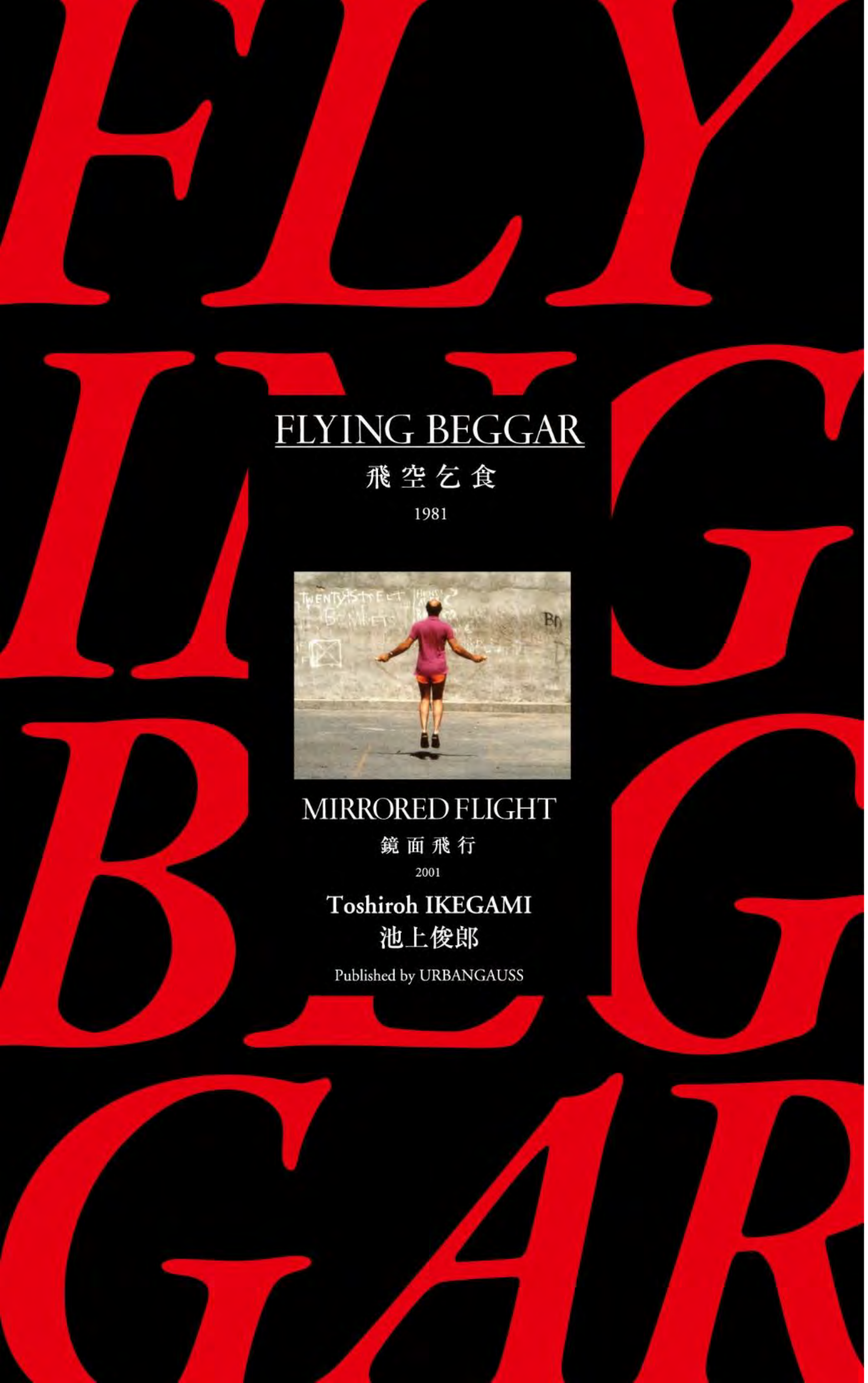
WTC 2001 MARCH WTC NEW YORK CITY　消滅した都市の垂直軸

技術の高度化にあってなお穏やかな都市の形態的精神性が求められている。


COOL HABIT GREEN WOORK
ヒートアイランド脱却を通じて
温暖化ガスCO2 30%減少を目指す
生命体とともにある豊かなバイオマス社会を形成する

微小生命圏における微小環境の最適化
Optimize “A MICRO CLIMATE IN A MICRO BIOSPHERE”

CONCEPTUAL WORKS


FLYING BEGGAR
飛空乞食
1981
MIRRORED FLIGHT
鏡面飛行
2001
Toshiroh IKEGAMI
池上俊郎
Published by URBANGAUSS


FLYING BEGGAR
飛空乞食
1981
Toshiroh IKEGAMI
池上俊郎
Published by URBANGAUSS


MIRRORED FLIGHT
鏡面飛行
2001
Toshiroh IKEGAMI
池上俊郎
Published by URBANGAUSS

20: Detail of Research Project

SIMULATING “the DWELLING SPACE” from PAST to FUTURE for HOW WE LIVE NOW

MY RESEARCH PROJECTS 2000-2006

from **PAST**: RESEARCH PROJECT 1:2000-2004

LEARNING & ARCHIVES of SPACE HERITAGE 1200 YEARS

Exhibition :Tōji Temple Kyoto–ANATOMY in CYBER SPACE

JAPAN2003 CHINA2004

works of graduate school / Kyoto City University of Arts

to the **FUTURE**: RESEARCH PROJECT 2: 2001-2003

HOW to DWELL in INTERNATIONAL SPACE STATION

ARTISTIC APPROACH TO SPACE/ Kyoto City University of Arts

NOW :RESEARCH PROJECT 3:2003-2006

SIMULATING “the DWELLING SPACE”
from PAST
for HOW WE LIVE NOW

research projects 2000-2013

from PAST: RESEARCH PROJECT 1:2000-2013

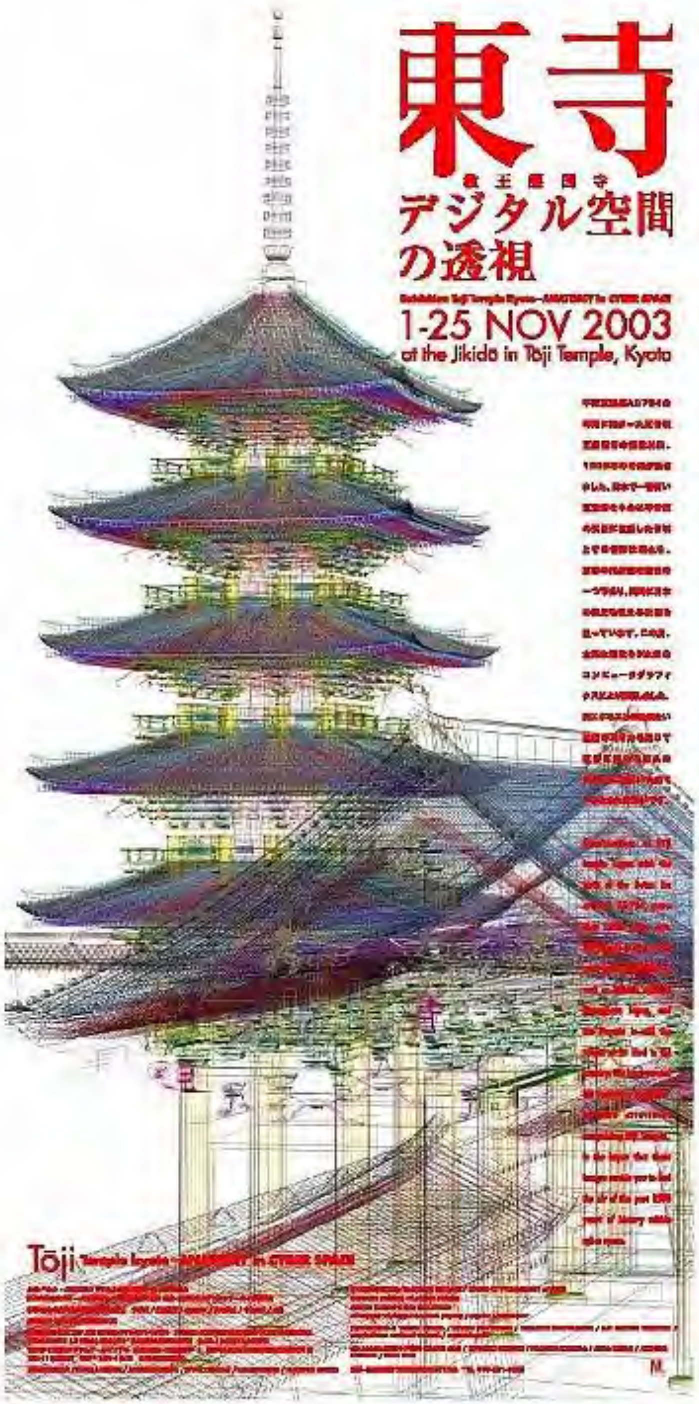
LEARNING & ARCHIVES of SPACE HERITAGE 1200 YEARS

Exhibition :Tōji Temple Kyoto-ANATOMY in CYBER SPACE
JAPAN2003-13 CHINA2004

works of graduate school / Kyoto City University of Arts

東寺

1200年の京都-都市の垂直軸
空間を創る立場で、透視し、
心の中に移築する。



東寺ー教王護国寺
デジタル空間の透視

Tōji Temple Kyoto
-ANATOMY in
CYBER SPACE

Archive DNA

of the Space

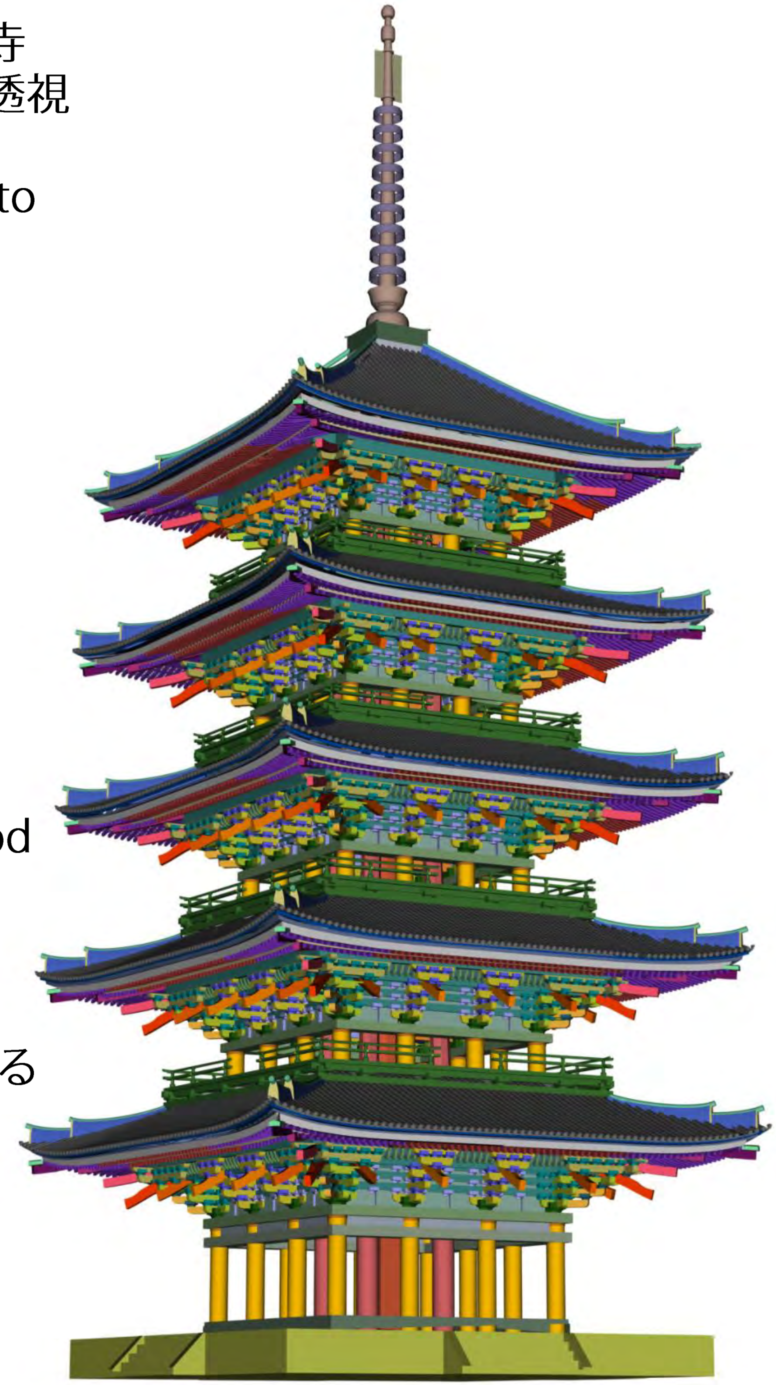
by 3D CG Method

空間のDNAを

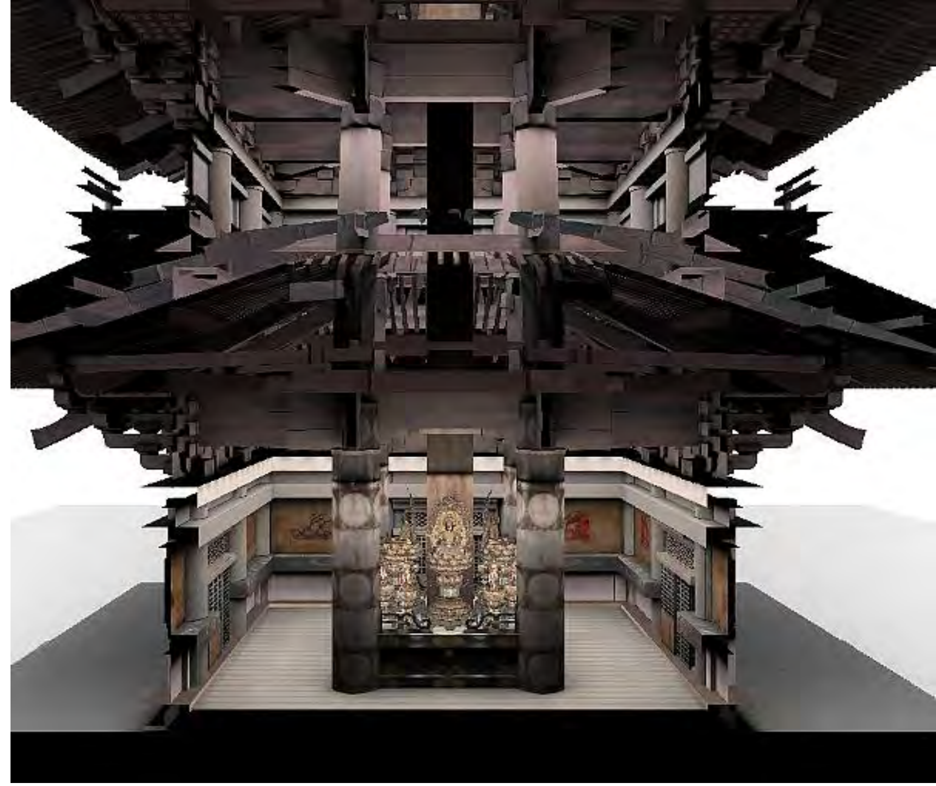
3Dアーカイブする

1200 YEARS
VERTICAL AXIS

in KYOTO



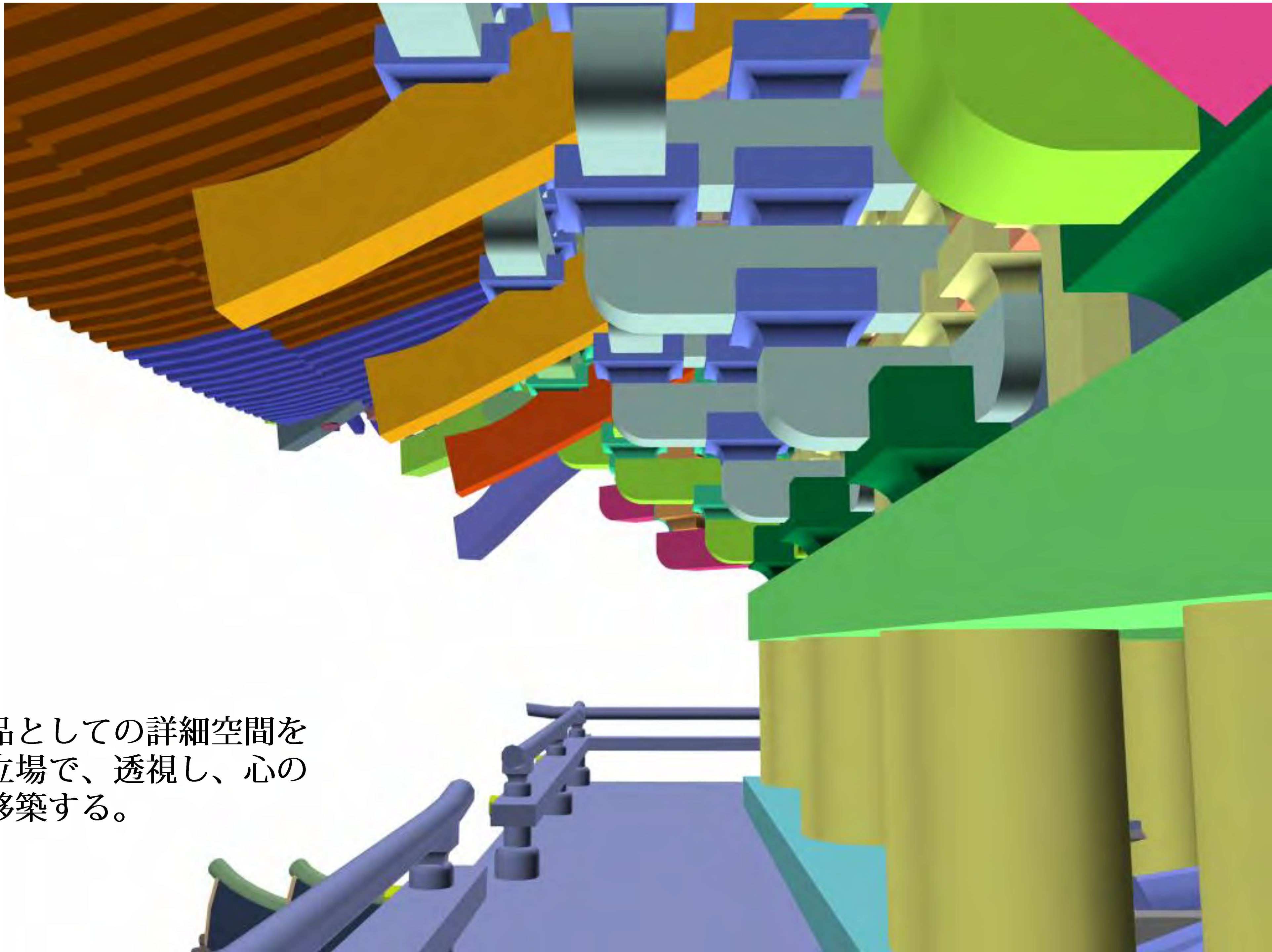
空間を創る立場で、透視し、心の中に移築する。



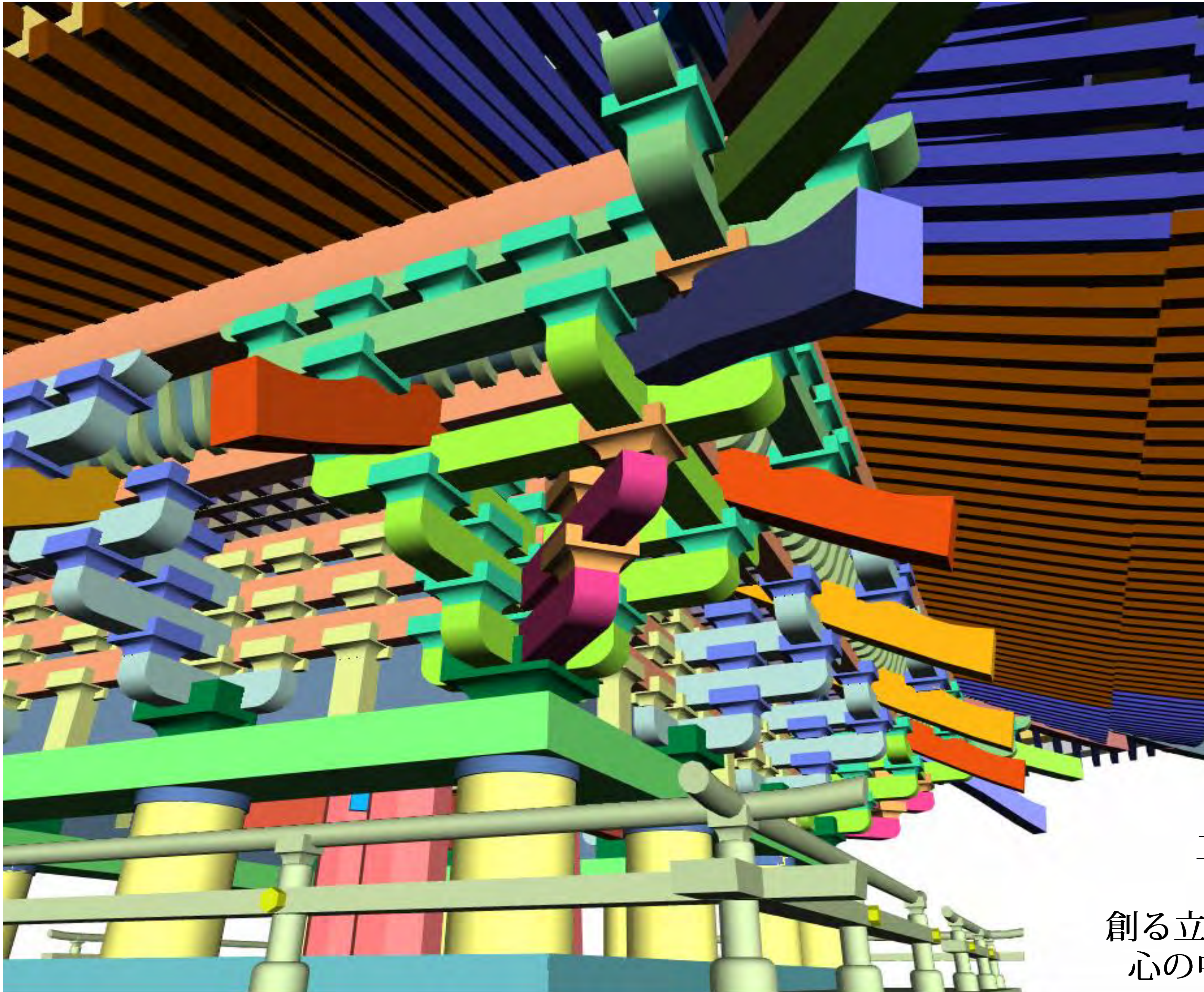
Already 1200 years past from Heian Era
starting AD794.
At that time Tōji temple Kyoto starting.
Tōji temple is one of most famous
buddhism & historical symbol .

The Pagoda is tallest in JAPAN even now.

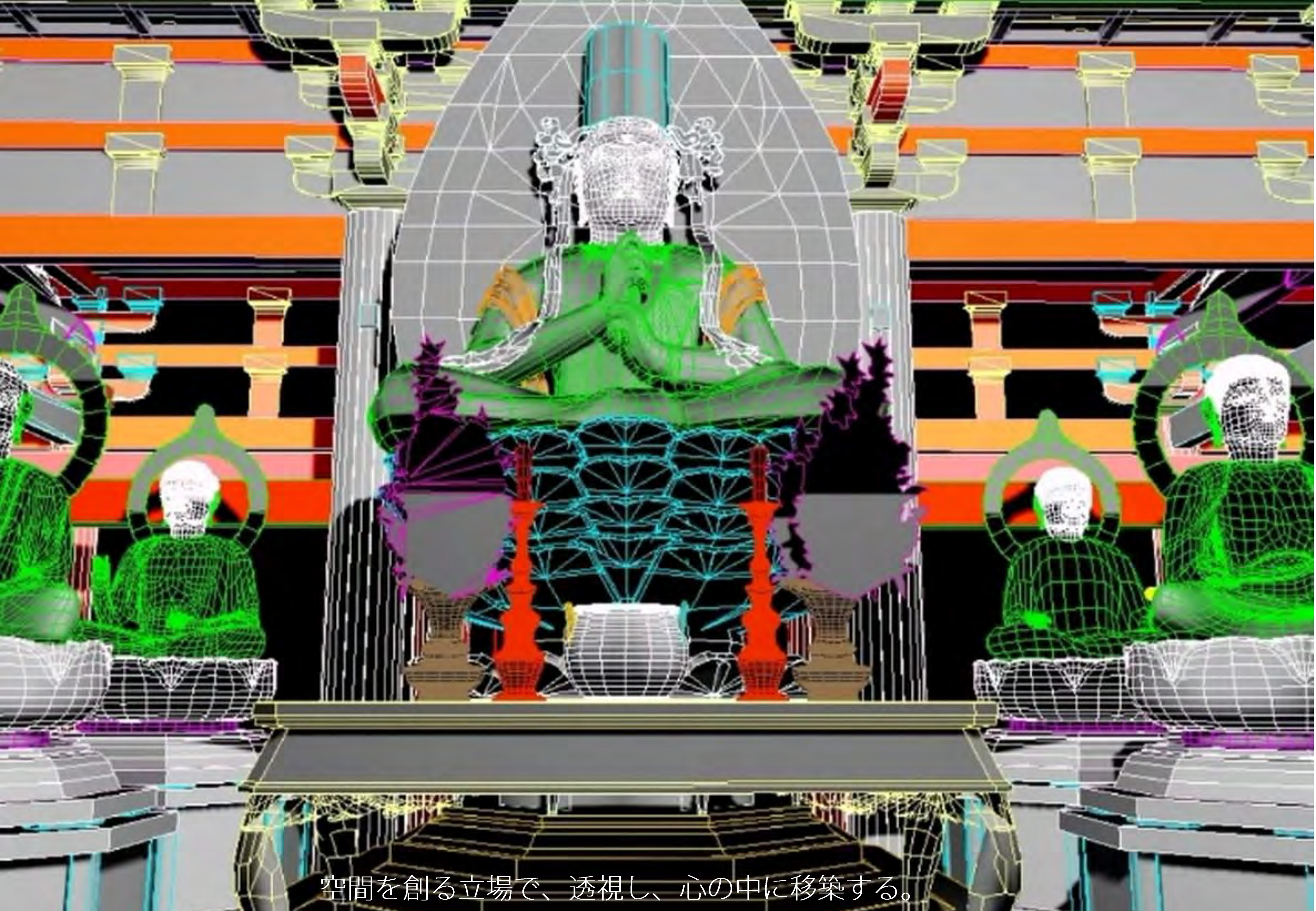
We tried 3D-CG for some facilities to feel air
of 1200 years history in cyber space.



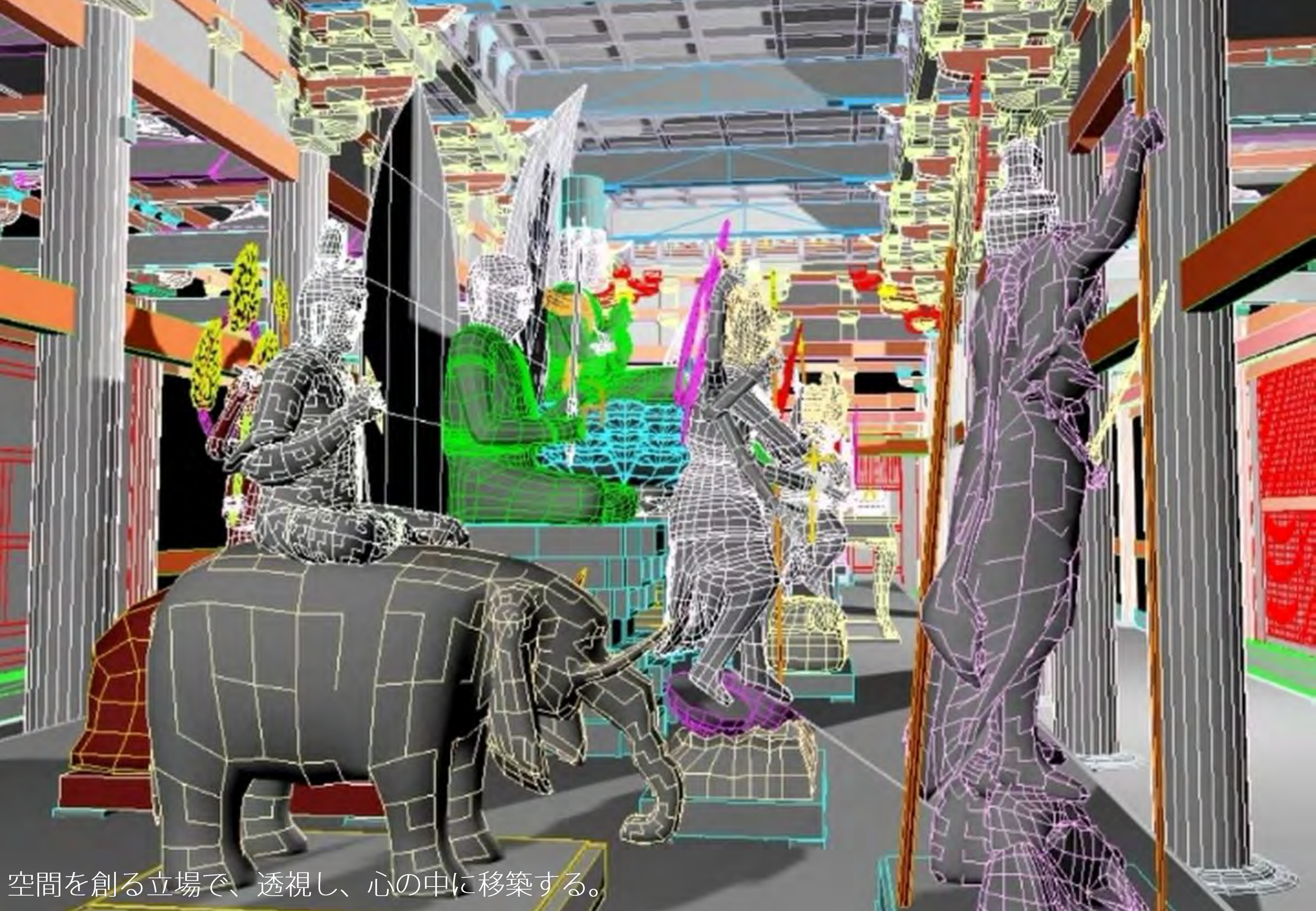
工芸品としての詳細空間を
創る立場で、透視し、心の
中に移築する。



工芸品としての
詳細空間を
創る立場で、透視し、
心の中に移築する。

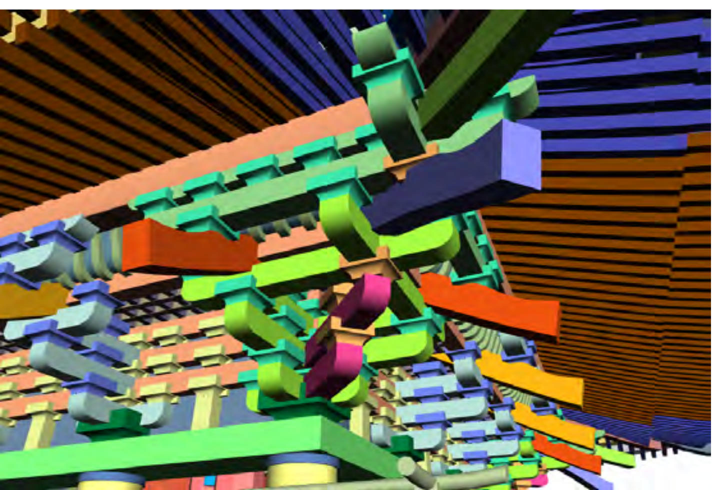

空間を創る立場で、透視し、心の中に移築する。


空間を創る立場で、透視し、心の中に移築する。


空間を創る立場で、透視し、心の中に移築する。

空間を創る立場で、透視し、心の中に移築する。

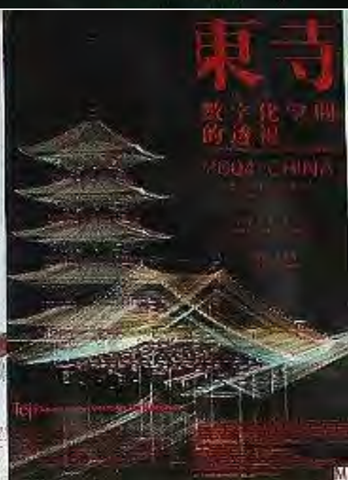
東寺ー教王護国寺　デジタル空間の透視
Tōji　Temple　KyotoーANATOMY　in　CYBER　SPACE



空間を創る立場で、透視し、心の中に移築する。2003-04

東寺
数字化
空間的
透視展

中国2004
北京清華大学・
西安西北工業大学・
青龍寺



SIMULATING “the DWELLING SPACE”
to FUTURE
for HOW WE LIVE NOW

research projects 2000-2008

to the FUTURE: RESEARCH PROJECT 2: 2001-2008

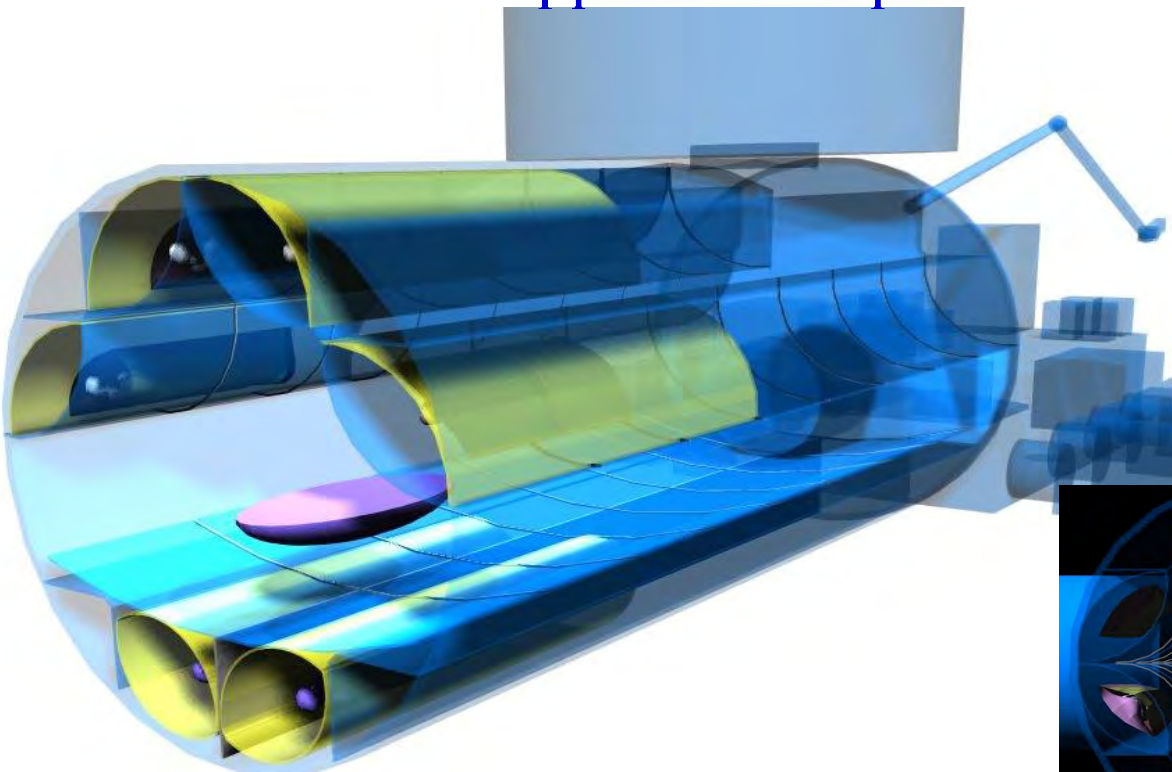
HOW to DWELL in INTERNATIONAL SPACE STATION

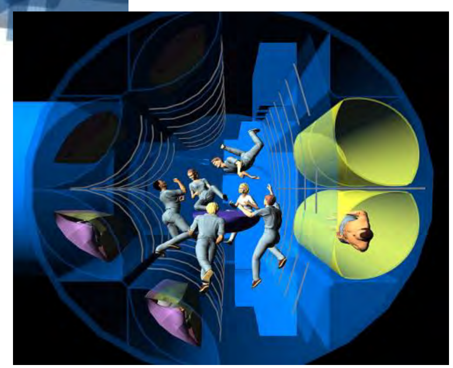
artistic approaches to space / space futon project
Kyoto City University of Arts

無重力の特性を生かした立体的な空間
微小重力下では、空間利用が根底から見直される。
作業、睡眠、食事、生理的、休息空間が同時存在、
個人の活動の方向を違える事が可能。
地上空間に無い多重の機能を多元に錯綜させて解く空間。
地上の空間のあり方を変化させる出発点の形成が可能。

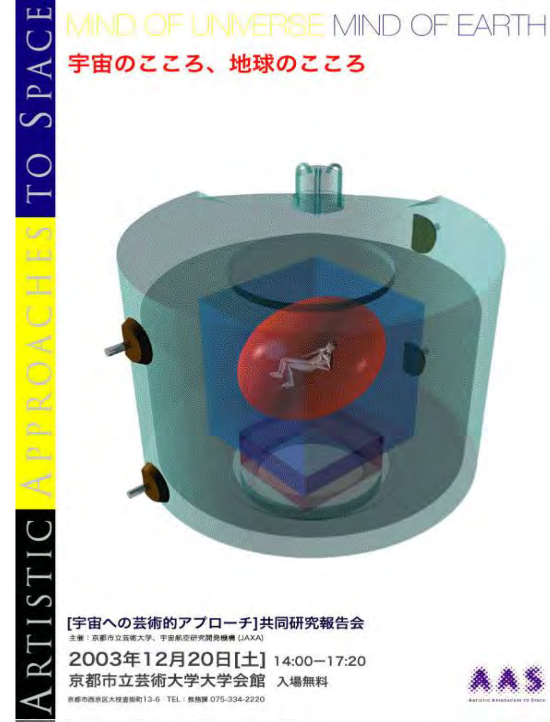
ARTISTIC APPROACHES TO SPACE

AAS—Artistic Approach to Space 2001-2003





“宇宙における居住空間のあり方” – 池上俊郎　toshiroh Ikegami



[宇宙への芸術的アプローチ]共同研究報告会
主催：京都市立芸術大学、宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
2003年12月20日[土] 14:00—17:20
京都市立芸術大学大学会館　入場無料
京都市西京区大枝沓掛町13-6　TEL：教務課 075-334-2220

[宇宙への芸術的アプローチ]共同研究報告会

宇宙のこころ、地球のこころ

人類がはじめて宇宙に持つ恒久的な活動拠点である国際宇宙ステーション（ISS）は、自然科学・工学分野のさらなる研究開発を促すだけでなく、科学技術と芸術そして人文諸科学の“総合”を通じて、地球の生命と文明に対する新たな視点や宇宙時代における人類の新たな自然観・生命観を形成していく契機になると思われます。私たち「宇宙への芸術的アプローチ（AAS−Artistic Approaches to Space）」研究グループは、それを促進する一つの方法として、"MUSE計画"を実行しています。この計画は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）および宇宙飛行士の方々と連携して、宇宙における芸術表現の意義と可能性、条件と方法を研究し、ISSの日本の実験モジュール「きぼう」を核とした宇宙環境における芸術プロジェクトの実現をめざして、具体的な提案と創作実践を行う共同研究プロジェクトです。微小重力や閉鎖環境、地球や宇宙に開かれた新たな視野という宇宙環境の特性は、私たちの感覚や知覚、認識や価値観を変え、リアリティを変容させ、人間の生活様式や行動の変化を導くでしょう。それに対応して、人間の芸術表現やコミュニケーションの意義を原点に立ちかえって検討し、知性と感性の新たな結びつきの中から、宇宙で活動する人々にとってだけでなく、地上に生きるわれわれにとっても意義ある宇宙文化の創造を探ることが求められます。今回、JAXAの宇宙飛行士である星出氏を迎え、これまでのJAXAとの共同研究についての報告会を行います。

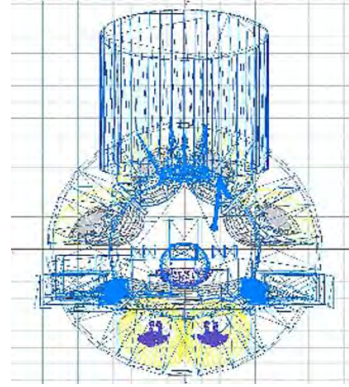
プログラム

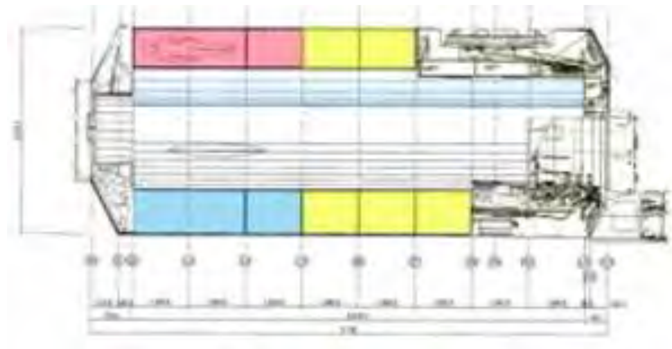
開会　14:00
講演　14:20-14:50
　星出彰彦氏，宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙飛行士
研究報告　15:00-16:00
　微小重力環境の「ライナスの毛布」—security blanket—
　宇宙における居住環境について
　微小重力下における液状物質の造形実験
　「手にとる宇宙」
　「宇宙庭」
　KOKORO Project ワークショップ
ディスカッション16:20-17:20
　「宇宙のこころ、地球のこころ」

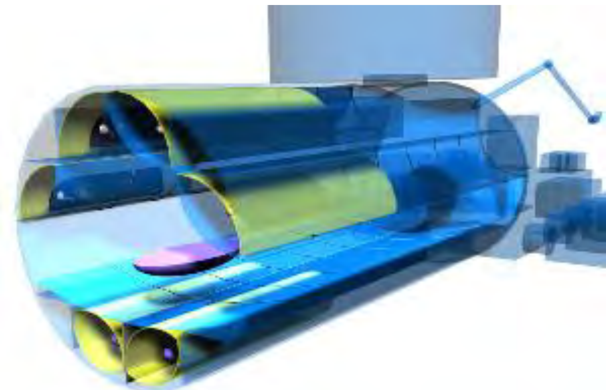
星出彰彦：宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙飛行士

主催：京都市立芸術大学、宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
2003年12月20日[土] 14:00—17:20
京都市立芸術大学大学会館　入場無料
京都市西京区大枝沓掛町13-6　TEL：教務課 075-334-2220

AAS－宇宙への芸術的アプローチ2001-2003
京都市立芸術大学－宇宙航空研究開発機構共同研究







HOW to DWELL on the PLANET

LEARNING
from INTERNATIONL SPACE STATION

HOW to DWELL in SPACE
NO AIR / NO GRAVITY / NO WATER
NO ENERGY without SOLAR SYSTEM

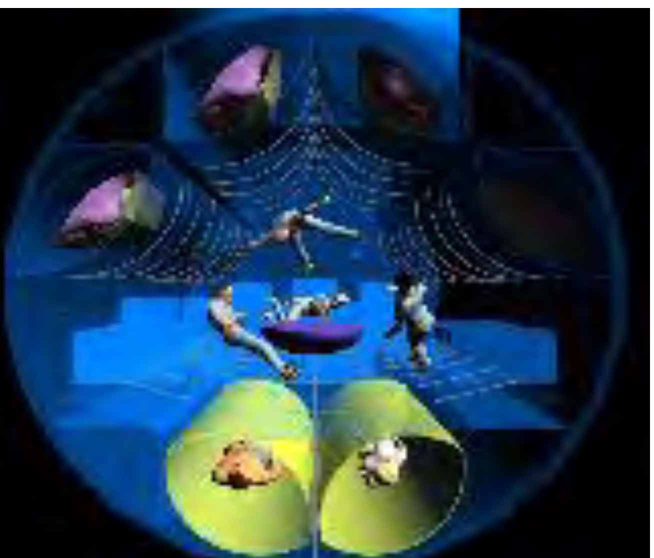
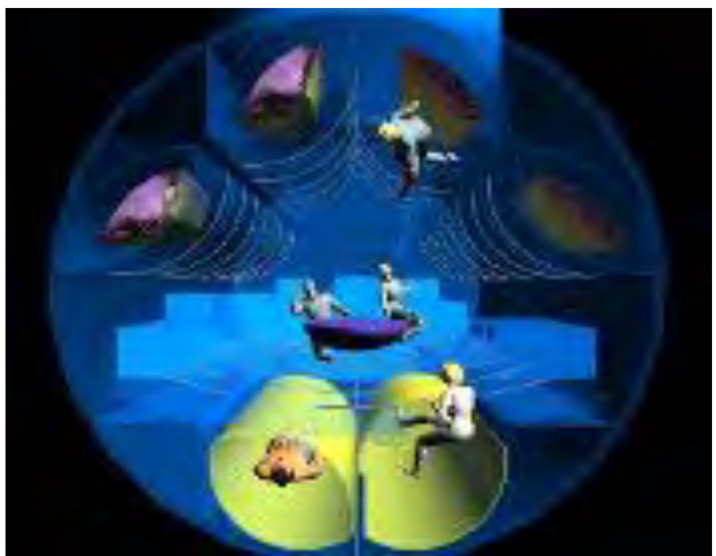
Artistic Approaches to Space

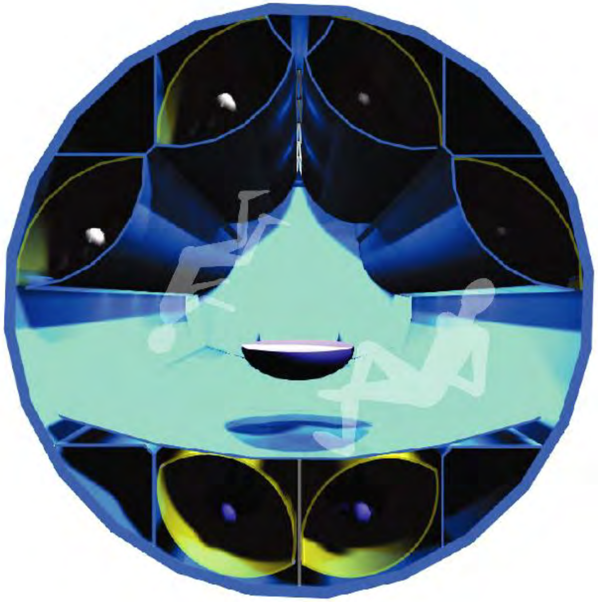
2001-2003

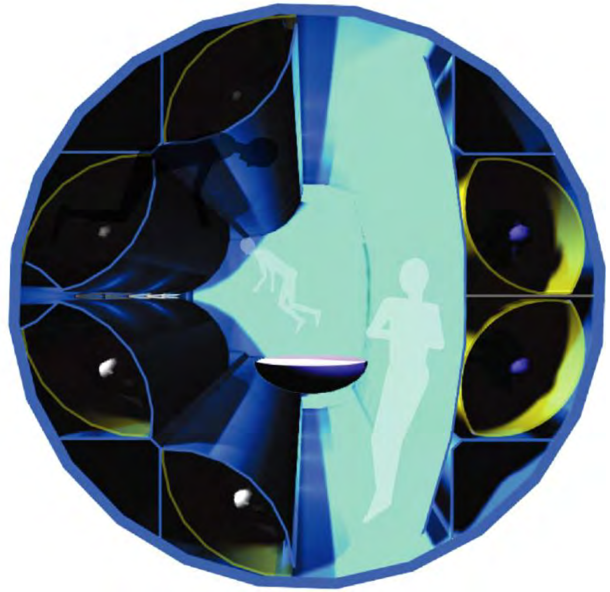
小重力空間“KIBO”の居住空間の提案

-オリエンテーションのない領域における公私空間の同時存在

宙ステーションは、真空・微小重力・温度差等の過酷な領域。生命体の棲息を保証する自
的閉鎖空間である。天地左右の無い、全方位アクセス可能な空間における、住まい方を探
。作業空間、睡眠空間、食事空間、生理的空間、休息空間が同時に存在し、個人と集団の
活活 動の方向を同時存在させる事が可能。
内の求心性と方位決定をFLOATING　TABLE“浮遊テーブル”に求め、繭状筒状のSLEEPING-
ACEを房のようにコミュニケーションスペースに配す。 SANITARY“シャワースペース、お
びトイレスペース”は平面に埋設。機能を多元に錯綜させて空間を解く。
際宇ステーションは各モジュール内の基本単位が決定され単位に基く拡張が可能な構成。
例えばX 方向、1,066mmピッチでラック。）空間デザインは、中心に通過空間を設けて、
ューブ状の生活・操作空間となっている。“ショットガンシュート” である。無重力の特性
生かした立体的な空間を配慮すべき時期。人間行動の 可能性を極限まで追求することは、
ステナブルでユニバーサルな居住空間のあり方についてリデザインすることにな る。

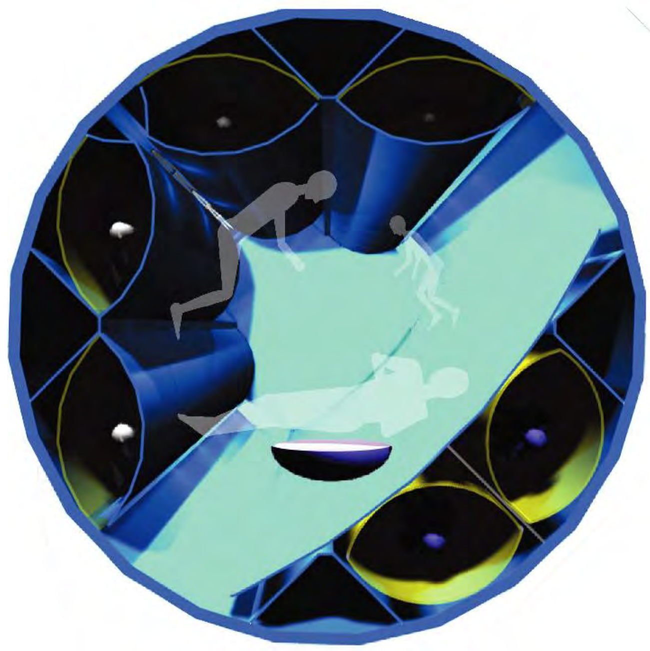



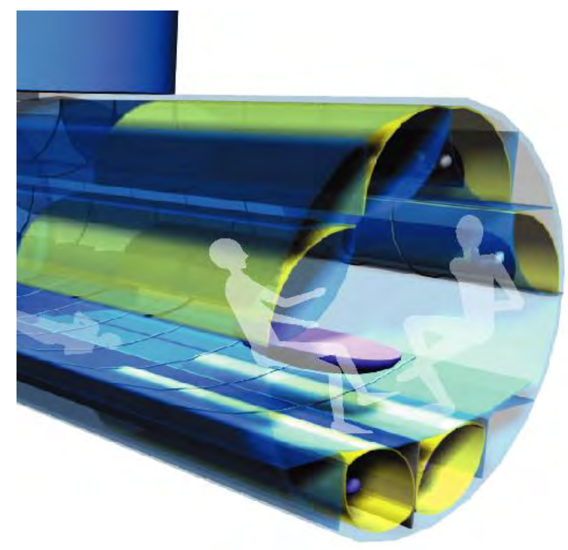


ISSと居住者のい最小居住棲息空間。直径3Mの中に公共スペースと私的空間が同居する。

トイレ・ミストシャワーバス・　4の個室・コミュニケーションツールとしてのFLOATING TABLE

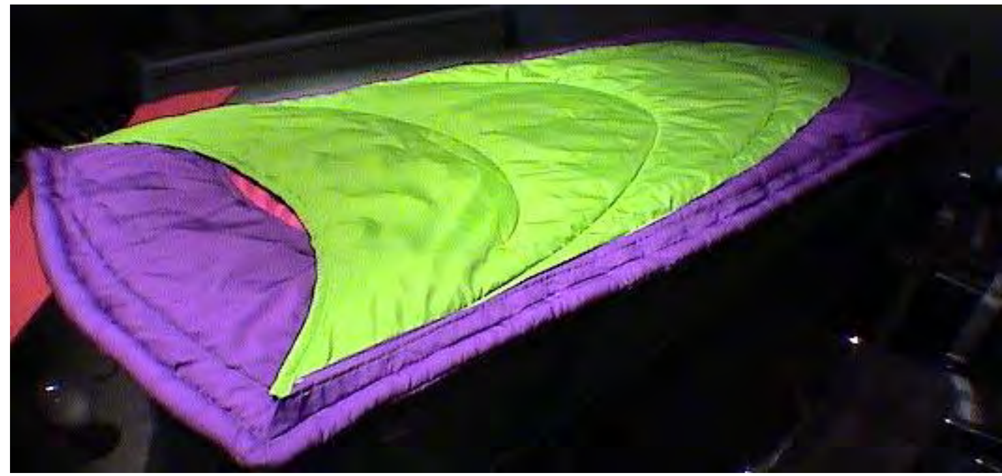


KIBO ALTERNATIVE PLAN



MICROGRAVITY　実験　22MAR2003

WORKSHOP　MODEL1



MICROGRAVITY　実験用　FUTON　試作品

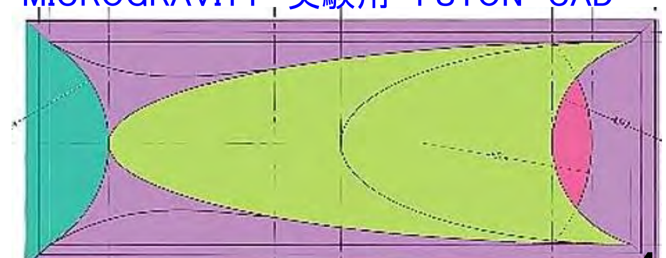
SPACE　FUTON
具体的IMAGE

京都市立芸術大学と宇宙航空研究開発機構の共同研究（AAS：宇宙への芸術的アプローチ）において、飛行士への簡易なインタビューに基づき試作品を作成。

さらに、ISS内での安全性を考慮し医学的検知を踏まえた「SPACE FUTON」を製作する。

WORKSHOP　試作品1

MICROGRAVITY　実験用　FUTON　CAD



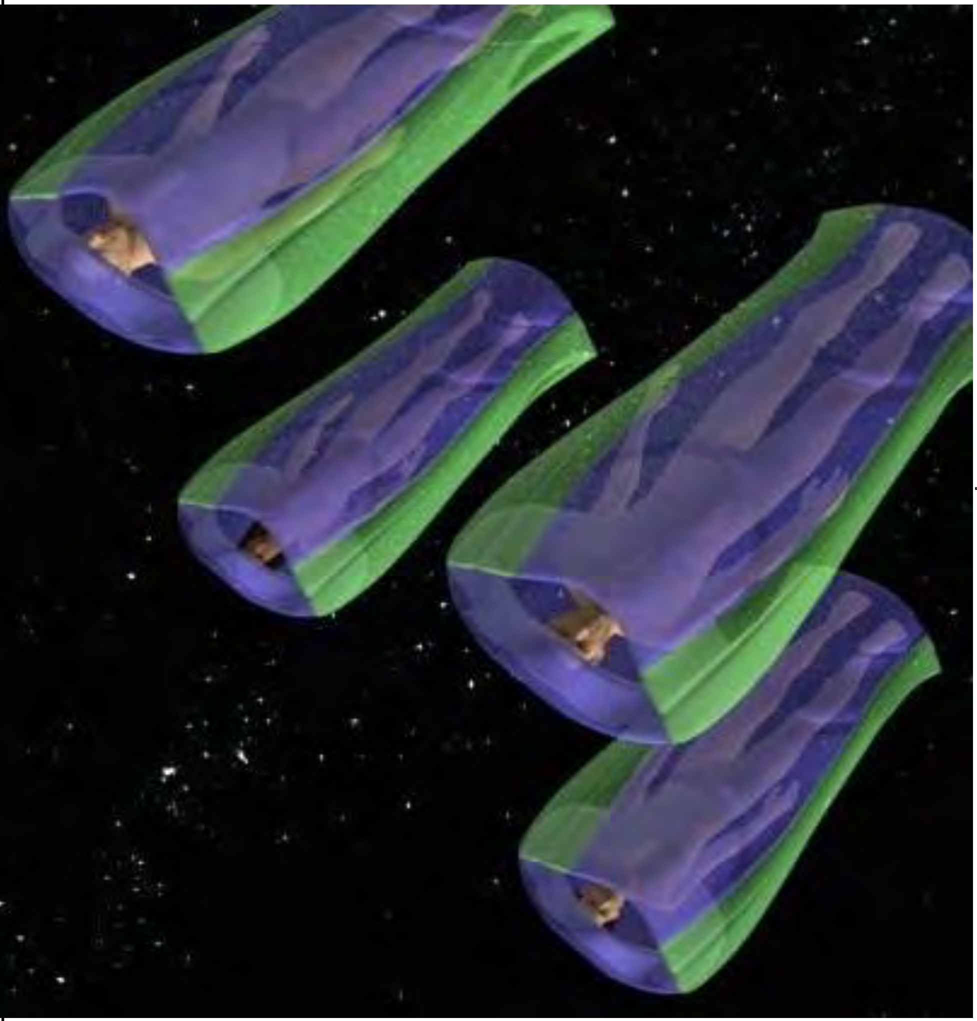
SPACE PARTNER UNIT SELECTION REPORT

JAPAN AEROSPACE EXPLORATION AGENCY 2005

JAXA

UNIT - SPACE FUTON 2005-2007

CREATING BESTSLEEPING ENVIRONMENT IN LONG TERM DWELLING AT SPACE



京都市立芸術大学 Kyoto City University of Arts

池上俊郎 研究室 Toshiroh IKEGAMI Studio

西川リビング株式会社

Nishikawa Living Inc

宇宙航空研究開発機構 宇宙環境利用センター

Japan Aerospace Expploration Agency

Space Environment Utilization Center

It is very important 8 hours sleeping environment - time & space under Micro Gravity Situation.

Now such Research projects is not enough for International Space Station.

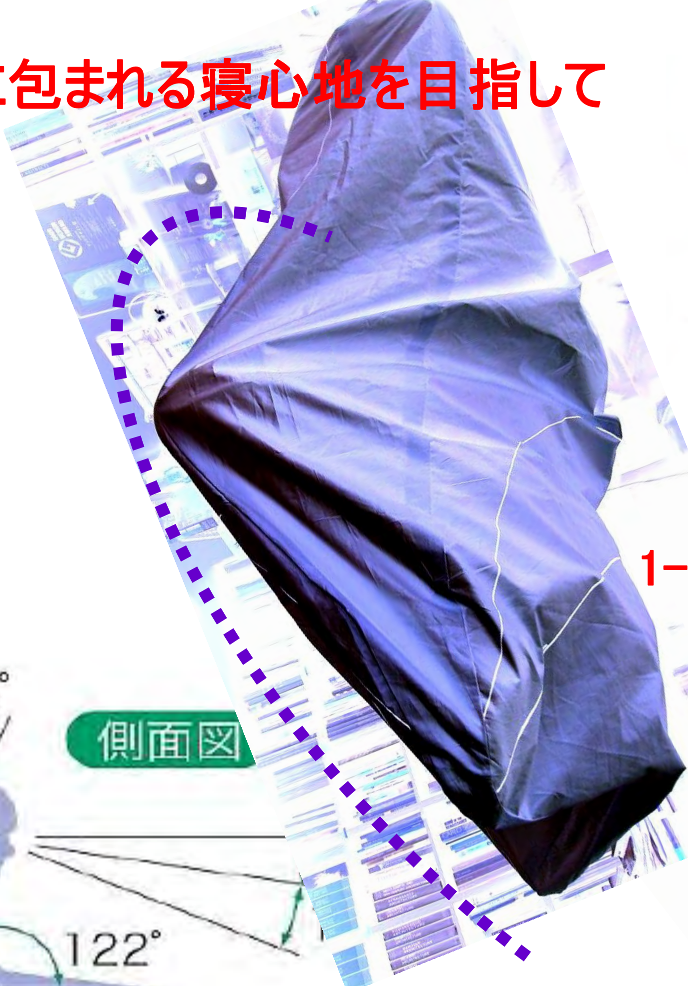
We contribute nice space life for Astronauts through " Progressing Sleeping Situation in Long Term Stay".

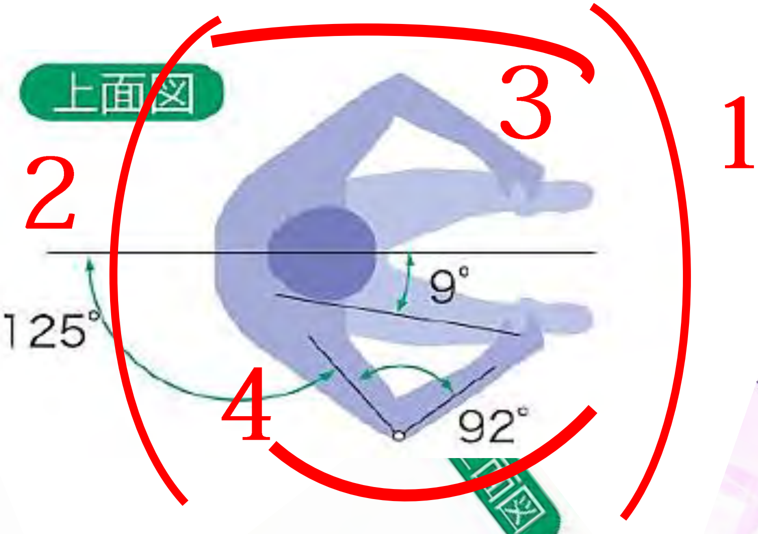
We aim to create "SPACE FUTON" -healthy with amenity through hard problems for safety.

Creating new generation FUTON

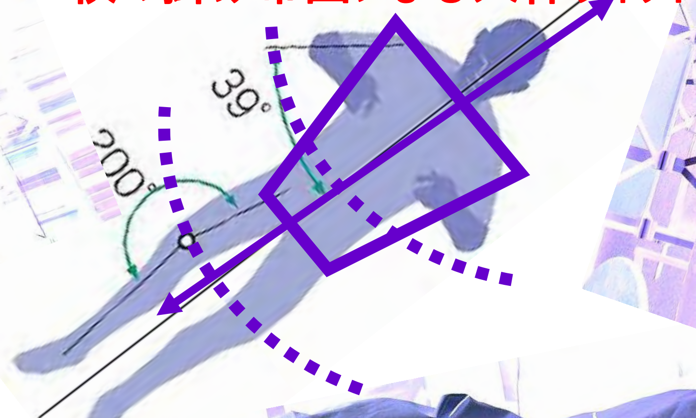
high function & new structure.

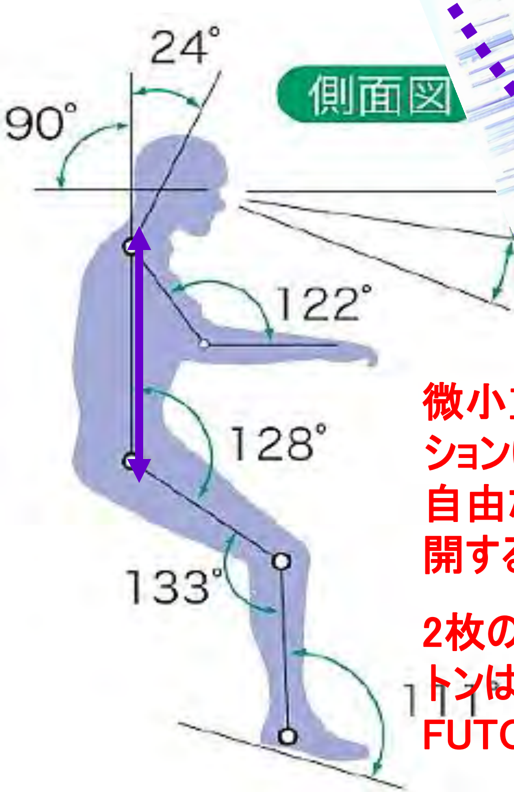
空気に包まれる寝心地を目指して





1-4　4枚の掛け布団による人体フィット

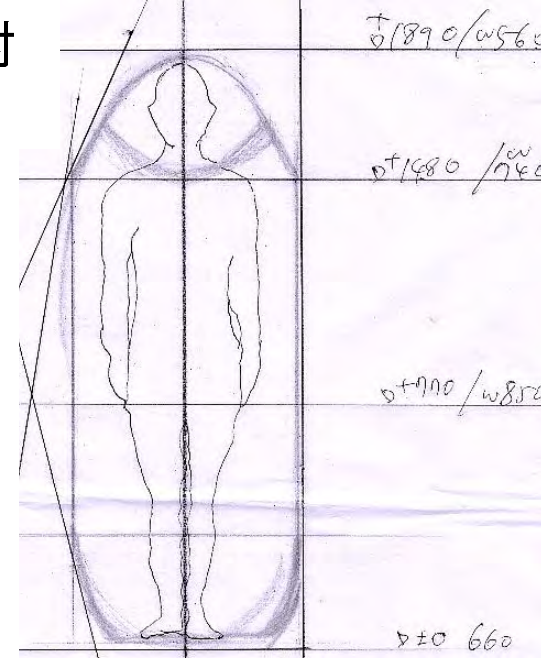


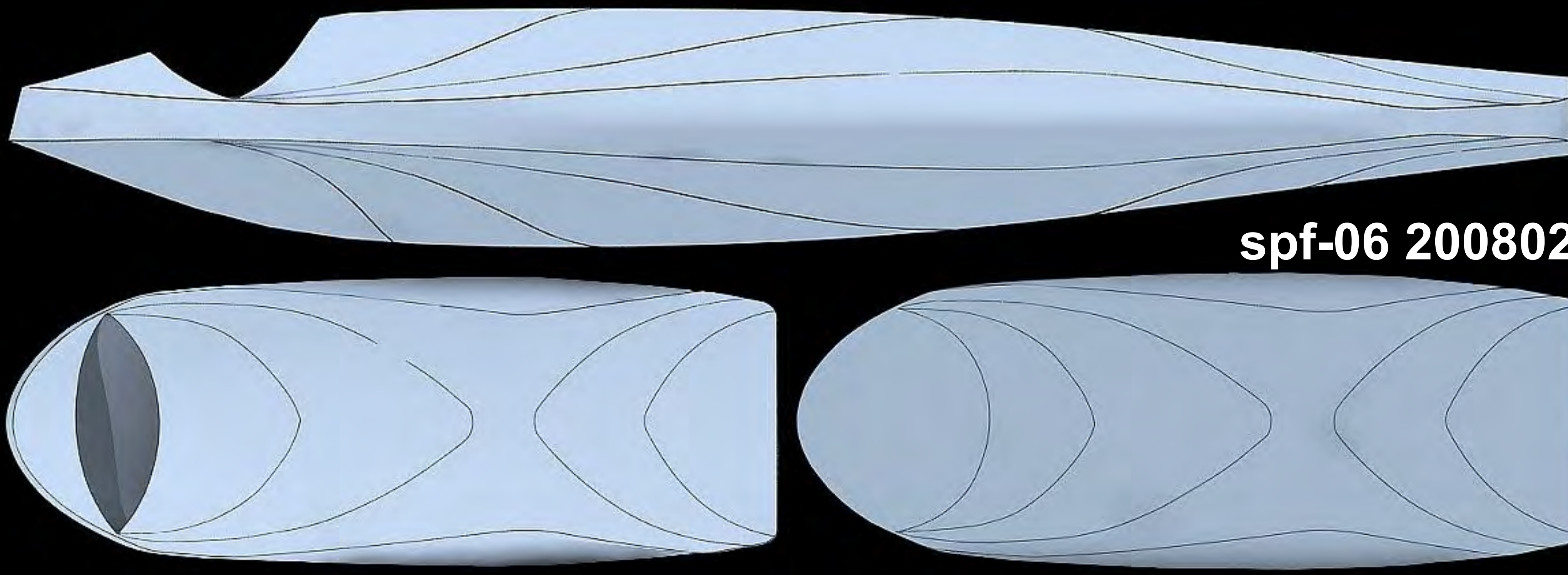


微小重力下でのニュートラルポジションは、肩周りと背骨を固定し、自由な回転活動が手足前方に展開する。

2枚の掛け布団に始まった、宇宙フトンは4枚のかけ布団による立体FUTONへと進化する。

ISS RUSSIA SLEEPING SPACE 対応





spf-06 200802

SPF－05は、ニュートラルポジションへの対応を高めた。

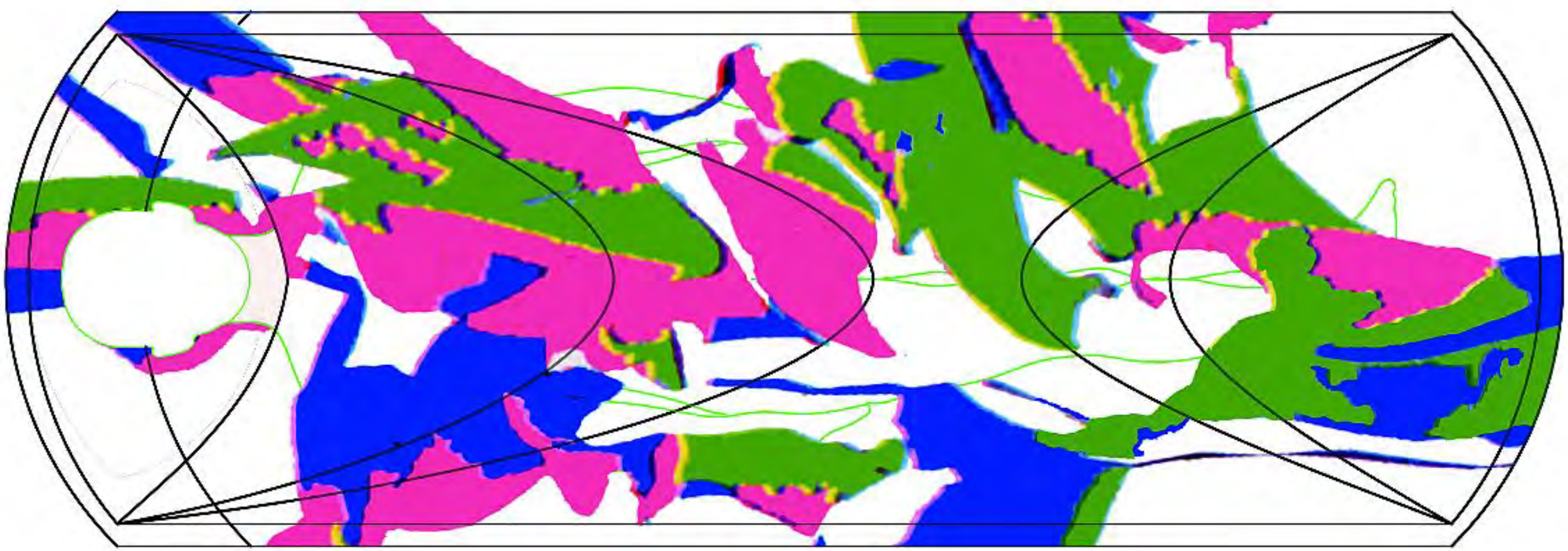
SPACEFUTON　SPF-05　2006

SPF－06は、内部にやわらかい襞を持つシェルターの性格を持つ

SPACEFUTON　SPF-06　2008

地上の睡眠形式

美しい　おもてなし介護
輻射熱利用の優しさ
洗濯可能な衛生睡眠環境
楽しい山生活・寮生活



2001-2006 AAS SPACE FUTON

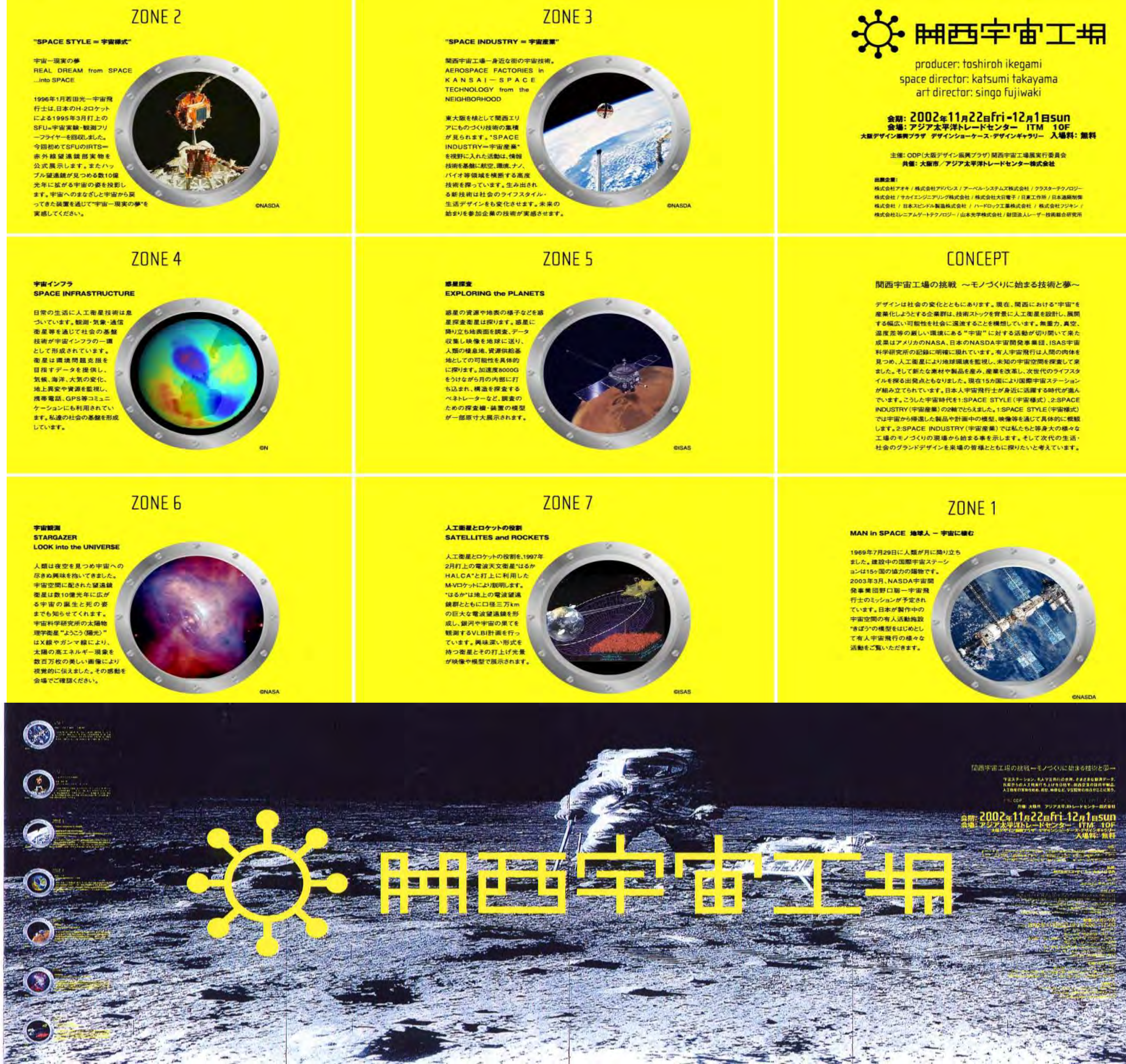
Exposition for Space Technology

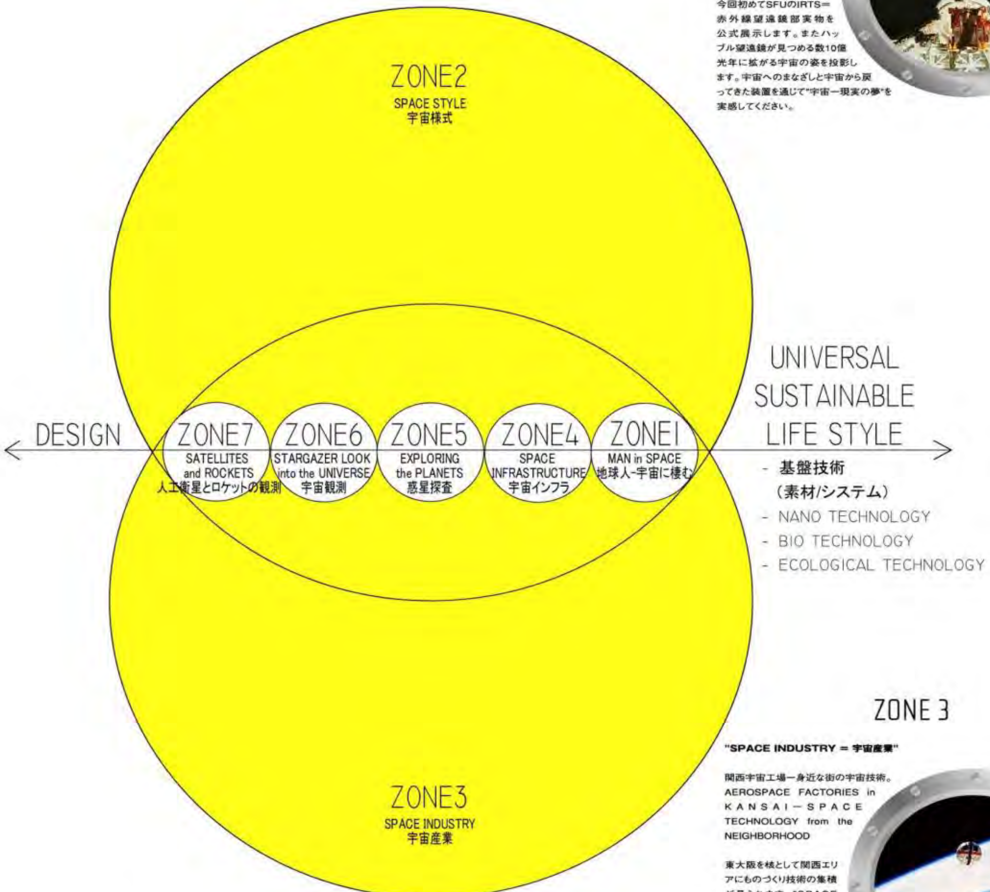
from

Kansai-Osaka

Small companies

2002



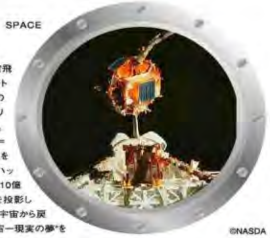


ZONE 2

"SPACE STYLE = 宇宙様式"

宇宙一現実の夢
REAL DREAM from SPACE
...into SPACE

1996年1月若田光一宇宙飛行士は,日本のH-2ロケットによる1995年3月打上のSFU=宇宙実験・観測フリーフライヤーを回収しました。今回初めてSFUのIRTS=赤外線望遠鏡部実物を公式展示します。またハッブル望遠鏡が見つめる数10億光年に拡がる宇宙の姿を投影します。宇宙へのまなざしと宇宙から戻ってきた装置を通じて"宇宙一現実の夢"を実感してください。

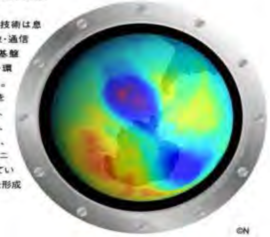


©NASDA

ZONE 4

宇宙インフラ
SPACE INFRASTRUCTURE

日常の生活に人工衛星技術は息づいています。観測・気象・通信衛星等を通じて社会の基盤技術が宇宙インフラの一環として形成されています。衛星は環境問題克服を目指すデータを提供し、気候、海洋、大気の変化、地上異変や資源を監視し、携帯電話、GPS等コミュニケーションにも利用されています。私達の社会の基盤を形成しています。

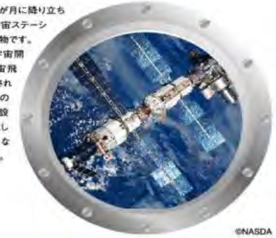


©N

ZONE 1

MAN in SPACE 地球人 ― 宇宙に棲む

1969年7月29日に人類が月に降り立ちました。建設中の国際宇宙ステーションは15ヶ国の協力の賜物です。2003年3月、NASDA宇宙開発事業団野口聡一宇宙飛行士のミッションが予定されています。日本が製作中の宇宙空間の有人活動施設"きぼう"の模型をはじめとして有人宇宙飛行の様々な活動をご覧いただきます。

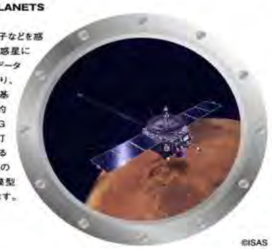


©NASDA

ZONE 5

惑星探査
EXPLORING the PLANETS

惑星の資源や地表の様子などを惑星探査衛星は探ります。惑星に降り立ち地表面を調査、データ収集し映像を地球に送り、人類の棲息地、資源供給基地としての可能性を具体的に探ります。加速度8000Gをうけながら月の内部に打ち込まれ、構造を探査するペネトレーターなど、調査のための探査機・装置の模型が一部原寸大展示されます。



©ISAS

ZONE 6

宇宙観測
STARGAZER
LOOK into the UNIVERSE

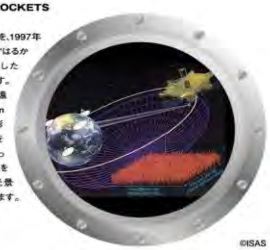
人類は夜空を見つめ宇宙への尽きぬ興味を抱いてきました。宇宙空間に配された望遠鏡衛星は数10億光年に広がる宇宙の誕生と死の姿までも知らせてくれます。宇宙科学研究所の太陽物理学衛星"ようこう〈陽光〉"はX線やガンマ線により、太陽の高エネルギー現象を数百万枚の美しい画像により視覚的に伝えました。その感動を会場でご確認ください。

©NASA

ZONE 7

人工衛星とロケットの役割
SATELLITES and ROCKETS

人工衛星とロケットの役割を、1997年2月打上の電波天文衛星"はるかHALCA"と打上に利用したM-Vロケットにより説明します。"はるか"は地上の電波望遠鏡群とともに口径三万kmの巨大な電波望遠鏡を形成し、銀河や宇宙の果てを観測するVLBI計画を行っています。興味深い形式を持つ衛星とその打上げ光景が映像や模型で展示されます。



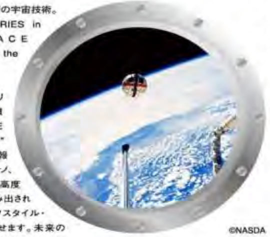
©ISAS

ZONE 3

"SPACE INDUSTRY = 宇宙産業"

関西宇宙工場ー身近な街の宇宙技術。
AEROSPACE FACTORIES in KANSAI－SPACE TECHNOLOGY from the NEIGHBORHOOD

東大阪を核として関西エリアにものづくり技術の集積が見られます。"SPACE INDUSTRY=宇宙産業"を視野に入れた活動は、情報技術を基盤に航空、環境、ナノ、バイオ等領域を横断する高度技術を探っています。生み出される新技術は社会のライフスタイル・生活デザインをも変化させます。未来の始まりを参加企業の技術が実感させます。



©NASDA

関西宇宙工場

PRODUCER:TOSHIROH IKEGAMI
SPACE DIRECTOR:KATSUMI TAKAYAMA
ART DIRECTOR:SINGO FUJIWAKI

SIMULATING “the DWELLING SPACE”

for HOW WE LIVE NOW

research projects 2000-2008

NOW :RESEARCH PROJECT 3:2003-2008

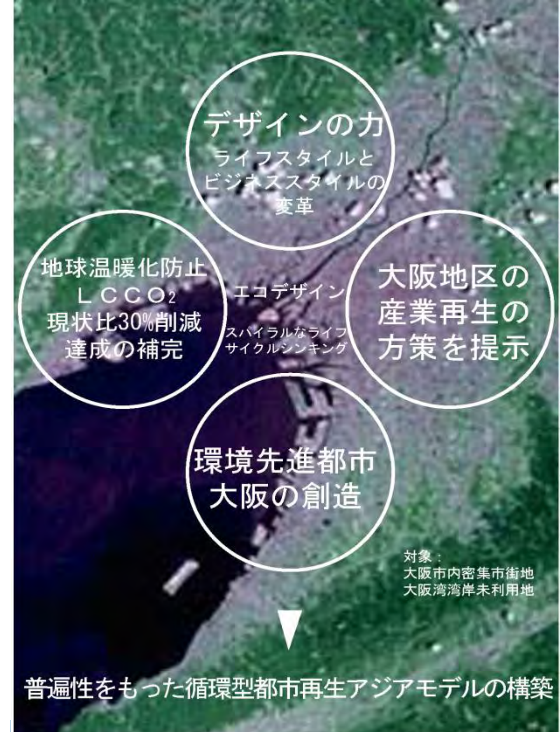
HOW WE ACT for ECODESIGN SOCIETY

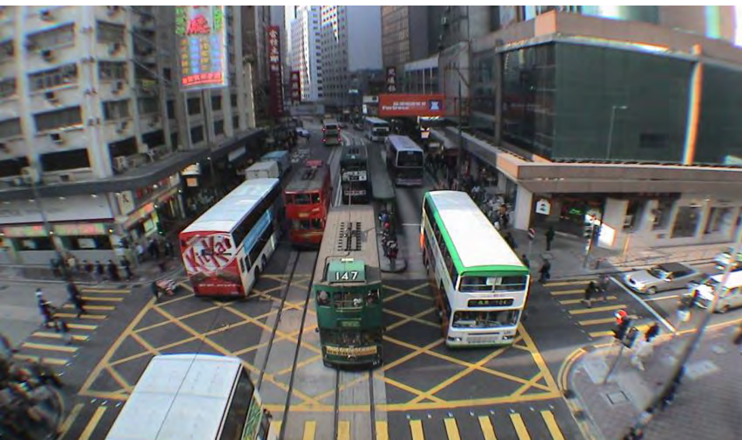
OSAKA MODEL of CIRCULATION ORIENTED SOCIETY through CASE STUDY of EXISTING CITY & NEIBORHOOD NATURE

Team axis4 / npo ecodesign network

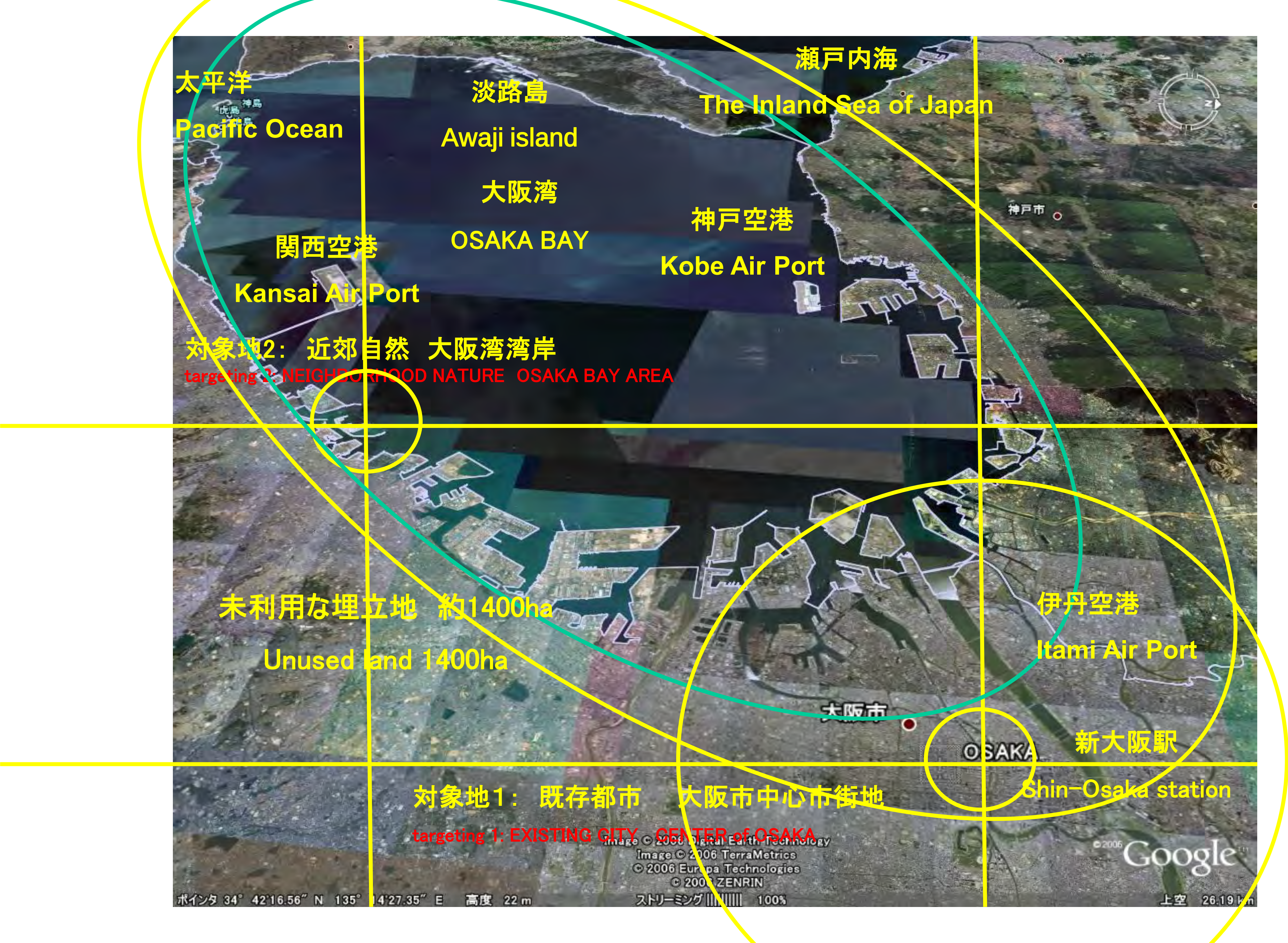
NPO法人　ECODESIGN　NETWORK
既存都市・近郊自然の循環型再生大阪モデル
ECnnO
Osaka model of circulation oriented society
through case study of
existing city & neighborhood nature

独立行政法人科学技術振興機構「循環型社会」領域






既存都市・近郊自然の循環型再生大阪モデル
独立行政法人科学技術振興機構「循環型社会」領域
Targeting Area 1. EXISTING CITY
Targeting Area 2. NEIGHBORHOOD NATURE
Osaka model of circulation oriented society through case study of existing city & neighborhood nature
Japan Science and Technology Agency (JST) / RISTEX 2003-2006



太平洋
Pacific Ocean
淡路島
Awaji island
瀬戸内海
The Inland Sea of Japan
大阪湾
OSAKA BAY
神戸空港
Kobe Air Port
関西空港
Kansai Air Port
対象地2： 近郊自然 大阪湾湾岸
targeting 2: NEIGHBORHOOD NATURE OSAKA BAY AREA
未利用な埋立地 約1400ha
Unused land 1400ha
伊丹空港
Itami Air Port
大阪市
OSAKA
新大阪駅
Shin-Osaka station
対象地1： 既存都市 大阪市中心市街地
targeting 1: EXISTING CITY CENTER of OSAKA
神戸市
Image © 2006 TerraMetrics
© 2006 Europa Technologies
Google

Research Project
Osaka Model of Circulation-Oriented Society through Case Study of Existing City & Neighborhood Nature

2003-2006

既存都市近郊自然の循環型再生大阪モデル　2003-2006

Works by NPO Eco Design Network Team AXIS4

独立行政法人　科学技術振興機構　循環型社会領域
Results from Japan Science and Technology Agency (JST) /
RISTEX 2003-2006 -Research Institute of Science and Technology for Society

研究 research

循環型再生大阪モデルは研究と実務的かつ効果的提案の双方を目指します。
The circulation-oriented Osaka society model aims at exploring and developing .

対象地１：　既存都市　＝　大阪市中心市街地 ：密集都市中心部のヒートアイランド化の脱却の手法を探る
対象地2：　近郊自然　＝　大阪湾湾岸：湾岸の未利用地とその周辺海域における都型近郊農林水産業の展開の提案

1: Existing City : targeting the densely populated urban area of Osaka. Exploring the departure of the technique of heat island phenomenon.
2: Neighborhood Nature : targeting the unused land in the Osaka Bay coastal area.
Proposal for development of urban-type agriculture, forestry and fisheries industry.

このモデルは文化、歴史、技術、社会を持続可能な構造に統合し、人工的都市と自己回復性のある自然が共存します。
This model integrates culture, history, technology, and society in a sustainable structure that allows man-made cities and self-recovering nature to exist together.

戦略　　：生活美学としてのエコデザインによって創造する循環型社会

Strategy: to construct a sustainable society using lifestyle aesthetics and sensitivity developed through eco design.

達成目標　：地球温暖化防止　LCCo2現状比30%削減を補完

Target Level: prevention of global warming by reducing LCCO2 emissions by 30% of current level.

実行計画　：フラットな産業構造の形成・ 機械仕掛けから生命体利用へ

(1次産業への視座)

Plan of Action: Build a flat-type industrial structure. Migrate from over-use of technology to application of natural life forms

(perspectives for primary industries).

目的地 ： 環境先進都市大阪の創造

Target Area: create an environmentally advanced city - Osaka.

結果　：　　普遍性をもった循環型都市再生ASIA MODELの構築

End Result: realize an Asian model of a circulation-oriented city with universal applications.

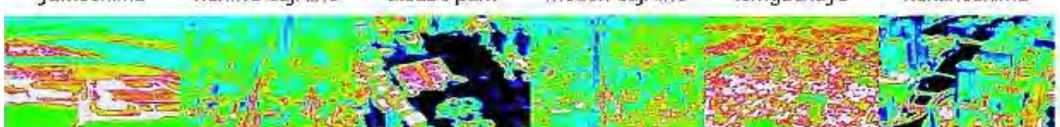
Targeting Area 1. **EXISTING CITY**

the center of Osaka City : main urban district

The greening of the area to relieve the heat island phenomenon affecting the center of Osaka.
The targeted existing city area is a 2.5km built-up area in the center of Osaka City.

- Method of Relieving the Heat island Phenomenon:
  employ streams, streets and unused plots of land , plant greenery to create a wind path
- Biomass Society:
  Society that develops on a parallel to solution of the heat island phenomenon with forest
- Examples of Advantageous Effects of Design:
  Adding appeal to a community and mass transportation with the design

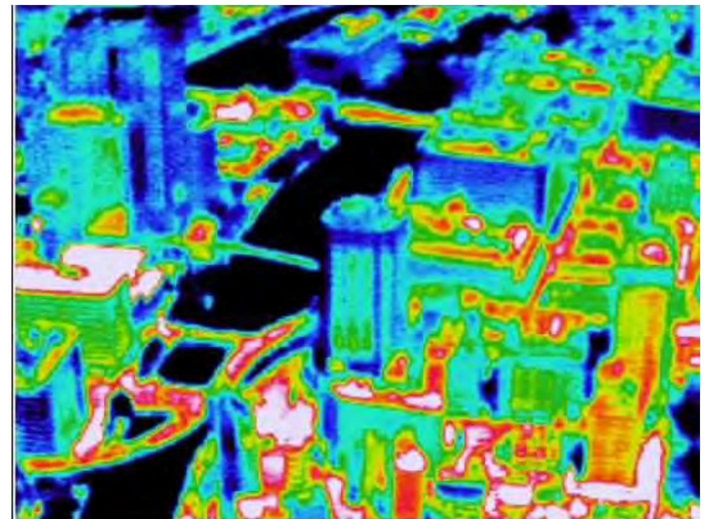
yumeshima | naniwa-suji line | utsubo park | modoh-suji line | temgachaya | nakanoshima



photographing on 8th August 2005

HEAT ISLAND phenomenon
EXISTING CITY
CENTER of OSAKA

THERMO CAMERA
20050808



Targeting Area 2. **NEIGHBORHOOD NATURE**

Osaka Bay and coastal area

The state of urban agriculture, forestry and fisheries aimed at effectively using the 1600ha unused industrial landfill area and adjacent seawaters around Osaka Bay.

Nature Recovery Manual:

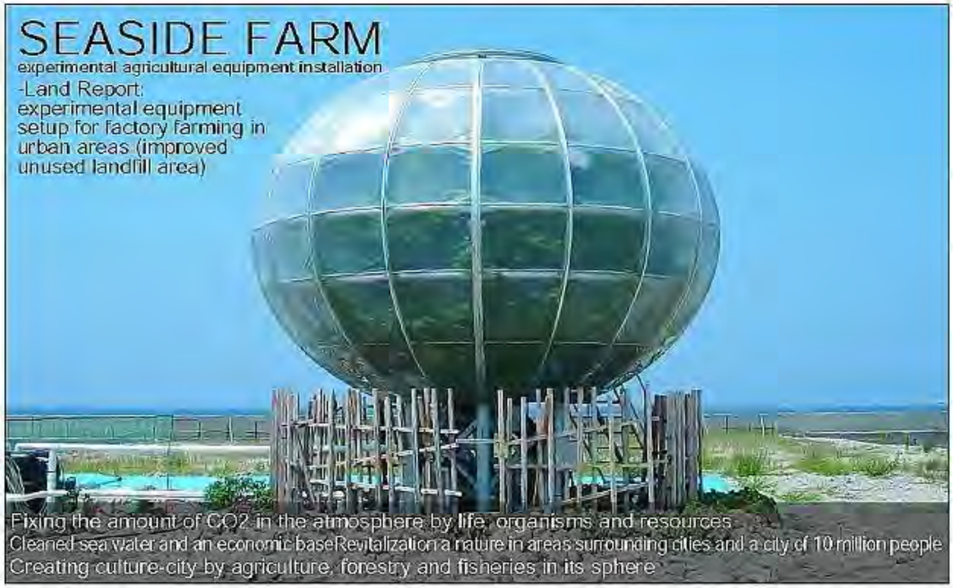
A guide for exploring revitalization of unused industrial land and neighboring oceans

At present, there is approximately 1600ha of unused coastal land within Osaka Prefecture. With "Osaka Bay is Alive!" as our overall theme, we are working at recovering and expanding the nature that has nearly disappeared from the Osaka area. At the same time, exploring the potential of boosting industry in conformity with the new circulation-oriented society.

SEASIDE FARM

experimental agricultural equipment installation

-Land Report:
experimental equipment setup for factory farming in urban areas (improved unused landfill area)



Fixing the amount of CO2 in the atmosphere by life, organisms and resources
Cleaned sea water and an economic baseRevitalization a nature in areas surrounding cities and a city of 10 million people
Creating culture-city by agriculture, forestry and fisheries in its sphere

Implementing Nature Recovery that leads to restoration of unused industrial land and adjacent sea waters

Unused industrial lands, a result of shifts in product manufacturing and relocation of industry, now lie idle. If left as is, the land could become barren. On the other hand, it could be recovered by installing environmentally low impact industries such as agriculture, forestry and fisheries. We can also simultaneously recover the adjacent seawater. For example, by implementing factory agriculture, we can produce between 5 and 10 harvests per year. Saving rainwater from advanced circulation equipment fixed to roofs, walls and streets in the area. In the nearby waters, we would install equipment that would provide man-made assistance to encourage faster recovery.

-Equipment Outline:
cylinder of 3m diameter, 5m height, set 1.7m
External coating - ETFE film.(100%)
Structure: steel frame.
Internal flooring:expanded metal.

Agricultural equipment providing liquid plow farmingbased on procured energy.

-Equipment Outline:Electricity: photovoltaic generation+ cogeneration-type hot water heater + commercial power.Heat: cogeneration-type hot water heater -CO2 for cultivation: cogeneration-type Hot water heater Water: rain water+ desalinated seawater (small amount) Cooling: spot cooler+ heat pipe Ventilation: ventilation fan

SEA FARM

experimental equipment setup for recovery of marine organisms for urban marine industries

-Ocean Report:
experimental equipment setup for recovery of marine organisms for urban marine industries

Coexistence of various life organisms - tidelands , shoal , fishing ground and seaweed beds
Fixing carbon by food-chainUse a recycled resources adhesive property
Cleaning up the waters of the bay by capability of organisms and plants

Implementing Nature Recovery that leads to restoration of unused industrial land and adjacent sea waters unused industrial land and adjacent sea waters

As sea organisms recover and proliferate, we can also proceed with the restoration of the fishing industry in the Osaka area. It may not be an overstatement to say that Osaka is close to becoming a desert. Promoting the COOL ISLAND effect on the coast of Osaka, we can restore this area to a level that would offer residents a natural beach area and enjoyable ocean waters. In attempting these projects, we aim at building up industry, enhancing self-sufficiency for food supply, suppressing the heat island phenomenon, and creating natural energy. We will also improve the impoverished soil and reuse it as a source for CO2 absorption through forestation. This endeavor implements low-impact primary industry to recover nature in unused land and restore adjacent sea areas to a clean, natural state and targets not only artificially improved areas throughout Japan, but also the future recovery of nature in artificially improved lands throughout the world.

-Equipment Outline :
Upper main body A / image of tidelands and beach area circular cone of 3m in diameter, 1.7m in height.
Lower body B / image of seaweed beds
Lower body B: depth 1m, height 0.5m.
Porous and carbonated steel slag block
float C

A and B is made from an eco-material and ncouraging the growth of living organisms. This eco-material reduces the amount of CO2 generated, promotingphotosynthesis with the formation of algae, and fixing the amount of CO2 in the atmosphere.

-Structure:
1. Upper main body A : hydro-solidified steel slag block (alternative to concrete) + blast-furnace, granulated slag used for breeding + steelmaking slag dike
2. Lower body B: Porous and carbonated steel slag block
-Float C: foam polystyrene

Osaka model of circulation oriented society
through case study of existing city & neighborhood nature

BY DESIGN : REALIGNING SOCIETY & REVOLUTIONIZING LIFESTYLE

Summary

The world is changing rapidly with more countries able to provide a lifestyle once known only to advanced countries.
Mega city developments and transportation net works expand, warmer temperatures spread globaliy, and environmental stress factors increase. The role of design, aiming to create a prosperous quality of life, is to boost the quality and progress of environmental technology while enhancing design functions. We also aim to reduce greenhouse gas emissions, while demonstrating the vast possibilities design has to offer as contributions to existing city revitalization.

The Target Society

A biomass-based society that includes agriculture, forestry and fisheries in its sphere.

The Target City

City that is an amalgamation of new technology and nature, and one that has what it takes to press on with self-improvement and self-cultivation.

Targeting Area 1. EXISTING CITY
: main urban district Osaka City.

Targeting Area 2. NEIGHBORHOOD NATURE
: Osaka Bay and coastal area.

The Progress of Environmental Issues

As the range of human activities continues to expand, so does the transfiguration of nature. Now we can see that every country on earth bristles with skyscrapers, and nations through out the world have comes to reach the same standard of living as the most advanced countries. To overcome environmental issues, we must draw upon conventional and state-of-the-art technology to shorten the time lag that prevents us from achieving a hydrogen-based society, to coexist with all living organisms and increase our use of natural energy.

Attempting to Define the following Five Topics

1. [illegible]
2. By Design
3. Industrial infrastructure renovation
4. Society that can reduce current greenhouse gases [illegible]
5. [illegible]

1. Building a State-of-the-Art Circulation City: Osaka

Osaka was being transformed industrialization at the cost of losing its traditional distinctiveness and without any targeted homogeneous landscape.
The model includes reduction of the heat island phenomenon affecting Osaka and expands the recovery of the polluted seawater in Osaka Bay. While reducing the stress on the environment, we hope to revitalize the industrial infrastructure into a integrated industry organization, assimilating primary, secondary and tertiary industries.
In addition, we expect to realize a circulation-oriented society through eco-designs that aim at creating a sensitive society. While creating lifestyle structures, rich city culture, urban landscapes, our plan encompasses the use of technology to promote the heat island phenomenon relief, food procurement, water circulation system, and various natural, clean energy methods. Our research also covers methods to promote atmospheric stability and escape from poverty.

2. By Design:

The Possibilities of Eco-Design

Creating a model of "Revitalizing Circulation-Oriented Cities & Nature" through Eco-Design as Lifestyle Aesthetics Eco Design is one method of progressing toward a stable level of comfort by creating a new lifestyle that encourages us to arrange our daily lives help resolve our environmental problems. From using mechanical devices to various life forms, we live in a time in which draws in sophisticated technology, and we need to find the right balance of technology and life forms. The aim of eco-design is to create a total social system that enables nature to activate its innate self-recovery abilities and that leaves little impact on the environment. At the same time, eco-designs must arouse a new social sensitivity.

Eco-design is currently based on 8 principles:

(1.residents (2.culture (3.welfare (4.regionalenvironments 5.global environment (6.crisis management (7. information management (8.financial planning.

Life Cycle Assesment (LCA) is a method often used in assessing and reducing detrimental environmental impacts.

LCA is used to give a general assessment of the amount of energy and resources used at each stage of a product's life cycle - raw materials, manufacturing, transport, primary use, recycling.We need to incorporate the ability for a product to have an expanding, spiraling number of applications from its primary use.So the challenge for designers is to apply "Life Cycle Thinking" within the functions of his/her job by

3. Industrial Infrastructure renovation:

Targeting Area 1. EXISTING CITY : main urban district Osaka City.
Targeting Area 2. NEIGHBORHOOD NATURE : Osaka Bay and coastal area.

4. Role Implementing Kyoto Protocol:

30% reduction of current CO_2 rates

We feel it is essential that any model for exiting cities must be based on the concept of reducing greenhouse gas while creating an enjoyable lifestyle. This model must show leadership as an advanced country in taking responsibility of a contributor to global warming in terms of the discrepancy between the current world status of greenhouse gas emissions, the countries that ratified the Protocol, and the countries that are the highest contributors of greenhouse gases. Further, we must implement the Kyoto Protocol in Japan by following the German's lead with a goal of 30% reductions, with a method that sets goals and support roles in actual numbers.

5. ASIA MODEL:

Establishing a model of circulation-oriented society in ASIA

Why do we need to create an Asia model of eco-design? Asia is home to 50% (3 billion) of the world's population and Asian nations are drawing closer to lifestyle standards of advanced countries.

We can no longer ignore the influence Asia has in the global community in the realm of politics, economics, culture, society, religion, and, of course, environmental impacts caused by the spread of greenhouse gas emissions.

ASIA MODEL

The environmental problems affecting people living in Asia represent the issues of the differing conditions covering both tropical and arctic zones and everything between.
In addition, there is disparity in industry, waste material, transportation networks, water environment, according to the level of urbanization as well as disparity in levels of use of land and sea such as agriculture, forestry and fishery. We can view all kinds of conditions and factors at the same time.
From an Eco-Design point of view, this allows us to grasp and construct effective roles

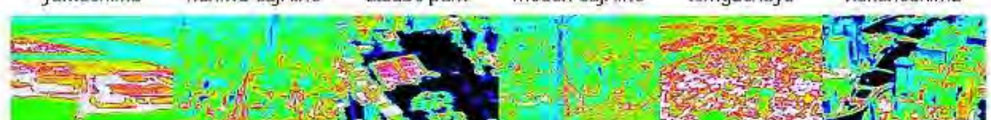
Targeting Area 1. EXISTING CITY

the center of Osaka City : main urban district

The greening of the area to relieve the heat island phenomenon affecting the center of Osaka.
The targeted existing city area is a 2.5km built-up area in the center of Osaka City.

- Method of Relieving the Heat island Phenomenon:
  employ streams, streets and unused plots of land , plant greenery to create a wind path
- Biomass Society:
  Society that develops on a parallel to solution of the heat island phenomenon with forest
- Examples of Advantageous Effects of Design:
  Adding appeal to a community and mass transportation with the design

yumeshima | naniwa-suji line | utsubo park | modoh-suji line | temgachaya | nakanoshima

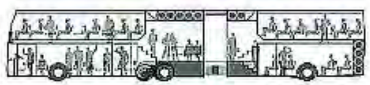


photographing on 8th August 2005

City Revitalization

Restructuring industrial infrastructure & rebuilding circulation-oriented city

Our target area is the built-up area in the heart of Osaka. The area includes both 'Nakanoshima' which is bordered by two rivers with waterfront features and 'Utsubo Park' with much greenery. The 2.5km stretch lies on either side of Naniwa-suji street, running north-south in a manner perfect for displaying the soothing affects of water and greenery. To resolve the heat island phenomenon that haunts this highly populated area, we have integrated the concepts of COOL HABIT (living in lower temperatures) and GREEN WORK (working in cooperation with nature) into the circulation-oriented lifestyle structure.



1. COOLHABIT GREENWORK

Osaka Prefecture Heat Island: Osaka is the worst city in Japan with over 40 days of heat island phenomenon.We has announced a slogan stressing cool summer life, work in an environment surrounded by trees.

2. COOL CORRIDOR · COOL TUBE · COOL SPOT

Streams and streets run through the center of Osaka, creating a path of breezes. We utilize these paths effectively as COOL CORRIDORS, COOL TUBES and COOLS SPOTS. We propose the following;

1. Plant trees along the streams; the transpiration of water and leafy shade creates an effective induction of water and land breezes.

2. Promote the planting of trees along streets, resulting in increased use of streets with sidewalks as city, regional community and daily life main thoroughfares.

3. Install surface biotopes to enable use of rainwater from streets and cooling water from buildings.

4. Employ more parks and unused lots as COOL SPOTs, creating more greenery and open spaces. Use rooftops and terraces in areas with minimal open lots, planting much greenery for the cooling effect. Add greenery to walls of buildings to add to the enhancements.

5. Use material of high water retention/transpiration capability for road surfaces

3. BIG TREE

Osaka currently has very little timber for forming leafy shade. Trees lining the boulevards are few and far between in comparison with other cities. Large trees and effective greenery is what we need.

4. LANDSCAPE DESIGN

One of the essential methods of escaping the HEAT ISLAND phenomenon is by aggressively employing LANDSCAPE DESIGN, making the city cooler and easier to inhabit. COOL CORRIDOR OHE-BASHI

One example of a COOL CORRIDOR using the ground-level section of the Dojima-river recreation trail.(Proposal for the Keihan Railway Nakanoshima Shines Ohe-bashi Station Competition)Hydraulic turbine is used along the Dojima River, flowing the stream water into a recreation trail, then returning the stream to the river as a cataract, producing a coolant effect in the area.

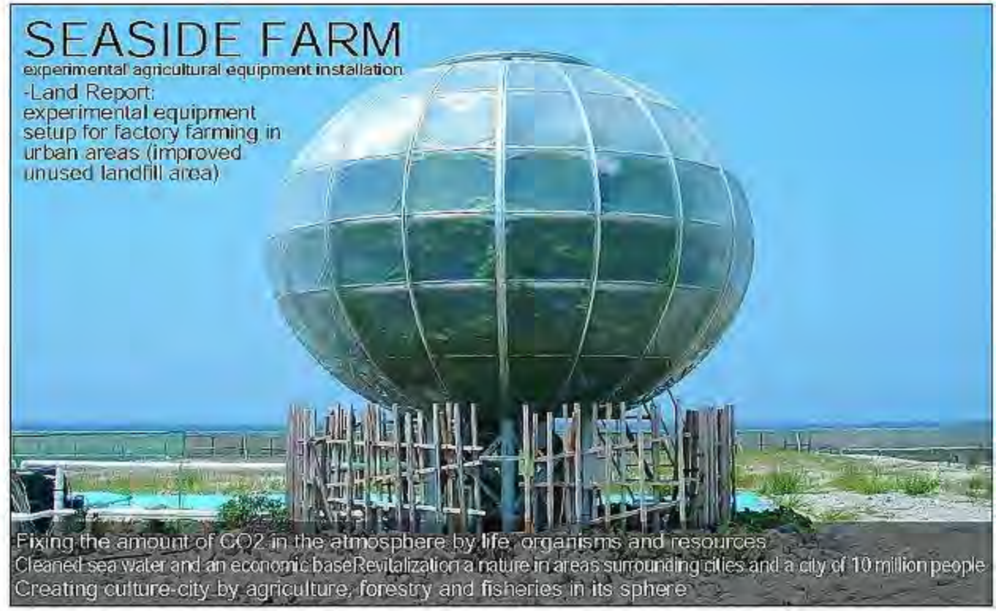
5. NANIWA SUZY

Double-decker, two-car Clean Energy Bus NANIWA SUZY is a double-decker, two-car bus designed to run on clean energy. The plans intend for it to be used on around-trip course in Osaka City, along the Naniwa-suji Avenue. At present, 40m-wide Naniwa-suji Avenue, a major street in the middle of Osaka, is tentatively pinned for a subway line in the future. Yet there is a relative amount of greenery in the area, and it is a comfortable, well-organized residential area. The NANIWA SUZY bus would be an effective and pleasant replacement for the planned subway.

Targeting Area 2. **NEIGHBORHOOD NATURE**

Osaka Bay and coastal area

The state of urban agriculture, forestry and fisheries aimed at effectively using the 1600ha unused industrial landfill area and adjacent seawaters around Osaka Bay.



Implementing Nature Recovery that leads to restoration of unused industrial land and adjacent sea waters

Unused industrial lands, a result of shifts in product manufacturing and relocation of industry, now lie idle. If left as is, the land could become barren. On the other hand, it could be recovered by installing environmentally low impact industries such as agriculture, forestry and fisheries. We can also simultaneously recover the adjacent seawater. For example, by implementing factory agriculture, we can produce between 5 and 10 harvests per year. Saving rainwater from advanced circulation equipment fixed to roofs, walls and streets in the area. In the nearby waters, we would install equipment that would provide man-made assistance to encourage faster recovery.

-Equipment Outline:
cylinder of 3m diameter, 5m height, set 1.7m
External coating - ETFE film.(100%)
Structure: steel frame.
Internal flooring:expanded metal.

Agricultural equipment providing liquid plow farmingbased on procured energy.

-Equipment Outline:Electricity: photovoltaic generation+ cogeneration-type hot water heater + commercial power.Heat: cogeneration-type hot water heater -CO2 for cultivation: cogeneration-type Hot water heater Water: rain water+ desalinated seawater (small amount) Cooling: spot cooler+ heat pipe Ventilation: ventilation fan

Nature Recovery Manual

A guide for exploring revitalization of unused [illegible] neighboring oceans

At present, there is approximately 1600ha of [illegible] land within Osaka Prefecture. With "Osaka Bay is Alive!" as our overall theme, we are working at recovering and expanding the nature that has nearly disappeared from the Osaka area. At the same time, exploring the potential of boosting industry in conformity with the new circulation-oriented society.

SEA FARM

experimental equipment setup for recovery of marine organisms for urban marine industries

-Ocean Report:
experimental equipment setup for recovery of marine organisms for urban marine industries

Coexistence of various life organisms - tidelands , shoal , fishing ground and seaweed beds
Fixing carbon by food-chainUse a recycled resources adhesive property
Cleaning up the waters of the bay by capability of organisms and plants

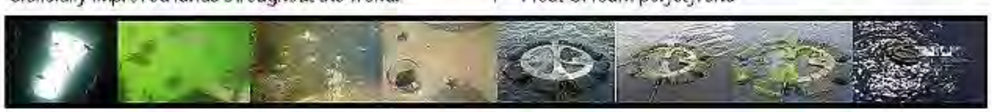
Implementing Nature Recovery that leads to restoration of unused industrial land and adjacent sea waters unused industrial land and adjacent sea waters

As sea organisms recover and proliferate, we can also proceed with the restoration of the fishing industry in the Osaka area. It may not be an overstatement to say that Osaka is close to becoming a desert. Promoting the COOL ISLAND effect on the coast of Osaka, we can restore this area to a level that would offer residents a natural beach area and enjoyable ocean waters. In attempting these projects, we aim at building up industry, enhancing self-sufficiency for food supply, suppressing the heat island phenomenon, and creating natural energy. We will also improve the impoverished soil and reuse it as a source for CO_2 absorption through forestation. This endeavor implements low-impact primary industry to recover nature in unused land and restore adjacent sea areas to a clean, natural state and targets not only artificially improved areas throughout Japan, but also the future recovery of nature in artificially improved lands throughout the world.

-Equipment Outline :
Upper main body A / image of tidelands and beach area circular cone of 3m in diameter, 1.7m in height.
Lower body B / image of seaweed beds
Lower body B: depth 1m, height 0.5m.
Porous and carbonated steel slag block
float C

A and B is made from an eco-material and ncouraging the growth of living organisms. This eco-material reduces the amount of CO_2 generated, promotingphotosynthesis with the formation of algae, and fixing the amount of CO_2 in the atmosphere.

-Structure:
1. Upper main body A : hydro-solidified steel slag block (alternative to concrete) + blast-furnace, granulated slag used for breeding + steelmaking slag dike
2. Lower body B: Porous and carbonated steel slag block
-Float C: foam polystyrene



The Effectiveness of Design :

Now is the time for designers to take environmental issues head on and work with professionals in other fields to identify solutions in the shortest time possible.

SHOWROOM DESIGN
: Interior Design
This example shows an office converted into a showroom. Glass was used for walls. Bamboo, as sustainable material, was used for the flooring. An open design was selected to reap the benefits of natural light, such as low energy consumption to illuminate the room.

PUBLIC CHAIR PROTOTYPE 2
: Furniture Challenge toward new sensitivity with Eco Material
This chair made out of 0.5mm pitch stainless steel screen, and eco-materiel normally used in machinery to purify air and water. Materials created from the need to enhance technical functions, as a result, capture a new sensitivity.

YUMESHIMA -URBAN SEA RESORT PROJECT
: Regional Planning
Yumeshima, a man-made island in Osaka Bay, is a proposal that transforms a city area into a spiritually enriching urban sea resort. The goal is a "society that recycles nature, man-made goods, and energy" and allows us to live, work, and play symbiotically with the ocean environment.

SOLAR TUBE
: Solar Tube (Water Heater)
The SOLAR TUBE evolved from the solar water heater. A device designed for independent attachment to the roof with sophisticated solar water heating capacity, able to make use of almost 80% of the sunlight. This demonstrates a reduction in LCCO2 usage.

Researcher
NPO ECO DESIGN NETWORK ; Toshiroh IKEGAMI/ Kyoto City University of Arts. Masato TANAKA /OSAKA GAS CO., LTD. Jun HASEGAWA / TAKENAKA CORPORATION.,LTD ,Yoshiaki KITAYA / Osaka Prefecture University Environment Control in Biology Graduate School of Agriculture and Biological Science, Chiaki MURATA / hers experimental design laboratory inc., Junichi YOSHIDA / Otemae University ,Osamu YAMADA / Osaka Sangyo University, Shuji Odo / NPO ECODESIGN NETWORK Kozo MOROOKA / DAIFUKU Co., ltd, Masahiro YAMAMOTO / OOBAYASHI CORPORATION.,LTD, Akira YOSHIDA / OOBAYASHI CORPORATION.,LTD , Nobuyuki KOBAYASHI / Kyoto City University of Arts Ports of Osaka Prefecture, Masaki NAKAO / Osaka City University
Cooperation
JFE Holdings, Inc, SHARP Corporation, OSAKA GAS CO., LTD, Taiyo Kogyo corporation, Asahi Glass Co., National Matsushita Electric Works, Ltd , LANDES Co., LTD, Dainichi Denshi co., ltd Date Kiyoshi, TOA CORPORATION , URBANGAUSS

Toshiroh IKEGAMI
Fine Arts Faculty, Kyoto City University of Arts
ikegami@kcua.ac.jp
NPO ECODESIGN NETWORAK teamAXIS4
axis4@eco-design.net

Based on results from Japan Science and Technology Agency / RISTEX

Research Project
Osaka Model of Circulation-Oriented Society through Case Study of Existing City & Neighborhood Nature

2003-2006

既存都市近郊自然の循環型再生大阪モデル　2003-2006

Works by NPO Eco Design Network Team AXIS4

Results from Japan Science and Technology Agency (JST) /
RISTEX 2003-2006 -Research Institute of Science and Technology for Society

Target Area:

Create
an environmentally
advanced city – Osaka
as a BIOMASS society

Target Level

Prevention of Global Warming
by reducing
LCCO2 emissions by 30%
from current level.

Strategy
to construct a
sustainable society
using
lifestyle aesthetics and
sensitivity
developed through
eco design.

End Result:

Realize An Asian Model
of
a circulation-oriented society
with
universal applications.

Plan of Action

BUILD

a flat-type industrial structure

(from primary to tertiary industry aspects)

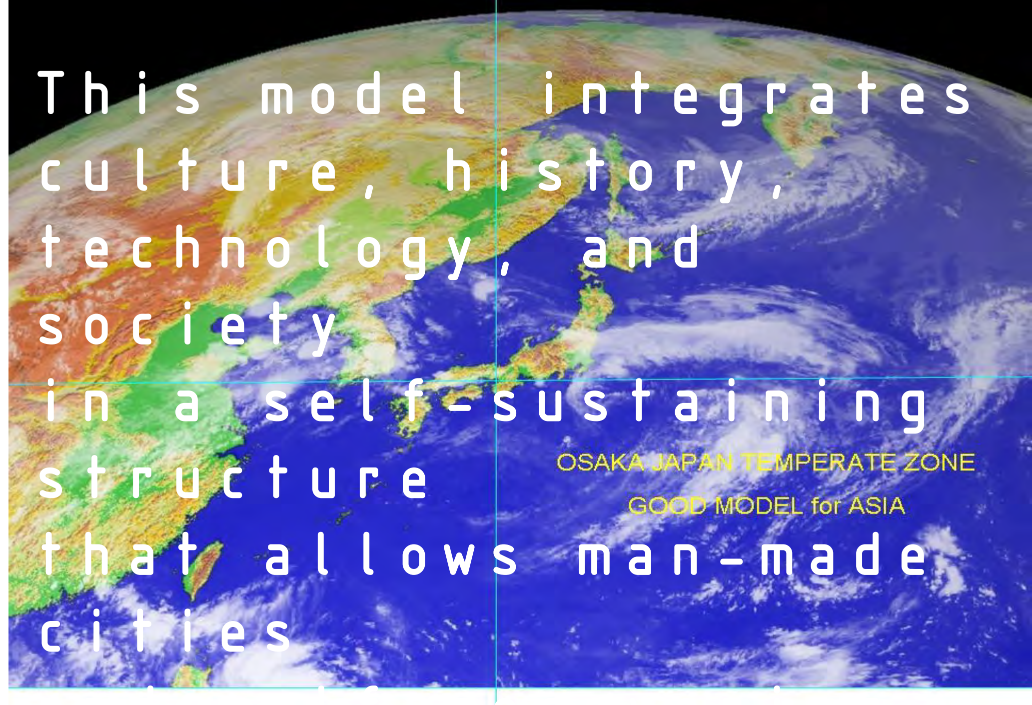
MIGRATE

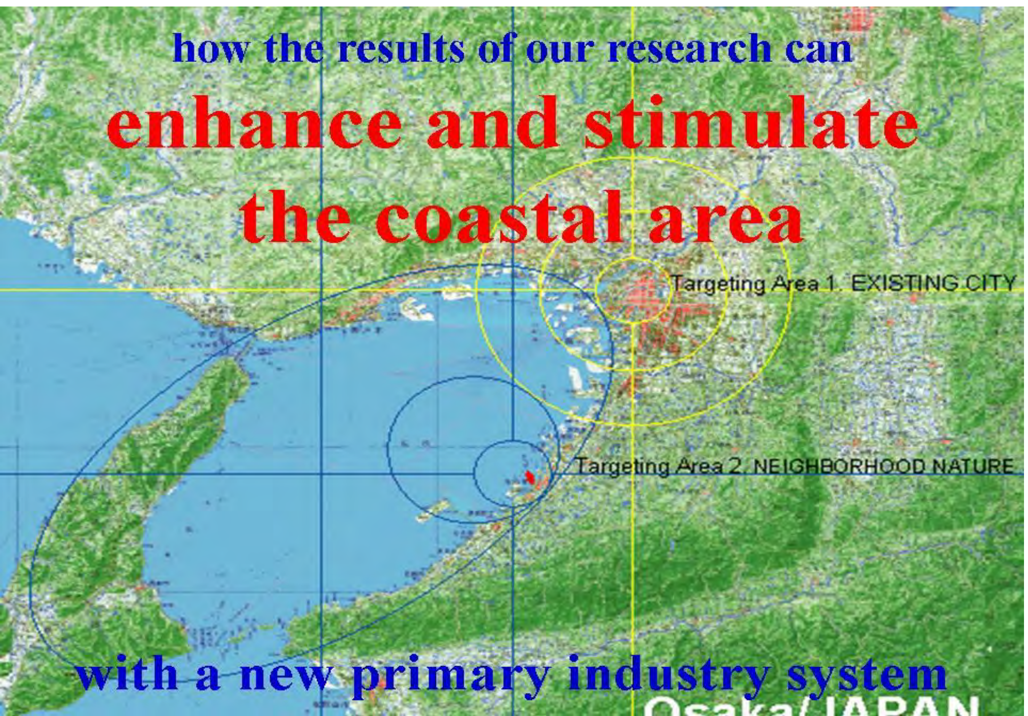
from

over-use of technology

to

application of natural life forms





We are currently working on a joint research project

targeting

the densely populated

downtown area of Osaka

and

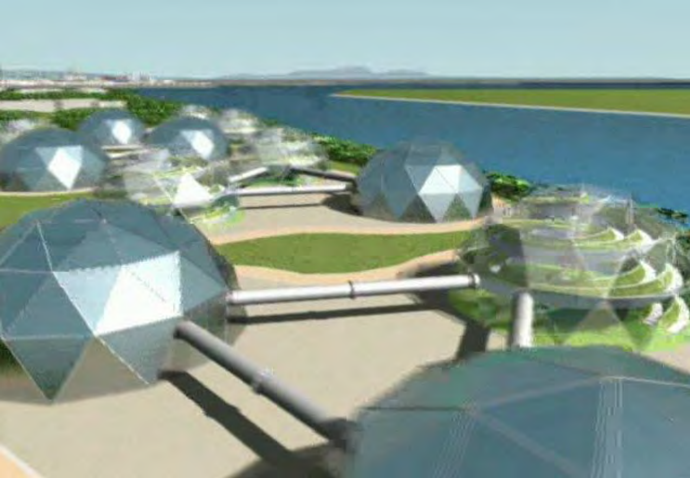
unused land

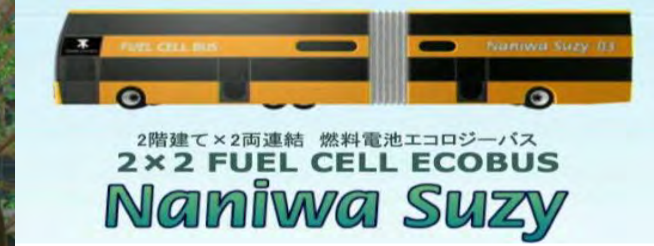
in the Osaka Bay coastal area

under

the concept of creating

a BIOMASS society.





いつでもどこでもなんでもエコデザイン

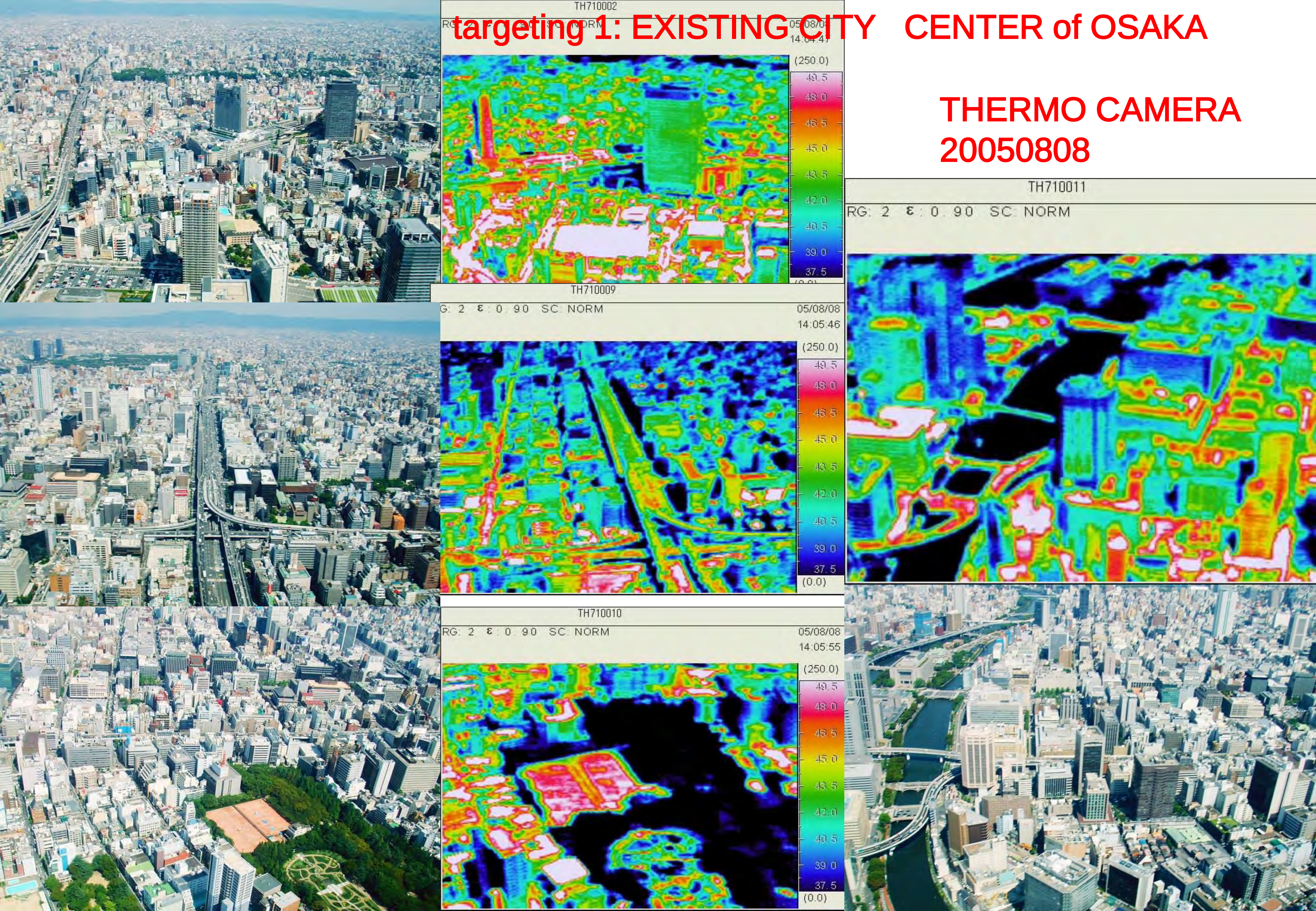
Ubiquitous Eco Design

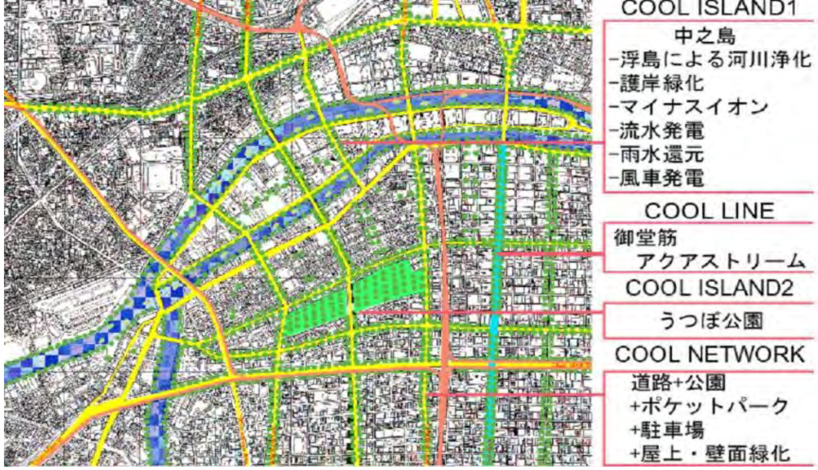
eco
EXISTING CITY
NEIGHBOURHOOD NATURE
OSAKA MODEL

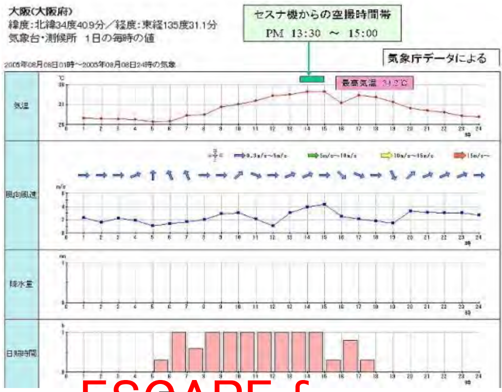
未利用地と隣接する海域を蘇生する試み

experimenting with revitalization of the unused areas

and the neighboring Bay waters


targeting 1: EXISTING CITY CENTER of OSAKA
THERMO CAMERA
20050808
TH710002
14:04:47
(250.0)
49.5
48.0
46.5
45.0
43.5
42.0
40.5
39.0
37.5
TH710009
G: 2 ε: 0.90 SC: NORM
05/08/08
14:05:46
(250.0)
49.5
48.0
46.5
45.0
43.5
42.0
40.5
39.0
37.5
(0.0)
TH710010
RG: 2 ε: 0.90 SC: NORM
05/08/08
14:05:55
(250.0)
49.5
48.0
46.5
45.0
43.5
42.0
40.5
39.0
37.5
(0.0)
TH710011
RG: 2 ε: 0.90 SC: NORM





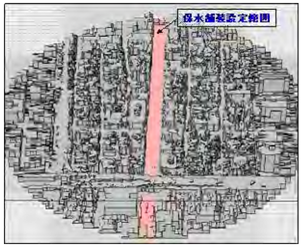
ESCAPE from HEATISLAND

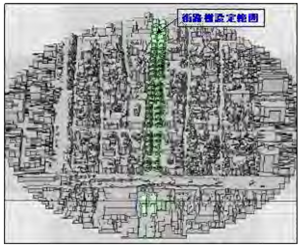
Osaka city centre,
environmental thermal eased effects assessment :
by the application of thermal simulation technology
for HEAT ISLAND.

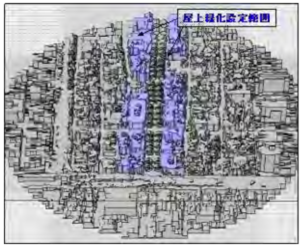
1:Midou-suji/ City center subject analysis results :
by the capacity of pavement retained water, shade effect by the roadside tree, the average is about 2 ℃, some place up to 8 to 10 ℃ temperature drop confirmed.

2: Nakanoshima/ between two river subject analysis results:
Comparison between redevelopment model and present model measures heat island mitigation.
5 ℃ average temperature drop,
some place 10 ℃ above can be reduced.

Measures to promote the Heat Island approach
by analysis results
it is important to consider the proposed measures after recognize Characteristics of the target area (prevailing wind, the direction of the street, the current land use, etc.)



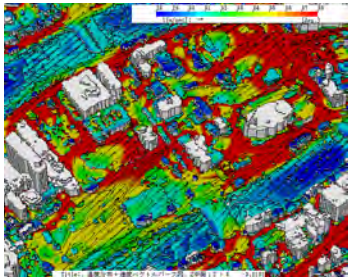


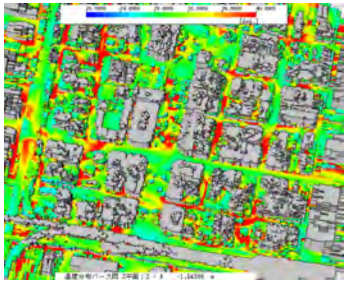


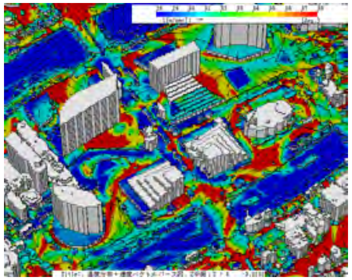
Pavement

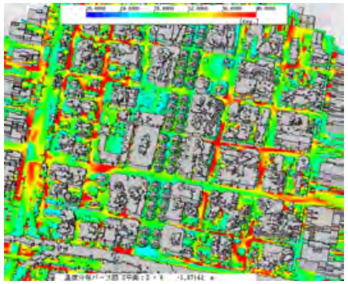
Retained Water

Big Tree /Green Roof



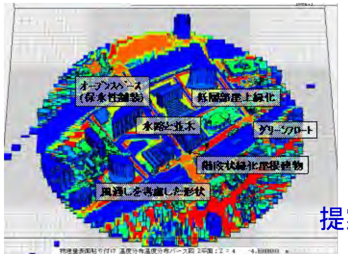


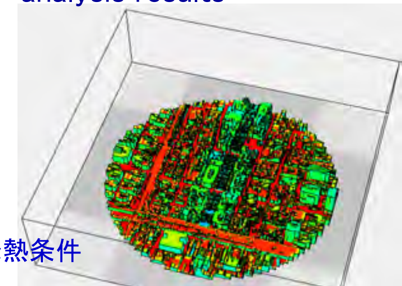




2: Nakanoshima/ between two river analysis results:

1:Midou-suji/City center analysis results





提案発熱条件

A. Midou-suji/ City center B. Nakanoshima/ between two river
Three-dimensional fluid analysis


COOL HABIT GREEN WORK
COOL SPOT
COOL TUBE
COOL CORRIDOR
大阪GREENBELT


COOL HABIT GREEN WORK
CSR
CORPORATED SOCIAL RESPONSIBILITY
COMMUNITY SOCIAL RESPONSIBILITY
CITIZEN SOCIAL RESPONSIBILITY
CHILDREN SOCIAL RESPONSIBAILITYA
CeDM CLEAN ECODESIGN MECHANISM


SEASIDEFARM SEAFARM 2005 summer
SEAFARM 2005
SEAFARM 2006
SEASIDEFARM

SEASIDE FARM

Increase amount of sunlight reception, promote photosynthesis, stabilize and recirculate CO_2/O_2

Low-energy production of BIO ENERGY crops (sweet potato, etc.)

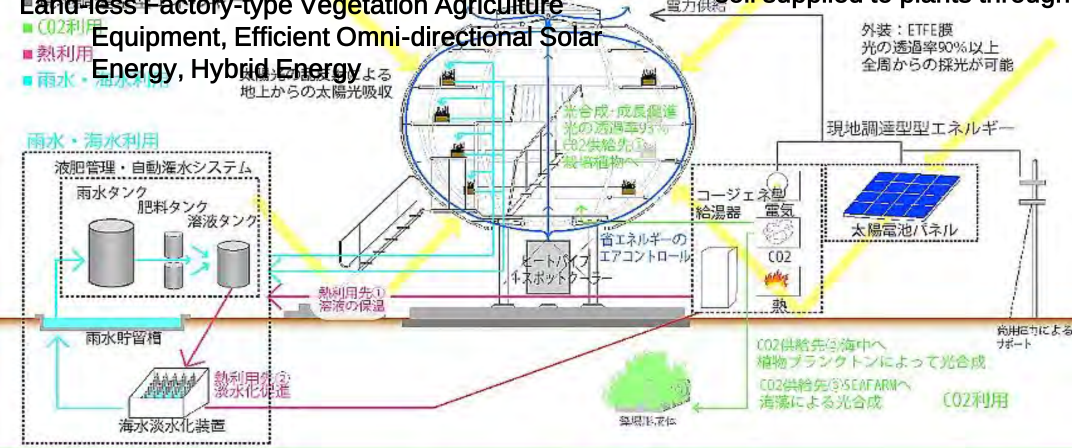
GOALS

Discover industrial expansion possibilities of factory-style agriculture on unused land of Osaka Bay coastal area.

Investigate the application possibilities of bio technology in primary industries

Explore industrial development in areas lacking energy supply through operations using locally procured energy

Land-less Factory-type Vegetation Agriculture Equipment, Efficient Omni-directional Solar Energy, Hybrid Energy



太陽光　受光量の拡大　光合成の推進　CO2＊02の循環

SEASIDE FARM success rate for projected installation area

Shelf agriculture success rate = 1.75 Spherical surface acre = 3.50

2005/10/29 Harvest: total weight incl. leaves and stems = 110 kg

Effect of CO_2 Supply: 1.3 – 4.0 increase

OUTLINE

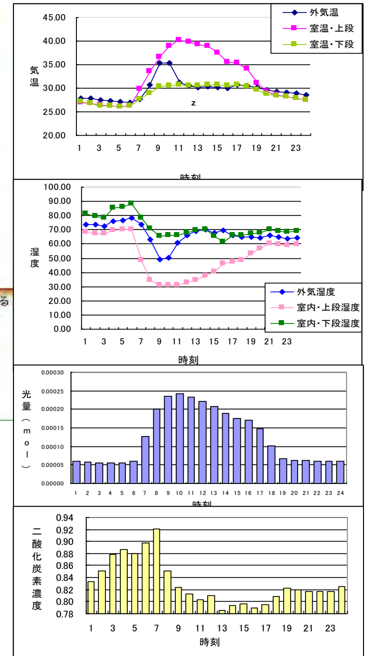
Dimensions: Φ6m, H = 5m ellipsoidal floating device, steel frame.Dome height: sits 1.7m above ground, omni-directional daylight reception, effective use of solar energy.Dome Outer Membrane: ETFE film (penetration efficiency exceeding 90%, diffusion type, 100% recycled materials)

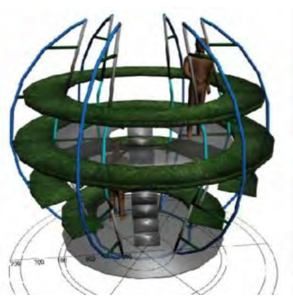
Power: Solar energy + small gas water heater + commercial energy Air conditioning: spot cooler + heat pipe Ventilation: thermo ventilation fan

Water usage/supply: rain water + desalinated seawater (partial) CO_2 for vegetation: small gas water heater

Agricultural equipment:

4 shelves for edible vegetation, Cultivation method: liquid soil supplied to plants through drip

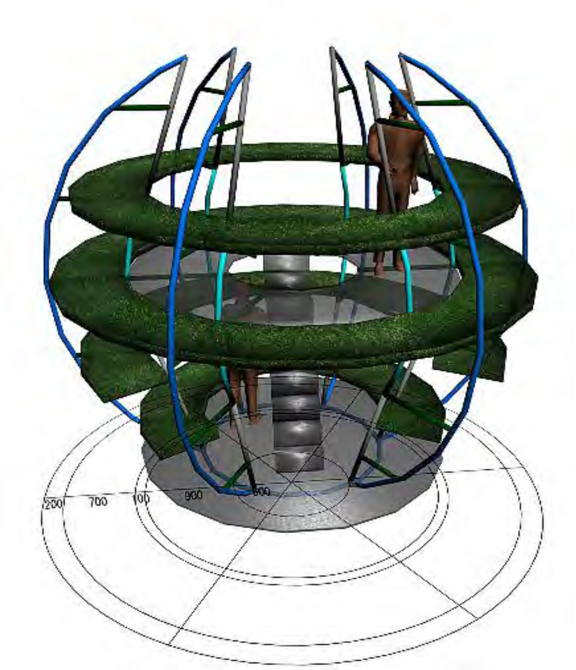




20050819

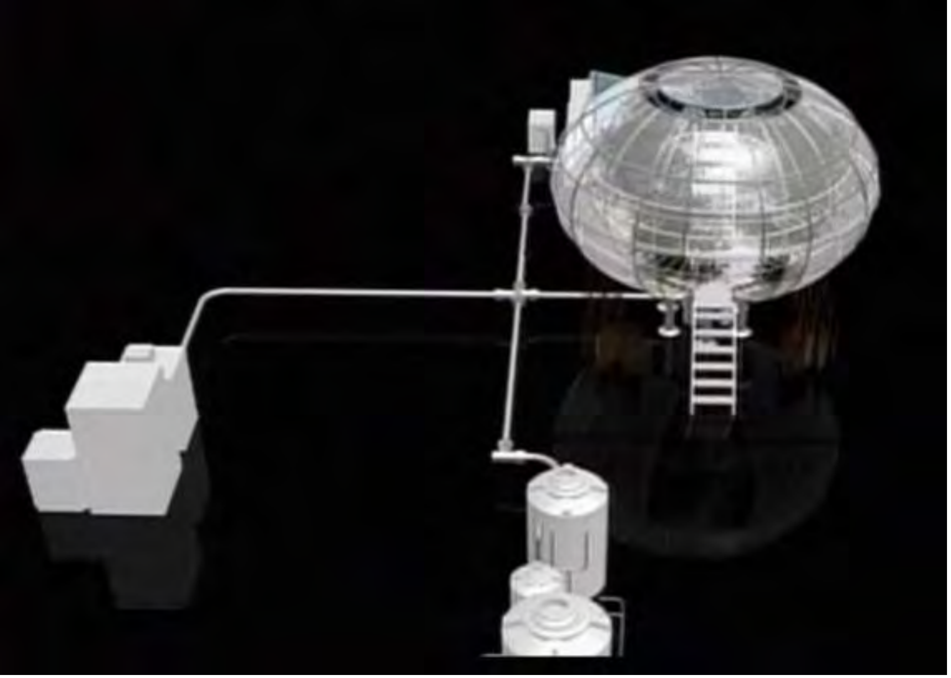
SEASIDE FARM

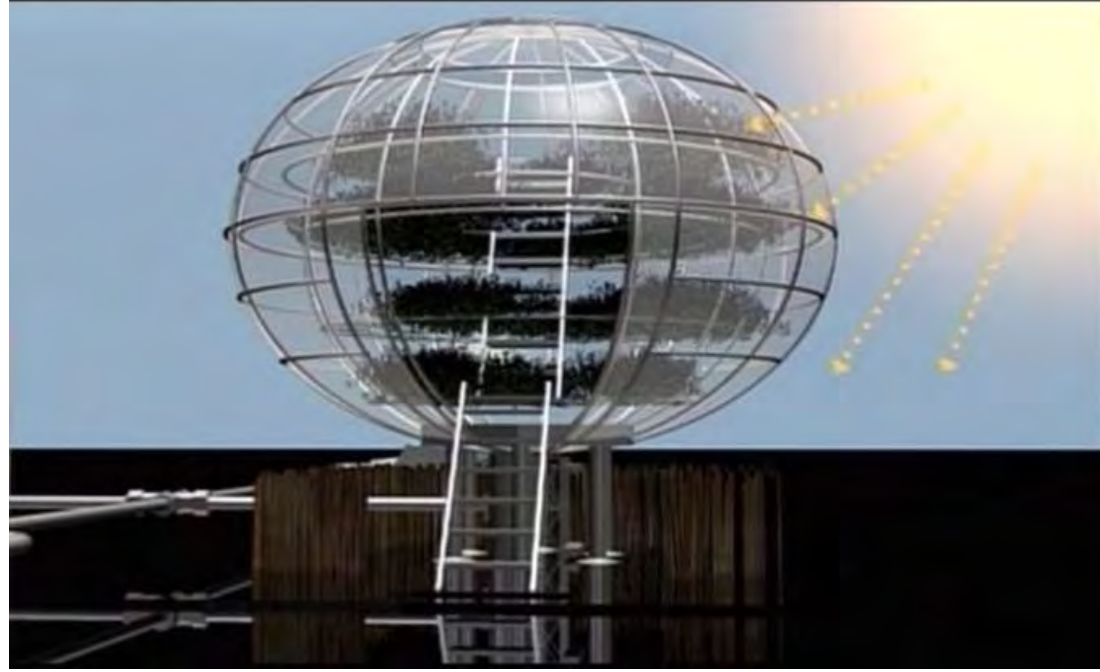
農業とデザイン



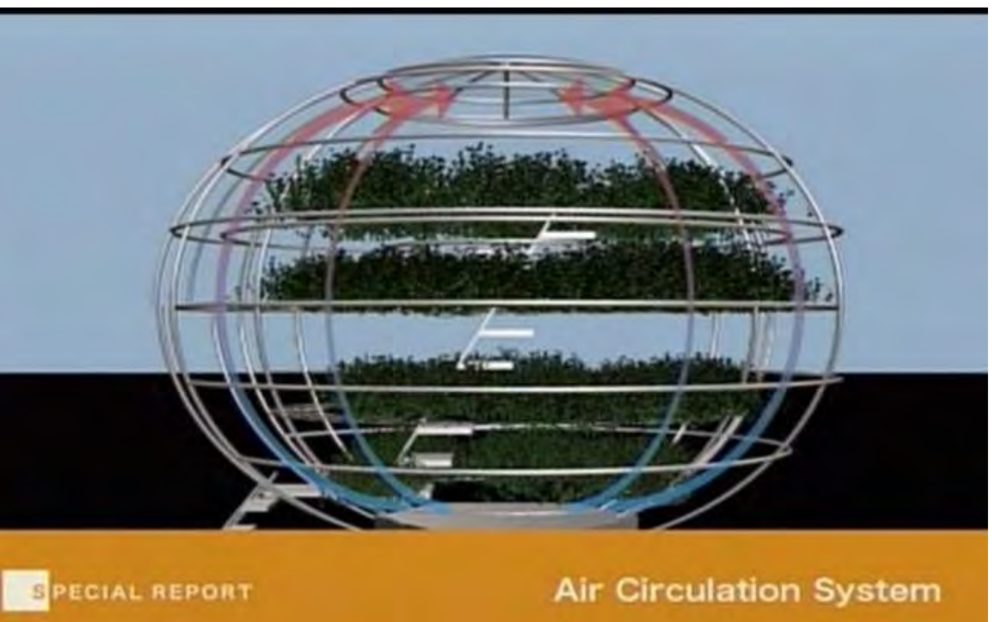
SEASIDE FARM
2005-2007

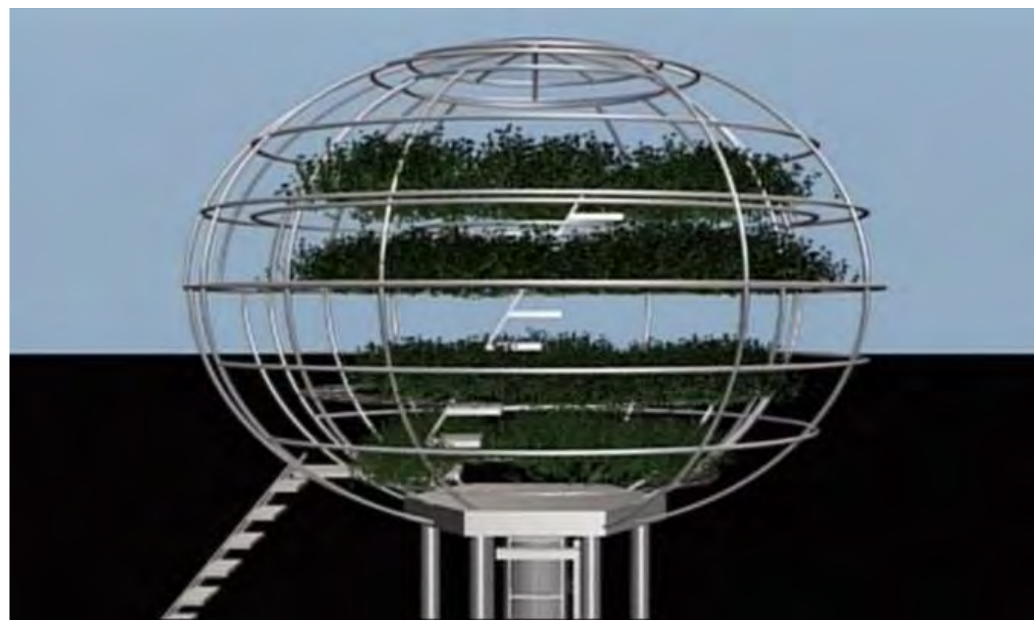

The installation of
factory-type agriculture
equipment
on bay area land
SEASIDE FARM 2005





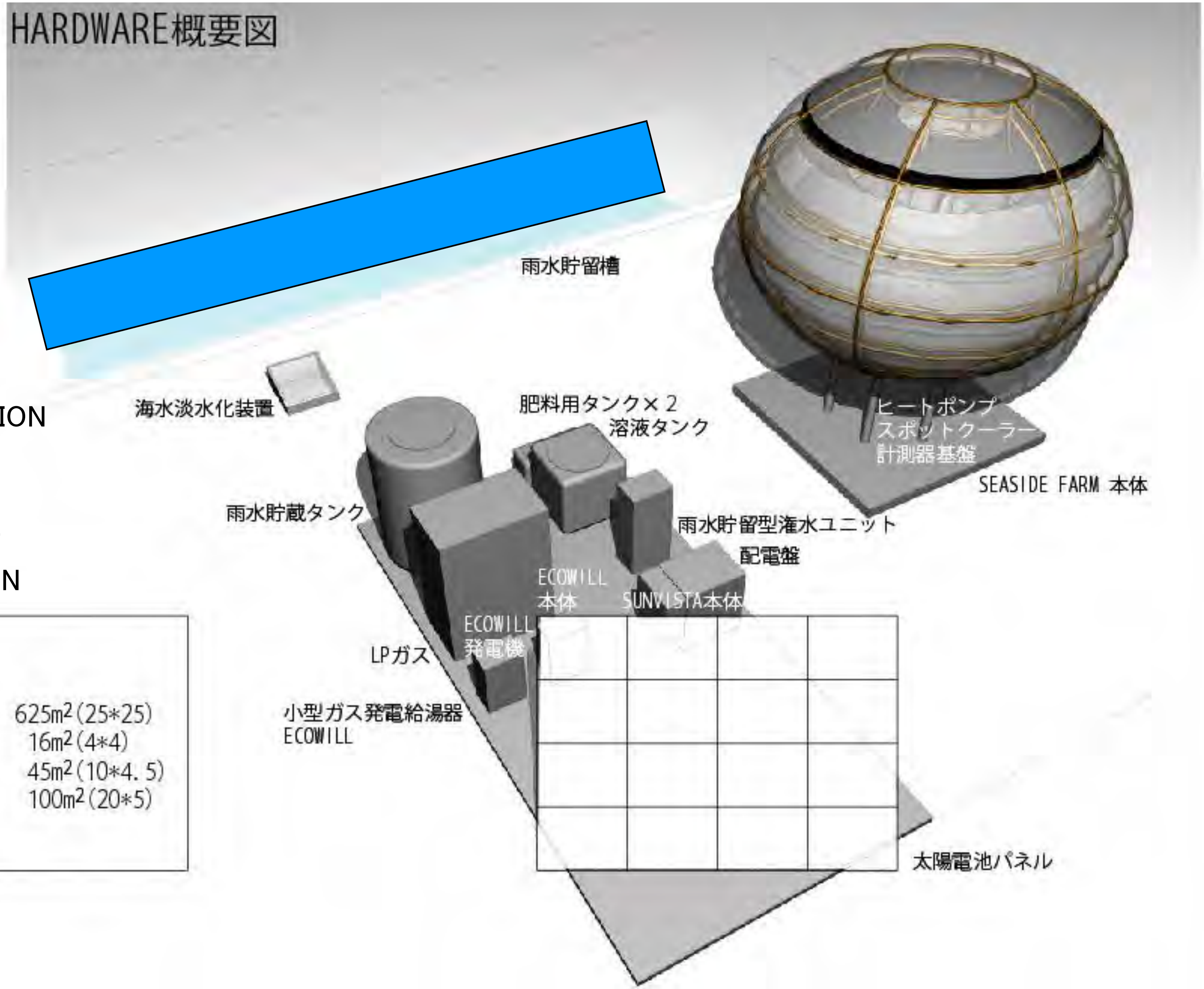
SEASIDE FARM SYSTEM 太陽･雨水･AIR CONDITIONING･養液･CO2





SEASIDE FARM - MICRO BIOSPHERE - CREATE MICROCLMATE for AGRICULTURE 2005-07

SEASIDE FARM HARDWARE概要図



PHOTOVOLTIAC GENERATION

TRIGENERATION

SPOT COOLER HEAT PIPE

RAIN WATER DESALINATION

SEASIDE FARM	
敷地面積	625m2(25*25)
本体基礎面積	16m2(4*4)
設備基礎面積	45m2(10*4.5)
雨水貯留槽	100m2(20*5)

SEASIDE FARM NEXT

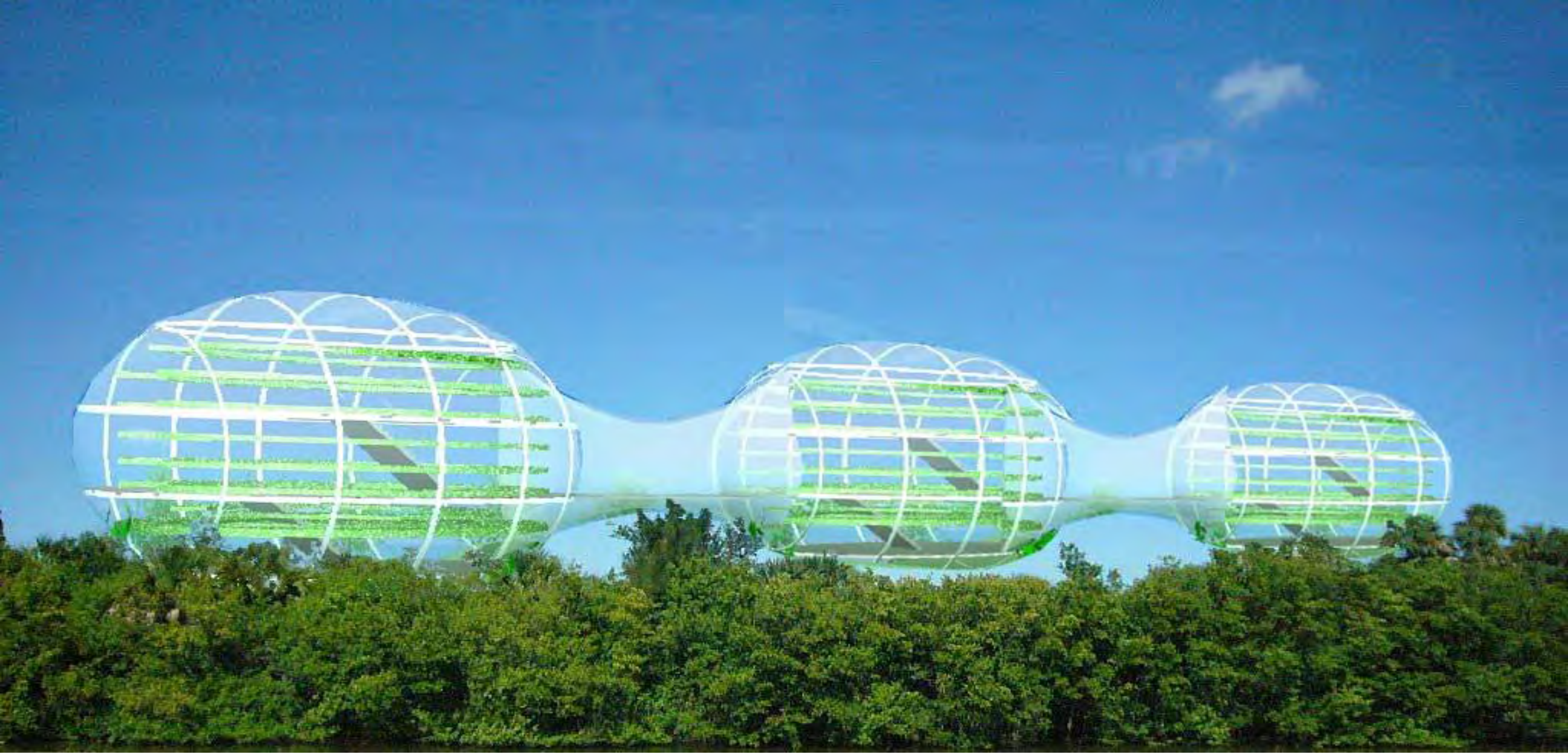
ORGANIC PHOTOVOLTIAC GENERATION BATTERY GEOTHERMAL RAIN WATER




MONGOLIA
MOUNTAIN RIVER
SIDE STEPPE


STEPPE

ANIMAL
EXCREMENT



CULTURE FARM 2007

GOALS

Use the power of life forms themselves to revitalize the rich nature of Osaka Bay and recover marine life

Utilize the current fisheries, etc. in Osaka Bay as momentum to turn the bay into major center of marine industry.

Realize the Grand Design of turning the Osaka region into an URBAN SEA RESORT.

Facilitate habitation of various living organisms in tidal flats, shallow areas, fishing grounds, and seaweed beds.

Use the food chain to stabilize carbons (reduce global-warming factors such as gas emissions).

Use recycled materials with high adhesive features to enhance incrustation of living organisms (ph8.5, carbon stabilization due to re-generation).

Sanitize marine area through living organisms and plants.

OUTLINE

Dimensions (upper section):Φ3m, H = 1.7m conical body

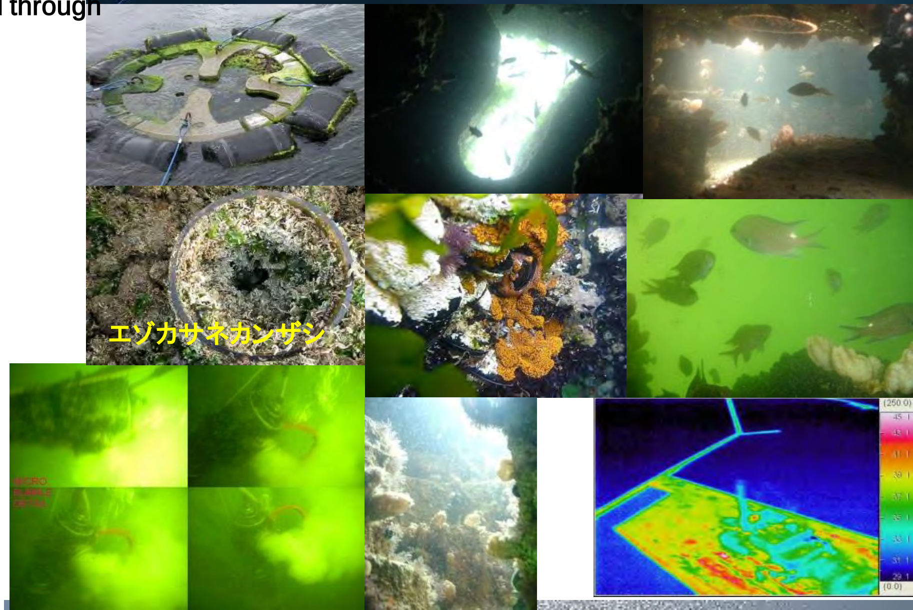
Materials: solid steel structure of hydration slag.

Place granulated blast furnace slag encasing material and steel slag clusters → create tidal lands and shallow water areas

Seaweed Bed Structure (substratum): W 1m x D 1m x H 0.5m

Materials: Steel slag of carbonated solid

The combination of the three recycled materials - steel hydration slag structure, granulated blast furnace slag encasing, and steel slag of carbonated solid – is aimed at promoting marine life attachment and recovery and the revitalization of marine nature. At the same time, CO2 emissions during production of structural materials is reduced, and CO2 levels are stabilized through generation of seaweed beds.

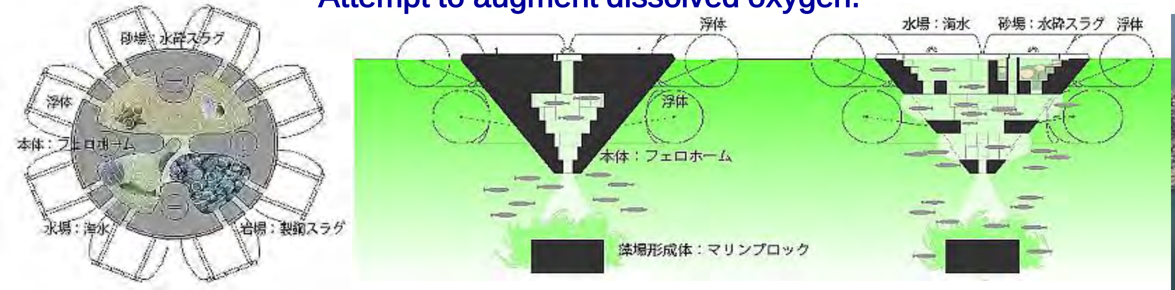


SEA FARM Marine Life Recovery Equipment

Rapid organism habitat development through eco-material predisposed to living organism incrustation.

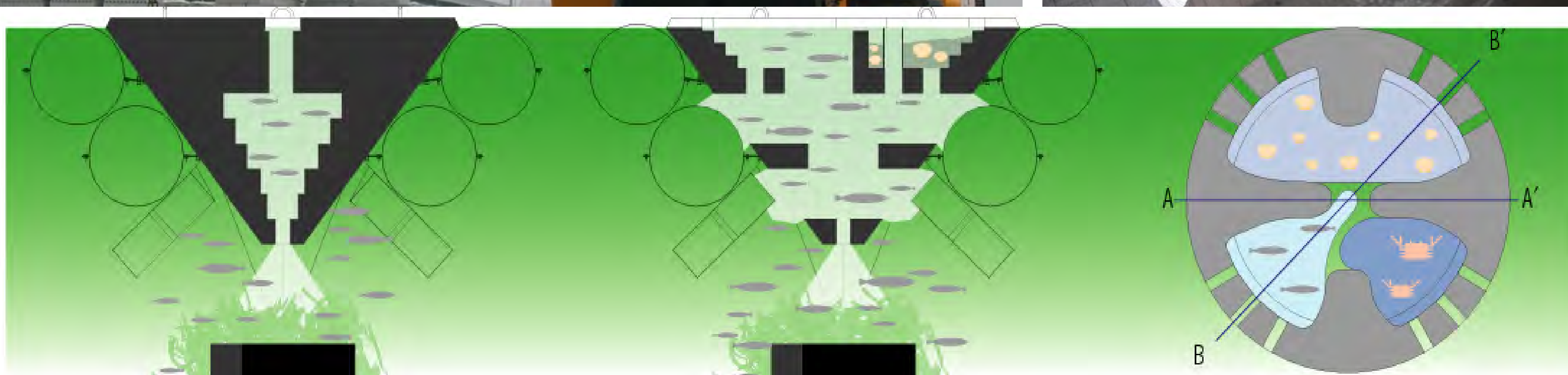
Stabilize CO_2 emissions through algae breeding, etc.

Attempt to augment dissolved oxygen.




SEAFARM 2005—2007 OSAKA

SEAFARM
本体部
200503



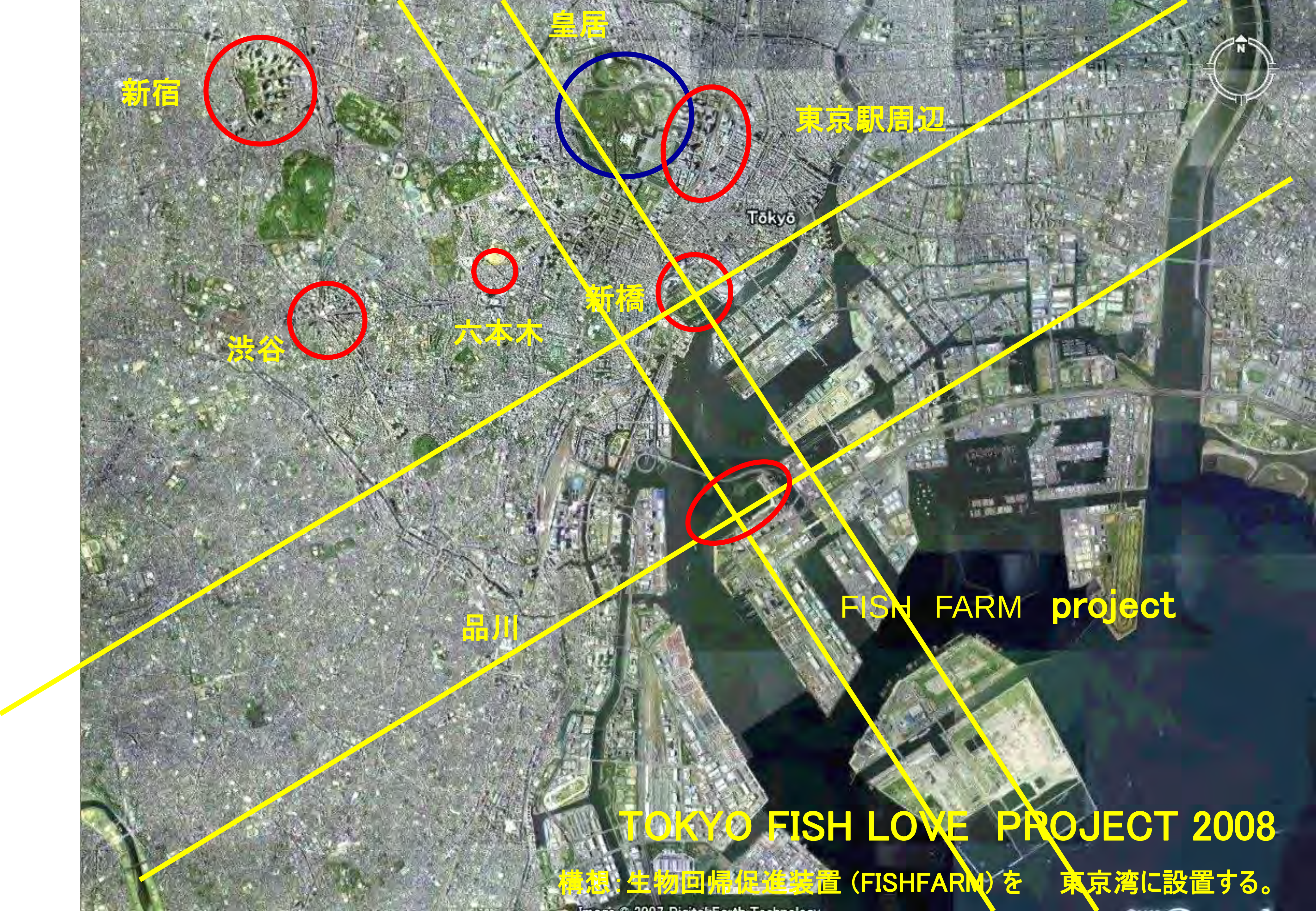
水場：海水　　　干潟２：製鋼スラグ

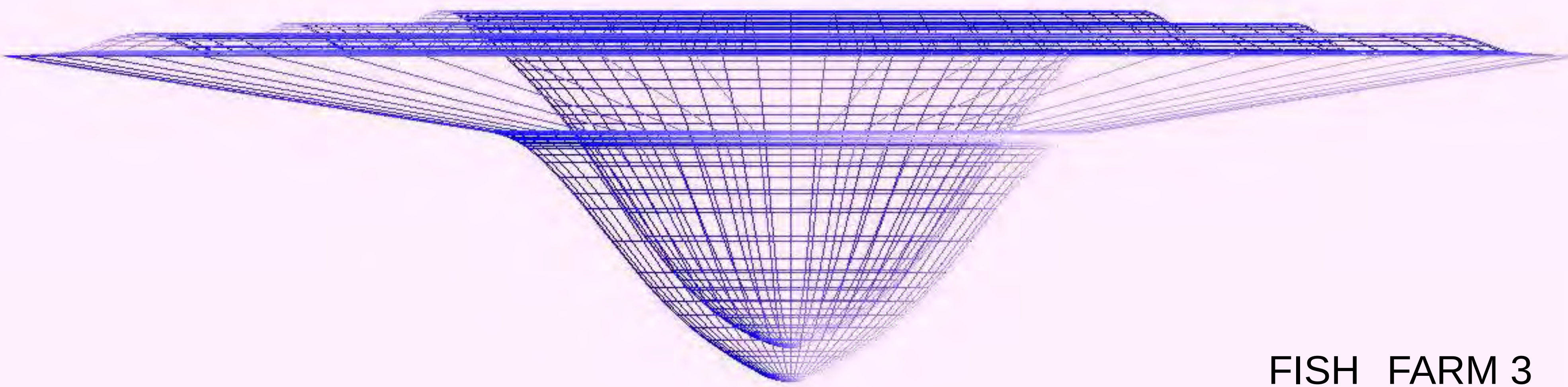

SEA FARM 2005
200704-05


200705-07 SEAFARM

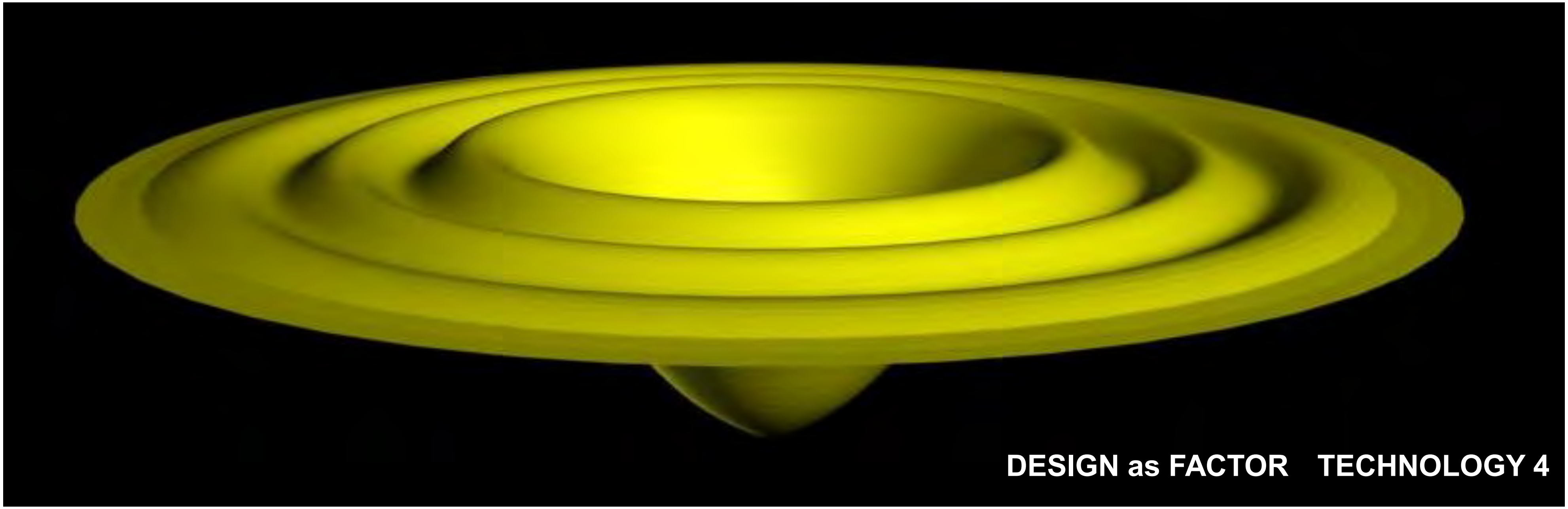

20070811 SEAFARM


20080614
海洋生物回帰装置
食物連鎖の場としての生物多様性


皇居
新宿
東京駅周辺
Tokyo
新橋
六本木
渋谷
品川
FISH FARM project
TOKYO FISH LOVE PROJECT 2008
構想：生物回帰促進装置（FISHFARM）を　東京湾に設置する。



FISH FARM 3



海洋生物回帰装置　食物連鎖の場としての生物多様性

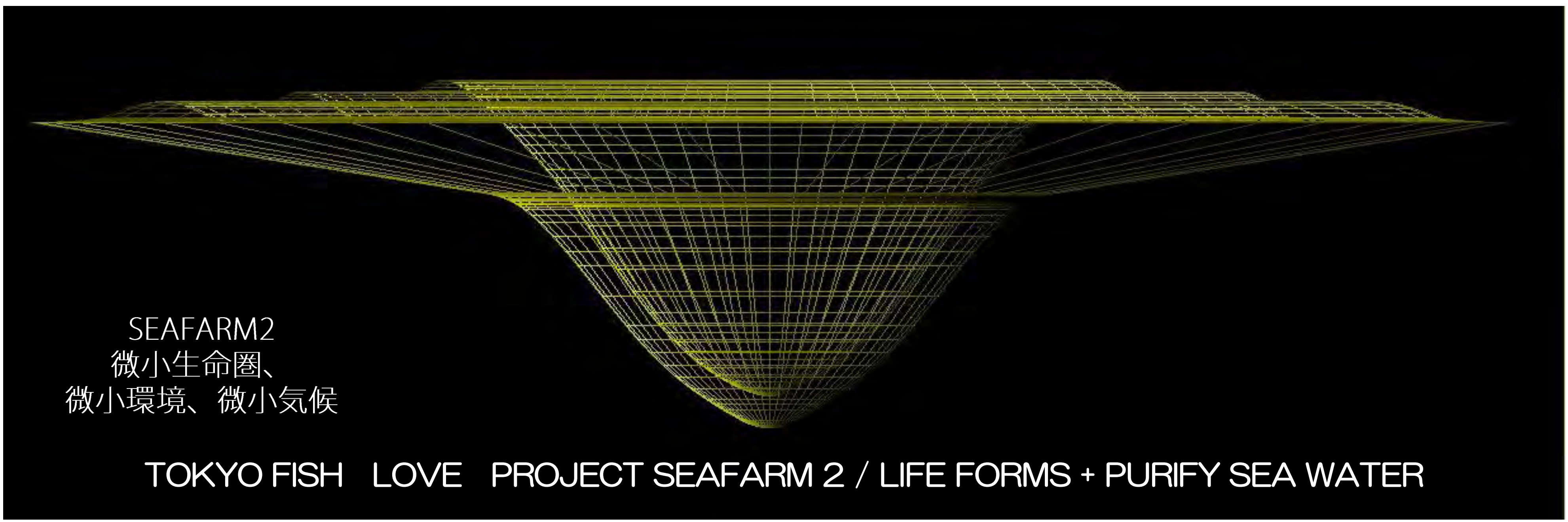


Fig.00　TFL　配置鳥観図

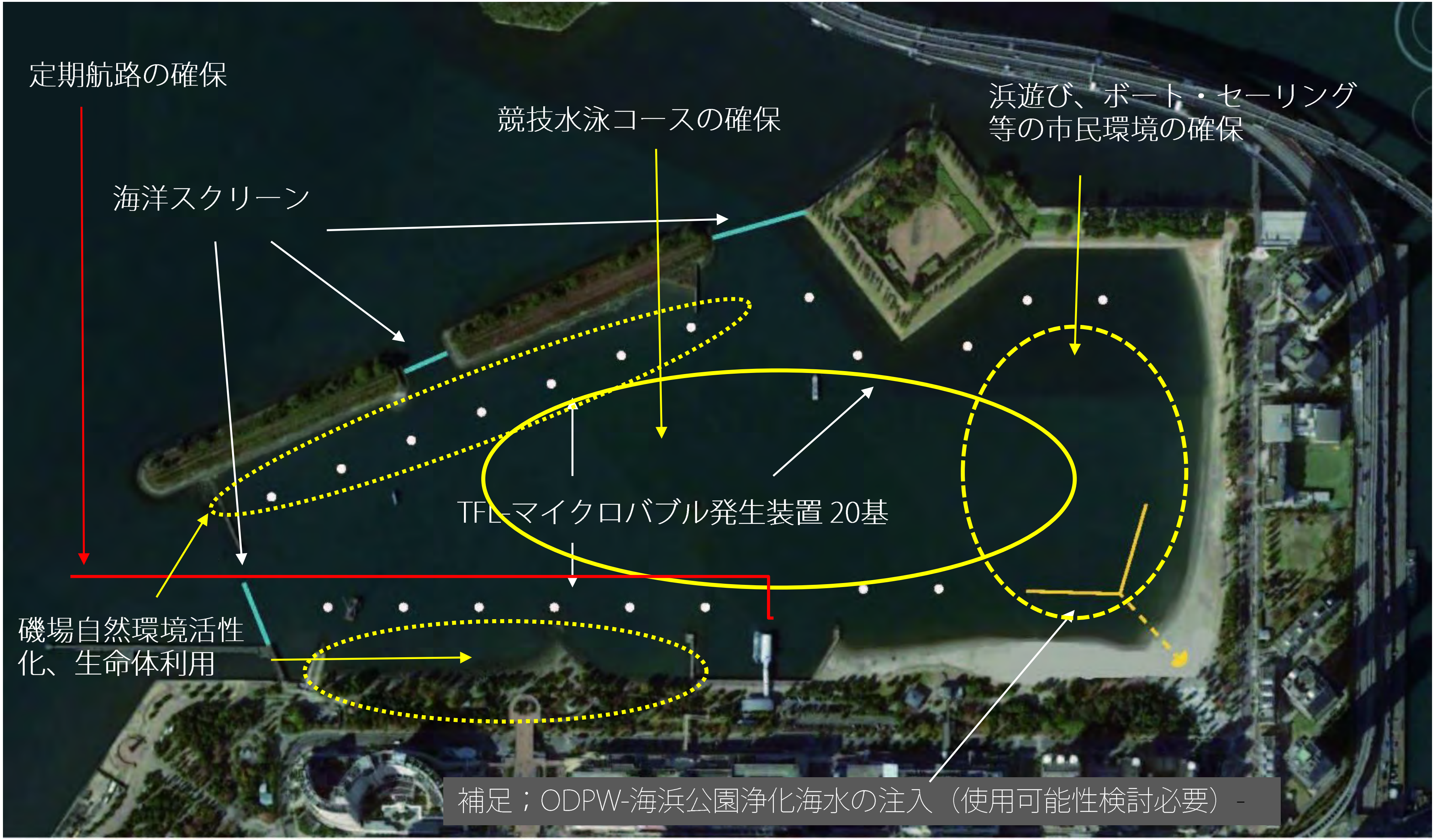


Fig.01-2 補足　TFLーマイクロバブル発生装置配置図

TFL：素材；FRP-繊維強化プラスチック。水上部；直径4,7,9M。高さ1.2M-3.2M3層円盤。水中部；設置場所水深対応個別調整。オゾンナノバブル効果の助長：基礎に海洋生物付着性の高い素材を適用する。光ファイバー照明；海中への投入により、海中の藻類の活性化を通じた溶存酸素の増加を図る。

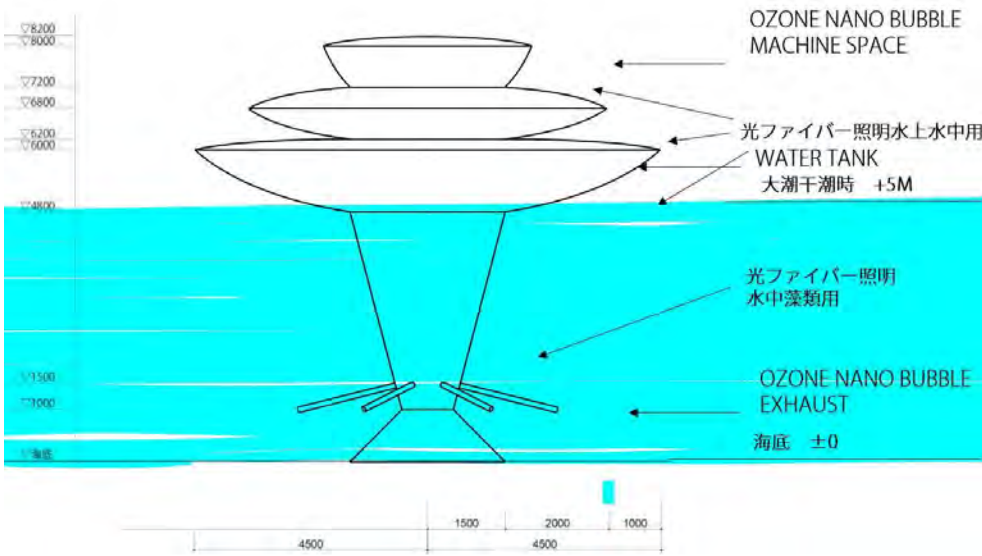


Fig.03　TFL　立面図

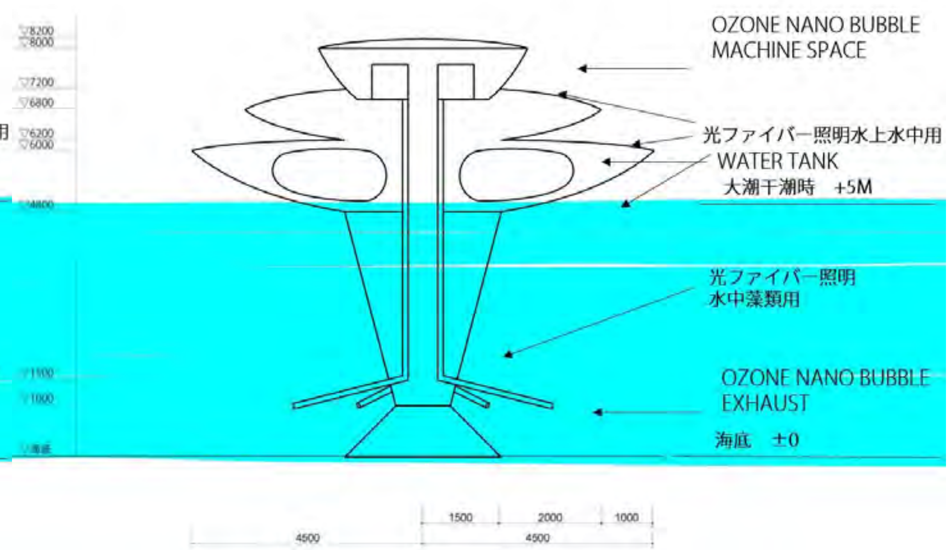


Fig.04　TFL　断面図

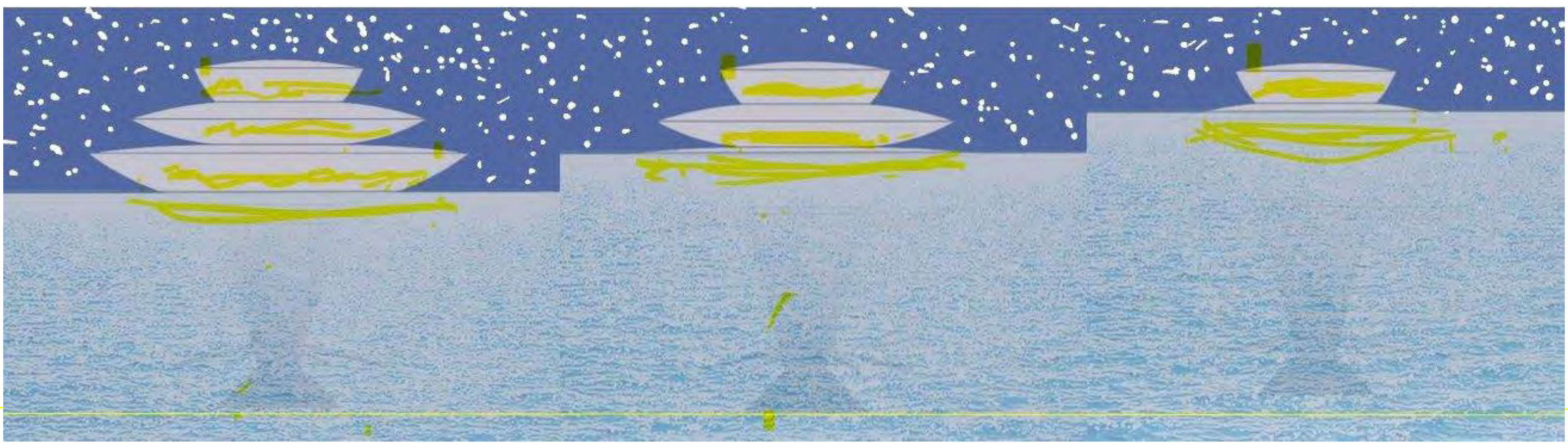
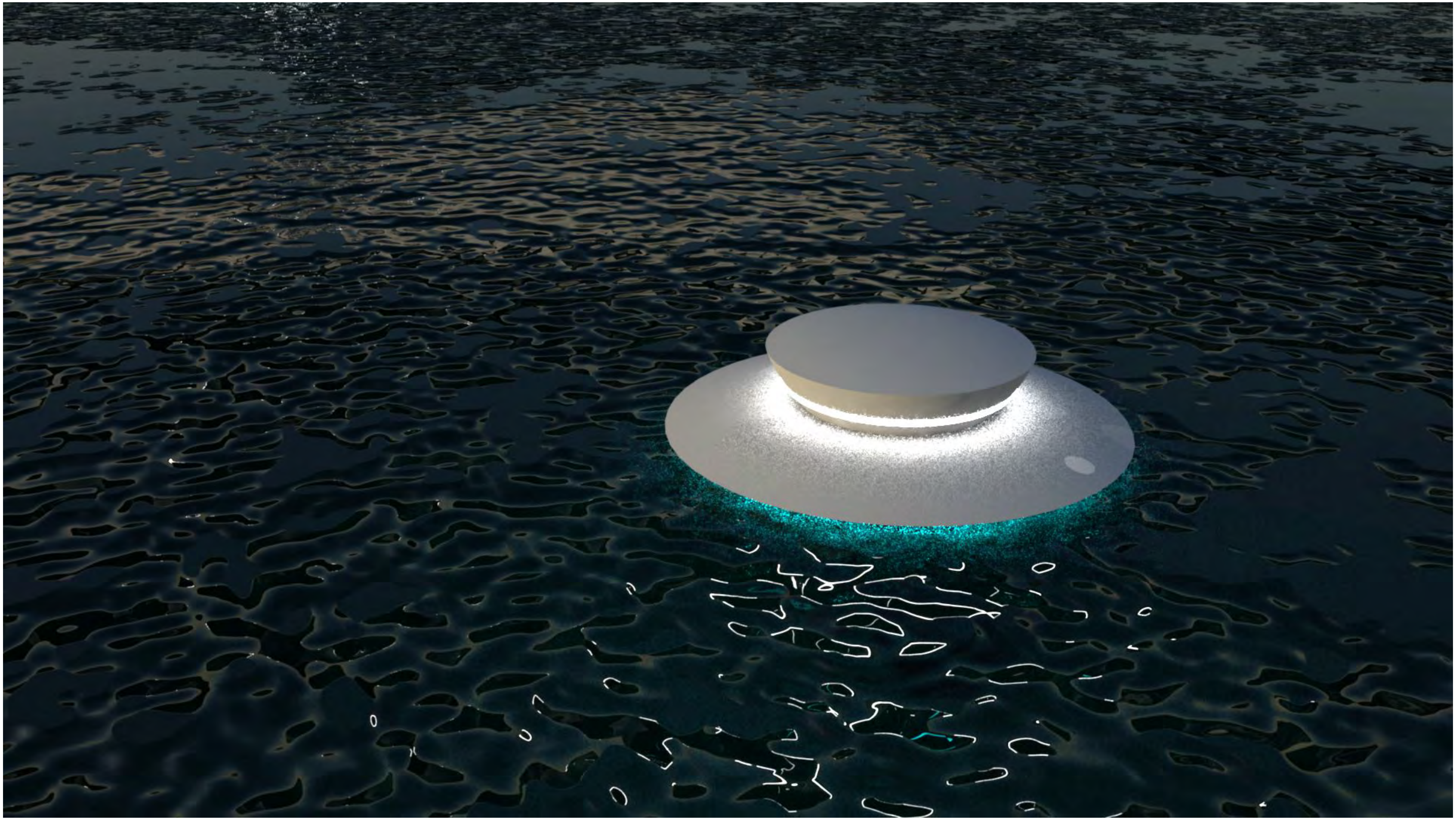
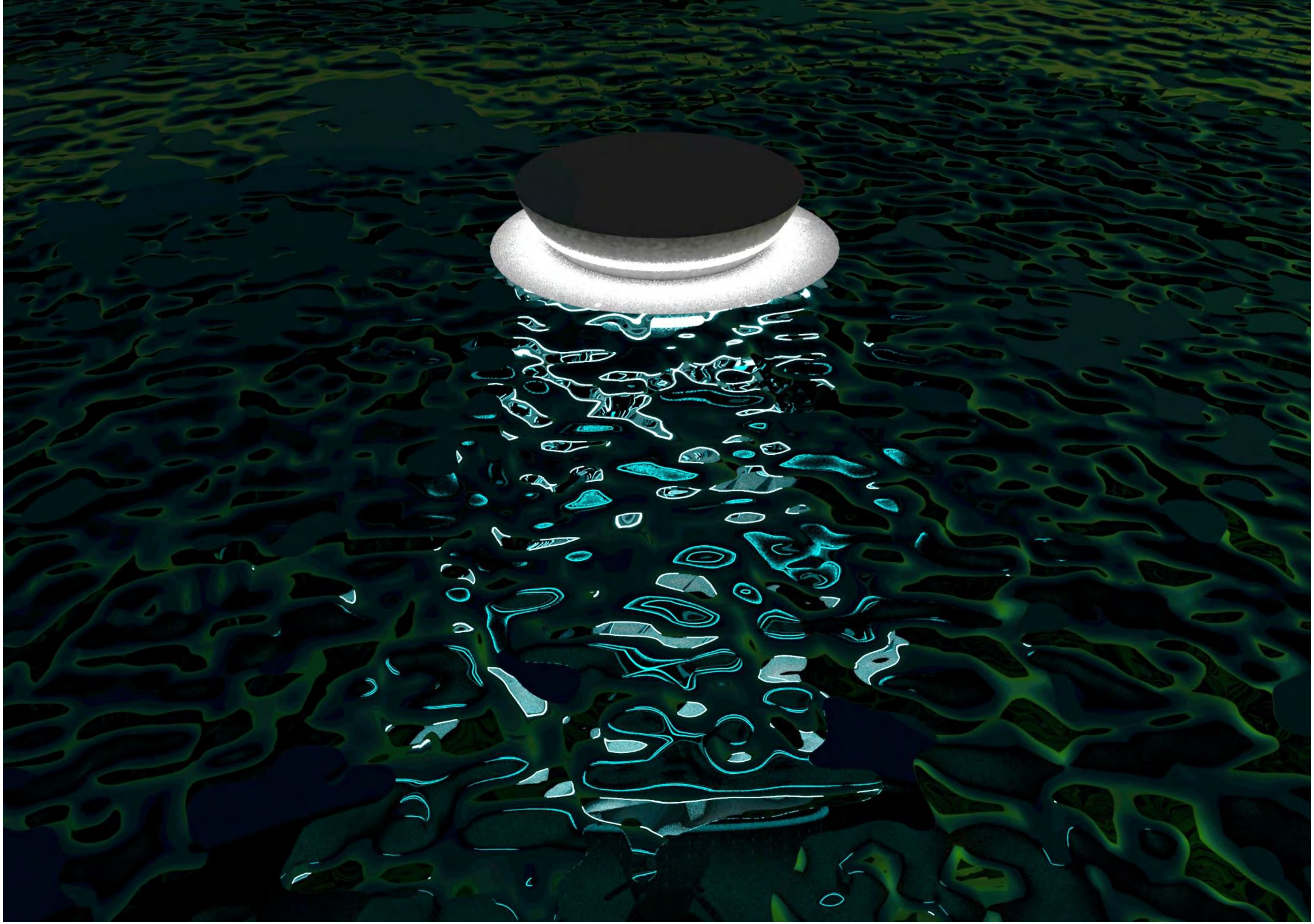


Fig.05　TFL 潮位変化　と夜間照明イメージ　左；A.P.±0M 大潮干潮時　右；A.P.+2M大潮満潮時



7 ：参考3： 3DCG夜間海面イメージ

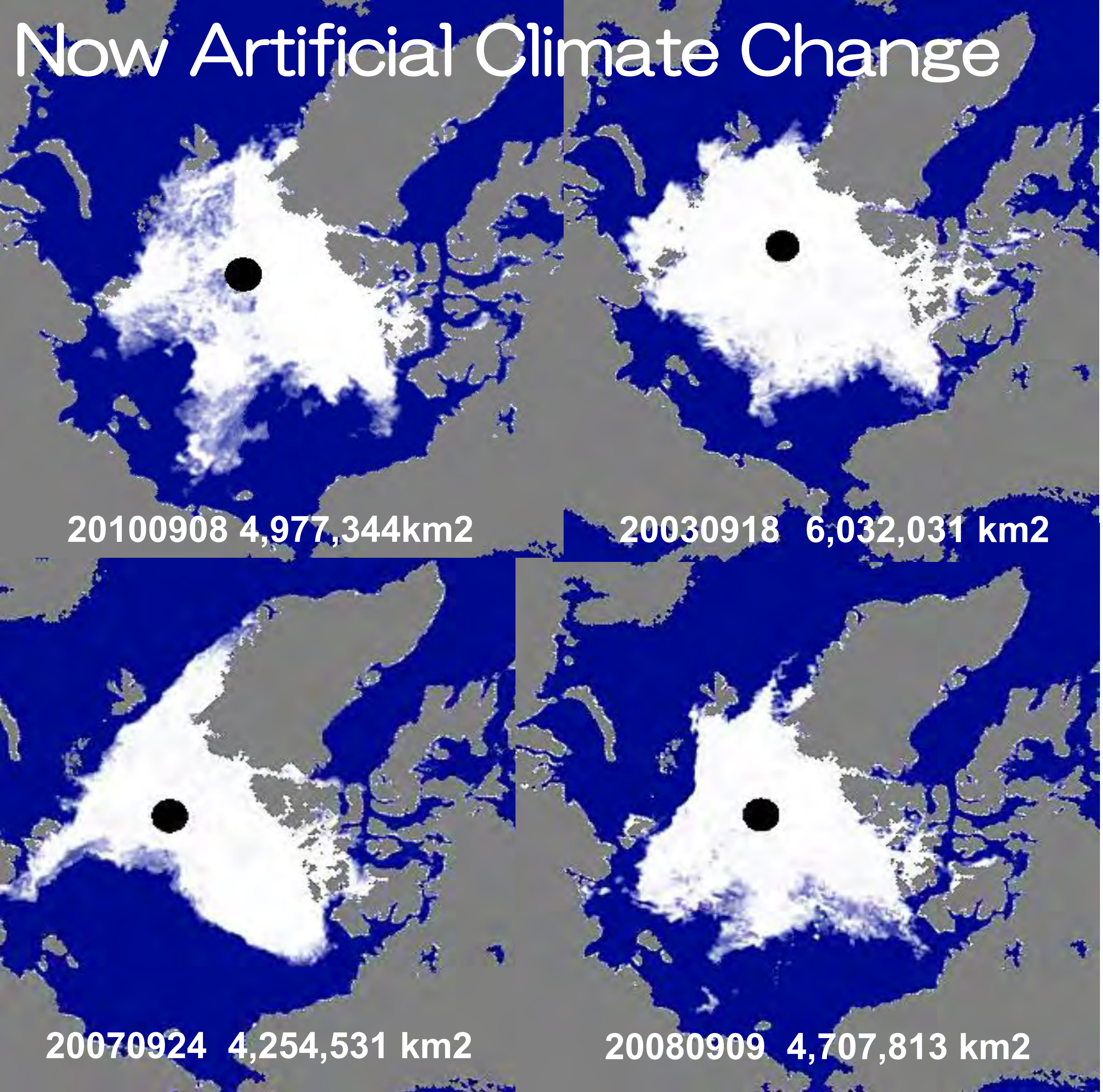


7 ：参考4：3DCG夜間海面イメージ

KEYWORDS

for Creating Sustainable Society

Now Artificial Climate Change



Arctic Report

Arctic Ocean

Sea-ice Conditions

2002 －2008

20020908 5149688 km2

20030918 6032031 km2

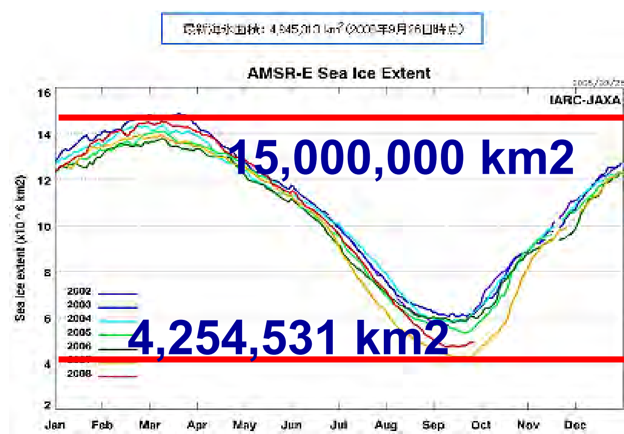
20050922 5315156 km2

20060920 5846875 km2

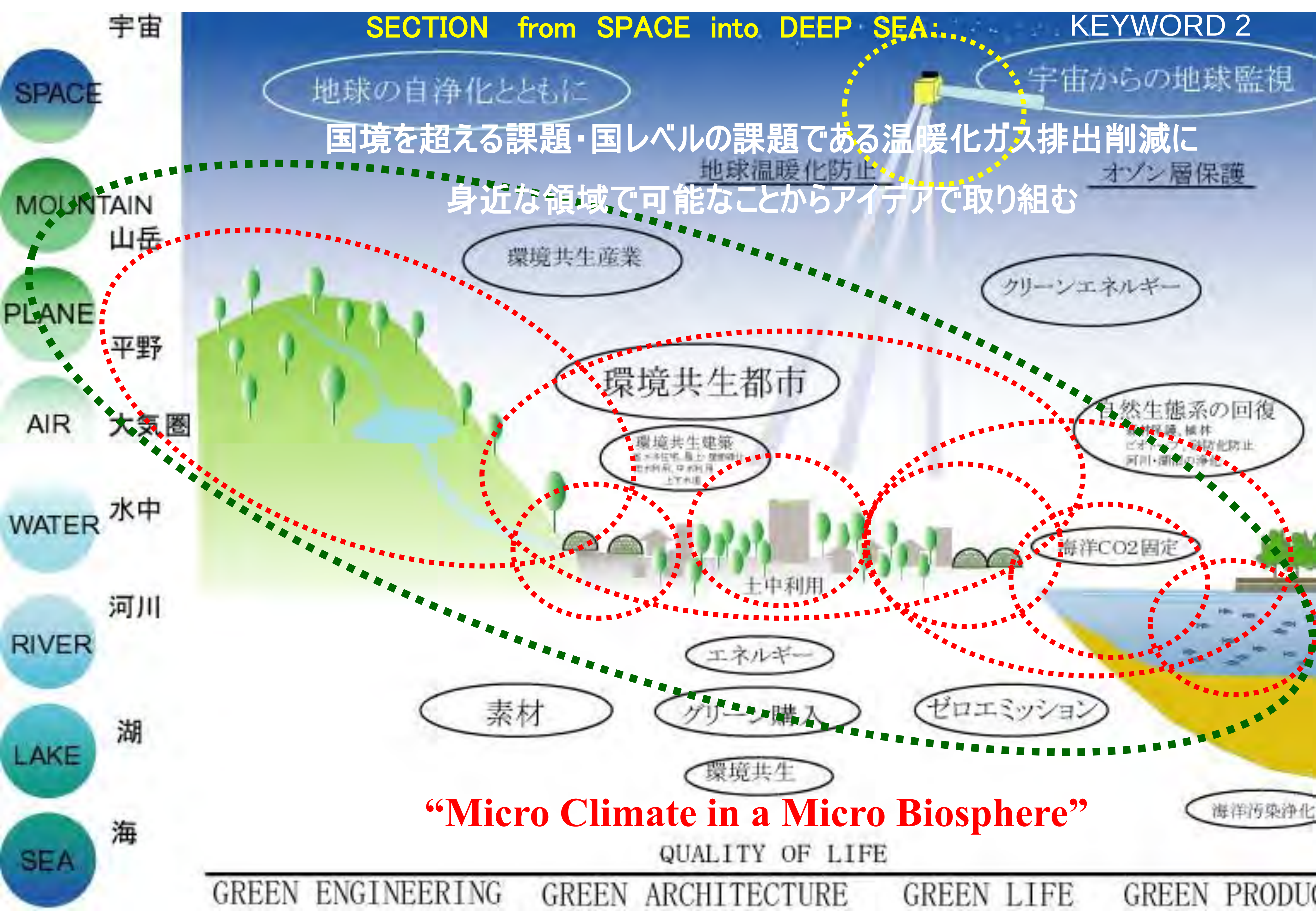
20070924 4254531 km2

20080909 4707813 km2

20100908 4977344 km2



KEYWORD 1



SECTION from SPACE into DEEP SEA:
KEYWORD 2
宇宙
SPACE
MOUNTAIN
山岳
PLANE
平野
AIR
大気圏
WATER
水中
河川
RIVER
湖
LAKE
海
SEA
地球の自浄化とともに
宇宙からの地球監視
国境を超える課題・国レベルの課題である温暖化ガス排出削減に
地球温暖化防止
オゾン層保護
身近な領域で可能なことからアイデアで取り組む
環境共生産業
クリーンエネルギー
環境共生都市
自然生態系の回復
環境共生建築
海洋CO2固定
土中利用
エネルギー
素材
グリーン購入
ゼロエミッション
環境共生
海洋汚染浄化
"Micro Climate in a Micro Biosphere"
QUALITY OF LIFE
GREEN ENGINEERING
GREEN ARCHITECTURE
GREEN LIFE
GREEN PRODU

spiral life-cycle thinking

螺旋状ライフサイクル思考

DUAL **LCA**=LIFE CYCLE ASSESSMENT

PRODUCT DESIGN

SPACE DESIGN

商品・機器製作におけるライフサイクルアセスメント

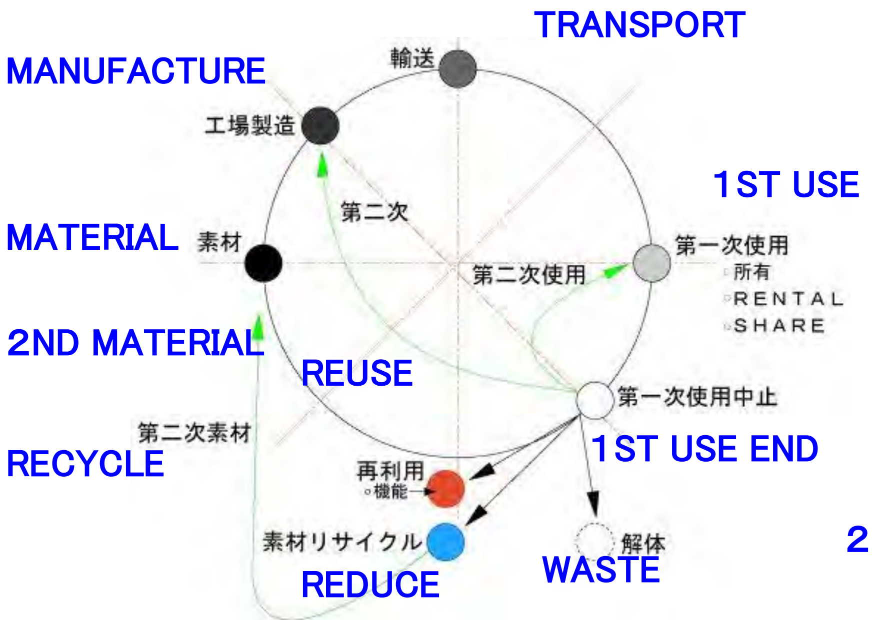
構築物製作おけるライフサイクルアセスメント——建築・都市・地域

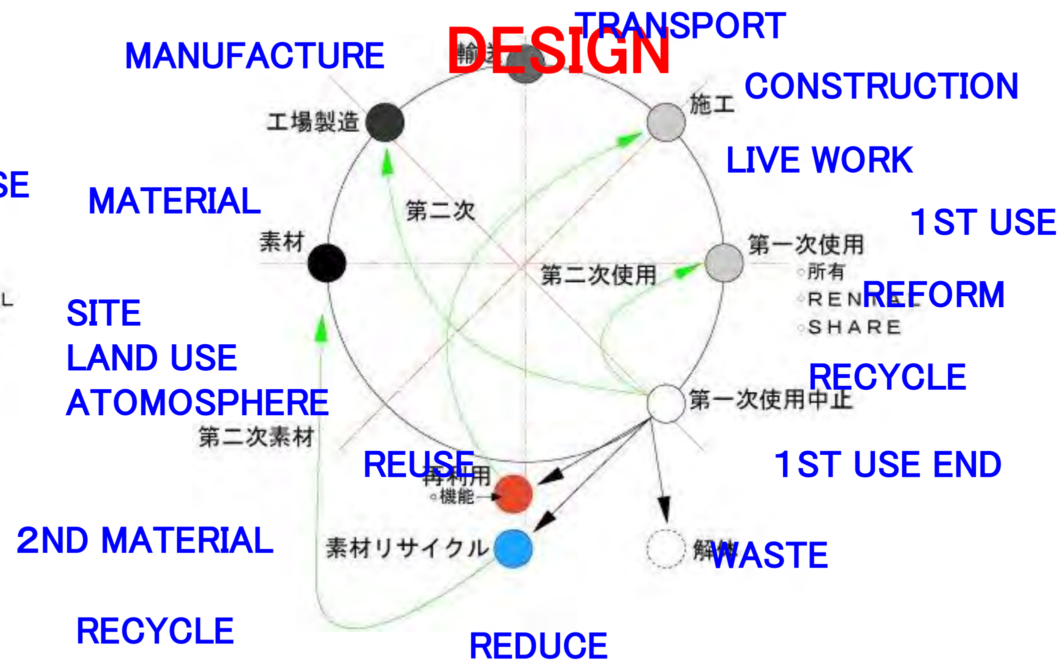
CLOSED SYSTEM

ENVIRONMENTAL CONSIOUS DESIGN

OPEN SYSTEM

ECOLOGICAL DESIGN





CSR

CORPORATED SOCIAL RESPONSIBILITY

企業の社会的責任

COMMUNITY SOCIAL RESPONSIBILITY

地域の社会的責任

CITIZEN SOCIAL RESPONSIBILITY

個人の社会的責任

CHILDREN SOCIAL RESPONSIBILITY

子供の社会的責任

ECODESIGN

生活美学
LIVING AESTHETICS

社会美学
SOCIAL AESTHETICS

環境美学
ENVIRONMENTAL AESTHETICS

COOLHABIT GREENWORK

KEYWORD 9

CREATING ASIA MODEL of ECODESIGN
from EACH COUNTRY, EACH REGION , EACH CITIES

visiting 10 COUNTRIES 18 CITIES 2003-6

transportation

landscape design

green +

artificial work

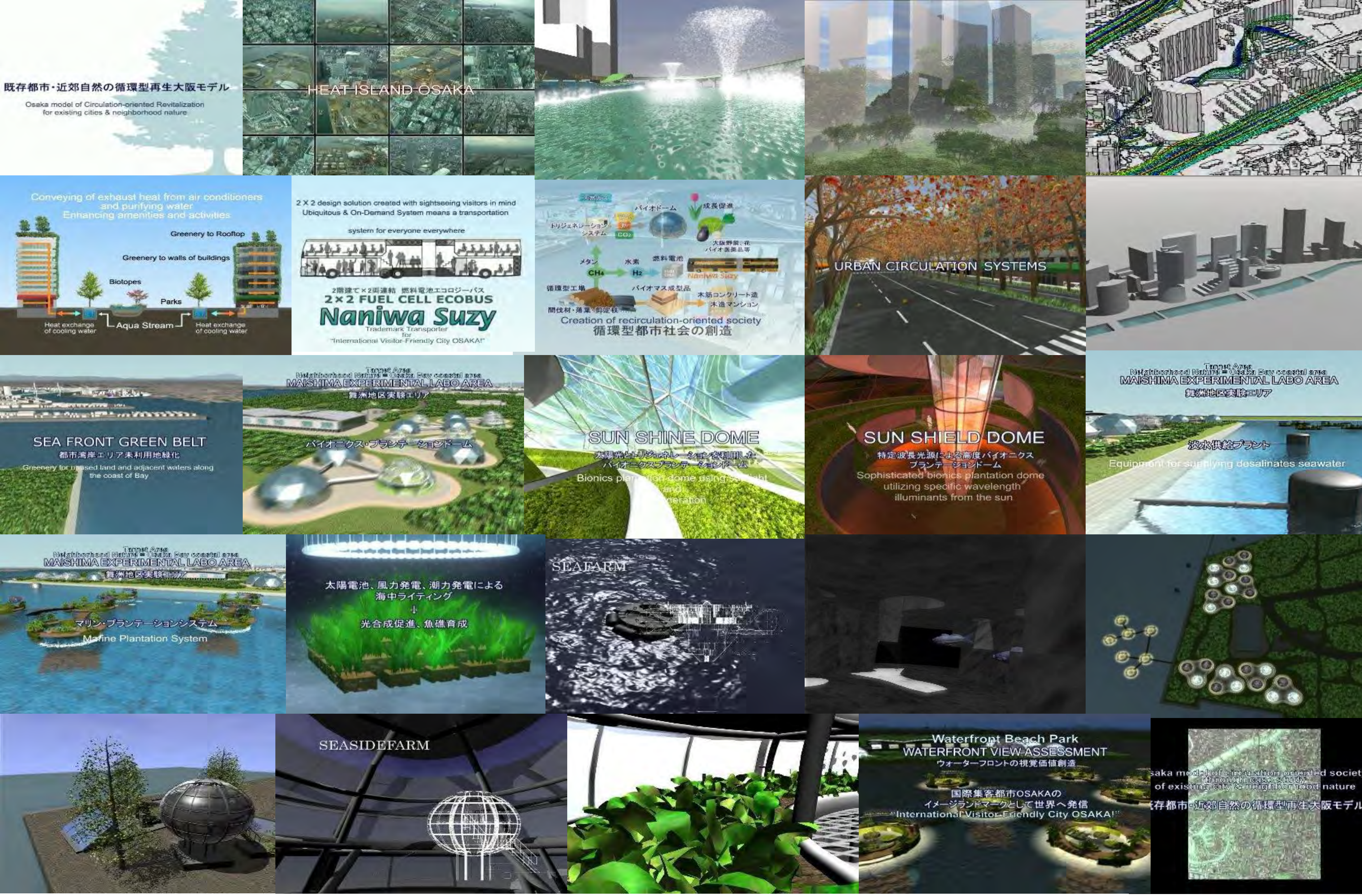
design

city

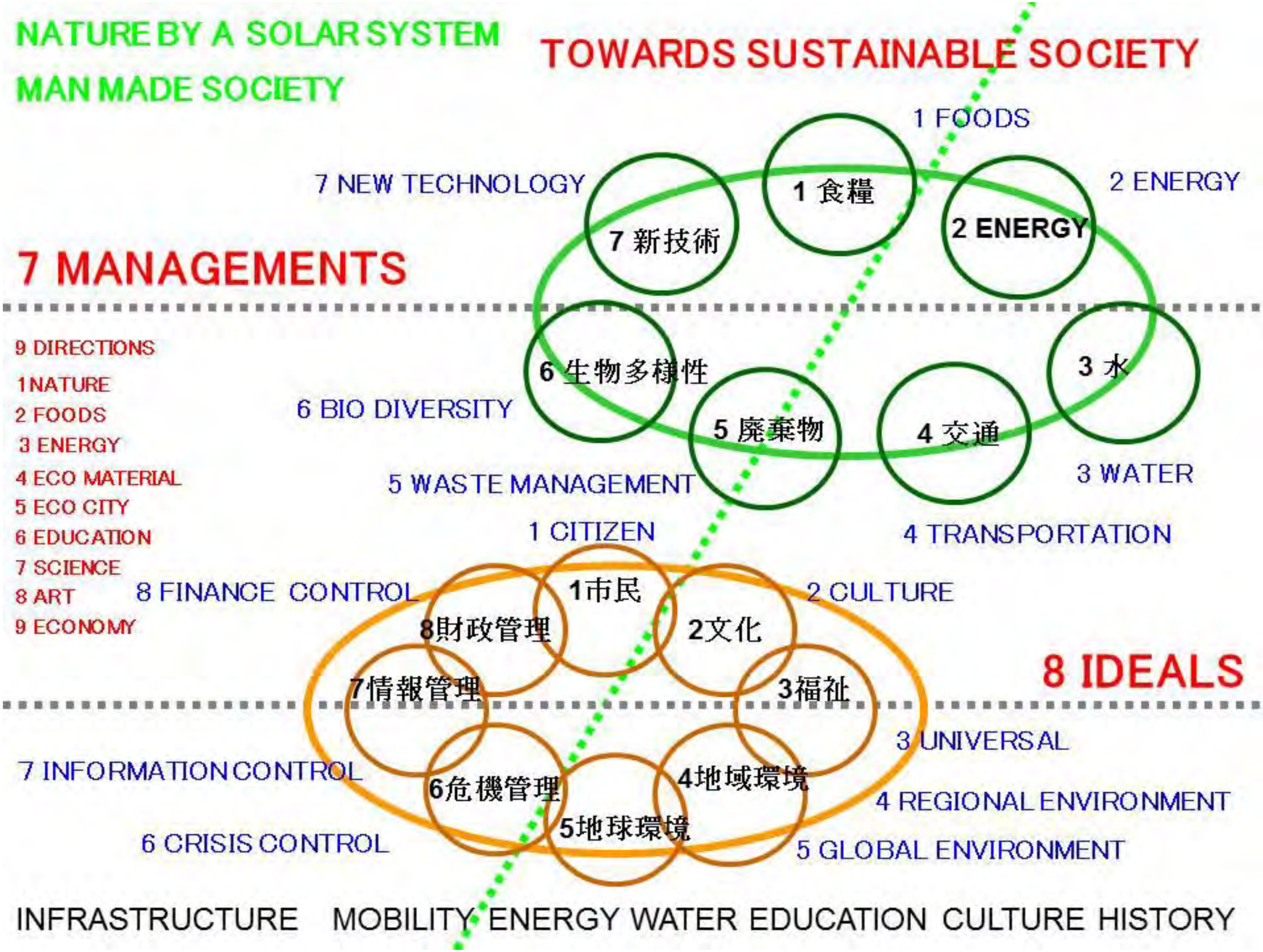
dwell

work

for Carrying out the Role of Asia for Global Climate Change Starting from Different Settings
–Nature,Culture–Urbanization–Industry,Waste,Transportation,Water–Land–Agriculture,Forestry,Fishery
Creating a Circulation–oriented Society through Lifestyle Aesthetics of Eco–Design



ANIMATION 2006 VER.3 /BY DESIGN / CO2 EMISSION 30% / NEW INDUSTRY by LIFE FORMS POWER /ESCAPE from HEAISTILAND TRANSPORTATION /CIRCULATION /LIFECYCLE AESTHETICS & SENSITIVITY

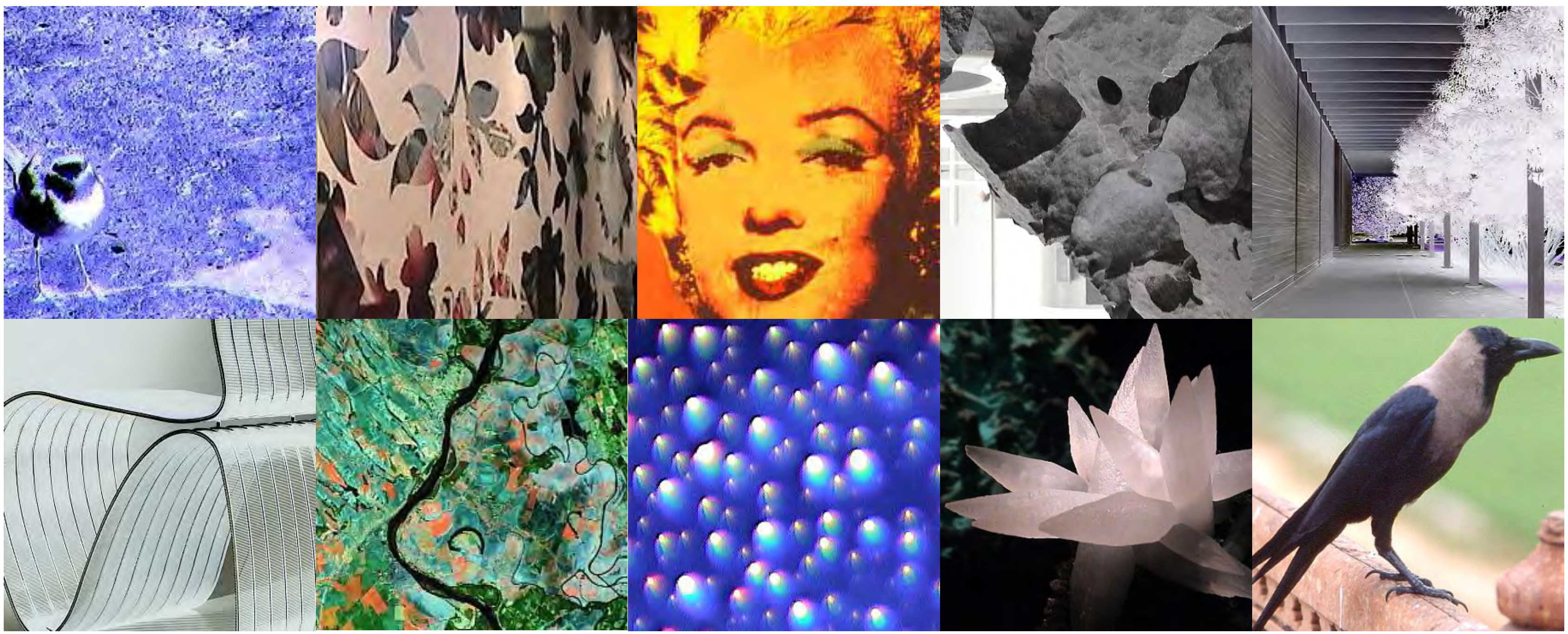

NATURE BY A SOLAR SYSTEM
MAN MADE SOCIETY
TOWARDS SUSTAINABLE SOCIETY
1 FOODS
7 NEW TECHNOLOGY
1 食糧
2 ENERGY
7 新技術
2 ENERGY
7 MANAGEMENTS
9 DIRECTIONS
1 NATURE
2 FOODS
3 ENERGY
4 ECO MATERIAL
5 ECO CITY
6 EDUCATION
7 SCIENCE
8 ART
9 ECONOMY
6 生物多様性
3 水
6 BIO DIVERSITY
5 廃棄物
4 交通
3 WATER
5 WASTE MANAGEMENT
1 CITIZEN
4 TRANSPORTATION
8 FINANCE CONTROL
1市民
2 CULTURE
8財政管理
2文化
8 IDEALS
7情報管理
3福祉
3 UNIVERSAL
7 INFORMATION CONTROL
6危機管理
4地域環境
4 REGIONAL ENVIRONMENT
5地球環境
6 CRISIS CONTROL
5 GLOBAL ENVIRONMENT
INFRASTRUCTURE MOBILITY ENERGY WATER EDUCATION CULTURE HISTORY

TRANSFER PEOPLE'S ACTIVITY

create next living scene with peace of mind

ECOLOGY ,NEW INDUSTRY ,NEW CULTURE,
NEW SHOPPING ,NEW SIGHT SEEING,
NEW BUSINESS
with
GOOD INFORMATION,
CIRCULATION CONCEPT,
GLOCAL LIFE STYLE

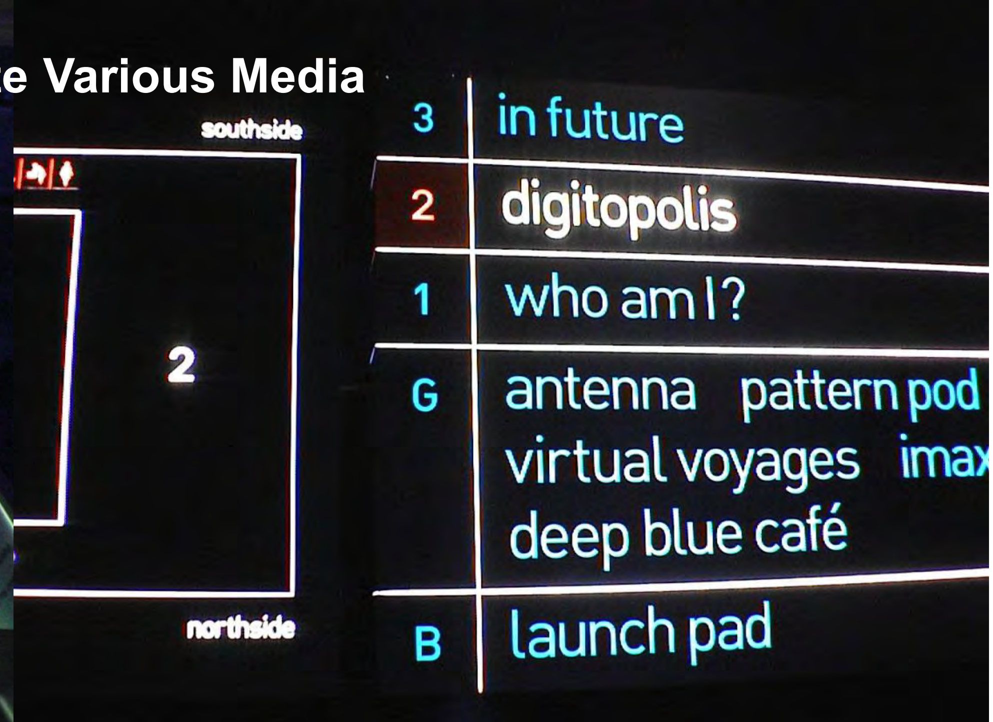
NATURE ART DESIGN SCIENCE



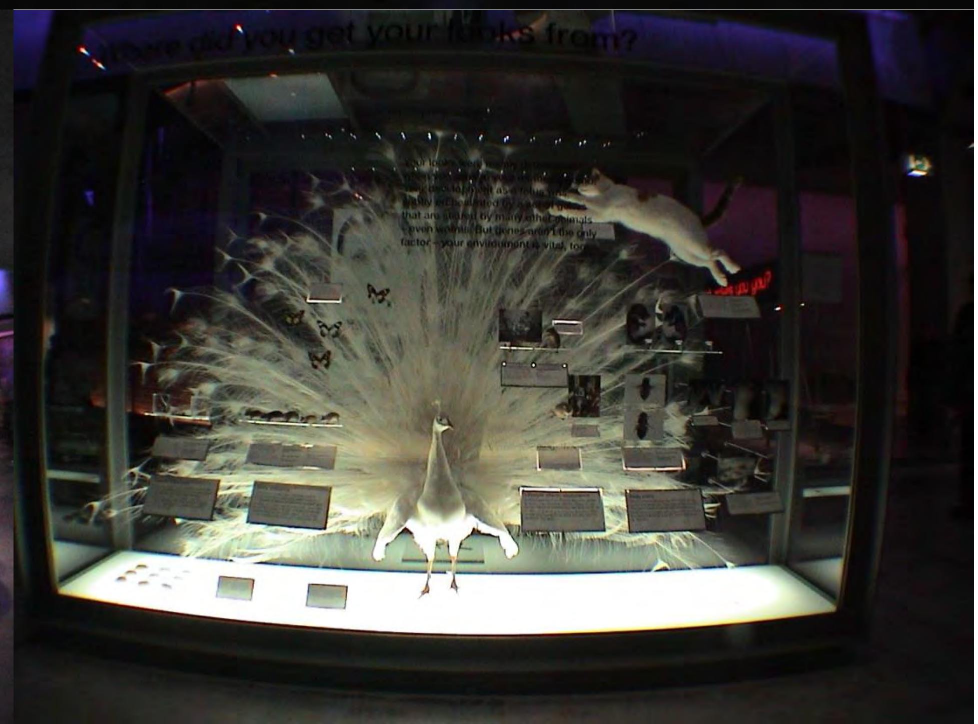
1 **People** Ideal

2 Culture Ideal

Activate Various Media



deep blue cafe 2002 LONDON



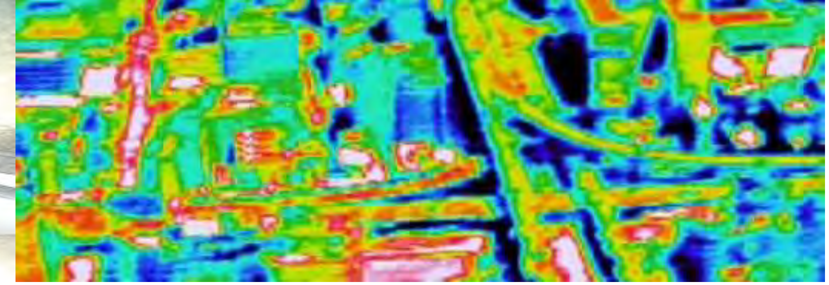
3 **Universal** Ideal

HEALTH & WELFARE

Creates Clean Pedestrian City

4 Regional Environment Ideal


5 Global Environment Ideal
PHOTOSYNTHESIS FIX CO2 & SUPPLY OXGEN
GREEN & WATER SHARING
DESIGNING BIOMASS MATERIALS
AGE of LANDSCAPE DESIGN for SUSTAINABLE REGION & PLANET



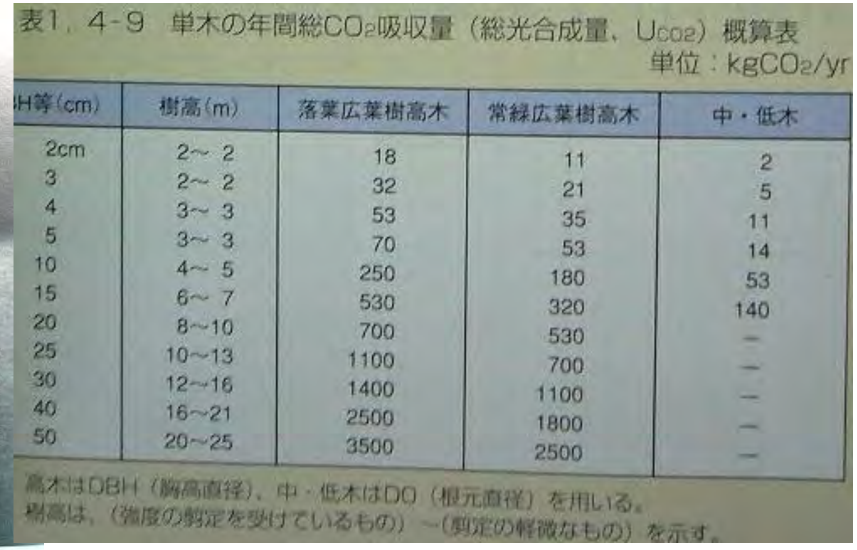


表1．4-9　単木の年間総CO2吸収量（総光合成量、Uco2）概算表
単位：kgCO2/yr

H等(cm)	樹高(m)	落葉広葉樹高木	常緑広葉樹高木	中・低木
2cm	2～2	18	11	2
3	2～2	32	21	5
4	3～3	53	35	11
5	3～3	70	53	14
10	4～5	250	180	53
15	6～7	530	320	140
20	8～10	700	530	－
25	10～13	1100	700	－
30	12～16	1400	1100	－
40	16～21	2500	1800	－
50	20～25	3500	2500	－

高木はDBH（胸高直径）、中・低木はDO（根元直径）を用いる。
樹高は、（強度の剪定を受けているもの）～（剪定の軽微なもの）を示す。

Climate Change

CAR EMISSION CO2 150-300gr co2/km &

ABSORPTION CO2 by TREES or SWEET POTATOES

TREES CO2 FIXING 45.5kgCO2/yr tree 10H CAR exhaust CO2 150gr co2/km TREE=CO2absorption+TEMP 1 CAR= 10,000km/yr =1.5tCO2/yr=33TREES. 675,000 CARS=1,000,000 tCO2/yr. 8,000TREES/30km ROAD @7,5m*2ways (from center of OSAKA to foot of mountain =30km) 2,800 ROADS of 30km. (data base 7th OSAKA PREF.TRAFFIC PLAN)

5 Global Environment Ideal 2

CV) ... 275 (3.2 JTS Q4 260 CV)

from EARTHQUAKE KOBE 19950117 0547

6 Crisis Control Ideal

7 ;Information Control Ideal

INTELLIGENT ICT :

ICT = INFORMATION COMMUNICATION TECHNOLOGY

Integrate social management through computer network.

Save Energy more than 20%..

1 ; STRATEGY : Thinking about city activity for next age.
Consider the future of the city and perform optimization by the function differentiation, and the drafting of a feasible measure carries it out concretely. Strategy consulting, building a framework of collaboration with government and business, to allow visualization of the measures.

2 ; TRANSPORT/ MOBILITY : What better vehicle to reduce commuting.
Provide accurate information to urban planners and traffic police, which intelligent transportation within the city in general. The alleviation of traffic congestion, improve the quality of life of citizens and business productivity. Conduct a comprehensive support available, or other means of transportation and taxi-bus Bike Transportation subway changes with the progress of development.

3 ; ENERGY / UTILITY : Energy utilities (electricity, gas and water), concrete, captures the scene as a living system to expand as heat and air, water. Get real-time information on energy use. Including the use of solar panels also provide management, energy trading and flexible, allowing you the responsibility. The user can use various utilities. The deployment of intelligent energy saving lives by getting an optimal solution.

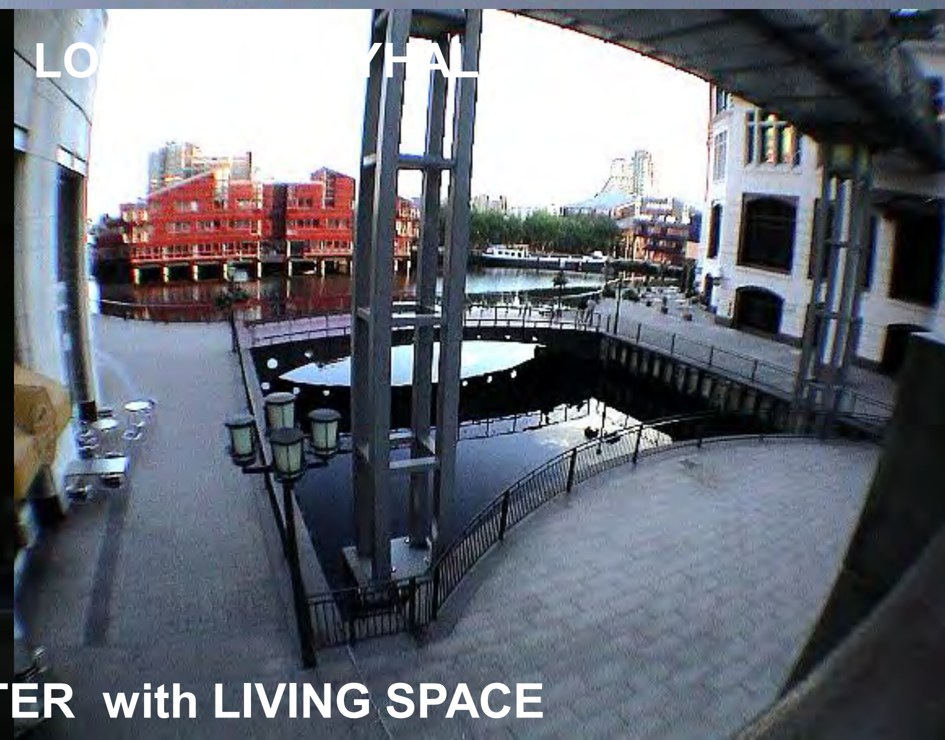
4 ; MEDICAL SERVICE: ntelligent systems and health services. Prediction of disease prevention, optimal medical treatment can be explored. It cooperates at a patient's more exact selection. It is a result of effective use of data. A not less than 50% reduction of the cost of medical treatment can be desired.

5 ; CRISIS CONTROL: The intelligent city, as well as to address and advance the prevention and prediction through the effective use of advanced technology and regional data. Comprehensive support is available for emergencies and other crimes. Will reduce the administrative budget.

6 ; EDUCATION: Evaluate and guide a student systematically in each educational facilities, harnessing the feature of an organization. Various tools are used and educational instruction is possible at internal and external various places. By preparing required equipment, a more wonderful result is pulled out. It is an intelligent education system.

7 ; GOVERNMENT: Government to build an intelligent service system, to service all residents to smooth relations. Share information, promote collaboration advances. The optimized decision-making authority and government information officials.

8 Finance Control Ideal



LO YHAL

NEW FINANCIAL CENTER with LIVING SPACE

1 ; Foods Management

食糧の管理

2 Energy Management

SMART HOUSE

PHV plug in

ELECTRIC CAR

ICT can integrate

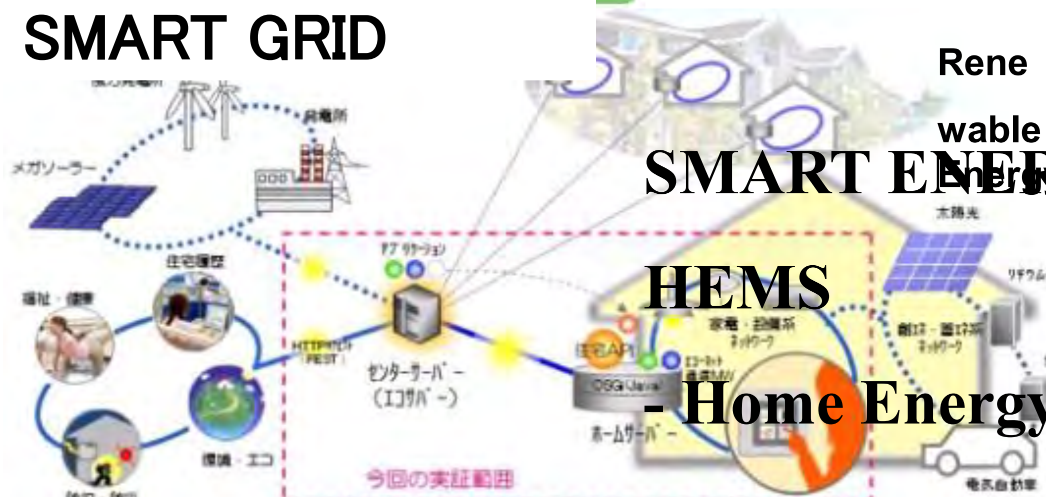
TOTAL ENNERGY USE

ELECTRIC SUPPLY with BATTERY,

GAS,WATER ,TEMPERATURE,AIR &

ELECTRIC CAR,

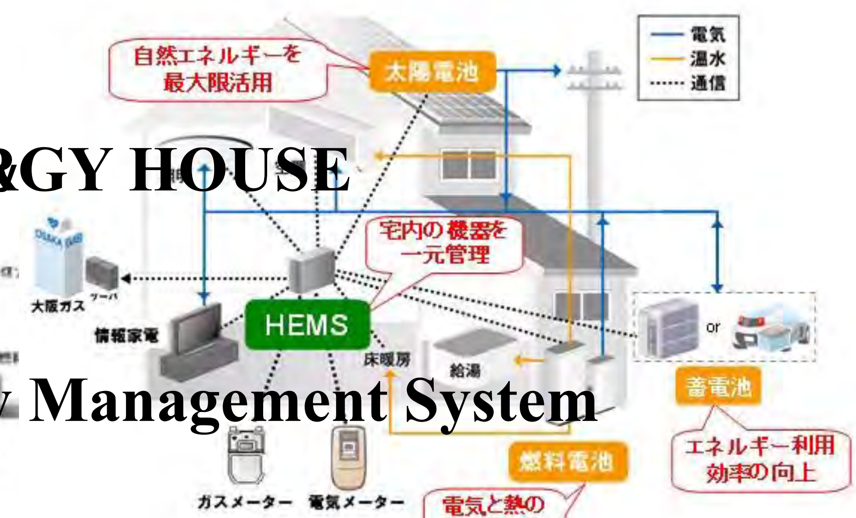
SMART GRID



Rene

wable

Energy



SMART ENERGY HOUSE

HEMS

- Home Energy Management System

INTERNET SERVICE PLATFORM SMART

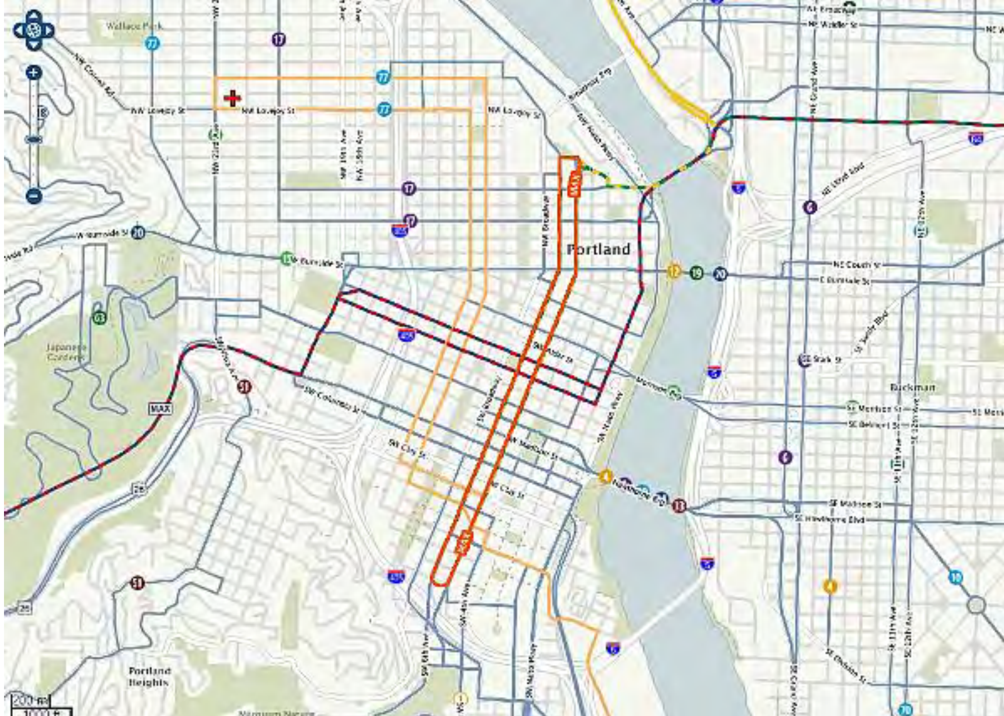
3 ; WATER MANAGEMENT

水の管理

LANSCAPE DESIGN

COOL AIR

NOT ONLY for HUMAN



4; TRANSPORTATION MANAGEMENT

移動体の管理

PORTLAND *TriMet* SYSTEM

TriMet provides public transportation in the *Portland*, Oregon, metropolitan area.

It's easy to get around on *TriMet* using buses, MAX Light Rail, WES Commuter Rail, and the *Portland* Streetcar.

Hybrid Vehicle Use

5 ; WASTE MANAGEMENT　　廃棄物の管理


Seeds
Management
6 ; BIODIVERSITY MANAGEMENT
生物多様性管理の管理

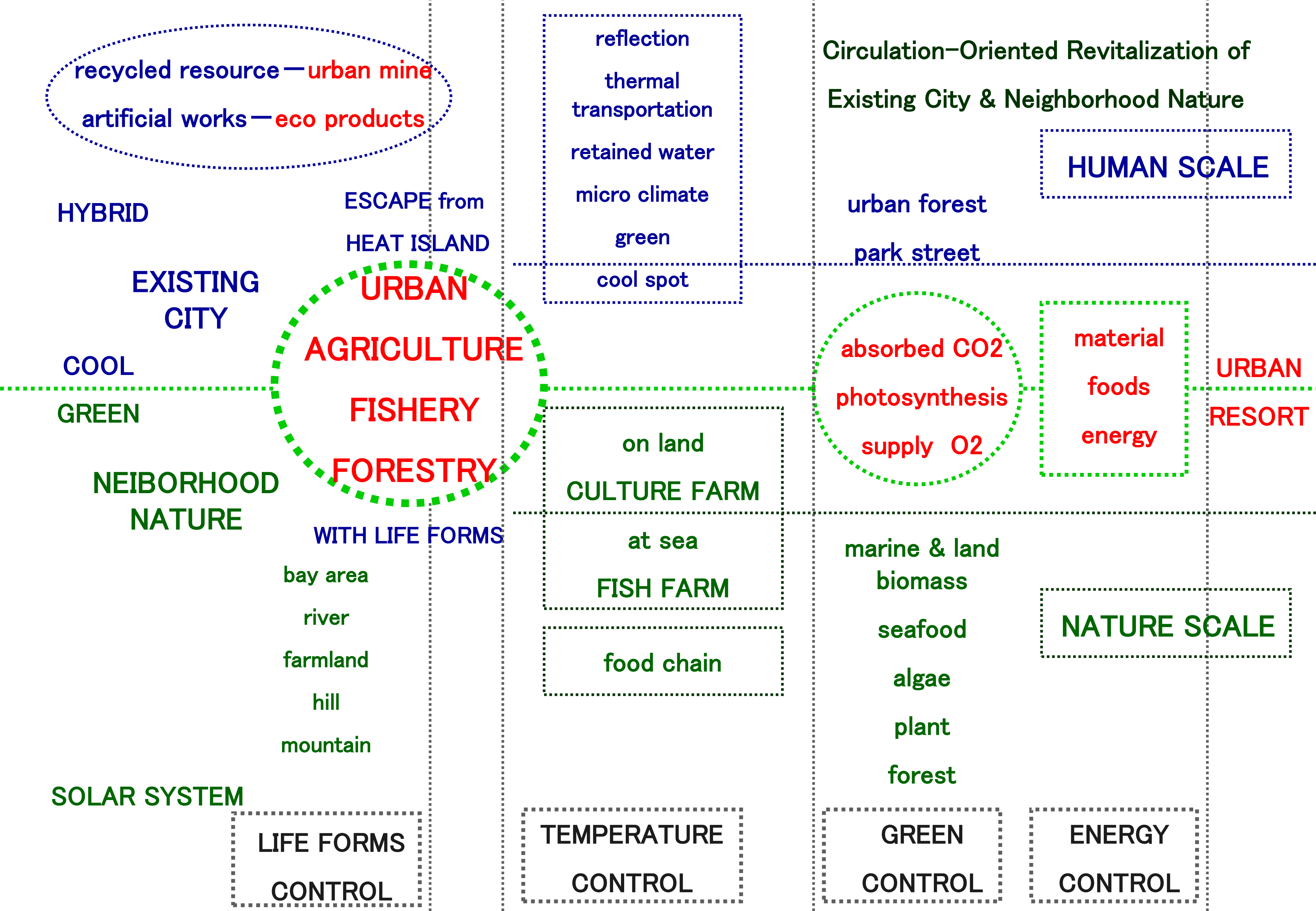
6 ; BIODIVERSITY MANAGEMENT

生物多様性管理の管理

WIEN 19C

greenhouse botanical garden

7 ; NEW TECHNOLOGY MANAGEMENT



recycled resource — urban mine
artificial works — eco products
HYBRID
ESCAPE from
HEAT ISLAND
EXISTING CITY
COOL
GREEN
URBAN
AGRICULTURE
FISHERY
FORESTRY
NEIBORHOOD NATURE
WITH LIFE FORMS
bay area
river
farmland
hill
mountain
SOLAR SYSTEM
LIFE FORMS CONTROL
reflection
thermal transportation
retained water
micro climate
green
cool spot
on land
CULTURE FARM
at sea
FISH FARM
food chain
TEMPERATURE CONTROL
Circulation-Oriented Revitalization of
Existing City & Neighborhood Nature
HUMAN SCALE
urban forest
park street
absorbed CO2
photosynthesis
supply O2
material
foods
energy
URBAN
RESORT
marine & land biomass
seafood
algae
plant
forest
NATURE SCALE
GREEN CONTROL
ENERGY CONTROL

This model integrates
culture, history, technology, and society
in a self-sustaining structure

that allows man-made cities and self-recovering nature
to exist together.

Responsibility in developing this model is shared
through a consortium of a wide-ranging team
of cultural and scientific specialists.

The team is led by architects specializing
in designing living environments,
and therefore aims at producing
a practical and effective circulation-oriented city model.

COOL
HABIT
GREEN
WORK
everywhere, everything
Ubiquitous Eco Design
PART12
study of existing city & neighborhood nature
生命体とともにある都市のエコロジカルデザイン
SEA FARM
MARINE PLANTATION SYSTEMS
COOL HABIT GREEN WORK
デザイナーはデザインの持つ構想力、技術力、感性の統合力を生かし提案する。
THERMAL ENERGY